

科目名 (英)	Air Basic	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Air Basic	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース						
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>美容業界にて大手美容室勤務を経て美油脂を対象とした教育に携わり、ブライダルヘアメイクとしてご新郎新婦のヘアメイクだけではなく心に寄り添う接客を心がけ、その他ブライダルファッションショーやFACO(福岡アジアコレクション)等でヘアメイクを担当した実績のある専任教員が、自分のパーソナルカラーを活かしたエアラインヘアメイクや接客における所作を身に付けられるよう講義や実習で実施する</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>自分に合ったエアラインヘアメイクができる。接客における所作を身に付けることができる。自分のパーソナルカラーを知る事ができる。パーソナルカラーを使ったメイクや着こなしができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 講師自己紹介 生徒自己紹介 用意する物等、これからの授業説明	
2回目	自分のパーソナルカラーをフォーシーズンで知る事ができる	
3回目	エアラインメイク ベースメイクができる	
4回目	エアラインメイク アイブロウができる	
5回目	エアラインメイク アイブロウまでの確認～アイメイクができる	
6回目	エアラインメイク アイメイクまでの確認～チーク・リップできる	
7回目	エアラインメイクができる (仕上げ)	
8回目	エアラインヘアーができる (デモスト～実習)	
9回目	エアラインヘアメイクができる	
10回目	綺麗ナスーツの着こなしができる	
11回目	接客における所作が身につけることができる (身だしなみや立ち居振る舞い、話し方やどのように見られるかをディスカッション)	
12回目	私服の似合わせができる	
13回目	エアラインヘアメイク確認と授業の復習	
14回目	★評価週	定期テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト答え合わせとまとめ
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	定期テスト	
受講生への メッセージ	<p>気になる企業の傾向を踏まえ、自分に合ったヘアメイクができるように、実習しましょう。接客における所作を身に付けられるよう、解らない事を解らないままにせず、質問して下さい。メイクに慣れるよう、復習の意味も込めて、できる限り毎日メイクして下さい。授業で配布した資料は毎回必ず持って来て下さい。</p>	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ICT/AI基礎	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ICT/AI fundamental ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p> <p>実施授業：ブライダル業界xAIで実際に社会実装を目的とした企画制作を行い、プレゼンテーションを行う。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>持続可能な事業として、企業に企画を受け入れてもらうことを目標としてプレゼンテーションを行う。</p>							
授業計画・内容							
1回目	前期の振り返りと後期の目標確認、制作会社のフィードバックの確認を行い、進捗の確認が出来る						
2回目	開発計画スケジュールの作成が出来る						
3回目	予算、及び収支計画の作成が出来る						
4回目	市場調査資料の作成が出来る						
5回目	プレゼンテーションビデオの作成が出来る						
6回目	プレゼンテーションの復習を行い、不足感を補える						
7回目	クライアント質疑応答対策を行いプレゼンに備えることが出来る						
8回目	クライアントフィードバックの対応一企画内容をまとめることが出来る						
9回目	クライアントフィードバックの対応一開発スケジュールを作成出来る						
10回目	クライアントフィードバックの対応一予算、及び収支計画の作成が出来る						
11回目	クライアントフィードバックの対応一市場調査をまとめることが出来る						
12回目	クライアントフィードバックの対応一質疑応答が出来る						
13回目	プレゼンテーション予行をし、本番に備えることが出来る						
14回目	★評価週 プレゼンテーション本番でクライアントに事業内容を伝えることが出来る						
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間外学習	なし						
評価方法	プレゼンテーションの完成度100%とする。						
受講生への メッセージ	講師、協力企業ともに、全力でサポートするので「自分たちがブライダル業界を変える！」つもりで企画を練り上げていきましょう。あと数ヶ月ですが頑張ってください！						
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>PCを毎回3台使用</p>							

科目名 (英)	ICT.AIビジネス	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	ICT / AI business	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】
一般的なプログラム言語「JavaScript」と「アート」を通じて、プログラミングの概要を学びます。

【実務経験】
講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。

【到達目標】
JapaScriptを通じてオブジェクト指向を学び、簡単な成果物を作成することができる

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・生徒紹介、授業の目的の共有	
2回目	ハーローワールドを実行することができる	
3回目	関数を使用し、リファレンスを活用することができる	
4回目	変数とデータ型を理解し、活用することができる	
5回目	フレームを操作し、演算を活用して動的な描画を行うことができる	
6回目	関数作成し、活用することができる	
7回目	条件文によって、分岐処理を行うことができる	
8回目	ループによって、繰り返し処理を行うことができる	
9回目	偶発性を活かした線を引くことができる	
10回目	偶発性を活かした円を描くことができる	
11回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 1	
12回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 2	
13回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 3	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	プロとして、すぐに活用できるスキルを習得していきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員
学科・コース	SPI ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
一般企業の70%以上で実施している『一般常識テスト』に合格するためのトレーニングを行う。「一般企業の70%が実施している」ということは、裏を返せば、30%の企業では、「知っていて当たり前。知らなくても入社後、新聞購読などで身に着け、問題意識を持ち続けるべき最低限の内容」ということで、このようなテストがない企業も多数あることを、まず理解し、「社会人になるための第一歩」として取り組むこと。						
※実務経験 東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間の小中学生への学習指導を続ける						
【到達目標】 SPI・一般常識・時事問題を学び知識の習得をすることができる。						

授業計画・内容	
1回目	①【時事】2021～2022トピックスを理解し説明できる
2回目	①【時事】2021～2022トピックスを理解し説明できる
3回目	②【一般常識:学力]中高での英数国理社を理解し説明できる
4回目	②【一般常識:学力]中高での英数国理社を理解し説明できる
5回目	③【一般常識:時事]政治・経済・国際を理解し説明できる
6回目	③【一般常識:時事]政治・経済・国際を理解し説明できる
7回目	④【一般常識:雑学]文化・芸術・スポーツを理解し説明できる
8回目	④【一般常識:雑学]文化・芸術・スポーツを理解し説明できる
9回目	⑤【一般常識:社会人教育]マナーを理解し実践できる
10回目	⑤【一般常識:社会人教育]マナーを理解し実践できる
11回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し説明できる
12回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し考察、プレゼンテーションすることができる
13回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し考察、プレゼンテーションすることができる
14回目	★評価週 期末テスト
15回目	★まとめ フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 必要なものを、その都度、お渡します。	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース					

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

就職試験で多くの会社が入力しているSPI試験について、あらゆる角度から対策を実施します。出題の傾向やコツを掴むことができ、基本的な考え方の土台をしっかりと築くことができます。様々なワークの実践で、SPIへの苦手意識を克服し、学びが社会で役に立つという意識まで変化させることで、積極的な取り組みを実現します。

※実務経験について:4年大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。その後、イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事し、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、また大学の就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。

【到達目標】

SPIを採用する企業側の意図を理解する。問題の傾向と出題の特徴を掴むことで、効率よく問題が解けるようになる。また、いろいろなワークを通して、考える力、直感が鍛えられる。最終的に、SPIの克服が、単なる採用試験の枠を超えて「自分を高めるため」という意識を持って取り組めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、自己紹介、学ぶことの大切さについて理解し説明できる
2回目	SPIの概要について 筆記試験実施の意味合いについて理解し説明できる
3回目	問題の傾向と対策① 情報をインプットする必要性と方法を理解し説明できる
4回目	問題の傾向と対策② 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
5回目	問題の傾向と対策③ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
6回目	問題の傾向と対策④ 読書の必要性と効率の良い読み方を習得できる
7回目	問題の傾向と対策⑤ 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
8回目	問題の傾向と対策⑥ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
9回目	中間試験
10回目	試験の解説と課題設定 自分の傾向を知り、重点を置いて取り組む部分を理解し説明できる
11回目	問題の傾向と対策⑦ 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
12回目	問題の傾向と対策⑧ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
13回目	期末試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	就職試験で採用されているSPIについて事前に調べておく
評価方法	筆記試験 ・中間テスト(50%) ・期末テスト(50%)
受講生への メッセージ	筆記試験は苦手意識を持っている人が多いと思います。そこで、この授業を受けることで、SPI対策をして点数を高める努力が、実は社会に出て役に立つ人材の基礎力になることを理解して、苦手意識を克服を目指します。ひとつひとつ課題に取り組んでいくと、考え方の基礎が築かれていきます。全ては自分の役に立つと信じて、楽しく学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース					
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
航空業界入試一次試験に合格するために必要な、計算力・読解力を指導する。どの授業よりも、授業実施前の個人差が大きい内容であることを鑑み、個別指導に力点を置くとともに、学生間相互の学び合いなどを通じて、コミュニケーションを密にし、学生自身の自主性・伝達力強化も図る。						
※実務経験 東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間小中学生への学習指導を続ける						
【到達目標】 SPIとは何かを知り、基本的な計算問題に取り組みSPIでの自身の弱点を見つけその弱点の克服に向けて何をすればよいのかを計画を立て、実行することができる。						

授業計画・内容	
1回目	予想問題の問題1～問題15までを理解できる
2回目	予想問題の問題1～問題15までを解くことができる
3回目	予想問題の問題1～問題15までを時間内に半分以上、解くことができる
4回目	予想問題の問題16～問題35までを理解できる
5回目	予想問題の問題16～問題35までを解くことができる
6回目	予想問題の問題16～問題35までを時間内に半分以上、解くことができる
7回目	予想問題の問題36～問題50までを理解できる
8回目	予想問題の問題35～問題50までを解くことができる
9回目	予想問題の問題35～問題50までを時間内に半分以上、解くことができる
10回目	新たな予想問題①50問を時間内に半分以上、解くことができる
11回目	新たな予想問題②50問を時間内に半分以上、解くことができる
12回目	新たな予想問題③50問を時間内に半分以上、解くことができる
13回目	新たな予想問題④50問を時間内に半分以上、解くことができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 必要なものを、その都度、お渡しします。	

科目名 (英)	WEBマーケティング	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員
	WEBMarketing	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース					
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
ホテルでの広報経験を活かし、マーケティングとは何かを理解し、日々の生活の中でマーケティングを意識することが出来るようなヒントを与える						
【実務経験】						
【到達目標】						
「モノを売る」視点を身に付ける。特別なことではなく日頃からPRを意識した視点をもてるようになる						

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 自己紹介=自分を売る 効果的な自己紹介の仕方を学ぶ	
2回目	コミュニケーション PRする話し方のスキルを学ぶ	
3回目	マーケティングとは何かを学ぶ	
4回目	マーケティングリサーチ 情報収集	
5回目	発表①	
6回目	セグメンテーション戦略 顧客層絞り込みについて学ぶ	
7回目	ブランド戦略 ブランドの歴史とコンセプト	
8回目	PR戦略 広報活動の必要性と、手段、効果について学ぶ	
9回目	異業種マーケティング 広い視野で日頃からアンテナをはる	
10回目	飲食店マーケティング 身近な飲食店のマーケティングから学ぶ	
11回目	好きを売る 取材して発表	
12回目	発表②	
13回目	人を売る 人と人とを結びつける	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	2回の発表や各課題が50点、テストが50点	
受講生への メッセージ	マーケティングは難しいというイメージをもっている方もご安心を。身近なマーケティングを学ぶことで、日々の視点が変わりビジネスへの考え方が変わります。楽しいをモットーに「へえ」と「なるほど」という気付きを大切にしていきます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント(オリジナル)		

科目名 (英)	アソシエイトホスピタリティコーディネータ Associate Hospitality Coordinator	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指します。							
【到達目標】							
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 ③ホスピタリティとサービスの違いを説明することができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:講義の説明 動画を視聴し「NOと言わないサービス」を理解することができる
2回目	日本のおもてなしから、サービスとホスピタリティの違いと語源を理解することができる
3回目	「ザ・リッツカールトンクレド」と「ミスティーク」を理解し、理念浸透とチームでお客様を把握することの重要性を理解することができる
4回目	ホスピタリティの実践① 笑顔の作り方、身だしなみ、立ち居振る舞いなどプロとしての雰囲気づくりを身につけることができる
5回目	ホスピタリティの実践② 話し方、言葉づかいなどプロとしての対応力を身につけることができる
6回目	ホスピタリティの実践③ 効果的な「傾聴」を理解し実践することができる
7回目	顧客ロイヤリティとホスピタリティの関係性を理解することができる
8回目	組織と社員(従業員)のホスピタリティ、ゴールデンサークル理論から学ぶリーダーシップを理解することができる
9回目	ご高齢や障がいのある方への対応について理解することができる
10回目	異文化コミュニケーション、「やさしい日本語」を学び、異文化適応力を身につけることができる
11回目	クレームが起きる原因とお客様の心理を理解し対応することができる
12回目	ハラスメントやコンプライアンスについて正しく理解することができる
13回目	実践レポート作成
14回目	★評価週
15回目	※レポート提出日 前期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、日頃から「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身につけていきます。また、ホスピタリティに関する書籍を進んで読むことや感動体験を積み重ね、感性を磨いてください。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」(2,000字以上/Word作成)・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートですので、必ず期限内に提出すること。 ※レポート作成にあたって、書き方やWordの書式設定など細かいルールがあります。講義の中で説明しますのでルールはしっかり守ること。
受講生へのメッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされており、新型コロナウイルス感染症により様々な対応を強いられている中でこそ、人の気持ちに寄り添えることができる人材が求められています。本講義では抽象的に語られがちなホスピタリティをイメージしやすいよう、様々な事例や動画を視聴し理解を深めてもらいます。授業で習ったことはすぐにアウトプットすることで身につきますのでどんどん実践しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会	
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著 グローバル人材ビジネス実務検定・接遇編/一般財団法人グローバル人材キャリア支援協会	

科目名 (英)	アマデウスシステム amadeus system	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日本航空のグランドスタッフとして国内線・国際線業務を担当した後、アマデウス認定インストラクターの資格取得。即戦力となるアマデウスの初級検定合格に向けて授業を実施します。							
【到達目標】 業界用語、3レターを用いた上でアマデウスの成り立ちや基礎を理解できるようになる。フライトの予約を取られるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	アイズブレイク/検定や中間期末テストについての説明/GDSとは・アマデウスとはを理解できるようになる	
2回目	3レター・業界用語(基礎)について理解できるようになる/月の入力方法・ヘボン式ローマ字入力ができるようになる	
3回目	コード検索・都市コード・空港コード(DAN, DAC)とその見方について理解できるようになる	
4回目	国コード(DC)・州コード(DNS)・機材(DNE)・航空会社コード(DNA)検索とその見方について理解できるようになる	
5回目	空席照会(基本)とその見方について理解できるようになる	
6回目	空席照会オプションを使えるようになる/中間テストに向けて復習	
7回目	中間テスト	
8回目	中間テストフィードバック/空席照会後のショートカットエントリを使えるようになる	
9回目	フライト予約(1区間のみ)ができるようになる、1区間ずつ複数のフライト予約ができるようになる/IGIについて理解できるようになる	
10回目	ロングセルエントリにてフライト予約できるようになる/乗り継ぎがあるフライトの予約ができるようになる(not往復)	
11回目	乗り継ぎがあるフライトをクラス違いで予約できるようになる	
12回目	アクセスレベルについて理解できるようになる/ダイレクトアクセスができるようになる	
13回目	タイムテーブルとその見方について理解できるようになる	
14回目	★評価週	期末テストに向けて前期の復習
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト(50点)、期末テスト(50点)の合計点	
受講生への メッセージ	航空業界で使用する予約システムの授業です。専門知識で聞きなれない言葉も多くできますので、初めは難しいと感じることもあると思います。ですがアマデウスの基礎知識を付け、さらに検定取得もできれば、即戦力として業界へのアピールポイントになります！！航空業界の実際の業務を理解しながら、検定に向けて頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】 AMADEUS ユーザーガイド 予約		

科目名 (英)	アマデウスシステム amadeus system	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日本航空のグランドスタッフとして国内線・国際線業務を担当した後、アマデウス認定インストラクターの資格取得。即戦力となるアマデウスの初級検定合格に向けて授業を実施します。							
【到達目標】 業界用語、3レターを用いた上でアマデウスの成り立ちや基礎を理解できるようになる。フライトの予約を取られるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	アイズブレイク/検定や中間期末テストについての説明/GDSとは・アマデウスとはを理解できるようになる	
2回目	3レター・業界用語(基礎)について理解できるようになる/月の入力方法・ヘボン式ローマ字入力ができるようになる	
3回目	コード検索・都市コード・空港コード(DAN, DAC)とその見方について理解できるようになる	
4回目	国コード(DC)・州コード(DNS)・機材(DNE)・航空会社コード(DNA)検索とその見方について理解できるようになる	
5回目	空席照会(基本)とその見方について理解できるようになる	
6回目	空席照会オプションを使えるようになる/中間テストに向けて復習	
7回目	中間テスト	
8回目	中間テストフィードバック/空席照会後のショートカットエンリを使えるようになる	
9回目	フライト予約(1区間のみ)ができるようになる、1区間ずつ複数のフライト予約ができるようになる/IGIについて理解できるようになる	
10回目	ロングセルエンリにてフライト予約できるようになる/乗り継ぎがあるフライトの予約ができるようになる(not往復)	
11回目	乗り継ぎがあるフライトをクラス違いで予約できるようになる	
12回目	アクセスレベルについて理解できるようになる/ダイレクトアクセスができるようになる	
13回目	タイムテーブルとその見方について理解できるようになる	
14回目	★評価週	期末テストに向けて前期の復習
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト(50点)、期末テスト(50点)の合計点	
受講生への メッセージ	航空業界で使用する予約システムの授業です。専門知識で聞きなれない言葉も多くできますので、初めは難しいと感じることもあると思います。ですがアマデウスの基礎知識を付け、さらに検定取得もできれば、即戦力として業界へのアピールポイントになります！！航空業界の実際の業務を理解しながら、検定に向けて頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】 AMADEUS ユーザーガイド 予約		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修	年次	1	担当教員
	career program	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース					曜日・時限

【授業の学習内容】

丁寧な自己分析と企業研究に基づき、企業に求められるホスピタリティに富んだ人柄や熱意、将来性が伝わるような応募書類の作成を指導します。
また様々な形式の面接試験でのマナーやポイントを抑え、自信を持って「傾聴」と「対話」の中での自己PRができるよう導きます。

【実務経験】

全日本空輸(株)運航本部およびANAグループにて 勤務

【到達目標】

- ①面接に向けて自身の必要なスキルを上げることができる。
- ②模擬面接を通じてスムーズに面接内で自身の考えを伝えることができる。
- ③自己分析を通じて自身の可能性に気付き、将来に向けてスキルアップへの意欲を高めることができる。
- ④企業や職種研修を通じて関心を高め、今後の業界の姿やそこの働き方をイメージすることができる。

授業計画・内容		
1回目	シラバスを使って授業の進め方、講師の自己紹介、学生の就職活動と自己紹介。	
2回目	就職と就社の違い、学生と社会人の違いを知ることができる。	
3回目	接遇5原則の誕生秘話、接遇と接客の違いを知ることができる。	
4回目	2020年からの著しい変化に伴う、今後求められる人材とは何かを知ることができる。	
5回目	2020年からの著しい変化に伴う、今後求められる人材とは何かを知ることができる。	
6回目	自己PRと強みの違いを知ることができる。	
7回目	会社に入社して何をしたいのか考えることができる。	
8回目	気になるニュースの選び方を知ることができる。	
9回目	文章の作り方や構成についてを学び、小論文と作文の違いを知ることができる。	
10回目	クッション言葉と肯定的否定語、接客用語について知ることができる。	
11回目	実践を通して職場内で使われる用語を知ることができる。	
12回目	実践を通して礼状の書き方を身につけることができる。	
13回目	実践を通して、敬語を学ぶことができる。	
14回目	★評価週	模擬授業(一人ひとり実践)
15回目	★まとめ・追試/再試	オンライン面接のポイントを理解できる 半期の総括
準備学習 時間外学習	自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。 面接練習で習ったポイントは、授業後にくり返し練習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布		

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修	年次	3	担当教員
	career program	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース					
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる						
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている						
【到達目標】 サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける						

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	コーチングスキル Coaching skills	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
ホテル・飲食業界にて責任者として、教育を担当した実績のある専任教員が過去の事例と今後起きえる事例を基に問題解決の考え方・導き方・状況判断を養います。同じ目的に向かう中で、個人の和の心をチームに活かす事を学んでいきます。						
【到達目標】						
ホスピタリティ業界で活躍するうえで、どの様に人をコントロールすることが出来るのかを学ぶ。様々な事例研究を通じて、自分なりの解決策を考えそれに対する評価を受ける事が出来る。教員実務経歴:都内外資系ホテルにてBAR勤務後、1996年ドイツへ渡りワインの栽培・収穫に携わりヨーロッパ各国を巡り知識・見分を深める。在独中は1998年世界最優秀ソムリエコンクールの優勝者「マルクス・デルモネゴ」に師事。帰国後、都内星付きレストラン・福岡市内ホテルにて従事の傍ら、10年以上業界の発展と若き人材育成へ尽力						

授業計画・内容	
1回目	思考の5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を学び意識の留意を学ぶ事が出来る。
2回目	勝者の理論と敗者の理論を学ぶ事が出来る。
3回目	チームワークと仲良し集団の違いを学び実勢出来るようになる。(自画像と他画像含む)
4回目	人前(聞く人・話す人)での姿勢・態度・言葉使いを学ぶ事が出来る。
5回目	自分の考えを纏めポジティブな表現に置き換えろ考え方を学ぶ事が出来る。
6回目	人の話を聞き、話す人の大切にしている事、重要ポイントを自分なりに考えられるようになる。
7回目	人の話を聞き、話す人が大切にしている事、重要ポイントを自分なりに考え、質問やきっかけを見出せるようになる。
8回目	人との意見が異なった時に目標・目的を聞き出し、方向性を模索する考え方を学ぶ事が出来る。
9回目	人との意見が異なった時に同じ方向性を示し同調を得る考え方を学ぶ事が出来る。
10回目	人との意見が異なった時に同じ方向性を示し相乗効果を得る考え方を学ぶ事が出来る。
11回目	課題を抽出し克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	期末試験対策を行い、半期の振り返りから見えてくる自身の課題を見つける事が出来る。
13回目	期末試験対策を行い、自身の課題に対する解決策を知ることが出来る。
14回目	★評価週 筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	本講義は事例を基に社会で働くうえで必要な基礎スキルを身に付けていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コミュニケーション	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
	communication	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース					
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
【学習内容】司会業を活かしての、発声、発音、滑舌など基本的な話し方を学び、誰からも好感がもてる対話やスピーチ、プレゼンテーションが出来ることを目指す授業を行う。 【実務経験】 ホテルコンシェルジュやブライダルプランナーの新規接客経験						
【到達目標】 分かりやすく好感もてるアナウンスたプレゼンテーションだけでなく自己PRでき、商品をPRでき、会社をPRでき、意見の言える人財になる						

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 自己紹介のポイントを知り活用できる	
2回目	笑顔と挨拶を練習を行い、相手への印象を変えることが出来る	
3回目	話し方基礎スキルを学ぶことが出来る(滑舌、抑揚、イントネーション、間の取り方など)	
4回目	スピーチ(30秒、1分)実際に時間を図って体感することが出来る	
5回目	スピーチ(3分) が出来るようになる	
6回目	発表もしくは課題提出が出来る	
7回目	インタビュースキル(質問の仕方、会話の広げ方、本音を引き出す話し方、印象に残る話し方)を学ぶことが出来る	
8回目	ナレーション課題①を仕上げる事が出来る	
9回目	ナレーション課題②を仕上げる事が出来る	
10回目	好きなことプレゼン(映画、本、夢中になっていること)で熱を相手に伝えることが出来る	
11回目	フリートーク術を身に付けることが出来る	
12回目	抑揚をつけて話を面白くすることを実践してみることが出来る	
13回目	ナレーション選択課題の練習を行い発表の準備が出来る	
14回目	★評価週	ナレーション課題の発表
15回目	★まとめ・追試/再試	振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	ナレーション課題の発表	
受講生への メッセージ	相手により伝わるには？を考えながら練習する場です。普段の話し方も変わるし、好印象にも繋がるので積極的に実践して欲しい内容です。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	コンピューター演習 Practice of computer	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアーラインコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>営業、Webディレクター、ブライダルサービス、PA、カフェ運営の現場で様々なスキルを身に着けた講師として、パソコンの実務的な使い方を学習していきます。</p> <p>授業終了時には、自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていきます。</p>							
【到達目標】							
①自身の持っているパソコンやタブレットPCの機能を知り、活用することができる。②PowerPointを活用したプレゼンテーションに必要な基本的なスキルを身に付けることができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。タイピング練習をしてキーボードに慣れる。
2回目	画像加工:remove bgを使い画像加工をし、自由に使えるようになる。
3回目	PowerPoint課題①:2人チームで、おとぎ話のスライド作成。画像挿入ができるようになる。
4回目	PowerPoint課題①:2人チームで、おとぎ話のスライド作成。文字入力装飾ができるようになる。
5回目	PowerPoint課題①:2人チームで、おとぎ話のスライド作成。アニメーション、画面切り替えができるようになる。
6回目	PowerPoint課題①:2人チームで、おとぎ話のスライド作成。仕上げが出来る
7回目	PowerPoint課題①:2人チームで、おとぎ話のスライド作成。上映会を実施できる。
8回目	メールの使い方:メーラーの環境設定と使い方がわかるようになる。
9回目	メールの使い方:ビジネスメールのポイントと注意点を学習し、メールを送受信をできるようになる。
10回目	便利ツールの紹介:パソコンを使う上で便利なツールを紹介、各自ダウンロードをしインストールしてもらいます。他拡張子について学習し理解できる
11回目	PowerPoint課題②:他己紹介スライドを作成① 今まで学習したスキルを使いスライドを作成できる
12回目	PowerPoint課題②:他己紹介スライドを作成② 今まで学習したスキルを使いスライドを作成できる
13回目	PowerPoint課題②:他己紹介スライドを作成③ 今まで学習したスキルを使いスライドを作成できる
14回目	★評価週
15回目	PowerPoint課題②:他己紹介プレゼンが出来る PowerPoint課題②:他己紹介プレゼン(予備)今までの復習
準備学習 時間外学習	身近にある物にコレほどの様になっているのか興味を持ってください。 分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をして欲しい。 そして自
評価方法	定期試験は実施しません。 提出物50%、発表50%で評価します。
受講生へのメッセージ	まずはパソコンに慣れて欲しい。車の免許と一緒に一度身につけてしまえば一生ものです。 とにかく触って慣れてくださいね。
【使用教科書・教材・参考書】	
随時必要な時にプリント及び、データで配布します。	

科目名 (英)	セルフスタイリング	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員
	Self-Styling	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース				2	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
【学習内容】 就活用メイクや基本的なスキンケア、身だしなみなどメイクの土台となる知識、技術を重点的に講義する。専門職を目指す意識を持って、姿勢やマナー、美しく自分に合ったメイクを身に付けるための授業を行う。 【実務経験】 冠婚葬祭、広告雑誌、ファッションショーなどのヘアメイクをフリーランスとして14年間活動している。						
【到達目標】 ①身だしなみの重要性、スキンケアの知識を習得②メイク道具を顔のパーツごとに正しく使いこなせるようになる③確かな技術とスピード、どちらも身に付ける。④理想の顔型を理解し、自分の顔を分析し、自分に合ったメイクを習得する。						

授業計画・内容	
1回目	学校生活について知り、ルールを理解する。
2回目	メイク道具紹介 メイクの必要性 スキンケアの重要性を学ぶことができる。【持参物】日頃使用しているスキンケア用品、ノーメイクで臨むこと。
3回目	メイク演習①肌の構造 スキンケアの実践 ベースメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
4回目	メイク演習②自分の肌質や、肌色に合ったベースメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
5回目	メイク演習③アイブロウの習得。カットして整える～基本バランスで描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
6回目	ヘア演習①(座学を含む)スーツに合うヘアアレンジ(シンヨンスタイル)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
7回目	ヘア演習②スーツに合うヘアアレンジ(ハーフアップ)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
8回目	メイク演習④ベース復習。アイメイクの習得。単色塗り～グラデーション。アイライナーで目元の演出が出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
9回目	メイク演習⑤アイブロウ強化。(座学を含む)カットして整える～基本バランスで描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
10回目	メイク演習⑥リップの正しい色選び、チークが基本バランス通りに描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
11回目	メイク演習⑦50分で基礎メイクが出来るようになる。化粧水乳液などスキンケアをした状態からベースメイク～チーク&リップまでのフルメイクを行う。
12回目	ヘア演習③スーツに合うヘアアレンジ(シンヨンスタイル)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
13回目	メイク演習⑦50分で基礎メイクが出来るようになる。化粧水乳液などスキンケアをした状態からフルメイクを行う。男子はベースメイク、アイブロウ、ヘアセットまでを行う。
14回目	メイク演習⑧50分で自分の顔に似合わせたメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。男子はベースメイク、アイブロウ、ヘアセットまでを行う。
15回目	イベント準備期間へ充当
準備学習 時間外学習	◎毎時間の持参物・・・筆記用具、配布したプリント類、白フェイスタオル2枚、メイク道具一式(普段セルフメイクで使用しているもの)、肌が弱い方は、基礎化粧品一式(化粧水、乳液、美容液など。学校にも用意はあります。)メイク落とし、パフ、スポンジ、リップブラシ(他のブラシに関しては持参は自由)※全て100均のものでも構いません。◎原則として友達同士の道具の貸し借りは禁止とします。毎時間忘れずに用意すること。◎人数が多いため授業前にメイク道具のセッティングを行ったり、メイクオフを速やかに行い授業に参加すること。◎直接肌に触れる道具は(スポンジ、ブラシ類など)は自宅で清潔にして持参すること。
評価方法	10分でセッティング、50分で定期試験(100点満点)授業の理解度、メイクの仕上がりが主な評価対象ですが、日頃の授業態度、忘れ物等も評価の対象に含まれます。
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPPTレジメ	

科目名 (英)	ビジネスマナー講座 business manner	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限

【学習内容】

前期の授業を踏まえて、社会人に必要なビジネスマナーを新入社員研修のカリキュラムに沿って学ぶ。

【実務経験】

日本航空国際線客室乗務員歴2年間、ドイツに5年間滞在中、ビジネスマナー、日本語講師を2年間。西南学生大学、福岡女学院大学で就職講座・ビジネスマナー5年間。新入社員研修の講師として、福岡市役所、西鉄グループ、NTTドコモ、九州の高校などで務める。

【到達目標】

15回終了後には、新入社員研修のカリキュラムを習得して接遇講師として立つこと出来る。
授業中に課題が出た時は、仲間とともに情報交換しながら解決することが出来るようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明・目的と心構えを聞いて、「自分なりの意見」が言えることが出来る。学生と社会人の違いを各自創意工夫して発表することが出来る。
2回目	接遇の基本、接遇5原則のひとつ「挨拶」の重要性を理解し、説明ができ実技指導が出来る。
3回目	コミュニケーションの大切さ、必要性を理解し説明ができるようになる。
4回目	ホスピタリティ業界における正しい身だしなみを行うことができる。さらに身だしなみにまつわる話を用意して話すことができる
5回目	お辞儀の仕方、入退室の仕方を復習して行うことができる。
6回目	接客の基本動作、立ち姿・座り方・お辞儀歩き方の総まとめを説明して行うことができる。
7回目	接客の応用動作、方向の指し示し方、案内の仕方、物の授受、名刺交換など理解して行うことができる。
8回目	中間テスト
9回目	敬語の復習と職場用語を理解して(練習問題)ロールプレイングができる。
10回目	電話応対、ビジネス電話の特性を理解して行うことができる。電話の慣用句の練習をして身に付ける。
11回目	総まとめロールプレイング
12回目	②社会的スキルを身に着けることができる(文章作成の実践)。
13回目	苦手なところのチェックリストを出し合い、補強作業。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業出席率と期末テスト
受講生へのメッセージ	残り半年間、有意義な時間にしていきたいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロショップ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
	PRO SHOP	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース					
曜日・時限						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、キャリア教育を通して社会人基礎力を身につけ、自己理解を深めていきます。

【到達目標】

- (1) 接客のプロとしてマナーを身につけることができる。
- (2) 自己分析を徹底的に行い、自分の強み・弱みをすることで自己肯定感を高めることができる。
- (3) 航空業界、CA業務についての知識を習得することができる。
- (4) 5年後のビジョンを具体的に考え行動することができる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	オリエンテーション/授業の目的について理解することができる/自己紹介を通し、傾聴の仕方、伝え方の重要性を理解することができる	
2回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ①第一印象/挨拶	
3回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ②表情/身だしなみ	
4回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ③立ち居振舞/美しい所作	
5回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ④言葉遣い/ANNIにて正しいイントネーションを習得する	
6回目	将来のビジョンに対する明確な目標設定を行うことができる	
7回目	コミュニケーション能力の3つのスキル(話す力・聴く力・交渉する力)を身につけることができる	
8回目	リフレーミングを活用した表現力のスキルを身につけることができる	
9回目	自己分析ができる ①マインドマップの作成/エニアグラム診断	
10回目	自己分析ができる ②自分史作成	
11回目	自己分析ができる ③経験の分析/長所の抽出	
12回目	企業研究を行い、空港業務に関わる企業を徹底的に知ることができる	
13回目	今まで学習したことを復習し発表することができる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	定期テスト 100%	
受講生への メッセージ		

科目名 (英)	プロシヨップ professional workshop	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	

【授業の学習内容】

航空関連の知識と実務のポイントを解説し、航空業界の接客業務のポイントを理解できるようサポートします。
コミュニケーションスキルやポジティブ思考のポイントも交え、面白さとやりがいを実感しながら様々なシーンでの接客対応を習得できるようサポートします。

【実務経験】

全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて 品質推進、旅客サービス、接遇・アナウンス等インストラクター、運航支援、ロードコントロール等 10年勤務
(株)ベネッセコーポレーション店舗にて営業・接客・MC および英語教室 BE studioにて講師サポート・事務全般 3年勤務、大手老舗百貨店 外務部、 行政府機関

【到達目標】

- ①就職する上で必要な基礎知識を学び、入社に備えることができる
- ②職場での人間関係の構築方法や自分に合った人との関わり方を学ぶことができる。
- ③自身のメンタルの習性を知り、自身に合ったセルフコントロールの方法を学び、活かすことができる。
- ④航空業界に捉われず幅広いホスピタリティに触れ、「本物」のサービスとプロフェッショナルについて理解・習得できる。
- ⑤入社後に夢や目標を叶えながら、お客様に愛され、仲間が必要とされ、企業を通して社会に貢献できる社会人になるための準備ができる。

授業計画・内容

1回目	自身を客観的に省みて、現状と実現したい「プロフェッショナルな自分像」との差を可視化し、今期の具体的な目標を示すことができる。
2回目	ユニバーサル社会の考え方について理解し、様々な事情に応じた接し方や介助の方法を実践的に身につけることができる ●WCH
3回目	ユニバーサル社会の考え方について理解し、様々な事情に応じた接し方や介助の方法を実践的に身につけることができる ●BLND
4回目	接客におけるコミュニケーションのポイントを理解しながら身につけることができる
5回目	航空業界の用語や表記等を習得 することができる ●各種用語と略語 ●2・3・4レターとMAP ●IATA地域(TC1, 2, 3)
6回目	客室乗務員の役割と業務を振り返り、それぞれのポイントを身につけることができる
7回目	旅客サービス係員の役割と業務を振り返り、それぞれのポイントを身につけることができる ●LS ●CKI・CASH(領収証, 収入印紙) ●BAG
8回目	旅客サービス係員の役割と業務を振り返り、それぞれのポイントを身につけることができる ●GATE ●ARR
9回目	トラブル対応の基本を学び、イレギュラーなシーンでの対応スキルを身につけることができる
10回目	職場での人間関係(上司・先輩社員等)との接し方と心構えを理解し、「居場所」を作れるコミュニケーションスキルを身に付けることができる。
11回目	ポジティブ思考やセカンドベストについて学び、接客やセルフコントロールに活かす方法を身につけることができる
12回目	過去の航空機事故から安全運航の重要性を理解し、スタッフ各々に求められる責任と意識について考えることができる
13回目	最上級のおもてなしの実例を通して、「真のホスピタリティとプロフェッショナル」について自らの立場に置き換えて考えることができる
14回目	★評価週
15回目	今日までを振り返り、仲間や支援者に感謝し、誇り高き本物のプロフェッショナルを目指す覚悟を持てる。

準備学習
時間外学習

授業で学んだことや考えを巡らせたことは、日常生活やアルバイト等で実践して、接遇スキルも人としての魅力もどんどん高めましょう！
テキスト類は適宜読み返して、自己成長やモチベーションの維持に活かしましょう。

評価方法

期末テスト 100% (筆記および実技試験)

受講生へのメッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布

科目名 (英)	フロントオペレーション	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Practice of Front Desk	授業 形態	講義実習	総時間 (単位)	15	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース				1	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

フロントの通常業務に沿った接客・接遇を学び、実習します

【実務経験】

ホテル・冠婚葬祭経3年、フロント受付実務教育経験を10年以上。講師歴2年

【到達目標】

宿泊部門のフロント業務の内容を把握し、基本的な対応が出来るようになる
様々な事例(シチュエーション)を通じて各事例ごとの対処方法を学び、実践することが出来る

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、ホテルスタッフの意識と身だしなみを知り、実践できるようになる	
2回目	宿泊部門:スタッフ心得(身だしなみ、態度、動作、言葉づかい、電話対応、コンプレイン対応)を学び、実践できるようになる	
3回目	宿泊部門:態度・動作(歩き方と姿勢、手や目の使い方、声の出し方、お辞儀・微笑みの仕方)を学び、実践できるようになる	
4回目	宿泊部門:フロント受付における言葉づかいを学び、ファーストコンタクトできるようになる	
5回目	宿泊部門:フロント受付対応にの電話対応(受ける、かける)ができるようになる	
6回目	宿泊部門:業務の流れ(客室予約、出迎え・チェックイン・滞在中・チェックアウト・見送り・清掃)	
7回目	フロント・オフィス:4つの位置付けと5つの業務のを理解し、業務の実践ができるようになる	
8回目	宿泊部門・フロント総復習にて、評価対策を確認し、自信をもってフロント対応ができる	
9回目	★評価週	確認期末テスト
準備学習 時間外学習	一度学んだことを日常に活かす工夫をする	
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	フロントとしての実習が多くなります 日常の意識を少しずつ増やしていきましょう	

宿泊業務の基礎

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 Study of Hospitality	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指します。							
【到達目標】							
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 ③ホスピタリティとサービスの違いを説明することができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	授業の目的、「なりたい自分」像の可視化、ビジネスマナーの必要性を理解して、習得に向けて高い意欲を持つことができる	
2回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる① 身だしなみ、挨拶、お辞儀、姿勢(立位、座位)、所作	
3回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる② 敬語、美しい言葉遣い	
4回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる③ 聞き取りやすい発声、アナウンス、他者を尊重する意見の述べ方	
5回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる④ 職場での心構え、目上の人(上司、先輩)や同僚との接し方	
6回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる⑤ 目上の人(上司、先輩)に対する言葉遣い、報連相の仕方	
7回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる⑥ 名刺交換、電話応対	
8回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる⑦ Eメール、書簡、冠婚葬祭マナー	
9回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる⑧ レポート、字数制限内でのわかりやすく美しい文章作成	
10回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる⑨ お茶・茶菓の提供	
11回目	ユニバーサル社会の考え方について理解し、様々な事情に応じた接し方や介助の方法を身につけることができる	
12回目	誠意の伝わるビジネスマナーを実践できる① 一般的なビジネスシーンをシミュレーションしたロールプレイ	
13回目	誠意の伝わるビジネスマナーを実践できる② イレギュラーなビジネスシーン(トラブル・アクシデント等)をシミュレーションしたロールプレイ	
14回目	★評価週	テスト
15回目		前期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、日頃から「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身につけていきます。また、ホスピタリティに関する書籍を進んで読むことや感動体験を積むなど、感性を磨いてください。	
評価方法	期末テスト	
受講生へのメッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされており、新型コロナウイルス感染症により様々な対応を強いられている中でこそ、人の気持ちに寄り添えることができる人材が求められています。本講義では抽象的に語られがちなホスピタリティをイメージしやすいよう、様々な事例や動画を視聴し理解を深めてもらいます。授業で習ったことはすぐにアウトプットすることで身につきますのでどんどん実践しましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会		
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著 グローバル人材ビジネス実務検定・接遇編/一般財団法人グローバル人材キャリア支援協会		

科目名 (英)	ホテルマネジメント I Hospitality Management I	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

ホテルパンフィック東京開業入社でホテル業界入り、以後は全日空ホテル開業チェーン展開に従事し、博多全日空ホテルに所属し、2000年以後はKKRホテル博多の総支配人、宿泊特化型 ホテル(351室)鹿児島の開発開業室長、外資系ベストウェスタンホテル仙台の開業準備室長を歴任し、ホテル開業運営コンサル会社2社に所属した。2014年よりホテル旅館の運営支援業務を主として株式会社HAMAソリューションズを創業し、現在に至る。特に関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、本校においては、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導を行い、数値分析問題が解ける様に指導実施する。

【到達目標】
ホテル・旅館の基本的な仕組みを学び、ホテルがどのようなことに取り組んでいるのか？また「どうやって売り上げをあげていくのか」や「残業しないで良い仕事のやりかたとは？」、「顧客満足度を高めるにはどうしたらよいか」などホテルマネジメントに必要な基礎知識を習得することができる。単にサービスが好き、おもてなしが好き、だけでなく、基礎から解るホテル旅館の数値分析を知ることで経営の一端を理解し、商いの基本を学び取る。簡単な分析問題に解答できる事が出来る

1回目	ホテル旅館の特色 他業種と異なる所を理解し、ホテルで利益を出すことがどの様な仕組みになっているかを理解することが出来る	
2回目	不動産投資からみたホテル旅館の事業の特性を知り、収入と支出の宿命を理解することが出来る (所有と経営と運営の分離)	
3回目	ホテルの売上計上の仕組み、経理会計組織とその役割が判るようになる	
4回目	ホテルマネジメントとホテルマーケティングとホテル会計の関係性を理解することで、学習の整理が出来るようになる	
5回目	ホテル旅館の数値分析指標と問題と解答解説練習で分析に数値が必要なことが判る	
6回目	倒産したホテル損益と利益の出ている旅館損益の比較することで利益体質の内容を読み取ることが出来るようになる	
7回目	組織的な情報管理 PMSとCRMの基本的な役割を学び、その為の必要な情報が理解出来るようになる	
8回目	サービス産業の生産性向上の方策を考え、宿泊業の将来での学びのあり方を考える事が出来る	
9回目	ホテルマーケティングとは何か？ 時代変化に合わせたマーケティングの新しい基本を知ることが出来る	
10回目	ホテルマーケティングとOSへの運動 (顧客満足にデジタルをどの様に活用するか？) コロナ禍で顧客の価値が変わった事を認識出来る	
11回目	MICEマーケティングの現状を知る 事で ホテル業が景気や国際情勢と深い関係があることを知る事が出来る	
12回目	デジタルマーケティング ウェブマーケティング 未来のホテル業を予測する 事で 学びの方向がみえる様になる	
13回目	ホテル旅館のM&A ホテル運営に関する分析手法 ポジショニング分析 競合ペネトレーション分析 など知ることで他業種との違いを認識できる	
14回目	★評価週	ホテルマネジメントやマーケティングに関連した筆記試験 前期内の小テストから抜粋問題
15回目	★まとめ・追試/再試	追試・再試はレポート提出とする
準備学習 時間外学習	日常のニュースなどへのアンテナを高め経済に関心を高め、その中でホテル観光業の実態を知り、自ら将来のホテル観光業を考える事が大切です。学習は学校内だけにあらず、日常の学生の生活の中で感じ、考え、記録し、行動する事が大切です。特に昨今はホテルを不動産価値とした判断で買収や合併(M&A)の報道が多発しています。そのような記事に目を向け、企業存続の道筋などを知ることが大きな学習になる	
評価方法	筆記試験100% 追試再試はレポート提出	
受講生への メッセージ	日常のニュースなどへのアンテナを高め経済に関心を高め、その中でホテル観光業の実態を知り、自ら将来のホテル観光業を考える事が大切です。学習は学校内だけにあらず、日常の学生の生活の中で感じ、考え、記録し、行動する事が大切です。オペレーションは大事です。さらに自らが経営(マネジメント)してみたら、どうなるか？を考える習慣をつけると面白い発想が出てきます。スタートアップの時代に自分が会社を起こすという発想が学習効果を高めます。 授業ではあなたがオーナー店長だったら何を？と課題も楽しみながら進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】
授業教材は 講師が準備するスライド資料や新聞記事コピーで実施する。 また、時折出題するテーマ別レポートも新聞やネットのニュースなどから自らが調べ、自らが自調・(情報収集して調べ)自考・(調べた結果を自分で考える)事が出来る様な授業と致したい。

科目名 (英)	ホテルマネジメントⅡ Hotel ManagementⅡ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテル業界に在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。本校において、収益を上げる為のホテル開業工程や数値管理、業務分析等は練習問題などで習得する。特に収益構造の仕組みを認識する指導をする。又時代背景に応じた商品プランの立案からマーケティング戦略などを学び、プレゼン能力のある学生育成をする。

【到達目標】

前期学んだことを活かし、企業プロジェクトに取り組むことが出来る。企業プロジェクトのテーマを基に自身の考えをマネジメント目線で考え、実現できる内容に磨いていくことが出来る

授業計画・内容	
1回目	後期授業に概要説明 企業プロジェクトとは? 全体図説明でこれから始まる産学連携PJの内容が理解できる。(PPTsample提示)
2回目	調査分析 1. 企業研究(連携企業を知る・規模・業種・関連事業等々) をフォーマットに纏める事で企業をしっかりと認識することが出来る
3回目	調査分析 2. 選択した宿泊施設エリアのマーケティング分析 交通・集客エリア・季節波動・競合施設・社会背景・等々 施設を含む衛リアの事が理解出来る
4回目	調査分析 3. 社会経済 今、コロナ禍で何が変化しているのか? 企業や消費者意識がどの様に変化しているのか?を調べ理解を深める事が出来る
5回目	商品立案 1. プランの考え方・作り方 説明 (ターゲット・期間・料理・部屋・内容・価格・特典) フォーマットに沿って熟考期間 感じ・考える事が出来る
6回目	商品立案 2 収入目標値 費用概算 商品での損益収支 感じ、考えた事を具体的に数字や文書に落とし込む準備が出来る
7回目	商品立案 3. 商品のマーケティング計画 特に マーケティングの4P や AIDMAの法則に沿った計画立案が出来る
8回目	プレゼン 1. 商品企画内容の精査 スライド下書きに手書きでスライドのストーリー案を検討決定する事が出来る
9回目	プレゼン 2. スライドの作り方 感じ、考え、纏めた事をスライドに落とし込む事が出来る
10回目	プレゼン 3. プレゼンの話し方・態度 プレゼンの為の話し方や態度が身に付き、堂々と説明が出来る
11回目	実演練習 1 今まで、実施したことを他の学生や他の先生に評価して頂き、本番に備える
12回目	実演練習 2 今まで、実施したことを他の学生や他の先生に評価して頂き、本番に備える
13回目	後期授業総括 商品企画立案から、マーケティング戦略策定さらに収支目標の一連の学習をすることで ホテル業界のマネジメントの一端を認識できる
14回目	★評価週 グループディスカッション (テーマ) 未定
15回目	★まとめ・追試/再試 グループディスカッション (テーマ) 未定
準備学習 時間外学習	基本的にWebsite情報を元に、色々な情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から・・・であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面では無く、社会のニュースやホテル事業施設周辺マーケット等は常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し文書化能力、プレゼンでの表現力は日常に努力が必要です。又、当然ながらPCスキルも問われるところです。
評価方法	プレゼン評価シート作成 調査分析 商品企画内容 プレゼンの評価 をもって 評価ランクをもって判定
受講生へのメッセージ	4K(感じ、考え、記録し、行動(プレゼン))の授業です。学内だけでなく、常に社会にアンテナを張っての学習です。マネジメントやマーケティングは決して難解な事では無く、日常の中に多くのヒントがある事を感じて下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	
特に無	必要に応じ、資料やフォーマットプリント配布

科目名 (英)	マーケティング論 Hotel Marketing	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の株HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。本校において、単にホテルオペレーションのトレーニング満足すること無く、収益を上げる為のマーケティングの基礎からその重要性を学び、商品を守る事の仕組みを認識する様な指導をする。

【到達目標】
 学生が身近に接する広告キャンペーンや実際の事例からの実践を通じた学習を行う。自らがそれぞれのテーマに取り組み、調査研究した成果を発表する為に、①感じ ②考え ③記録 ④行動 (プレゼン) の学生自らの 研究心が醸成され、ホテルマーケティングの手法を分析判断することが出来る。

授業計画・内容

1回目	・講師自己紹介 学生に自己PR 年間の授業スタイル説明・何故マーケティングが必要かを知ることが出来る。(課題)	
2回目	・マーケティングについて学び、マーケティング応用の売れる仕組みを理解することが出来る。(課題)	
3回目	・マーケティングを構成する4つのPとは何かを理解する(5月課題)	
4回目	・商品に対する料金の決め方・客室(宿泊)料金の定価はあるのかを知ることが出来る。	
5回目	・市場と顧客の考え方について理解することが出来る。	
6回目	・マーケティングにおける販売促進活動とはどんなものかを理解することが出来る。(6月課題)	
7回目	・多様化するホテル形態・その事業特性を知ることが出来る。	
8回目	・ホテルの売上構成と、その要素について学ぶことが出来る。	
9回目	・ホテルの売上げを増やす方法について理解することが出来る。	
10回目	・AIDMAモデルとブランド戦略について学ぶことが出来る。	
11回目	・ホテルが考えるブランド戦略を知ることが出来る。(7月課題)	
12回目	・ホテルマーケティングとCSの連動について学ぶことが出来る。(夏休み課題)	
13回目	★評価週	期末テスト
14回目	★まとめ・追試/再試	・これからのホテルマーケティング
15回目	・新聞やネット情報に対し関心を持ち、感じる力と、その情報に対し考える習慣、その考えた事を記録に残し、自分の考えを発言できるようにする為、日頃からニュースに関心を持つ事 最も大事にしたい事は現状を認識して未来を予測する力をつける事	
評価方法	・課題レポート(プレゼン) 50% 期末試験結果 50%	
受講生へのメッセージ	・マーケティングは時代の変化変貌の中で、絶え間なく進化していきます。5Gの時代、VRやARの時代に、私たちの生活も企業も、そして国も、世界も 変化し続けています。今を認識すると「同時に皆さんの10年後20年後を予測しながら、波に乗れる生き方をしましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】
 ・学生使用テキスト無し ・プリント配布 あるいはPPT表示による課題

科目名 (英)	ユニバーサルマナー	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
	Comprehensive Service(for disaled person)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース					

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

日本ユニバーサルマナー協会認定講師による本校向けに企画・実施するプログラムです。
より実践的なユニバーサルマナーを理解するために、座学での授業のみならず、車いすや
高齢者体験器具などを用いた体験型の授業を実施します。
業界に欠かせない、高齢者や障害者、性的マイノリティなど、多様な方々への向き合い方を身に付け、
あらゆる方に気持ちの良いサービスを提供できる人材を育成します。

【到達目標】

高齢者や障害者、性的マイノリティ等、多様な方々へ向き合うマインドを身に着ける。
上記、多様な方々への理解をもって、適切なお声かけやサポート、気持ちの良いサービスを実践できる。
ユニバーサルマナー検定2級合格に向けての知識と技術を身に付けることが出来る。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	オリエンテーション・ユニバーサルマナー検定3級の復習を行い、多様な方との基本的な向き合い方や知識を改めて理解する。
2回目	基礎概論：身体障害者の生活と心理を理解することが出来る ※到達度チェックテストの解説
3回目	基礎概論：知的障害者の生活と心理を理解することが出来る
4回目	基礎概論：精神障害者の生活と心理を理解することが出来る
5回目	基礎概論：高齢者の生活と心理を理解することが出来る
6回目	応用：職場内における精神障害・発達障害者との向き合い方について学び、より実践的なサポート方法を理解する。
7回目	応用：パラリンピック及び障害者スポーツについて 動画等参照しながら、障害者が考えている「リアル」を知る。
8回目	中間テスト実施
9回目	実技研修：車いす使用者への適切なサポートを実践できる ※車いすを使用します。
10回目	実技研修：視覚障害者への適切なサポートを実践できる
11回目	実技研修：聴覚障害者への適切なサポートを実践できる
12回目	実技研修：高齢者への適切なサポートを実践する
13回目	復習およびまとめ 多様な方との向き合い方について基本的な知識のみならず、より実践的な向き合い方を学ぶことが出来る。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試

準備学習 時間外学習	
------------	--

評価方法	ユニバーサルマナー検定(2級)に合格(100%)
------	--------------------------

受講生へのメッセージ	昨今、業界を問わずキーワードとされる「ダイバーシティ(多様性)」への理解は、まず「知ること」から始まります。 社会に出て活躍する自身の姿、多様な方へ向き合い、そして支え合うことのできる豊かな未来を想いながら、本講義を受講いただければ幸いです。
------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

適宜配布します。

科目名 (英)	英会話 English Conversaion	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。</p> <p>※実務経験 数々の企業にてビジネスパーソンやグローバルリーダー向け英語研修を10年以上担当。</p> <p>【到達目標】 日常生活やビジネス等で、よく出てくるトピックに関して自信を持って話すことができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す、質問することができる
2回目	L. 19 場所を尋ねる、説明することができる
3回目	L. 20 道案内をする、尋ねることができる
4回目	L. 21 料金について尋ねる、説明することができる
5回目	L. 23 頻度について質問する、答えることができる
6回目	L. 24 アイテムの特徴を説明することができる
7回目	L. 25 食べ物の量について話す、尋ねることができる
8回目	L. 26 必要性に関して話す、尋ねることができる
9回目	L. 27 食生活について話す、説明することができる
10回目	L. 28 食べ物について説明する、尋ねることができる
11回目	L. 29, 30, 31 過去の出来事について話す、質問することができる。ある出来事に対してのリアクションや返答ができる
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる
13回目	総復習 わからないことを質問しテスト対策ができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
評価方法	試験100%
受講生へのメッセージ	次のレベルに進みました。更に自信をもって流暢に話せるよう一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
Speak Now 1	

科目名 (英)	英会話 English Conversaion	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。</p> <p>※実務経験 数々の企業にてビジネスパーソンやグローバルリーダー向け英語研修を10年以上担当。</p> <p>【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話すことができる。</p>						

授業計画・内容		
1回目	L. 1 初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる	
2回目	L. 2, 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる	
3回目	L. 5, 6 好き・嫌い等の好みについての会話や質問返しができる	
4回目	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べるができる	
5回目	L. 11,12 人を褒める&褒められた際の会話表現や、(衣服など)着ているものに関して述べるができる	
6回目	L. 7, 13, & 14 時間について表現することができる。日々の習慣について話す&質問することができる	
7回目	L. 19, 20 道案内をする・場所を尋ねることができる	
8回目	L. 21, 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをすることができる	
9回目	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーができる	
10回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す&質問することができる	
11回目	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答ができる	
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる	
13回目	総復習 わからないことを質問できる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んで起きましょう。	
評価方法	試験100%	
受講生へのメッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	英会話(ライティング) English(writing)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアーラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
※実務者経験:英語講師経験20年以上。英語翻訳業務実務経験5年。実用英語検定(3級、準2級、2級担当)面接試験官20年。Nutrition and Well-being(栄養と健康について) University of Aberdeen(アバディーン大学)/Statement of Participation(講座修了書)取得。Professional Practices for English Language Teaching(英語教育の為の専門的プラクティス)/British Council(ブリティッシュ カウンシル) Statement of Participation(講座修了書)等の資格を有した講師が、生徒の実用英語検定合格に向けて、15レッスンにわたり、英文法の総復習、英単語、慣用表現、英熟語の学習、リスニング、ライティング、面接対策を行い、生徒達が実用英語技能検定試験合格に向けて、総合的な英語力を付けることが出来る様指導する						
【到達目標】						
①英語学習に対して、プラスな面を見つけ得意科目にすることができる。②英語検定準2級・2級に合格することができる。						

授業計画・内容	
1回目	英検の出題形式を知る。実力確認問題を解く。自分の英語レベル、強みや弱点を知り、合格に向けての学習プランを立てることが出来る。
2回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
3回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
4回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
5回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。
6回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。
7回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。 ★第1回英検受検者は長文読解練習。英検本会場6月5日実施
8回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。
9回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。
10回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。
11回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。 ★第1回英検受検者(1次合格者)は面接練習。英検本会場7月3日実施
12回目	弱点対策学習。9~11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をすべきなのかが知り、学習目標を立てることが出来る。 ★第1回英検受検者(B日程受検者)は面接練習。英検本会場7月10日実施
13回目	弱点対策学習。9~11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をすべきなのかが知り、学習目標を立てることが出来る。
14回目	★評価週 過去問題を解く。目標級の過去問題正解率60%以上を目指す。実戦練習として問題を解き、正解率60%を超えることが出来る。
15回目	今学期のまとめ。提出物の確認。
準備学習 時間外学習	基本的にクラス内で学習。暗記物及び提出物等は自分のペースで時間外学習。
評価方法	主に提出物により採点
受講生へのメッセージ	自分の弱点を知り、目標を立て、前向きに楽しみながら弱点克服と合格を目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
英単語、英熟語プリント/英検100%合格にこだわった本/過去問題プリント/英検面接カード	

科目名 (英)	英会話(ライティング) English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験:海外生活の体験が皆無なところから英検1級・TOEIC970点を修得した教員自身の学習経験と豊富なノウハウをもとに、英検準2級以上の実力をつけるための文法力を身に付けてもらう。 このレベルはかなりの実力は持ちながらも、まだ理解が曖昧で怪しい箇所もたくさんある層です。したがって各自の理解度を個別に慎重に評価しながら、しゃべる、聴く、読む、書くの4技能もフルに使いつつ楽しい授業を目指します。							
【到達目標】							
①英検検定準2級・2級取得に必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーションと自己紹介・本講座のねらいを共有することにより、やる気を高めこれからの目標を設定することができる。	
2回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
3回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
4回目	文の種類・助動詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
5回目	分詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
6回目	不定詞・動名詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。	
8回目	形容詞・副詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
9回目	比較表現についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
10回目	受動態についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
11回目	名詞・冠詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
12回目	関係詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
13回目	仮定法についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより到達度を知ることができる。
15回目		テストの評価・解説を行うことにより来期への目標を立てることができる。
準備学習 時間外学習	語彙力アップのため単語のミニテストを行います。前回の授業で学んだ語彙は毎回復習をしっかりとしましょう。	
評価方法	中間テスト4割 期末テスト6割	
受講生へのメッセージ	英検準2級、2級を超えられたら、英語の理解度や運用力がぐんと上がって、現実実践に使える手ごたえが感じられます。そうなったら英語学習はますます楽しくなってきますので、ぜひその境界を一緒に超えていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
『高校英文法をひとつひとつわかりやすく』(学研) 『トレーニングノート英文法α』(受験研究社) ほか、長文プリントなど		

科目名 (英)	英会話(ライティング) English(writing)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアーラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

※実務者経験: 英語講師経験20年以上。英語翻訳業務実務経験5年。実用英語検定(3級、準2級、2級担当)面接試験官20年。Nutrition and Well-being(栄養と健康について) University of Aberdeen(アバディーン大学)/Statement of Participation(講座修了書)取得。Professional Practices for English Language Teaching(英語教育の為の専門的プラクティス)/British Council(ブリティッシュ カウンシル) Statement of Participation(講座修了書)等の資格を有した講師が、生徒の実用英語検定合格に向けて、15レッスンにわたり、英文法の総復習、英単語、慣用表現、英熟語の学習、リスニング、ライティング、面接対策を行い、生徒達が実用英語技能検定試験合格に向けて、総合的な英語力を付けることが出来る様指導する。

【到達目標】

①英語学習に対して、プラスな面を見つけ得意科目にすることができる。②自身の目指す英語検定の級に合格することができる。

授業計画・内容

1回目	英検の出題形式を知る。実力確認問題を解く。自分の英語レベル、強みや弱点を知り、合格に向けての学習プランを立てることが出来る。	
2回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。	
3回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。	
4回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。	
5回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。	
6回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。	
7回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。★ 第1回英検受検者は長文読解練習。英検本会場6月5日実施	
8回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。	
9回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。	
10回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。	
11回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。★第1回 英検受検者(1次合格者)は面接練習。英検本会場7月3日実施	
12回目	弱点対策学習。9~11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をすべきなのか知り、学習目標を立てることが出来る。★第1回英検 受検者(8日程受検者)面接練習。英検本会場7月10日実施	
13回目	弱点対策学習。9~11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をすべきなのか知り、学習目標を立てることが出来る。	
14回目	★評価週	過去問題を解く。目標級の過去問題正解率60%以上を目指す。実戦練習として問題を解き、正解率60%を超えることが出来る。
15回目		今学期のまとめ。提出物の確認。
準備学習 時間外学習	基本的にクラス内で学習。暗記物及び提出物等は自分のペースで時間外学習。	
評価方法	主に提出物により採点	
受講生へのメッセージ	まず、合格目標を立てましょう。目標を設定し、一步一步目標級の合格まで歩んでゆきましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

英単語、英熟語プリント/英検100%合格にこだわった本/過去問題プリント/英検面接カード

科目名 (英)	英会話(リーディング) English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアーラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
<p>※実務経験:10年以上にわたり、英語初心者的小学生や英語が苦手な中学生を教えてきた教員自身の体験を踏まえて、初期の文法をつまづきやすいところを丁寧に着実に教えていきます。</p> <p>しゃべる、読む、聴く、書く の4技能をフルにつかって、体全身で英語のエッセンスをとらえてもらえるような授業を目指します。基礎的な文法が身に着くと、もっと複雑な英文を読んだり話したりしなくなります。そんな「楽しさ」を知ってもらえるような工夫をします。</p>						
【到達目標】						
<p>①自身の目指す英語検定の級に対して必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。</p>						

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーションと自己紹介をすることで今後の学びへのやる気をうながし、目標を共有することができる。	
2回目	be動詞と一般動詞について学び、基礎的な理解とある程度の応用ができるようになる。	
3回目	進行形、未来形について学び、基礎的な理解とある程度の応用ができるようになる。	
4回目	助動詞について学び、基礎的な理解と、ある程度の応用ができるようになる。	
5回目	冠詞・代名詞について学び、基礎的な理解と、ある程度の応用ができるようになる。	
6回目	形容詞や副詞・接続詞について学び、基礎的な理解と、ある程度の応用ができるようになる。	
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度や弱点を知ることができる。	
8回目	比較級について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
9回目	不定詞・動名詞について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
10回目	受身表現について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
11回目	関係代名詞についてb学び、基礎的な理解を得ることができる。	
12回目	現在完了形(継続)について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
13回目	現在完了形(経験・完了)について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。
15回目		期末テストの評価と今後の目標を共有することにより来期以降のゴールを描くことができる。
準備学習 時間外学習	毎回、前回の学習内容を問う小テストを行いますので、復習をしっかりとすることが大切です。	
評価方法	中間テスト3割 期末テスト7割	
受講生へのメッセージ	英語をマスターするための基礎を丁寧に教えます。基礎がしっかり固まれば、さまざまなことを英語で表現できるようになり、それはとても楽しいものです。一緒に英語の山を上りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
『中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく』(学研) 『中学3年間の総復習 英語』(旺文社) など		

科目名 (英)	英語(リーディング) English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアーラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>高校用教科書ガイドの執筆および非常勤講師として従事。</p> <p>自身の問題作成等の経験から出題者の思考を授業にフィードバックする。今回の授業では「英検」に関する問題、選択肢の特徴から、英検に特化した学習方法を共有する。</p>							
【到達目標】							
①英語検定1級・準1級に向けて、自身の弱点を明確化することができる。②英語検定、準1級・1級を取得することができる。							

授業計画・内容		
1回目	英検準1級取得に向けての学習方法、求められる能力を説明することでマインドセットにつなげることができる。	
2回目	文章の要となる動詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで語彙力の増強につなげることができる。	
3回目	名詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで学習の方針、および語彙力の増強を図ることができる。	
4回目	形容詞、副詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで学習の方針、および語彙力の増強を図ることができる。	
5回目	熟語に関する語彙問題の演習、解説。「熟語はあくまで構成している単語の意味の集合」であることを伝えることにより効率よく語彙力の増強を図ることができる。	
6回目	リーディング問題への対応方法及びリーディング問題(Part2)演習、解説。これにより、リーディング学習の方向性を獲得することができる。	
7回目	リーディング問題(Part2)演習、解説をすることで英文読解のメソッド及び選択肢のパターンなどを学ぶことができる。	
8回目	長文読解の中でも難易度が上昇するリーディング問題(Part3)のポイント説明。これとリーディング問題(Part3)演習解説をすることで学習の足場を築くことができる。	
9回目	リーディング問題(Part3)演習解説をすることで長文読解内容および選択肢等のパターン習得ができる。	
10回目	リーディング問題(Part3)演習解説をすることで長文読解内容および選択肢等のパターン習得ができる。	
11回目	リーディング問題(Part3)演習解説。今回は難問を扱うことでさらに問題への対応力の構築の一助とする。	
12回目	英検ミニテスト1(語彙、長文読解)を実施することで、時間配分、試験における注意点などを把握することができる。	
13回目	英検ミニテスト2(応用問題、語彙、長文読解)を実施することで、時間配分、試験における注意点、現時点での実力などを把握することができる。	
14回目	★評価週	英検ミニテスト3(応用問題、語彙、長文読解)を実施することで、授業での到達度を把握することができる。
15回目		テストの評価・解説を行うことにより来期への目標を立てることができる。
準備学習 時間外学習	ミスをした問題の復習。具体的には単語を覚えること、いかにして問題文からその単語が答えをしてつながるのかを考察することを実施する。 長文読解に関しては何度も読むことでスピードアップを図り、同時に理解を深める。	
評価方法	試験100%	
受講生へのメッセージ	英検準1級は語彙レベルでは高校レベルを超えたものになります。問題として出題される単語は普段見かけないものも多くあります。そのため積極的に自分から単語の習得をすることが一番の近道になります。 学習ベースができればいずれ合格レベルになります。一緒に英語を楽しみながらレベルアップしていきましょう!	
【使用教科書・教材・参考書】		
<ul style="list-style-type: none"> ・英検準1級をたった7日で総復習 ・英検準1級 単語、熟語問題 		

科目名 (英)	英会話(リーディング) English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアーラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験:海外経験ほぼ皆無なか、英検1級やTOEIC970点を習得した教員自身の学習体験を生かし、英検準一級からさらに上を目指す人が必要とする文法力や語彙力をつけられるようにします。 長文読解を中心に、複雑な文章の構造や文法解説を中心に授業を行います。、難易度の高い単語などを並行して身に付けてもらえるよう工夫します。							
【到達目標】							
①英検検定準1級・1級取得に必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーションと自己紹介・本講座のねらいを共有することにより、やる気高めこれからの目標を設定することができる。	
2回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
3回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
4回目	文の種類・助動詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
5回目	分詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
6回目	不定詞・動名詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。	
8回目	形容詞・副詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
9回目	比較表現についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
10回目	受動態についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
11回目	名詞・冠詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
12回目	関係詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
13回目	仮定法についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより到達度を知ることができる。
15回目		テストの評価・解説を行うことにより来期への目標を立てることができる。
準備学習 時間外学習	語彙力アップのために難易度の高い単語のミニテストを行います。前回の授業で学んだ語彙は毎回復習をしっかりとしましょう。	
評価方法	中間テスト4割 期末テスト6割	
受講生へのメッセージ	準2級レベル以上をクリアできている皆さんに必要なのは、多読です。高校で学ぶ文法をしっかりと固めつつ、難易度の高い長文を短時間で読めるようになりましょう。英文の記事などを読めるようになると世界がぐんとひろがります。その景色が見られるように、いっしょにがんばりましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
『トレーニングノート英文法α』(受験研究社) ほか、準一級レベルの長文のプリント		

科目名 (英)	英語(リスニング&スピーキング)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	English(Listening & Speaking)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で挨拶、自己紹介ができる。 You'll be able to greet and introduce yourself in English.							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	自分や友達を紹介することができる。 You'll be able to introduce yourself and friends.
2回目	電話番号と電子メールアドレスを尋ねる You'll be able to ask for phone numbers and e-mail addresses.
3回目	部屋の物の名前が分かる。 You'll be able to name objects in the room.
4回目	職場内の場所について説明できる。 You'll be able to talk about workplace; ask for and give the locations of objects.
5回目	都市、国、大陸について話すことができる。 You'll be able to talk about cities, countries and continents.
6回目	出身地、国籍、第一言語、年齢など説明できる。 You'll be able to ask for and give information about place of origin, nationality, first language and age; describe people.
7回目	服や色について質問したり説明したりできるようになる。 You'll be able to ask about and describe clothing and colors
8回目	天気と季節について。物の所有者を見つける。 You'll be able to talk about the weather and seasons; find the owner of objects.
9回目	オフィス機器を識別することができる。 You'll be able to identify office equipments.
10回目	時間や状況の説明ができる。 You'll be able to ask for and tell time; ask about and describe current activities.
11回目	どのように仕事や学校に行くかについての質問や説明ができる。 You'll be able to ask colleagues questions; ask for and give information about how people go to work or school.
12回目	家族についてや日常生活について話せる。 You'll be able to talk about family members; describe daily and weekly routines.
13回目	レッスン1~12の復習。 Review of lesson 1 - 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% . Class attendance 15%, Class attitude 5%
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語(リスニング&スピーキング)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	English(Listening & Speaking)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	現在、過去、および未来の行動を説明できる。 You'll be able to describe present,past, and future actions.
2回目	誕生日や贈り物について話すことができる。友情について話せる。 You'll be able to talk about birthdays and gifts; talk about friendships.
3回目	食べ物と食べ物の購入について話すことができる。 You'll be able to talk about food and buying food.
4回目	食事時にゲストについて話すことができる。食べ物の好みを説明できる。 You'll be able to talk about being a guest at mealtime; descibe food preferences.
5回目	食べ物の購入について話すことができる。食べ物を説明できる。 You'll be able to talk about buying food; describing food.
6回目	レストランで食事をする事について話すことができる。レシピ。 You'll be able to talk eating in a restaurant; recipes.
7回目	未来について話すことができる。確率について。 You'll be able to talk about the future; talk about probability.
8回目	可能性について話すことができる。警告。 You'll be able to talk about possibility; warnings.
9回目	比較できる。アドバイスする。 You'll be able to make comparisons; give advice.
10回目	自分の意見を表すことができる。賛成と反対。 You'll be able to express your opinion; agree and disagree.
11回目	人、場所、物事を説明できるようになる。 You'll be able to describe people, places, and things.
12回目	デパートで買い物ができるようになる。 You'll be able to shop in a department store.
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 - 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% . Class attendance 15%, Class attitude 5%
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to cummunicate in the international society.
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語(リスニング&スピーキング)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	English(Listening & Speaking)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	続けているもの、好き嫌いについて説明できる。 You'll be able to describe ongoing activities; talk about likes and dislikes.
2回目	頻度を説明できる。経歴と趣味を説明できる。 You'll be able to describe frequency of actions; talk about personal background and interests.
3回目	過去のことや失敗したことを話すことができる。 You'll be able to talk about past activities and mishaps.
4回目	難しい経験について話したり、旅行について説明したりすることができる。 You'll be able to talk about difficult experiences and describe a trip.
5回目	将来について話すことができる。 You'll be able to describe future plans and intensions.
6回目	電話で話すことができる。お願いができる。 You'll be able to talk on the phone and ask a favor.
7回目	終わったことや終わっていないことの説明ができる。 You'll be able to describe actions that have occurred and actions that haven't accored yet.
8回目	リストを作ることが出来る。住んでいる場所でのおすすめを説明できる。 You'll be able to make lists; make recommendations; talk about things to do where you live.
9回目	期間について説明できる。体の症状について話すことができる。 You'll be able to talk about duration of activity; talk about medical symptoms and Problems.
10回目	キャリアアップの話や家族の話ができる。 You'll be able to talk about career advancement and talk about family members..
11回目	家の修理の問題を説明したり、達成したことを説明できる。 You'll be able to describe household repair problems and describe tasks accomplished.
12回目	誰かを安心させることができる。経験を説明する。就職の面接。 You'll be able to reassure someone; describe experiences; job interviews.
13回目	レッスン1~12の復習。 Review of lesson 1 - 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% . Class attendance 15%, Class attitude 5%
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to cummunicate in the international society.
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語 English Conversaion	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。 Introductory level course focusing on improving students' spoken English in a conversational setting.						
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話すことができる。Students should feel more comfortable and confident in discussing everyday, high frequency topics.						

授業計画・内容	
1回目	L. 1 初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる
2回目	L. 2, 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる
3回目	L. 5, 6 好き・嫌い等の好みについての会話や質問返しができる
4回目	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べるができる
5回目	L. 11,12 人を褒める&褒められた際の会話表現や、(衣服など)着ているものに関して述べるができる
6回目	L. 7, 13, & 14 時間について表現することができる。日々の習慣について話す&質問することができる
7回目	L. 19, 20 道案内をする・場所を尋ねることができる
8回目	L. 21, 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをすることができる
9回目	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーができる
10回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す&質問することができる
11回目	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答ができる
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる
13回目	総復習
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んで起きましょう。
評価方法	試験100%
受講生へのメッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	韓国語 I	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員
	Korean Language	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース					

【授業の学習内容】

韓国在住12年、韓国に関わる業務経験10年の講師と共に、韓国語の基礎を学びます。具体的には、韓国語の文字の仕組み、発音、挨拶、基本会話、旅行や韓国人のお客様を迎える時に使えるフレーズ、トレンドなどを通じて韓国語の基礎を楽しく身に付けることを目標とします。

【到達目標】

- ・韓国語の文字と発音を身に付け、正しい発音で文字を読むことができる
- ・学んだ文法を使用し、簡単な文を作って読み・書きができる
- ・韓国語を正しく聞き取り、自然な会話ができる

授業計画・内容

1回目	韓国語とハングルの仕組み、基本母音を知り、文字を読むことができる	
2回目	基本子音を知り、文字と単語を読むことができる	
3回目	基本母音、基本子音の復習、複合母音を知ることができ、単語や名前を書くことができる	
4回目	パッチムを知ることができる	
5回目	韓国語の発音ルールと基本の挨拶を知ることができる	
6回目	日本語と韓国語の似ている点を理解し、語尾(～です)を使って自己紹介ができる	
7回目	指示詞(これ、それ、あれ)、疑問詞(何)を使って会話することができる	
8回目	語尾(～ではありません)を使って会話することができる	
9回目	動詞の基本(～します)を使って会話することができる	
10回目	疑問文「～ですか」「～しますか」を使って会話することができる	
11回目	助詞(～に)、「あります」「ありません」を使って会話することができる	
12回目	学んだ表現を使って旅行や接客会話をすることができる	
13回目	復習を通じ、理解できなかった部分の質問や確認ができる	
14回目	★評価週	テスト(筆記&スピーキング)
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト結果の確認、全体のまとめ
準備学習 時間外学習	復習を中心とし、週1時間程度の自習をお勧めします	
評価方法	期末テスト90%、授業態度10%	
受講生への メッセージ	韓国語を学ぶにあたって重要なポイントをわかりやすく丁寧に説明します。 読み書きだけでなく、聞くこと、話すことをバランス良く取り入れながら、日常生活や仕事をする上で必要なフレーズを身につけていきましょう。 韓国、韓国語について知りたいことがございましたら、お気軽にご質問ください！	

【使用教科書・教材・参考書】

プリントを配布する予定です。

参考テキスト: 日本語から始める書き込み式韓国語BOOK、できる韓国語初級 I (購入する必要はありません)

科目名 (英)	韓国語Ⅱ Korean Language	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 延世大学語学堂卒業。最高級6級を取得。留学生活を送りながら生きた韓国語を学んだ講師と共に、ハングル文字の仕組みや自然な会話、現地で使える言葉やフレーズを身につけ、旅行や韓国人のお客様を迎える時、活用できる韓国語を学んでいきます。それぞれのシチュエーションに合った韓国語を学び活かせることを目標とします。						
【到達目標】 前期学習した基本的な知識を基に、空港やホテルでの様々なシチュエーションに対応することが出来る。						

授業計画・内容	
1回目	復習「～ません・ありません」の表現と並列の文法表現を身につけ、活用することができる
2回目	過去形の復習・原因を述べる表現を身につけ活用することができる
3回目	「～したい」の文法・目的を述べる表現を身につけ活用することができる
4回目	勧誘の表現を身につけ活用することができる
5回目	予定・意思表示について学習し活用することができる
6回目	特別な敬語表現を活用することができる
7回目	小テスト・可能表現を身につけ活用することができる
8回目	動詞の連体形を学ぶ・理由を述べる表現を身につけ活用することができる
9回目	条件・仮定表現について身につけ活用することができる
10回目	感嘆・指示表現について身につけ活用することができる
11回目	許可表現について身につけ活用することができる
12回目	禁止表現・義務表現について身につけ活用することができる
13回目	依頼・授受表現について身につけ活用することができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	週1～2時間程度の自主学習をお勧めします
評価方法	小テスト・期末テスト
受講生への メッセージ	基礎編での知識をもとに、より高度でさまざまな表現が使えるような、韓国語応用編の授業を行います。小テストは基礎編同様、授業をしっかり聞けば解けるレベルです。
【使用教科書・教材・参考書】 プリントを毎時間配布します。	

科目名 (英)	企業プロジェクト CorporateCollaborationProject	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアーラインコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の実践的なマーケティング手法を理解することができる。						
【到達目標】						
①1年後の卒業展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。						

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・本プロジェクトの目的を理解することができる	
2回目	福岡市内のホテル分析をする① ～楽天トラベル上でのホテル市場の見方を知ることができる	
3回目	福岡市内のホテル分析をする③ ～じゃらんnet上でのホテル市場の見方を知ることができる	
4回目	現在のシティホテルにおけるラグジュアリーサービスを知ることができる	
5回目	現地視察の実施をして現場を知ることができる	
6回目	各チームの企画概要制作①	
7回目	顧客行動心理におけるサービスが与える感動の役割とその効果を知る①	
8回目	ホテルにおけるマーケティング手法の活用を理解できる① ～SWOT分析の活用～	
9回目	各チームの企画概要制作③	
10回目	ホテルにおけるブランディングの重要性を理解できる① ～ブランドコンセプトとは何か～	
11回目	各チームの企画概要制作⑤	
12回目	各チームの企画概要制作⑦	
13回目	相手に伝わるプレゼンテーションの手法と構成を理解できる①	
14回目	★評価週	現地での課題プレゼン
15回目	★まとめ・追試/再試	プレゼン時の自己分析と各メンバー内でのフィードバックの実施
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト協賛ホテルへの視察及び課題収集を目的とした訪問	
評価方法	各講義での出席率を含む取り組み姿勢及び積極性の評価とプロジェクト成果物の完成度	
受講生へのメッセージ	実際のホテル企業との企業プロジェクトを通して、実践的なホテル専門コンサルティングの手法や思考法及び実際の事例を交え将来ホテル業界でキャリアアップを目指す人材へと成長して欲しいと思っています。その為の経験値と一緒に1年間で身に付けて頂きたいと思っています。本気でホテル業界を目指す方にとって、就職時に自信をもって強みとして語れる学び時間を全力でお伝えします。頑張ってください！	
【使用教科書・教材・参考書】		
教材テキストは無し・毎回ネット検索を実施する為、スマホ又はPCの持ち込み また本企業プロジェクト専用のノート1冊準備し、自身でノートを作る事で本授業受講終了時に自分だけのプロフェッショナルテキストが完成できます。		

科目名 (英)	企業プロジェクト CorporateCollaborationProject	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアーラインコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の実践的なマーケティング手法を理解することができる。						
【到達目標】						
①1年後の卒業展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。						

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・本プロジェクトの目的を理解することができる
2回目	福岡市内のホテル分析をする① ～楽天トラベル上でのホテル市場の見方を知ることができる
3回目	福岡市内のホテル分析をする③ ～じゃらんnet上でのホテル市場の見方を知ることができる
4回目	現在のシティホテルにおけるラグジュアリーサービスを知ることができる
5回目	現地視察の実施をして現場を知ることができる
6回目	各チームの企画概要制作①
7回目	顧客行動心理におけるサービスが与える感動の役割とその効果を知る①
8回目	ホテルにおけるマーケティング手法の活用を理解できる① ～SWOT分析の活用～
9回目	各チームの企画概要制作できる
10回目	ホテルにおけるブランディングの重要性を理解できる① ～ブランドコンセプトとは何か～
11回目	各チームの企画概要制作できる
12回目	各チームの企画概要制作できる
13回目	相手に伝わるプレゼンテーションの手法と構成を理解できる①
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト協賛ホテルへの視察及び課題収集を目的とした訪問
評価方法	各講義での出席率を含む取り組み姿勢及び積極性の評価とプロジェクト成果物の完成度
受講生へのメッセージ	実際のホテル企業との企業プロジェクトを通して、実践的なホテル専門コンサルティングの手法や思考法及び実際の事例を交え将来ホテル業界でキャリアアップを目指す人材へと成長して欲しいと思っています。その為の経験値と一緒に1年間で身に付けて頂きたいと思っています。本気でホテル業界を目指す方にとって、就職時に自信をもって強みとして語る学び時間を全力でお伝えします。頑張ってください！
【使用教科書・教材・参考書】	
教材テキストは無し・毎回ネット検索を実施する為、スマホ又はPCの持ち込み また本企業プロジェクト専用のノート1冊準備し、自身でノートを作る事で本授業受講終了時に自分だけのプロフェッショナルテキストが完成できます。	

科目名 (英)	空間コーディネート実習 Spatial coordination	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

10年以上数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえて、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ空間コーディネートのフラワートレンド講義を行う。

【到達目標】

①目的やシチュエーションによって、空間コーディネートがどのように人の心理に影響を与えるのかを知ることができる。②SNSやパンフレットを基に様々なホテルや飛行機内の空間コーディネートを比較して見ることができる。(校外実習も含む)③実際に自身で空間コーディネートを行い、PPT作成をもってプレゼンすることができる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション・自己紹介／前期授業内容について	
2回目	空間コーディネートとは何か理解することができる。	
3回目	VMDについて理解することができる。	
4回目	ディスプレイに用いる什器の効果的な組み合わせを理解し、実践に生かすことができるようになる。	
5回目	色彩がもたらす心理効果について学び身につけることができる	
6回目	グループワーク／空間に用いる色合わせでクライアントのニーズに応えるワークを行い理解できる	
7回目	前回のグループワークで提案した内容・意図を発表できる	
8回目	フィールドワーク準備／ホテルの空間コーディネートトレンドを意識した考察ポイントを整理し、次週に備える。	
9回目	校外実習(ホテル見学・日程調整中) 見学後考察をレポートにまとめることができる	
10回目	フィールドワークで考察した内容・感想をプレゼンテーション出来る	
11回目	ファッション視点からエアラインやホテルの制服に関して、最新のトレンドを知ることができる	
12回目	シーズナル装花／サマーアレンジメント制作ができるようになる。(¥2,000)	
13回目	期末試験	
14回目	★評価週	自身の考えた空間コーディネートの提案プレゼンテーション
15回目	復習	プレゼンテーションができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末70%/プレゼンテーション30%	
受講生への メッセージ	最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び理解を深めることで、実践に活かすことができる空間コーディネート力を身につけていきましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	航空知識 I study of airlines industry	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 航空業界でグランドスタッフ・客室乗務員として経験を積んだ専任教員が経験した事例や体験談を伝える。航空業界で実際に使用されている用語や必要とされる専門的な知識を学ぶことができる。						
【到達目標】 業界用語を学び暗記することができる。航空知識を身に付け就職活動に役立てることができるようになる。エアラインのことを知り興味をもって学ぶことができる。						

授業計画・内容	
1回目	廣田先生:説明・アルファベットの読み方を理解できる。(空港コードの振り返りを行い暗記することができる)
2回目	廣田先生:ヘボン式ローマ字・MEAL・SPCLコード・日付の独特な表記のしかたを知ることができる。①
3回目	新倉先生:ヘボン式ローマ字・MEAL・SPCLコード・日付の独特な表記のしかたを知ることができる。②
4回目	CIQ見学
5回目	横山先生:様々な航空運賃について知ることができる
6回目	鳥井先生:危険物と荷物に関して学ぶことができる。(4限目)
7回目	鳥井先生:危険物の種類分けが自分のできるようになる。(中間テスト)
8回目	鳥井先生:飛行機と世界のエアラインについて知ることができる。
9回目	新倉先生:航空業界の歴史について学ぶことができる。1
10回目	新倉先生:航空業界の歴史について学ぶことができる。2
11回目	横山先生:各アライアンスのマイレージについて知り、どの様に活用できるかを学ぶことができる。
12回目	松尾先生: JALの歴史について学ぶことができる。
13回目	松尾先生:CAの業務について学ぶことができる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50% 期末試験50%
受講生へのメッセージ	エアライン業界には皆さんがまだまだ知らないことがたくさんあります。CA/GSを経験されたプロからたくさんのことを学び就活に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	航空知識Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
	Study of airlines IndustryⅡ	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース				2	曜日・時限

【授業の学習内容】
エアライン業界にて基幹空港の旅客業務(グラントスタッフ)を担当した実績のある専任教員が、航空業界の様々な知識をわかりやすく解説して興味を引き出し、業務の奥深さとやりがいを伝えます。

【到達目標】
・実際に業界で働いている方の講義を通じて、「今」のエアライン業界について学ぶことができる。
・エアライン業界の全体像を把握し、業界の歴史や国家・企業の様々な取り組みを知りながら、業務に従事する上で必要となる基本的知識を習得することが実感できる。
・運航(オペレーション)の概要を学び、航空に関する法規や関連機関を知って、今日の安全がどのように築き上げられ保持されているのかを理解することができる。
・公共交通機関に必要な不可欠な安全性の重要性を十分に理解し、運航の基礎知識を基に、安全要員となるための責任感と業務への意欲を抱けるようになる。

授業計画・内容

1回目	前期末の課題「業界志望職種の研究」と特別講義向けの事前学習を通して 業界の現状把握と就職への覚悟を持てるようになる。
2回目	各企業(グループ)や職種の特色・違いを知ることで 特別講義に向けた質問事項を抽出でき、就職対策における企業研究の着眼点も得ることができ
3回目	航空会社の空港業務において GSが担当する 予約・チェックイン、手荷物受託、ロビーサービス等の旅客業務を シミュレーションしながら実践的に学ぶことができる。
4回目	特別講義 ANA福岡空港(株)① 業界内のANAホールディングスの特徴、経営戦略、グループ人財活用、ANAグループ企業の概要・各種業務を知ることができ
5回目	特別講義 ANA福岡空港(株)② GSとGHのCS意識、多頻度旅客へのサービス、路線と機材の特徴、新型コロナウイルス対策、社内コンテスト等を知ることができ
6回目	特別講義を振り返り、各自およびグループワークで発見を拡充し理解を深化できる。当該企業への礼状を書き、とホスピタリティの実践練習ができる。
7回目	航空会社において GSが空港で行う X-RAY、ゲート、到着での各種業務やアナウンスを シミュレーションしながら実践的に学ぶことができる。
8回目	航空会社における 運航乗務員(PLT)の職掌、運航管理・支援業務 (DISP, LC, HC, SPOT)、航空無線と通信方式について 学ぶことができる。
9回目	航空会社における ランプ支援業務(GH)、整備業務(MX)、ケータリング業務、航空貨物業務、警備会社の保安検査業務について 学ぶことができる。
10回目	航空会社における 客室乗務員(CA)の職掌、安全要員としての訓練概要、機内サービスの特徴(各種ミールや機内販売等)について 学ぶことができる。
11回目	法令規程の遵守の重要性、IATAの指針と日本の航空法に則った危険物の定義・取扱いがわかる。航空会社の様々な保安対策や疾病対策がわか
12回目	航空機事故の歴史と事故の検証を通して 安全運航の重要性を認識し、安全要員として職種ごとに求められる責任について 深く考えることができる。
13回目	顧客志向やホスピタリティ産業としての基本的な心構えを学び、トラブル対応や基本動作、言葉遣い等を身に付けることができる。
14回目	★評価週 航空業界に関する知識のポイントを振り返り、様々な講義を通して学んだことを定着させることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試 歴史に根差した航空業界の「今」について 考察し、業界の未来を想像して自分なりの新たな発想を抱ける。

準備学習 時間外学習
事前に配布されたテキストや資料類は事前に一読して授業に臨みましょう。
知識を得ることは、業界の面白さや仕事のやりがいに気付けるチャンスです。授業後も読み返して、今後の選択やものの考え方に活かしましょう。

評価方法
きまつ
期末テスト 100%

受講生へのメッセージ
・エアライン業界において安全は最重要課題です。安全こそ全てにおいて優先されるという認識を強く持ち、幅広く正確な知識を身に付けましょう。・飛行機の運航はくの人々が連携して実現します。チームワークの重要性を理解し、日頃から仲間と助け合い、高め合える人物を目指しましょう。・夢を現実にするのはあなた自身です。今を大切に、一歩ずつ確実にスキルアップして、叶えたい未来を引き寄せましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
◆テキスト:『エアポートビジネス入門』 および プリント等を適宜配布

科目名 (英)	手話 I sign language I	必修 選択	選択必修	年次	2,3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 手話奉仕員養成講座講師として17年・手話通訳養成講座指導者として3年・外部手話講師として13年間行ってきた講師から、聴覚障害のある人への生活支援技術として、手話によるコミュニケーション技術を習得する方法を学ぶことが出来ます。簡単な手話表現を理解し、手話や表情によりお互いの想いを伝えあうこともできるようになります。手話による会話の楽しさや表現力を学習することが出来ます。						
【到達目標】 ろう者と日常的な会話ができる。						

授業計画・内容		
1回目	「伝えあってみよう」手や体の動きや表情を使って伝え合うことができる。	
2回目	「名前を紹介しましょう」自分の名前を用いて色々な方法で表現し、あいさつができる。	
3回目	「家族を紹介しましょう」疑問詞「だれ」を使って会話ができる。	
4回目	「数を使って話しましょう」疑問詞「いつ」「いくつ」「いくら」を使って会話ができる。	
5回目	「趣味について話しましょう」身近な話題を会話ができる。身振り、表情を工夫する。	
6回目	「仕事について話しましょう」今までの学習を活かして自分を紹介ができる。	
7回目	「住所を紹介しましょう」目の前の空間の使い方を学ぶ。指さし、イメージを持って表現ができる。	
8回目	「一日のことを話しましょう」時の表し方ができる。動詞の手話を覚える。	
9回目	「一か月のことを話しましょう」過去、現在、未来の表し方ができる。	
10回目	「一年のことを話しましょう」季節、月、年の表し方ができる。疑問詞「どちら」、「～したい」を使って会話ができる。	
11回目	「パーティのことを話しましょう」日常生活の色々な場面での会話ができる。	
12回目	「旅行のことを話しましょう」日常生活の色々な場面での会話ができる。	
13回目	「日常生活の色々な場面での会話を学ぶ。」病院のこの話ができる。	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	●小テスト(30%) ●期末テスト(70%) 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう		

科目名 (英)	手話Ⅱ Sign Language II	必修 選択	必修	年次	3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。 聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。						
【到達目標】 テキストの内容に加え、空港やホテルにてトラブルが起きた際説明に使う手話表現を学ぶことができる。						

授業計画・内容	
1回目	表情豊かに、具体的に手話を表す ①表情・強弱・速度を工夫して手話表現ができる。
2回目	表情豊かに、具体的に手話を表す ②具体的表現(様子や形)を工夫して手話表現ができる。
3回目	表情豊かに、具体的に手話を表す ③具体的表現(動き)を工夫して手話表現ができる。
4回目	主語を分かりやすく表す ①位置・方向(一対一)を工夫して手話表現ができる。
5回目	主語を分かりやすく表す ②位置・方向(この場にはいない第三者を含んで)を工夫して手話表現ができる。
6回目	主語を分かりやすく表す ③役割の切り替えを工夫して手話表現ができる。
7回目	主語を分かりやすく表す ④指さしを工夫して手話表現ができる。
8回目	空間をうまく使って表す ①左右・前後の空間活用を工夫して手話表現ができる。
9回目	空間をうまく使って表す ②上下空間・指さしと視線の活用を工夫して手話表現ができる。
10回目	両手や指をうまく使って表す ①同時性を工夫して手話表現ができる。
11回目	両手や指をうまく使って表す ②指の代理的表現を工夫して手話表現ができる。
12回目	繰り返しの表現を工夫して手話表現ができる。
13回目	意味に合った手話を工夫して手話表現ができる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	手話講座をうけて下さって、ありがとうございます。街中に英語・韓国語が広がっていますね。手話も広がると嬉しいです。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう	

科目名 (英)	就職講座 Recruitment Seminar	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、1年次に習得した自己分析を基に各々の志望職種とその適正にフォーカスし、説得力のある自己PRや志望動機を作成できます。また、模擬面接を繰り返し行い、口述スキルを磨いていきます。

【到達目標】

- (1) 自己分析の結果を用いて、強み、適正、能力、将来のビジョンを客観的に捉えることができる。
- (2) やりたい仕事、働きたい企業を徹底的に分析し、説得力のある志望動機へと導くことができる。
- (3) 採用試験合格のための応募書類を作成することができる。
- (4) 面接の実践練習を繰り返し行うことで、個別面接・オンライン・グループディスカッションの口述スキルを身につけることができる。
- (5) 就職内定取得者は、実用的かつ入社後役に立つ課題に取り組み社会人としての心構えを身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	就職活動の進捗状況確認および航空業界の現状に対する考察ができる
2回目	明確な目標設定ができる (行動の見える化に取り組む) 就活スケジュールを作成することができる
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる (目指す将来の展望を理解する)
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる / 志望企業に応じた応募書類を作成することができる
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる (一問一答) / 過去問に対してPREP法にて答えることができる
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究
12回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:「合格体験記」記録
13回目	夏季休暇前の総括ができる 自己評価の発表
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	定期テスト 100%
受講生へのメッセージ	この一年をどのように過ごすかがとても重要です。プロフェッショナルな接客スキルを身につけるために、積極的に行動しホスピタリティマインドを育む楽しさを習慣化しましょう! 笑顔は周りの人を幸せにします。あなたの周りを幸せな人でいっぱいください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	進級制作	必修 選択	必修	年次	1	担当教員
	Upgrade program	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース				2	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる						
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている						
【到達目標】 ①1年後の進級制作展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。						

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出&プレゼン発表
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	進級制作 Upgrade program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ①1年後の進級制作展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②
10回目	自分キャリアプランを作成する①
11回目	自分キャリアプランを作成する②
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる
14回目	★評価週 レポート提出&プレゼン発表
15回目	★まとめ・追試/再試 これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し
評価方法	レポート提出100%
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 無し	

科目名 (英)	卒業制作 Graduation Production	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

バー勤務経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を講義と演習を交え、卒業制作に向けて実践にて学ぶ事が出来る授業です。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務) 調理師免許保有

【到達目標】

個々の知見を深め技術の探求と達成感を目標設定とします

〈具体的な目標〉

目標①場面での課題に向き合い改善方法を見つけられる考え方をもちます

目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養います

目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化

授業計画・内容	
1回目	卒業制作の草案を練り、行動計画を考える事が出来る
2回目	作品①を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
3回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
4回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
5回目	作品②を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
6回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
7回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
8回目	中間試験(作品提案とデータ化)
9回目	作品③を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
10回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
11回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
12回目	制作発表の準備を行い改善点を抽出し克服出来る
13回目	作品提案とデータ化
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	卒業制作提出
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】	
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	中国語	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	Chinese	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース						
					2	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づき、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。本校の指導方針に従って、基礎から丁寧に指導し、特に発音と声調を正しく身につけさせ、将来の仕事で使えるように、最初から良い基盤を築いていきます。また、資格の取得は将来の就職、仕事現場に役立つため、1年生全員にHSK中国語検定試験に挑戦してもらいます。普段の授業では、発音、文字、文法の重要なポイントをわかりやすく説明し、クラス全員で楽しく勉強できるように、授業を確実に一歩一歩進めます。

【到達目標】

グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来仕事現場の中国観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいきます。HSK中国語検定試験にも挑戦し、全員で合格できるように皆で頑張ります。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、中国語概況について理解できる。発音の勉強、練習を経て、中国語で簡単な自己紹介ができる。	
2回目	中国語の発音を復習し、挨拶の言葉を身につけることができる。また自己紹介の内容を増やし、少しずつ覚えることができる。	
3回目	自己紹介が流暢にできる。検定試験範囲の文字、文法を習得し、練習問題に取り掛かることができる。	
4回目	簡単な空港用語、中国観光客へのサービス会話を身につけることができる。HSK中検過去問題を部分的に解くことができる。	
5回目	検定試験のリスニング練習、中国語の漢字の書き方、基礎文法などを身につけることができる。	
6回目	自己紹介の内容を充実させ、就職面接に向かって、自分の特徴をアピールすることができる。	
7回目	5月の勉強内容を復習し、自己チェックをしてから、身につけなかった部分を補うことができる。	
8回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。	
9回目	検定試験の過去問題を導入し、各部分の対策を身につけることができる。	
10回目	自分の足りない部分を見つけ、その解決策をみんなで一緒に身につけることができる。	
11回目	今まで習ったことを復習し、第一回目のHSK中国語検定試験に向かって、一層力を入れることができる。	
12回目	前期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。	
13回目	最終的にまとめ、自信を持って試験に向かうことができる。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生への メッセージ	自分の勉強意欲と若さを十分に活かして、悔いのない学校生活を送ってください。中国語の勉強を通じて、国際人の意識を高め、視野を広げ、将来、与えられた仕事だけでなく、自ら進んで社会に貢献できる人間になってください。授業中、わからないことがあれば、遠慮せずに積極的に質問してください。	

【使用教科書・教材・参考書】

市販新HSK検定試験問題集、会話プリント等

科目名 (英)	中国語	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Chinese	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース						
					2	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づき、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。本校の指導方針に従って、基礎から丁寧に指導し、特に発音と声調を正しく身につけさせ、将来の仕事で使えるように、最初から良い基盤を築いていきます。また、資格の取得は将来の就職、仕事現場に役立つため、1年生全員にHSK中国語検定試験に挑戦してもらいます。普段の授業では、発音、文字、文法の重要なポイントをわかりやすく説明し、クラス全員で楽しく勉強できるように、授業を確実に一歩一歩進めます。

【到達目標】

グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来仕事現場の中国観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいきます。HSK中国語検定試験にも挑戦し、全員で合格できるように皆で頑張ります。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、中国語概況について理解できる。発音の勉強、練習を経て、中国語で簡単な自己紹介ができる。	
2回目	中国語の発音を復習し、挨拶の言葉を身につけることができる。また自己紹介の内容を増やし、少しずつ覚えることができる。	
3回目	自己紹介が流暢にできる。検定試験範囲の文字、文法を習得し、練習問題に取り掛かることができる。	
4回目	簡単な空港用語、中国観光客へのサービス会話を身につけることができる。HSK中検過去問題を部分的に解くことができる。	
5回目	検定試験のリスニング練習、中国語の漢字の書き方、基礎文法などを身につけることができる。	
6回目	自己紹介の内容を充実させ、就職面接に向かって、自分の特徴をアピールすることができる。	
7回目	5月の勉強内容を復習し、自己チェックをしてから、身につけなかった部分を補うことができる。	
8回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。	
9回目	検定試験の過去問題を導入し、各部分の対策を身につけることができる。	
10回目	自分の足りない部分を見つけ、その解決策をみんなで一緒に身につけることができる。	
11回目	今まで習ったことを復習し、第一回目のHSK中国語検定試験に向かって、一層力を入れることができる。	
12回目	前期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。	
13回目	最終的にまとめ、自信を持って試験に向かうことができる。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生への メッセージ	自分の勉強意欲と若さを十分に活かして、悔いのない学校生活を送ってください。中国語の勉強を通じて、国際人の意識を高め、視野を広げ、将来、与えられた仕事だけでなく、自ら進んで社会に貢献できる人間になってください。授業中、わからないことがあれば、遠慮せずに積極的に質問してください。	

【使用教科書・教材・参考書】

市販新HSK検定試験問題集、会話プリント等

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアーラインコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。</p> <p>※実務経験 茶道裏千家の師範として10年以上独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。</p> <p>【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。</p>						

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・茶道の歴史を知ることが出来る。(千利休の人物像)茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。
2回目	和室でのふるまい(襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方)を知ることが出来る。
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。①
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
5回目	家でも楽しめるお茶の点て方を知ることが出来る。盆略点前①
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆略点前②
7回目	盆略点前③抹茶を頂くときのお茶碗の扱い方を身に付ける
8回目	実際にお茶を点てて飲むことができる。お菓子の取り方、頂き方を身に付けることができる。
9回目	「総合芸術」という茶道を深く知ることができる
10回目	点てる人(亭主)・頂く人(お客)に分かれて実際にお茶を点てることができる
11回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)
12回目	★評価週 期末テスト(実技・筆記)
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して欲しいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	面接対策 I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
	Interview Preparation Seminar I	授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース					

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、1年次に習得した自己分析を基に各々の志望職種とその適正にフォーカスし、説得力のある自己PRや志望動機を作成できます。また、模擬面接を繰り返し行い、口述スキルを磨いていきます。

【到達目標】

- (1) 自己分析の結果を用いて、強み、適正、能力、将来のビジョンを客観的に捉えることができる。
- (2) やりたい仕事、働きたい企業を徹底的に分析し、説得力のある志望動機へと導くことができる。
- (3) 採用試験合格のための応募書類を作成することができる。
- (4) 面接の実践練習を繰り返し行うことで、個別面接・オンライン・グループディスカッションの口述スキルを身につけることができる。
- (5) 就職内定取得者は、実用的かつ入社後役に立つ課題に取り組み社会人としての心構えを身につけることができる。

授業計画・内容

1回目	就職活動の進捗状況確認および航空業界の現状に対する考察ができる
2回目	明確な目標設定ができる (行動の見える化に取り組む) 就活スケジュールを作成することができる
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる (目指す将来の展望を理解する)
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる / 志望企業に応じた応募書類を作成することができる
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる (一問一答) / 過去問に対してPREP法にて答えることができる
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究
12回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:「合格体験記」記録
13回目	夏季休暇前の総括ができる 自己評価の発表
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試

準備学習
時間外学習

評価方法

定期テスト 100%

受講生へのメッセージ

この一年をどのように過ごすかがとても重要です。プロフェッショナルな接客スキルを身につけるために、積極的に行動しホスピタリティマインドを育む楽しさを習慣化しましょう! 笑顔は周りの人を幸せにします。あなたの周りを幸せな人でいっぱいしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	面接対策Ⅱ Interview Preparation Seminar	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 エアラインコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	曜日・時限

【授業の学習内容】

丁寧な自己分析と企業研究に基づき、企業に求められるホスピタリティに富んだ人柄や熱意、将来性が伝わるような応募書類の作成を指導します。
また様々な形式の面接試験でのマナーやポイントを抑え、自信を持って「傾聴」と「対話」の中での自己PRができるよう導きます。

【実務経験】

全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて 品質推進、旅客サービス、接客・アナウンス等インストラクター、運航支援、ロードコントロール等 10年勤務
(株)ベネッセコーポレーション店舗にて営業・接客・MC および英語教室 BE studioにて講師サポート・事務全般 3年勤務、大手老舗百貨店 外商部、 行政府機関

【到達目標】

- ①面接に向けて自身の必要なスキルを上げることができる。
- ②模擬面接を通じてスムーズに面接内で自身の考えを伝えることができる。
- ③自己分析を通じて自身の可能性に気付き、将来に向けてスキルアップへの意欲を高めることができる。
- ④企業や職種研修を通じて関心を高め、今後の業界の姿やそこの働き方をイメージすることができる。

授業計画・内容

1回目	自己紹介および就職活動の進捗紹介、授業の目的と就職する意味を理解できる、自身の目指す未来像から今期の目標を定めることができる	
2回目	受験先へのエントリーおよび応募書類の作成方法と提出マナーについて学ぶことができる	
3回目	業界および企業研究のポイント、企業と学生の視点の違いと重視すべきポイントを理解することができる。	
4回目	自己分析の必要性を理解して、ポイントを抑えた客観的な自己分析の方法を学ぶことができる(自分史の作成と経験の分析)	
5回目	様々な角度から自己を客観的に捉え、長所や特技を抽出できる ●エゴグラム(性質、他者との関わり方、集団での立ち位置)	
6回目	PREP法に則り、わかりやすく説得力のある表現を実践することができる ●記述 ●口述 ●リフレーミング	
7回目	志望企業や職種を意識して、経験や長所から基本的な自己PRを作成することができる ●企業研究 ●趣味・特技	
8回目	自己分析・業界研究・企業研究を踏まえて、企業への熱意と将来の活躍を感じさせる説得力のある志望動機を作成することができる	
9回目	基本的な履歴書を作成し、添削を受けることができる	
10回目	面接試験の重要性を理解し、ポイントを理解できる ●マナー ●表情 ●立ち居振る舞い ●発声 ●対話力 ●傾聴姿勢	
11回目	これまでの経験、自身の抱くホスピタリティや長所、趣味・特技などを踏まえた自分らしい自己PRを口述できる ●活舌	
12回目	グループ面接のポイントを理解し、練習と振り返りができる	
13回目	グループディスカッションのポイントを理解し、練習と振り返りができる。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	オンライン面接のポイントを理解できる 半期の総括

準備学習
時間外学習

自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。
面接練習で習ったポイントは、授業後にくり返し練習しましょう。

評価方法

期末テスト 100% (筆記および実技試験)

受講生へのメッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース						
曜日・時限							

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方、PPTやシステムを使用し、現場で活きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。

【実務経験】

ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。

【到達目標】

PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。
ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。

授業計画・内容

1回目	お客様の来館に至るまでの動向、新規スタッフと施行スタッフに求められる異なる能力を理解し説明できる	
2回目	集客するための施策や手法を比較検討し、フェアの打ち出しや内容を組み立てることができる。	
3回目	PPTを使用し、媒体打ち出しを意識した広告を作成できる。	
4回目	新規来館アンケートにおける質問の意図と目的を理解し説明できる	
5回目	新規接客の流れを把握し、アンケートを基にヒアリング力を理解し実践できる	
6回目	定番の演出～今求められる演出を把握し、お客様に合わせた提案を行うことができる。	
7回目	ヒアリング内容を基に、イメージをチョイスしテーマシートを作成することができる。	
8回目	希望する人数帯に対して、異なる提案の仕方を理解し説明できる	
9回目	結婚式費用について理解し、プランの仕組みを把握することができる。	
10回目	ヒアリング～クロージングまで、アイスブレイクを取り入れた手法を理解し説明できる	
11回目	成約手続きや今後のスケジュールの組み立てと案内ができる。	
12回目	当日までの打合せの流れを理解し、お客様に合わせたアイテムのチョイスができる。	
13回目	お客様の希望を理解し、パートナーに対して的確な情報をアウトプットすることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服できる

準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト(筆記試験)100%
受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で活きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。							
【実務経験】 ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。							
【到達目標】 PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。 ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。 実際の新郎新婦様の打合せ～施行まで成功させることができる							

授業計画・内容	
1回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)①
2回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)②
3回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)③
4回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)④
5回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)⑤
6回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)①
7回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)②
8回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)③
9回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)④
10回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)⑤
11回目	打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)①
12回目	打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)②
13回目	打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)③
14回目	★評価週 打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)④
15回目	★まとめ・追試/再試 レポート提出、振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポート評価100%
受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で生きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。

【実務経験】

ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。

【到達目標】

PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。
ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。
実際の新郎新婦様の打合せ～施行まで成功させることができる

授業計画・内容

1回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる①	
2回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる②	
3回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる③	
4回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる④	
5回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる⑤	
6回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)①	
7回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)②	
8回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)③	
9回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)④	
10回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)⑤	
11回目	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)①	
12回目	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)②	
13回目	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)③	
14回目	★評価週	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)④
15回目	★まとめ・追試/再試	レポート提出、振り返り

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	レポート評価100%
------	------------

受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。
----------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門会場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で生きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。

【実務経験】

ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。

【到達目標】

PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。
ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。
実際の新郎新婦様の打合せ～施行まで成功させることができる

授業計画・内容

1回目	披露宴のサービスが出来るようになる ①	
2回目	披露宴のサービスが出来るようになる ②	
3回目	披露宴のサービスが出来るようになる ③	
4回目	披露宴のサービスが出来るようになる ④	
5回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑤	
6回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑥	
7回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑦	
8回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑧	
9回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑨	
10回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑩	
11回目	挙式・披露宴本番のオペレーションを想定し、チームでリハーサルをすることができる①	
12回目	挙式・披露宴本番のオペレーションを想定し、チームでリハーサルをすることができる②	
13回目	挙式・披露宴本番のオペレーションを想定し、チームでリハーサルをすることができる③	
14回目	★評価週	挙式・披露宴本番を成功させることができる
15回目	★まとめ・追試/再試	レポート提出、振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	レポート評価100%	
受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	Excel・Word	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
	Excel・Word	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
Word、Excelを中心に授業をしていきますが、同時にパソコンの使い方、インターネットの活用方法も授業の中に取り入れていきたいと思えます。毎時間目標とする課題を設定していく計画です。							
※実務経験 営業、Webディレクターを経験後、フリーランスでプライダルサービス、PA(5年)の現場で活動中							
【到達目標】 <具体的な目標> Word:印刷物を見て、自分でゼロから作れるようになる。 Excel:仕事で使う関数を身につけ、効率よく仕事ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。
2回目	Word:基本操作 文章作成、ページレイアウト、保存ができるようになる。
3回目	Word:文章の編集 文字の配置、インデント、文字の書式設定、行間の調整、印刷設定ができるようになる。
4回目	Word:表現力のある文章作成 表現のある文章作成ができるようになる。
5回目	Word:図形の応用 図形のさまざまな編集ができるようになる。
6回目	Word:表の作成 表の構成、行列の挿入と削除ができるようになる。
7回目	Word:便利な機能 検索と置換、様々な装飾ができるようになる。
8回目	Word:SmartArtグラフィック 目的に応じたSmartArtを選択、操作ができるようになる。
9回目	Word:文章をサポートする機能とテンプレートの活用 スクリーンショット、クイックパーツ、テンプレートを活用できるようになる。
10回目	Excel:Excelの基本操作 データの入力と編集、表の作成ができるようになる。
11回目	Excel:数式の作成 数式の入力、関数、絶対参照ができるようになる。
12回目	Excel:表の編集 フォントの書式設定、条件付き書式設定、シートの編集ができるようになる。
13回目	Excel:グラフ作成と印刷 グラフの活用、編集、印刷ができるようになる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	身近にある広告や印刷物に対してコレはどの様に作っているのか興味を持ってください。 そして自分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をしてみたい。 パソコンが自宅や身近に触れる機会のある方は、どんどん触れてください。
評価方法	提出物100%で評価します。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ICT.AIビジネス	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	ICT / AI business	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】
一般的なプログラム言語「JavaScript」と「アート」を通じて、プログラミングの概要を学びます。

【実務経験】
講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。

【到達目標】
JapaScriptを通じてオブジェクト指向を学び、簡単な成果物を作成することができる

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒紹介、授業の目的の共有
2回目	ハーローワールドを実行することができる
3回目	関数を使用し、リファレンスを活用することができる
4回目	変数とデータ型を理解し、活用することができる
5回目	フレームを操作し、演算を活用して動的な描画を行うことができる
6回目	関数作成し、活用することができる
7回目	条件文によって、分岐処理を行うことができる
8回目	ループによって、繰り返し処理を行うことができる
9回目	偶発性を活かした線を引くことができる
10回目	偶発性を活かした円を描くことができる
11回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 1
12回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 2
13回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 3
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
	期末テスト
	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	プロとして、すぐに活用できるスキルを習得していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ICT・AI基礎 ICT/AI basic	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【学習内容】 パソコンを使っての社会との関わり方、代表的なツールの基本的な操作方法を通して、自ら創造し「解決する力」を育て、次のステップに進む力を身につける講義を目指します。</p> <p>【実務経験】 個別指導パソコンスクールWAVEの講師を2年、現在MAスタジオを運営しつつWEBデザイン、経理・総務の業務を兼任して行っています。</p>							
到達目標 ファイルの取り扱い、フォルダの活用方法を身につける。主にWord、Excelの基本動作を覚えながら、実生活や実務での活用方法をイメージできるようになる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション、自己紹介、パソコンについて	
2回目	学習に必要な情報収集、インターネットの検索のコツを習得できる	
3回目	(MicrosoftWord)タイピング、ワードの起動、データの保存、終了操作ができる、ビジネスの現場での活用例	
4回目	(MicrosoftWord)文字の入力、装飾文章作成の流れを理解できる、ツールバーの解説	
5回目	(MicrosoftWord)タブやインデントの使用して文章を作成できる。書式設定についての解説	
6回目	(MicrosoftWord)イラストの挿入、配置ができる	
7回目	(MicrosoftWord)表の挿入、配置ができる	
8回目	(MicrosoftWord)表現力をアップする機能、便利な機能を習得できる	
9回目	(Microsoft Excel)Excelでできること、起動、データの保存、終了操作ができる、ビジネスの現場での活用例	
10回目	(Microsoft Excel)文字の入力、装飾文章作成の流れを理解できる。ツールバーの解説	
11回目	(Microsoft Excel)足し算、引き算、掛け算、割り算といった初歩の関数を使えるようになる	
12回目	(Microsoft Excel)イラストや図の挿入ができるようになる	
13回目	(Microsoft Excel)グラフの挿入などができるようになる	
14回目	作業・評価週	自由課題を指定の書式を含んだ形で制限時間内に仕上げる
15回目	まとめ	テストフィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト(自由課題)100%予定 Word・Excelそれぞれの課題で制作された成果物に特定の装飾や書式が含まれているかどうかで評価。	
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。本講義ではこれから皆さんが現場でパソコンを使って社会に貢献し、問題を解決していくためのキッカケを掴むコツをお伝えしていければと考えています。パソコンもソフトも便利ですがいわゆるひとつのツールですので、使われる方によっては目的も千差万別です。自分が必要な成果を引き出す力や考え方を身につければ、どんなソフトにも応用でき、これから先の皆さんの世界がさらに広がっていくでしょう。まずは気軽に触れてみて楽しんでください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	JMA検定3級 JMA test grade 3	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
JMA3級検定に合格できる知識と技術を習得する。							
【実務経験】フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダル現場などでヘアメイクを手掛けながら、専門学校等で講師も務める。また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】 技術者として必要とされるマナー、接遇を身に付け、JMA3級検定に合格できる知識と技術を得ることができる。							

授業計画・内容		
1回目	JMAとは何か、道具の使い方、技術者としての心構えを理解することができる。	
2回目	セッティング、手指消毒、スキンケア(クレンジングまで)技術を習得し、実践できる。	
3回目	セッティング、手指消毒、スキンケア(乳液まで)技術を習得し、実践できる。	
4回目	ポイントクレンジング～乳液までをスムーズに行い、基本のベースメイクの作り方を知り、理解できる。	
5回目	JMA3級ベースメイクの作り方を理解し、実践できる。	
6回目	スキンケア～ベースメイク(フェイスパウダーまで)をスムーズに行うことができる。	
7回目	リキッドファンデーションテクニック強化 色、厚み、ムラ等に気を付け、美しく仕上げることができる。	
8回目	コンシーラーテクニック強化 色、量、ムラ、使用箇所等に気を付け、美しく仕上げることができる。	
9回目	基本的な骨格補正(チーク、ハイライト、ローライト)方法を知り、実践できる。	
10回目	骨格補正をモデルに合わせて美しく仕上げることができる。	
11回目	JMA3級内容を決められた時間内で美しく仕上げることができる。	
12回目	JMA3級内容を30分以内で美しく仕上げることができる。	
13回目	JMA3級内容を30分以内でモデルに合わせて、美しく仕上げることができる。	
14回目	★評価週	定期試験 JMA3級内容
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手部分の克服ができる。
準備学習 時間外学習	習った点は必ず復習し、翌週に生かせるように練習して臨んでください。	
評価方法	定期テスト100% 技術者としてのマナー、手技、手順が正しいか、仕上がりが美しいか等、総合的に評価します。	
受講生への メッセージ	手順が細かく決まっており、最初は煩わしいと思うかもしれませんが、努力すれば必ず合格できる検定です。メイクの知識、テクニックの向上も望めますし、履歴書にも記入できる検定です。苦手意識を持たず、意欲的に取り組みましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
JMAテキスト、メイク道具、筆記用具		

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
一般企業の70%以上で実施している『一般常識テスト』に合格するためのトレーニングを行う。「一般企業の70%が実施している」ということは、裏を返せば、30%の企業では、「知っていて当たり前。知らなくても入社後、新聞購読などで身に着け、問題意識を持ち続けるべき最低限の内容」ということで、このようなテストがない企業も多数あることを、まず理解し、「社会人になるための第一歩」として取り組むこと。							
※実務経験 東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間の小中学生への学習指導を続ける							
【到達目標】 SPI・一般常識・時事問題を学び知識の習得をすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	①【時事】2021～2022トピックスを理解し説明できる
2回目	①【時事】2021～2022トピックスを理解し説明できる
3回目	②【一般常識:学力]中高での英数国理社を理解し説明できる
4回目	②【一般常識:学力]中高での英数国理社を理解し説明できる
5回目	③【一般常識:時事]政治・経済・国際を理解し説明できる
6回目	③【一般常識:時事]政治・経済・国際を理解し説明できる
7回目	④【一般常識:雑学]文化・芸術・スポーツを理解し説明できる
8回目	④【一般常識:雑学]文化・芸術・スポーツを理解し説明できる
9回目	⑤【一般常識:社会人教育]マナーを理解し実践できる
10回目	⑤【一般常識:社会人教育]マナーを理解し実践できる
11回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し説明できる
12回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し考察、プレゼンテーションすることができる
13回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し考察、プレゼンテーションすることができる
14回目	★評価週 期末テスト
15回目	★まとめ フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 必要なものを、その都度、お渡します。	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

就職試験で多くの会社が入力しているSPI試験について、あらゆる角度から対策を実施します。出題の傾向やコツを掴むことができ、基本的な考え方の土台をしっかり築くことができます。様々なワークの実践で、SPIへの苦手意識を克服し、学びが社会で役に立つという意識まで変化させることで、積極的な取り組みを実現します。

※実務経験について:4年大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。その後、イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事し、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、また大学の就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。

【到達目標】

SPIを採用する企業側の意図を理解する。問題の傾向と出題の特徴を掴むことで、効率よく問題が解けるようになる。また、いろいろなワークを通して、考える力、直感が鍛えられる。最終的に、SPIの克服が、単なる採用試験の枠を超えて「自分を高めるため」という意識を持って取り組めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、自己紹介、学ぶことの大切さについて理解し説明できる
2回目	SPIの概要について 筆記試験実施の意味合いについて理解し説明できる
3回目	問題の傾向と対策① 情報をインプットする必要性と方法を理解し説明できる
4回目	問題の傾向と対策② 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
5回目	問題の傾向と対策③ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
6回目	問題の傾向と対策④ 読書の必要性と効率の良い読み方を習得できる
7回目	問題の傾向と対策⑤ 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
8回目	問題の傾向と対策⑥ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
9回目	中間試験
10回目	試験の解説と課題設定 自分の傾向を知り、重点を置いて取り組む部分を理解し説明できる
11回目	問題の傾向と対策⑦ 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
12回目	問題の傾向と対策⑧ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
13回目	期末試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	就職試験で採用されているSPIについて事前に調べておく
評価方法	筆記試験 ・中間テスト(50%) ・期末テスト(50%)
受講生への メッセージ	筆記試験は苦手意識を持っている人が多いと思います。そこで、この授業を受けることで、SPI対策をして点数を高める努力が、実は社会に出て役に立つ人材の基礎力になることを理解して、苦手意識を克服を目指します。ひとつひとつ課題に取り組んでいくと、考え方の基礎が築かれていきます。全ては自分の役に立つと信じて、楽しく学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
航空業界入試一次試験に合格するために必要な、計算力・読解力を指導する。どの授業よりも、授業実施前の個人差が大きい内容であることを鑑み、個別指導に力点を置くとともに、学生間相互の学び合いなどを通じて、コミュニケーションを密にし、学生自身の自主性・伝達力強化も図る。							
※実務経験 東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間小中学生への学習指導を続ける							
【到達目標】 SPIとは何かを知り、基本的な計算問題に取り組みSPIでの自身の弱点を見つけその弱点の克服に向けて何をすればよいのかを計画を立て、実行することができる。							

授業計画・内容	
1回目	予想問題の問題1～問題15までを理解できる
2回目	予想問題の問題1～問題15までを解くことができる
3回目	予想問題の問題1～問題15までを時間内に半分以上、解くことができる
4回目	予想問題の問題16～問題35までを理解できる
5回目	予想問題の問題16～問題35までを解くことができる
6回目	予想問題の問題16～問題35までを時間内に半分以上、解くことができる
7回目	予想問題の問題36～問題50までを理解できる
8回目	予想問題の問題35～問題50までを解くことができる
9回目	予想問題の問題35～問題50までを時間内に半分以上、解くことができる
10回目	新たな予想問題①50問を時間内に半分以上、解くことができる
11回目	新たな予想問題②50問を時間内に半分以上、解くことができる
12回目	新たな予想問題③50問を時間内に半分以上、解くことができる
13回目	新たな予想問題④50問を時間内に半分以上、解くことができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ
	期末テスト
	フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 必要なものを、その都度、お渡します。	

科目名 (英)	TOEIC	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	TOEIC	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

TOEICで600点越えを目指すために必要な基礎的な語彙力やイディオム、文法の学習と、リスニングのための耳づくりに主眼を置いた丁寧な授業をおこなう。日本人が聞き取りや発音を苦手とする英語の音声にはとくに注意して指導することで、リスニング力の大幅な向上を目指す。自分で発音できない音は聞き取れない、という大前提があるので、まずは発音してもらって細かな音の矯正を重ねていく。
【実務経験】私塾にて9年前より小学生～大学受験まで幅広い層に英語を教えている。卒業生には上智大学、九州大学、早稲田大学合格者。TOEIC975点。英検1級。翻訳や通訳の経験もあり、翻訳書には『セラピューティックタッチの技法』(春秋社)、『レイキ完全本』(BABジャパン)がある。通訳実績としては、環太平洋子どもサミットにて同時通訳(平成18年度:沖縄)、日本人間ドック会議にて通訳(平成19年度:沖縄)など。講師歴2年

【到達目標】

TOEICのテスト自体は、最低でも英検2級レベルの英語力をもっていないと、なかなか難しい面があります。ですから、まずは「英語自体が難しくてたいへん」と思う気持ちを、少しでも、「英語は楽しく役に立つ」と感じてもらえるようにしたいです。初級向けの単語やイディオムを習得するための教材を中心に使い、学んだことは着実におぼえて身に付けてもらうことを目標にします。毎回、授業を受けることで、生徒のみなさんに何か一つでも英語表現の「お土産」を持ち帰ってもらいたいと思います。学んだことをしっかり復習すれば8割はとれる試験を計2回、実施しますので、全員が合格点をとれるようにしてほしいです。

授業計画・内容

1回目	書き込みノート15 & 16を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
2回目	書き込みノート17 & 18を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
3回目	書き込みノート19 & 20を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
4回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
5回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
6回目	中間テストを実施することにより、これまでの学習内容を確実なものにし、到達度を確認することができる。	
7回目	中間テストの評価と復習。書き込みノート21 & 22を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
8回目	書き込みノート23 & 24を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
9回目	書き込みノート25 & 26を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
10回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
11回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
12回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
13回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
14回目	★評価週	期末テストにより、これまでの理解度をはかることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テストの返却・解説・評価をすることでさらなる学習意欲を刺激することができる。
準備学習 時間外学習	2回のテストでは、それまでの学習内容をよくよく理解すれば8割以上得点できるような内容にします。すなわち授業中に聞いたことをしっかり復習していれば合格点がとれますので、毎日試験勉強と思ってその日学んだことを復習してください。	
評価方法	中間テスト3割 期末テスト7割	
受講生への メッセージ	TOEIC600点への道のりは決して楽ではありませんが、足元から一步一步、いっしょに英語という山にいっしょに登っていきましょう。ほんやりしているとすぐ試験日が来ますから、毎回毎回の授業を試験勉強だと思って集中して聴いてください。	

【使用教科書・教材・参考書】

『TOEICテスト書き込みノート単語&熟語編』

『公式TOEIC L&R VOL7』

科目名 (英)	TOEIC	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	TOEIC	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

TOEIC600点クリアを目指すために本番に出題される問題をどんどん解いていく。ただし、数をこなすというよりはリスニングとリーディングの具体的な問題を解きながら、わからないままに進むのではなく、ひとつひとつ確実にクリアしていきます。これまでと同様、リスニング問題を解きつつ英語耳をつくるための細かな矯正をおこないます。

【実務経験】私塾にて9年前より小学生から高校生大学生まで幅広い英語指導を行っている。卒業生は英語力を生かして九州大、上智大、早稲田大などに合格。また、翻訳や通訳の実務経験もあり。翻訳した書籍『セラピューティックタッチの技法』(春秋社)、『レイキ完全本』(BABジャパン)など。通訳実務経験:「環太平洋子ども環境サミット」にて同時通訳(平成18年)、「日本人間ドック会議」にて同時通訳(平成19年度)など。講師歴2年

【到達目標】

これまでの学習を踏まえて、TOEICテスト本番と同じ問題をできるだけたくさん解くことで、単語、イディオム、文法、リスニングの力をつけていく。リスニング、リーディングテストの前半の基礎部分に関しては、手堅く点数がとれるようになる実力をつける。

授業計画・内容

1回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson3 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
2回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson3 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
3回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson4 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
4回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson4 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
5回目	『TOEICテスト新形式精選模試リーディング』 p.32~35に取り組むことで文法やイディオムの基礎をつけることができる。	
6回目	次回テストのための復習と対策:やる気をたかめ、学習のポイントをつかむことができる。	
7回目	中間テストをすることで、これまでの理解度と到達度をはかることができる。	
8回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson5 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
9回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson5、6 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
10回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson6、7に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
11回目	『TOEICテスト新形式精選模試リーディング』 p.36~42に取り組むことで文法やイディオムの基礎をつけることができる。	
12回目	『TOEICテスト新形式精選模試リーディング』 p.43~48に取り組むことで文法やイディオムの基礎をつけることができる。	
13回目	次回テストのための復習と対策:やる気をたかめ、学習のポイントをつかむことができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより、今学期の理解度と到達度をはかることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テストの返却と講評・解説により問題点を知ることができる。
準備学習 時間外学習	中間テスト、期末テスト、ともにあつという間に巡って来るので、毎回毎回の授業をテスト勉強だと認識して真剣に取り組む。次の授業までにしっかりと内容を復習すること。授業初めに、前回の内容をテスト形式で問います。	
評価方法	中間テスト3割 期末テスト7割	
受講生への メッセージ		

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ Associate hospitality coordinator	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	早田
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日4限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホスピタリティマインドを理解し、日本のサービス産業、ホスピタリティ産業の重要性、歴史と文化、定義など理論について学習する。
また、実践編として接客マナー・クレーム対応などホテルの窓口を参照にしたロールプレイを繰り返す事で高い実務能力を教授する。

※実務者経験: 医療法人井上会 篠栗病院にて平成6年4月～平成16年1月まで、医事課スタッフとして医療窓口における患者サービスの責任者として従事する。ホスピタリティコーディネータ有資格者として実務にあわせたホスピタリティマインド及びビジネススキルを身につける。

【到達目標】

ホスピタリティのマインド・理論・実践を学び説明できるようになる。
ホスピタリティ業界(ホテル・レストラン等)のフロント・コンシェルジュ・サービスにて起こりえる対応の症例について体得できるようにする。
接客能力の向上として、適切な身だしなみ、言葉遣い、言い回しができるようになる。
ホスピタリティを推進するチームの一員・リーダーとしての資質を発揮する事ができるようになる。
アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータの資格を取得する。

授業計画・内容

1回目	アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ及びコミュニケーションスキルアップ検定概要について理解し説明できるようになる。	
2回目	ホスピタリティの社会的スキル・人との関わり方の基本的な対応や考え方(笑いと笑顔の違い/おしゃれと身だしなみの違い)ができるようになる。	
3回目	ホスピタリティトレーニング/事例を元に観察・推理・理解・行動及び気づきができるようになる	
4回目	第1章:日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性(付加価値・イノベーションとは)について理解し説明する事ができる。	
5回目	求められるサービス産業のグローバル化(日本が誇るメイド・イン・ジャパン/サービス・ドミナント・ロジック)について理解し説明する事ができる。	
6回目	第2章:ホスピタリティの歴史と文化について理解し説明できるようになる。	
7回目	第3章:サービスとホスピタリティの語源/第4章:ホスピタリティの定義について理解し説明できるようになる。	
8回目	第5章:ホスピタリティの5領域/第6章:組織と顧客のホスピタリティについて理解し説明できるようになる。	
9回目	第1章:コミュニケーションとは/第2章:基本的対話スキル①について理解し説明できるようになる。	
10回目	第2章:基本的対話スキル②について理解し説明できるようになる。	
11回目	第3章:自己表現スキル③について理解し説明できるようになる。	
12回目	第4章:社会的スキル/第5章:サービスマインドについて理解し説明できるようになる。	
13回目	コミュニケーションスキルアップ検定実施/ホスピタリティコーディネータ課題説明	
14回目	★評価週/テスト及びデータ入力	
15回目	★まとめ及びデータ入力	
準備学習 時間外学習	予習及び復習として各講義におけるテキストを黙読する。 学生生活及びアルバイト等を通じて感じるホスピタリティについて観察し、授業内において発表する。 授業で学んだホスピタリティを普段の生活内やアルバイトにて実践し、どのような効果を得る事ができたか発表できるようにする。	
評価方法	・コミュニケーションスキルアップ検定の合否 ・授業内にて配布している資料を基にしたテスト ・ホスピタリティ実践レポート:2000字	
受講生への メッセージ	ホスピタリティはマインドを理解する事と、スキルを身につけビジネスに活かす事の両方が大切です。 私たちが幸せと感じる心を育てる教育として様々な事例を通じて学習していきますので、楽しみながら、そして人に笑顔を提供できるようなプロフェッショナルとして活躍できるように一緒に学びましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

NPO法人 日本ホスピタリティ推進協会:ホスピタリティコーディネータ教本
滋慶教育科学研究所 コミュニケーションスキルアップ検定

科目名 (英)	カメラワーク&テクニック Camera work & technique	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
「美しい写真」について、技術的・美術的2つの側面から学習し、理解できるようになる。							
<p>※実務経験 大学卒業と同時に、プロの世界へ。以来20年以上、人物写真(ポートレート)を撮り続ける。広告、雑誌の世界からプロフィール写真家へ移行。2015年頃、東京から地元福岡を拠点に、「自分が美しいと思う写真」へと展開していく。「世界とつながる」をモットーに、米国の写真コンテスト受賞を皮切りに、現在も海外各地の写真家と交流を続ける。</p>							
【到達目標】							
「楽しい写真」から「美しい写真」まで、カメラ(一眼レフ)を使いこなせるようになる。 グループワークで実際に一眼レフで撮影しながら、「体験的・経験的」に、カメラと写真の技術を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション/カメラの構え方/今後の説明/グループ分け/いい写真と悪い写真の違いについて理解し説明できる
2回目	オートで撮る！構図について習得する
3回目	オートで撮る！構図 ライティング(照明)光について理解し説明できる
4回目	オートで撮る！構図 レンズによって変わる写真の奥深さが会得できる
5回目	明るさを決める三要素の理解し説明できる
6回目	絞り優先！オートでは撮れない構図について理解し説明できる
7回目	絞り優先！オートでは撮れない構図&ライティング(照明) について理解し説明できる
8回目	中間テスト
9回目	露出補正でさらに上手に撮影ができる
10回目	シャッター速度優先！オートでは撮れない、ダイナミックな写真を撮れるようになる
11回目	WB=色温度。電球と白色LEDで実験。混ぜるな危険！色について理解し説明できる
12回目	挑戦！マニュアル撮影。手足のようにカメラを操ることができる
13回目	カメラのアップダウンの構図。奥行きのある写真。足を長く撮る方法。ポートレートをかっこよく撮ることができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	定期テスト(筆記60%、実技40%)
受講生へのメッセージ	一見難しい大きなカメラ(一眼レフ)、実はとても簡単です。 ステップずつ学んでいき、「楽しい写真」「美しい写真」を撮りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>キャリア教育を基に社会人基礎力の向上を目的に、本講義を通して3つの能力、12の要素を身に着けた人材を育成します。学生相互の人間関係(コミュニケーション)を密にし、学生の自発的、自治的な活動を支援します。また、自己理解を深め、適切な進路選択ができるようにします。</p> <p>※実務経験 ブライダル総合会社にてチーフプランナー、ドレススタイリストとして約4年、ブライダルジュエリー会社にて対面販売約2年</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>自ら挨拶ができ、人の話を聞き規律性を持った行動が出来る。 学生相互において適切なコミュニケーションを図ることができる。</p>							

授業計画・内容		
4月14日	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方を通して、自身のこれからの2年間の環境を知る	
4月28日	ホスピタリティ業界における正しい挨拶を行うことができる	
5月12日	コミュニケーションの大切さ、必要性を理解することができる	
5月19日	ホスピタリティ業界における正しい身だしなみを行うことができる	
5月26日	お客様の迎え入れや接客時における最低限のマナーを身に着けることができる	
6月2日	①基本的対話スキル向上させることができる(話す・聴く・質問の仕方を学ぶ)	
6月9日	②基本的対話スキル向上させることができる(グループ・集団での会話を学ぶ)	
6月16日	①自己表現スキルを身に着けることができる(人間関係を円滑にする表現技術)	
6月23日	②自己表現スキルを身に着けることができる(職務上で必要とされる表現技術)	
6月30日	③自己表現スキルを身に着けることができる(アンガーマネジメント、感情への対処)	
7月7日	①社会的スキルを身に着けることができる(対人行動、対人マナー)	
7月14日	②社会的スキルを身に着けることができる(文章作成の実践)	
8月25日	サービスマインドを身に着ける(心得、姿勢)	
9月1日	★評価週	コミュニケーションスキルアップ検定
9月8日	★まとめ・追試/再試	コミュニケーションスキルアップ検定の総復習
準備学習 時間外学習		
評価方法		
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) サービス業のみならず仕事を自信のキャリアに変える為の考え方や、成長の進め方を様々なディスカッションを重ねる事で身に付けて行く事ができる。また自分の情熱や思いを正しくアウトプットできる自信とテクニックを学ぶ。</p> <p>※実務経験 ブライダル総合会社にてチーフプランナー、ドレススタイリストとして約4年、ブライダルジュエリー会社にて対面販売約2年</p> <p>【到達目標】 自身の強み弱みを見極め、強みを引き出す事で自分の目指す業界へチャレンジする姿勢と考えを身に付ける事ができる。サービス業を軸としたサービスを自身の武器とする事の大切さ、サービスでお金を稼ぐという意識と目標を見つける事ができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介を盛り込んだフリーディスカッションができる	
2回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (自分が社会に出る事の意味)	
3回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (仕事とは何か? 仕事が自分に及ぼすものとは?)	
4回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (お金を稼ぐ事の意義)	
5回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (サービスが人に与えるメリットを考える)	
6回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (サービスでお金を稼ぐ為に大切な事は何か?)	
7回目	自分の目標を探すトレーニングのやり方を理解し実践できる	
8回目	ポジティブシンキングの効果を理解し実践することができる	
9回目	ネガティブシンキングが影響するライフスタイルの悪化について理解し説明できる	
10回目	夢実現へのプロセルロードマップを作成することができる①	
11回目	夢実現へのプロセルロードマップを作成することができる②	
12回目	夢実現へのプロセルロードマップを作成することができる③	
13回目	グループプレゼンテーションのトレーニングができる(自己表現スキルと伝える熱意のテクニック)	
14回目	★評価週	フィードバック
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	各種ワークシートの提出物100%	
受講生への メッセージ	サービス業で自身をキャリアアップさせるための自己表現は、仕事のキャリアにおいてだけでなく自身を更に高いステップに押し上げてくれる手助けとなります。自分をしっかり見つめ、自分の良さをしっかりと強みに変える思考を一緒に身に付けて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム Career Program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>学生相互の人間関係を密にし、学生の自発的、自主的な活動を支援します。 また、自己理解を深め、適切な進路選択ができる</p> <p>※実務経験 ブライダル総合会社にてチーフプランナー、ドレススタイリストとして約4年、ブライダルジュエリー会社にて対面販売約2年</p>							
【到達目標】 毎回、「到達目標シート」を設定して、着実に「考える力」「書く力」を育てていきます。到達目標は、「知っている」ということから、「できる人」になることです。							

授業計画・内容	
1回目	今後のスケジュールを確認して企業10社の選び方、研究の仕方を話し合い、方向性を決めることが出来る。
2回目	グループ分かれ企業研究の仕方や期日を決めていくことが出来る
3回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る①
4回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る②
5回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る③
6回目	企業研究上での課題の発見と調整を行い翌週の発表につなげることが出来る
7回目	中間発表(資料作成)が出来る。
8回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る④
9回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る⑤
10回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る⑥
11回目	企業研究発表での問題点と調整を行い翌週の発表につなげることが出来る
12回目	企業研究の発表会を実施できる
13回目	総まとめ 後期で学んだことを再確認し、角度の高い志望動機を作成できる
14回目	★評価週 質問の大切を理解し、わからないことを自身の言葉を確認することができる①
15回目	★まとめ・追試/再試 質問の大切を理解し、わからないことを自身の言葉を確認することができる②
準備学習 時間外学習	
評価方法	研究発表内容100%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレスタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 前期から引き続き、家計管理から保険、年金、税金、資産運用、住宅ローンなど、日常生活を送るなかで必要となる、お金に関する知識についてお伝えしていきます。</p> <p>※実務経験 (株)東急ホテルズインターナショナル販売促進部に所属(約5年)し、販売促進のためのプランニングをし、それを航空会社、旅行社、関係各国の観光省と共にプロモーションをした。また日本リージェントにて日本におけるホテル開発時の販売促進に従事した。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①お金に関する基礎的な知識を習得し、自分自身の人生設計を立てることができる。 ②金融や経済の仕組みを知ること、世の中の流れや今後の見通しを立てることができる。 ③3級FP技能士の資格取得のために必要な基礎知識を身につけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	保険①「保険制度の概要」を理解し説明できる
2回目	保険②「民間の保険 ～生命保険の概要」を理解し説明できる
3回目	保険③「民間の保険 ～損害保険の概要」を理解し説明できる
4回目	保険④「保険の活用」を理解し説明できる
5回目	不動産①「不動産に関する法律知識の概要」について理解し説明できる
6回目	不動産②「不動産の活用と税」を理解し説明できる
7回目	金融資産運用①「金融と経済の基礎知識」を理解し説明できる
8回目	金融資産運用②「金融資産運用の考え方」を理解し説明できる
9回目	金融資産運用③「投資型金融商品の概要 ～債券と株～」を理解し説明できる
10回目	金融資産運用④「投資型金融商品の概要 ～投資信託とデリバティブ～」を理解し説明できる
11回目	金融資産運用⑤「資産運用の考え方」を理解し説明できる
12回目	「公的年金制度の概要」について理解し説明することができる
13回目	期末テスト対策、わからないところを説明できる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレスタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日常生活でお金との付き合いは日々発生しますが、その際に必要となるお金の基礎知識は、学校教育の中で体系的に学ぶことがありません。本講義では、家計管理から保険、年金、税金、資産運用、住宅ローンなど、日常生活を送るなかで必要となる、お金に関する知識についてお伝えしていきます。</p> <p>※実務経験 (株)東急ホテルズインターナショナル販売促進部に所属(約5年)し、販売促進のためのプランニングをし、それを航空会社、旅行社、関係各国の観光省と共にプロモーションをした。また日本リージェントにて日本におけるホテル開発時の販売促進に従事した。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①お金に関する基礎的な知識を習得し、自分自身の人生設計を立てることができる。 ②金融や経済の仕組みを知ること、世の中の流れや今後の見通しを立てることができる。 ③3級FP技能士の資格取得のために必要な基礎知識を身につけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	【人生におけるお金とは】【FPの定義と役割】を理解し説明できる
2回目	生活を取り巻く世の中の環境を知り「日本と世界の経済を取り巻く状況」を理解し説明できる
3回目	家計管理の基礎知識を理解し説明できる
4回目	自分の人生設計(ライフプラン)の考察「ライフプランとは何か?」「日本の税制について」理解し説明できる
5回目	「日本の税制について」(続き)タックスプランニング①「所得税の仕組み」(前半)について理解し説明できる
6回目	「所得税の仕組み」(前回の復習と続き)について理解し説明できる
7回目	日本の社会保険制度①について理解し説明できる
8回目	日本の社会保険制度②について理解し説明できる
9回目	「ライフプラン表とキャッシュフロー表」を作成できる
10回目	「人生の3大資金」について理解し説明できる
11回目	「退職後の生活設計」を理解し説明することができる
12回目	「公的年金制度の概要」について理解し説明することができる
13回目	期末テスト対策、わからないところを説明できる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	サービス業で自身をキャリアアップさせるための自己表現は、仕事のキャリアにおいてだけでなく自身を更に高いステップに押し上げてくれる手助けとなります。自分をしっかり見つめ、自分の良さをしっかりと強みに変える思考を一緒に身に付けて行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンピューター演習 Computer exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】 パワーポイントの使い方を学び基本から応用まで操作できるようになり プレゼン手法や伝わる資料作成・発表体験を支援します。 ※実務経験 玩具の営業9年、ブライダル(各セクショントータル)15年、Webディレクター1年半							
【到達目標】 「シンプルで見やすく伝わる」資料作成できる。 伝わるプレゼン発表スキルを身につける。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・講師紹介、授業の進め方、授業目的を共有できる	
2回目	パワーポイントについて/読みやすい文章の書き方(フォント、タブキー、順列、検索など)を覚える キーボード操作ができる	
3回目	復習・振り返り/シンプルで見やすい図形の使い方を理解し実践できる	
4回目	復習・振り返り/ショートカットについて・表グラフの種類解説 実習 グラフ作成ができる	
5回目	復習・振り返り/画像の挿入・編集 データ種類解説 実習 画像の挿入・編集ができる	
6回目	復習・振り返り/Excelデータコピー編集ができる 見栄え整えるポイントについて解説	
7回目	ウェディング業界にまつわるチラシ作成にまつわる作業を身につけることができる 実習①	
8回目	ウェディング業界にまつわるチラシ作成ができる 実習② データ変換方法について/制作発表できる	
9回目	プレゼンについて プレゼン資料作成の流れを学ぶことができる	
10回目	資料作りの前に市場を知り、必要な準備を行うことができる	
11回目	テーマ決め・プレゼン資料作成スキルを身につけることができる	
12回目	プレゼン資料作成できる	
13回目	プレゼン発表・ディスカッションを行うことができる	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト振り返り・前期まとめ
準備学習 時間外学習		
評価方法	提出物30% テスト70%	
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。 PCを使用してプレゼン資料作成できるスキルを身につけます。 ウェディング業界で活躍する為に必要な知識や手法です。 実践的に一緒に学んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	コンピュータ演習 Computer exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Word、Excel、PowerPointを中心に学習しますが、同時にパソコンの使い方、インターネットの活用方法も授業の中に取り入れていきたいと思ます。 毎時間目標とする課題を設定していく計画です。							
※実務者経験: 玩具の営業9年、ブライダル(各セクショントータル)15年、Webディレクター1年半							
【到達目標】 Word:印刷物を見て、自分でゼロから作れるようになる。 Excel:仕事で使う関数を身につけ、お店の伝票入力ができるレベルにはなる。 PowerPoint:スライドを使いプレゼンテーションできるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:自己紹介、USBメモリの使い方、ショートカットについて理解し説明できる。タイピングの練習
2回目	word:文章作成、段落の書式設定、用紙サイズ、漢字の入力、保存方法について理解し説明できる
3回目	word:画像の挿入、表の作成、グラフ作成について理解し説明できる
4回目	word:イベントの案内等作成(課題)ができる
5回目	word:お店オープンチラシ制作(課題)ができる
6回目	PowerPoint:テンプレートを使ってスライドを作成①ができる
7回目	PowerPoint:テンプレートを使ってスライドを作成②ができる
8回目	PowerPoint:プレゼンテーションの方法を理解し実践できる
9回目	PowerPoint:課題制作①ができる
10回目	PowerPoint:課題制作②ができる
11回目	PowerPoint:課題発表ができる
12回目	excel:文字入力、印刷範囲の設定を理解し実践できる
13回目	excel:画像の挿入、グラフ、表レイアウトを理解し実践できる
14回目	★評価週 excel:伝票入力ができる
15回目	★まとめ・追試/再試 excel:在庫管理、顧客管理、売り上げ管理表の作成ができる
準備学習 時間外学習	身近にある広告や印刷物に対してコレほどの様に作っているのか興味を持ってください。 そして自分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をして欲しい。
評価方法	課題提出100%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	セルフスタイリング Self-Styling	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 就活用メイクや基本的なスキンケア、身だしなみなどメイクの土台となる知識、技術を重点的に講義する。専門職を目指す意識を持って、姿勢やマナー、美しく自分に合ったメイクを身に付けるための授業を行う。 【実務経験】 冠婚葬祭、広告雑誌、ファッションショーなどのヘアメイクをフリーランスとして14年間活動している。							
【到達目標】 ①身だしなみの重要性、スキンケアの知識を習得②メイク道具を顔のパーツごとに正しく使いこなせるようになる③確かな技術とスピード、どちらも身に付ける。④理想の顔型を理解したうえで、自分の顔を分析し、自分に合ったメイクを習得する。							

授業計画・内容	
1回目	学校生活について知り、ルールを理解する。
2回目	メイク道具紹介 メイクの必要性 スキンケアの重要性を学ぶことができる。【持参物】日頃使用しているスキンケア用品、ノーメイクで臨むこと。
3回目	メイク演習①肌の構造 スキンケアの実践 ベースメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
4回目	メイク演習②自分の肌質や、肌色に合ったベースメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
5回目	メイク演習③アイブロウの習得。カットして整える～基本バランスで描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
6回目	ヘア演習①(座学を含む)スーツに合うヘアアレンジ(シンヨンスタイル)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
7回目	ヘア演習②スーツに合うヘアアレンジ(ハーフアップ)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
8回目	メイク演習④ベース復習。アイメイクの習得。単色塗り～グラデーション。アイライナーで目元の演出が出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
9回目	メイク演習⑤アイブロウ強化。(座学を含む)カットして整える～基本バランスで描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
10回目	メイク演習⑥リップの正しい色選び、チークが基本バランス通りに描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
11回目	メイク演習⑦50分で基礎メイクが出来るようになる。化粧水乳液などスキンケアをした状態からベースメイク～チーク&リップまでのフルメイクを行う。
12回目	ヘア演習③スーツに合うヘアアレンジ(シンヨンスタイル)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
13回目	メイク演習⑦50分で基礎メイクが出来るようになる。化粧水乳液などスキンケアをした状態からフルメイクを行う。男子はベースメイク、アイブロウ、ヘアセットまでを行う。
14回目	メイク演習⑧50分で自分の顔に似合わせたメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。男子はベースメイク、アイブロウ、ヘアセットまでを行う。
15回目	イベント準備期間へ充当
準備学習 時間外学習	◎毎時間の持参物・・・筆記用具、配布したプリント類、白フェイスタオル2枚、メイク道具一式(普段セルフメイクで使用しているもの)、肌が弱い方は、基礎化粧品一式(化粧水、乳液、美容液など。学校にも用意は有ります。)メイク落とし、パフ、スポンジ、リップブラシ(他のブラシに関しては持参は自由)※全て100均のものでも構いません。◎原則として友達同士の道具の貸し借りは禁止とします。毎時間忘れずに用意すること。◎人数が多いため授業前にメイク道具のセッティングを行ったり、メイクオフを速やかに行い授業に参加すること。◎直接肌に触れる道具は(スポンジ、ブラシ類など)は自宅で清潔にして持参すること。
評価方法	10分でセッティング、50分で定期試験(100点満点)授業の理解度、メイクの仕上がりが主な評価対象ですが、日頃の授業態度、忘れ物等も評価の対象に含まれます。
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。自分の顔を知り、メイクを施して綺麗になることも大切な身だしなみの一つです。基礎から始まり、応用へとステップアップしていきます。皆さん一人ひとりがメイクの力でもっと輝けるようにここでは様々なメイクテクニックと一緒に楽しく学んでいきましょう。よろしくお願いします。
【使用教科書・教材・参考書】	
日本メイクアップ技術検定試験 2・3級公式テキスト/スキンケア辞典/メイクアップシニアアドバイザー資格認証講習テキスト	

科目名 (英)	テクノロジー演習 Technology exercises	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界における経営、運営の構造を理解し、サービスが商品価値として顧客に提供される構造をビジネス的感覚の精度を上げる事で構想、構築、提供の方法を学ぶ							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ホテル旅館のリーダーやマネジメント職を見据え、自身でサービスをより高い価値として考察し、構築し、最大化して提供するスキルを身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	サービスマーケティングを活用した接客サービスの基本を学び	
2回目	顧客心理を利用したサービス提供のロジックを理解し説明できるようになる	
3回目	顧客心理を利用したサービス提供のロジックを理解し、実際の提供するテクニックを身に付ける事ができる	
4回目	WEBマーケティングの基本を理解し説明することができる①	
5回目	WEBマーケティングの基本を理解し説明することができる②	
6回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる①	
7回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる②	
8回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる③	
9回目	ホスピタリティにおけるデジタルと人的サービスの共存について概要を学び、説明することができる	
10回目	業界における労働生産性についての基本を学び説明ができる	
11回目	業界における労働生産性についての活用方法を学び説明ができる	
12回目	業界における労働生産性が生むパーソナルサービスの影響を説明することができる	
13回目	試験前のこれまでの授業内容の振り返りの実施	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試	試験のフィードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	業界のコストとリソースの観点からマネジメントができるサービス人材を目指します。自身が宿泊業のサービス商品をよりキャリアアップさせる武器として身に付けられるように半年間一緒に学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	テクノロジー演習 Technology exercises	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレスタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 収益を上げる為のマーケティングの基礎からその重要性を学び、商品を守る事の仕組みを認識する様な指導をする。</p> <p>※実務経験 ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業会社を設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。</p> <p>【到達目標】 学生が身近に接する広告キャンペーンや実際の事例からの実践を通じた学習を行う。 自らがそれぞれのテーマに取り組み、調査研究した成果を発表する為に、①感じ ②考え ③記録 ④行動(プレゼン)の学生自らの 研究心が醸成され、ホテルマーケティングの手法を分析判断することが出来る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	・講師自己紹介 学生に自己PR 年間の授業スタイル説明・何故マーケティングが必要かを知ることが出来る。(課題)
2回目	・マーケティングについて学び、マーケティング応用の売れる仕組みを理解することが出来る。(課題)
3回目	・マーケティングを構成する4つのPとは何かを理解する(5月課題)
4回目	・商品に対する料金の決め方・客室(宿泊)料金に定価はあるのかを知ることが出来る。
5回目	・市場と顧客の考え方について理解することが出来る。
6回目	・マーケティングにおける販売促進活動とはどんなものかを理解することが出来る。(6月課題)
7回目	・多様化するホテル形態・その事業特性を知ることが出来る。
8回目	・ホテルの売上構成と、その要素について学ぶことが出来る。
9回目	・ホテルの売上げを増やす方法について理解することが出来る。
10回目	・AIDMAモデルとブランド戦略について学ぶことが出来る。
11回目	・ホテルが考えるブランド戦略を知ることが出来る。(7月課題)
12回目	・ホテルマーケティングとCSの連動について学ぶことが出来る。(夏休み課題)
13回目	・ホテルにおける顧客情報管理について学ぶことが出来る。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	・新聞やネット情報に対し関心を持ち、感じる力と、その情報に対し考える習慣、その考えた事を記録に残し、自分の考えを発言できるようにする為、日頃からニュースに関心を持つ事 最も大事にしたい事は現状を認識して未来を予測する力をつける事
評価方法	・課題レポート(プレゼン) 50% 期末試験結果 50%
受講生への メッセージ	・マーケティングは時代の変化変貌の中で、絶え間なく進化していきます。5Gの時代、VRやARの時代に、私たちの生活も企業も、そして国も、世界も変化し続けています。 今を認識すると「同時に皆さんの10年後20年後を予測しながら、波に乗れる生き方をしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
・学生使用テキスト無し ・プリント配布 あるいはPPT表示による課題	

科目名 (英)	ドレススタイリング基礎 I Dress Styling Basics I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界におけるドレススタイリストとしての基本的な知識を身につけ、新郎新婦の洋装の着付けができるようになる。							
※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダルスタイリストと東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。現在は主にドレスコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 新郎新婦の衣装、または付随する小物についての基礎知識が身につく、基本的なコーディネートができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介 ブライダル業界におけるドレススタイリストの役割とは？ 婚礼衣裳業界の仕事内容などについて説明することができる	
2回目	ウエディングの種類 現在の挙式スタイルについて学び理解するし説明することができる	
3回目	ウエディングの歴史 日本そして世界における婚礼衣裳の歴史を学び、理解し説明することができる	
4回目	新婦の洋装衣装のライン、素材について学び、説明することができる(フィッティングにチャレンジ)	
5回目	新婦のドレスコーディネート(小物)とブーケについて学び、説明することができる(フィッティングにチャレンジ)	
6回目	新婦の和装について学び、代表的な衣装、それに付随する小物の説明が出来るようになる	
7回目	中間テスト(筆記)	
8回目	中間テストの答案返却と解説、今までの授業の復習	
9回目	新郎の婚礼衣裳の種類、歴史について学び、理解し説明することができる	
10回目	インナーの着用の仕方、パニエの種類を学び、ドレスフィッティングができるようになる	
11回目	タキシードのフィッティングを学び、新郎新婦のバランスを考えたコーディネートができるようになる	
12回目	採寸方法、補正について学び、自分でできるようになる	
13回目	お手入れ(スチームやプレス)、品出しについて学び、自分で必要なお手入れができるようになる	
14回目	★評価週	ドレスフィッティング実技試験(タイム測定)①
15回目	★まとめ	ドレスフィッティング実技試験(タイム測定)②
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間試験(筆記)・期末試験(実技)	
受講生への メッセージ	結婚式において新婦様のお衣装選びはとても重要な要素の一つです。お客様に運命の1着が見つかるお手伝いをするのがドレススタイリストの仕事です。本授業でスタイリストの業務内容の基本を楽しみながら学んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ネイル演習 Nail exercises	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ネイルの基礎知識、技術を実習を通じて身に付け、ブライダルシーンにおけるトータルビューティの重要性を学ぶ。							
※実務経験 5年間にわたり株式会社BRONZE EYEにてネイリストとして勤務。その中でブライダルネイルの施術にも携わる。 その他新人研修にも携わり基礎知識や接客、カウンセリングなどを指導。現在は自宅ネイルサロンを開業。(現在5年目)							
【到達目標】 ネイルケアの基礎的な技術を習得。 ジェルネイルの基礎知識、施術方法を理解し実際に人(お客様)へ施術が出来るようになる。 ジェルを用いたアート方法を理解し、実際に人(お客様)へ施術が出来るようになる。							

授業計画・内容		
1回目	ネイルで使用する商材の名前と目的を知る。ファイリング(ファイルの持ち方、動かし方)の習得する事ができる。	
2回目	相モデルでファイリングの確認。メタルプッシャーの持ち方、動かし方を習得する事ができる。	
3回目	相モデルでプッシャーの持ち方を確認。ネイルニッパーの持ち方、動かし方を習得する事ができる。	
4回目	相モデルでネイルケア(ファイリング、キューティクルクリーン)を施術する事が出来る事ができる。	
5回目	カラーポリッシュの持ち方、塗り方を習得する事ができる。	
6回目	アクリル絵の具でのアートの描き方、テクニックを習得する事ができる。	
7回目	ジェルネイルの基礎、操作方法を理解し、ラメグラデーション、カラーグラデーション、フレンチをチップに施す事ができる。	
8回目	シースルー、デニム、マーブルのアート方法を理解し、ネイルチップに施す事ができる。	
9回目	タイダイ(べっ甲)、大理石柄、デニムのアート方法を理解し、ネイルチップに施す事ができる。	
10回目	今までに学んだアート技術を取り入れ、成人式に使えるようなデザイン画を完成させる。	
11回目	前回作成したデザイン画を元にネイルチップにアートを再現する事ができる。	
12回目	ネイルケアを復習し、施術時間を短縮する事ができる。	
13回目	カラーポリッシュの持ち方、塗り方を復習し施術時間を短縮する事ができる。	
14回目	★評価週	相モデルでケア、カラーが時間内に施術できるようになる。※期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テストの採点評価を確認し復習する。
準備学習 時間外学習	授業内でデザインを考える工程があり、また学びたいネイルアートのリクエストを募集する可能性があるためネイル雑誌やネットで様々なアートを見て予習しておくことが望ましい。	
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	プライベートでネイルサロンに行かなくてもセルフネイルでケア、ネイルアートを施すことができる授業になります。しかし将来ブライダルの仕事をする時にも新郎新婦様にネイルの知識は活かすことが出来ます。自分のなりたい将来をイメージしながら受講してみてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 ワインに関する基礎知識、楽しみ方を学び、ワインに親しめるようにします。 【実務経験】 博多和門にてソムリエとして6年半勤務後、ホテルでの仕事に興味を持ちソラリア西鉄ホテル福岡にて3年勤務。 現在は西鉄グランドホテルのソムリエとして勤務。							
【到達目標】 代表的なワイン生産国の基礎知識を習得し、ワインの奥深さ(歴史や産地、ワイナリーの特徴)を体得し説明できるようになる。□							

授業計画・内容		
1回目	ワインの歴史やブドウの栽培方法、醸造方法を学び、ワインについて理解し説明できる	
2回目	ワインの主要なブドウ品種、ラベルの読み方、ワインのサービス方法を理解し説明できる	
3回目	①フランスワインについて説明できる(ボルドー、ブルゴーニュの2大産地)	
4回目	②フランスワインについて説明できる(他のフランスの主要産地)	
5回目	①フランス以外の旧世界のワインについて説明できる(イタリア、ドイツ、スペイン)	
6回目	①新世界のワインについて説明できる(アメリカ、チリ、日本)	
7回目	②新世界のワインについて説明できる(オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ)	
8回目	地球環境とワイン: サステイナブルな取り組みについて知り説明できる	
9回目	ワインと料理のペアリング(ペアリングのポイント、料理に合うワインの提案が出来るようになる)	
10回目	ワイン以外のアルコール飲料について学び造詣を深めることができる	
11回目	オリジナルワインカクテルを考案できる①	
12回目	オリジナルワインカクテルを考案できる②	
13回目	オリジナルワインカクテルについてグループ内でプレゼンテーションできる	
14回目	★評価週	試験
15回目		苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	筆記試験	
受講生への メッセージ	ワインは知識があるともっとおいしくなります。難しく考えずに楽しく学んで頂き、ワインに親しんでください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長年バーテンダーとして業務を行い、自身のBARを経営する専任講師が実習や座学を通してわかりやすく、お酒やバーテンダーに必要な知識を学べる授業です</p> <p>※実務経験 ホテルオークラにてバーテンダーとして10年勤務</p>							
<p>【到達目標】 技術面では、シェーク(シェーキング)、ステア(パースプーンのステアの仕方)、グラスの持ち方、注ぎ方、グラスの出し方、シェーカーの洗い方、拭き方。グラスの洗い方など、スマートにできるようになる。 バーの仕事に携わっても即戦力になるようにする。</p>							

授業計画・内容		
1回目	(座学)バーとは、バーテンダーとは。(実技)バーツールの取り扱い方を理解し実践できる	
2回目	(座学)氷について理解し説明できるようになる(実技)氷のカット、丸氷、ダイヤモンドカットができるようになる	
3回目	(座学)焼酎、甲類焼酎と乙類焼酎の違いを理解し説明できるようになる(実技)シェークができるようになる	
4回目	(座学)カクテルのアルコール度数の出し方を理解し説明できるようになる(実技)ステア練習	
5回目	(座学)シェークについて分析ができる(実技)ジンフィズ、トムマリズの違いを理解し説明できるようになる	
6回目	スタンダードカクテル制作ができる(ホワイトレディ、バラライカ、X.Y.Z、マルガリータ)	
7回目	ステア理論(マティーニ、マンハッタン)ビルドカクテル(モスコミュール)ができる	
8回目	(座学)リキュールの種類を理解し説明できる(実技)いろいろなシェーキングができる	
9回目	(座学)リキュールの種類を理解し説明できる(実技)フローズンカクテル制作ができる	
10回目	生クリーム系のカクテル制作(グラスホッパー、ミリオンダラー)2層のカクテルを作ることができる	
11回目	(座学)バーテンダーとしての心構え復習(実技)シェーキングができるようになる	
12回目	(座学)酒類全般の基礎知識を理解し説明できる①(実技)ステア見直し	
13回目	(座学)酒類全般の基礎知識を理解し説明できる②(実技)目分量の練習	
14回目	★評価週	スタンダードカクテルによる実技試験
15回目	★まとめ・追試/再試	スタンダードカクテルによる実技試験
準備学習 時間外学習	授業で学んだシェークとステアの技術をイメージトレーニングする。 スタンダードカクテルレシピを暗記する。	
評価方法	10段階評価による実技試験と、酒類全般の筆記試験を期末に行います。	
受講生への メッセージ	バーテンダーとしての所作、知識、お客様との距離感を1年生の時よりも応用力がつけられるようになる。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ビジネスマナー講座 business manner	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長年に渡り一般企業・短大・大学でマナーに関することを教えてきた専任教員から講義と実践を通じて、入社1年目に求められる社会人としてのマナーをひとつひとつ身に付けることができます。</p> <p>※実務者経験：2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。</p>							
<p>【到達目標】 自信をもって入社に臨めるようにはまず心の壁を取り除き、必要なビジネスマナーを習得。さらにコミュニケーション力を磨くことができます。</p>							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーションを受け、今後の授業計画を知ることが出来る。自身の希望する職種に必要なものを知ることが出来る。						
2回目	入社前に行くこと・社会人モードに切り替えることの大切さとは・履歴書の大切さを知ることが出来る。						
3回目	社会人としての基本動作と身だしなみ・仕事で役に立つ言い回し・敬語を学ぶことが出来る。						
4回目	前回の復習とまとめ・色彩深層心理学による自己分析・履歴書の提出が出来る。						
5回目	前回の自己分析を通して1分間の相手の心に響く自己紹介(300文字)が出来るようになる。						
6回目	自信が持てる話し方・プレゼンテーションの基本を学ぶことが出来る。						
7回目	中間テスト:1分間の自己PR						
8回目	仕事の進め方・メモの取り方・報連相のやり方・日報の書き方を学ぶことが出来る。						
9回目	電話を受けるときのマナー・かけるときのマナー・メールのマナー・ビジネス文書の作り方を学ぶことが出来る。						
10回目	コミュニケーションの取り方・会話が途切れない言葉の選び方を学ぶことが出来る。						
11回目	前回の復習とロールプレイを行い、苦手な部分を克服することが出来る。						
12回目	TO DOリスト・PDCAサイクル・情報収集の仕方・新聞の読み方を学ぶことが出来る。						
13回目	総復習を行い、不明確な点を明確にすることが出来る。						
14回目	★評価週	試験:ロールプレイ					
15回目	★まとめ・追試/再試	振返り、苦手を克服できる					
準備学習 時間外学習							
評価方法	・履歴書(20%)・ロールプレイ(80%)						
受講生への メッセージ	授業を通して”小さな習慣”を身に付け、続けることで自信を付けて自分自身をチェンジしていきましょう。深層心理・カラー心理はとても楽しいです。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	ビジネス英会話 Business English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
Intermediate level course further strengthening students' conversational abilities							
※work experience: Experienced as an English teacher in Japan since 2001							
【到達目標】							
Students will have mastery of everyday conversational topics and confidence in tackling more advanced topics							

授業計画・内容	
1回目	L. 1 Where are you from? Can greet people and take leave. Pre-test and Class syllabus overview.
2回目	L. 2,3 Qualities Can ask about and describe people
3回目	L.4 Quantities Can use quantities to describe behavior
4回目	L.5 Food experiences Can ask about and describe types of food
5回目	L.6 Recipes Can give instructions on how to make dishes
6回目	L.8 Restaurants Can take and give food orders
7回目	L.7 Great Service Can describe restaurants and make recommendations
8回目	L.9 Health Can describe health problems and make suggestions
9回目	L.10 Advice Can ask for and give advice
10回目	L.11-12 Comparing Can ask for and make comparisons, give reasons
11回目	L. 13-14 Ability and Need Can express ability and express necessity
12回目	L. 15 Deciding Can consider pros and cons of competing ideas
13回目	REVIEW Review Lesson. Test prep.
14回目	★評価週 test
15回目	★まとめ・追試/再試 Overcome weaknesses
準備学習 時間外学習	
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	We will build on your study success in the first year and further develop your fluency. Let's talk more!
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フォト&ムービー演習 Photo & movie exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

プロとしてのメディア制作や撮影の実務経験ある教員が、写真の撮影や映像編集、また選定方法についての授業を実施します。

※実務経験

フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)

【到達目標】

撮影技術について理解し、撮影について提案することができる。
撮影された写真・映像を理解し選定することができる。

授業計画・内容

1回目	自己紹介、他己紹介、ブライダル業界における映像、写真の役割を理解し説明することができる	
2回目	写真・映像を選定するにあたって、いい写真・映像とは何かを考え、ディスカッションすることができる	
3回目	構図と画面比率について理解し、説明することができる	
4回目	写真のメタ情報について理解し、説明することができる。ファイル情報共有を行うことができる	
5回目	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる	
6回目	焦点距離について理解し説明することができる	
7回目	絞りとシャッター速度について理解し説明することができる	
8回目	露出について理解し説明することができる	
9回目	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる	
10回目	人物撮影のポイントについて理解し説明することができる	
11回目	Rawファイルとレタッチの効果についてについて理解し説明することができる	
12回目	照明や三脚などのカメラアクセサリについて学習し、活用方法を理解し説明することができる	
13回目	撮影演習 これまでの授業の内容を活かして撮影し、それを説明することができる	
14回目	★評価週	写真選定と撮影技術についてのテスト
15回目	★まとめ・追試/再試	写真撮影と撮影技術についてのテストと振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

期末テスト

受講生への
メッセージ

昔は特別な体験だった写真撮影・映像編集が、今はスマートフォンの普及により一般化しました。それにより現代では、求められる技術も高くなっていますが、授業を通してホスピタリティのプロとしての一歩先の写真の知識を身につけましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ブライダルアイテム Bridal items	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】フローリスト/フラワーアーティストとしてフラワーブランドを主宰する講師が、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ講義を実施します。プランニングやアレンジメント実技なども交え、実践力となるスキルを身につけ、進路の選択肢を広げます。 【実務経験】2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネーター、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。							
【到達目標】 最新のブライダルアイテムトレンドを学び実践に活かすことができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介/ブライダルフラワー・ブライダルジュエリーのトレンドをそれぞれ考察し、レポートにまとめることができる
2回目	昨今のブライダルトレンドを理解することができる
3回目	ショーケースディスプレイについて理解することができる
4回目	トレンドブーケ制作が出来るようになる①
5回目	2022年のブライダルドレストレンドについて理解することができる
6回目	トレンドブーケ制作が出来るようになる②
7回目	課題発表/ディスカッション
8回目	オリエンテーション・自己紹介/授業内容について
9回目	アクセサリ作り工程や素材の特徴を理解することができる
10回目	昨今のトレンドにあわせた小物を理解し提案することができる
11回目	リングサイズの測り方を理解しオリジナルリングのデザインをすることができる
12回目	オリジナルリング制作が出来るようになる
13回目	プレゼンテーション/ディスカッション①
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	プレゼンテーション100%
受講生への メッセージ	最新のブライダルトレンドを取り入れた一連の流れを楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level3	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定3級合格を目指し指導を行う。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
ブライダルコーディネイト検定3級を取得することができる							

授業計画・内容		
1回目	第4章 ブライダル関連業種、第5章ブライダルのエリア特性(P40～P47)を理解し説明できる	
2回目	第6章 ブライダル業界の1年と集客システム(P48.P49)を理解し説明できる	
3回目	Lesson3 ブライダルの基礎、第1章 見合いと婚約(P52～P57)を理解し説明できる	
4回目	第2章 結納・婚約式(P58～P68)を理解し説明できる	
5回目	小テスト(前週の復習)、第3章ブライダル準備(P69.P70)を理解し説明できる	
6回目	第4章 キリスト教式(P71～P75)を理解し説明できる	
7回目	第5章 神前式、第6章 仏前式、第7章 人前式(P76～P83)を理解し説明できる	
8回目	第8章 シビルマリッジ、第9章 披露宴、第10章 海外ウェディング、第11章 二次会(P84～P91)を理解し説明できる	
9回目	Lesson4 コーディネーター業務、第1章 コーディネーター業務とは(P94～P100)を理解し説明できる	
10回目	第2章 新規業務、第3章 ブライダルセールスの特徴(P101～P108)を理解し説明できる	
11回目	第4章 ホスピタリティ営業、第5章、第6章 プレゼンテーションの手法(P109～P114)を理解し説明できる	
12回目	第7章 新規アフターフォロー、第8章 成約業務、第9章 ペーパーワーク(P115～P121)を理解し説明できる	
13回目	過去問、模擬試験を実施	
14回目	★評価週	フィードバック、苦手を克服することができる
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト解答と総復習
準備学習 時間外学習	・個人の理解力を把握するため、小テストを実施	
評価方法	・期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	・ブライダルコーディネイト検定テキスト(必ず、忘れないように！)	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination test grade 3	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーターの国家資格を取得するための対策授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
2024年1月の国家資格検定試験に合格ができる。							

授業計画・内容	
1回目	ブライダルコーディネーターとは、結婚とは、第1章結婚の定義(P1~11)を理解し説明できるようになる
2回目	第2章日本の結婚式・歴史と文化(P12~21)を理解し説明できるようになる
3回目	第3章欧米の結婚式・歴史と文化(P22~32)を理解し説明できるようになる
4回目	Lesson②ブライダルビジネス 第1章~第6章(P34~49)を理解し説明できるようになる
5回目	Lesson③ブライダルの基礎 第1章~第2章(P52~68)を理解し説明できるようになる
6回目	第3章ブライダル準備 第4章~第5章(P69~79)を理解し説明できるようになる
7回目	第6章仏前式、第7章人前式、第8章~第11章(P80~91)を理解し説明できるようになる
8回目	Lesson①~③までのまとめと小テスト&解答を学び身に付けることができる
9回目	Lesson④コーディネーター業務 第1章、第2章(P94~106)を理解し説明できるようになる
10回目	第3章ブライダルセールスの特徴、第9章ペーパーワーク(P107~121)を理解し説明できるようになる
11回目	Lesson⑤打合せ業務 第1章~第4章Lesson⑥(P124~137)を理解し説明できるようになる
12回目	(6)洋装のラッキーアイテム~3、4 和装の基本(P138~153)を理解し説明できるようになる
13回目	第4章ヘアメイク・ネイルアート~、第5章会場コーディネート(P154~164)を理解し説明できるようになる
~	★評価週 Lesson④~Lesson⑥の総テストと解答を学び身に付けることができる
15回目	★まとめ・追試/再試 第7章ペーパーアイテム、第9章披露宴演出(P165~176)を学び身に付けることができる
準備学習 時間外学習	5回目の授業日は茶室にて結納の授業を行いますので、教室の確保をお願いします。
評価方法	学科 中間テスト 50% (筆記)期末テスト 50%
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。これから2年間のブライダルCD検定初年度でしっかり基礎を学び合格に結び付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination test grade 3	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定3級合格を目指し指導を行う。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ブライダルコーディネイト検定3級を取得することができる							

授業計画・内容		
1回目	第4章 ホスピタリティ営業、第5章、～第9章(P109～P121)について理解する	
2回目	Lesson5 打ち合わせ業務 第1章～第4章 Lesson6(P124～P138)について理解する	
3回目	3、花婿の洋装と洋装小物 4、和装の基本、第3章 ブーケ(P139～P155)について理解する	
4回目	第5章 会場コーディネイト、第6章 テーブルコーディネイト、第7章 ペーパーアイテム(P156～P167)について理解する	
5回目	第8章 料理・飲み物、第9章 披露宴の基本演出、第10章 演出(P168～P181)について理解する	
6回目	第11章 引出物・引菓子、第12章 記録・記念アイテム Lesson7(P182～P194)について理解する	
7回目	第3章 挙式・披露宴の演出手配、第4章～第6章(P195～P204)について理解する	
8回目	Lesson8 当日業務、第1章、第2章、第3章(P206～P216)について理解する	
9回目	第4章 テーブルセッティング、第5章 当日のサービス業務、第6章(P217～P228)について理解する	
10回目	過去問題集によるテスト対策①	
11回目	過去問題集によるテスト対策②	
12回目	過去問題集によるテスト対策③	
13回目	過去問題集によるテスト対策④	
14回目	★評価週	検定問題より模擬試験実施
15回目	★まとめ・追試/再試	過去問題集によるテスト対策⑤
準備学習 時間外学習		
評価方法	・期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	・必ず試験に合格するという気持ちで、受講してください。 毎回の検定テキストは忘れないように。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination test grade 3	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーターの国家資格を取得するための対策授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
2023年1月の国家資格検定試験に合格ができる。							

授業計画・内容		
1回目	ブライダルCD検定2021年度問題の解答と解説50問(筆記問題)を学び身に付けることができる	
2回目	ブライダルCD検定2021年度問題の解答と解説15問(実技問題)を学び身に付けることができる	
3回目	前期の振り返りを身に付けることができる(P106)見積書を理解し説明できるようになる	
4回目	第3章ブライダルセールスの特徴、第4章ホスピタリティ営業(P107~110)を理解し説明できるようになる	
5回目	第5章プランニング、第6章プレゼンテーションの手法、第7章新規アフターフォロー(P111~116)を理解し説明できるようになる	
6回目	第8章成約業務(P117~121)を理解し説明できるようになる	
7回目	中間テスト対策を学び身に付けることができる	
8回目	中間テストと解答を学び身に付けることができる	
9回目	Lesson⑤打合せ業務(P124~127)を理解し説明できるようになる	
10回目	第1章コーディネート(P130.131)コラージュ作成を理解し説明できるようになる	
11回目	第2章衣装選定(P132~141)を理解し説明できるようになる	
12回目	4. 和装の基本、(P142~147)を理解し説明できるようになる	
13回目	第3章ブーケ、フラワーアイテムの選定(P148~153)を理解し説明できるようになる	
14回目	★評価週	期末テスト対策
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	学科・中間テスト50% (筆記)期末テスト50%	
受講生へのメッセージ	進級おめでとうございます。この前期授業でブライダルCD検定の基礎を学び、合格に結び付けてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定2級 Bridal coordination examination level2	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定2級合格を目指し指導を行う。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ブライダルコーディネイト検定2級を取得することができる							

授業計画・内容	
1回目	(実技試験対策)お客様のニーズをくみ取ることができる①
2回目	(実技試験対策)お客様のニーズをくみ取ることができる②
3回目	(実技試験対策)お客様のニーズをくみ取ることができる③
4回目	(実技試験対策)お客様にあったブライダルサービス・商品等を想像・企画することができる①
5回目	(実技試験対策)お客様にあったブライダルサービス・商品等を想像・企画することができる②
6回目	(実技試験対策)お客様にあったブライダルサービス・商品等を想像・企画することができる③
7回目	(実技試験対策)お客様にプランをわかりやすく提案・説明し承諾を得ることができる①
8回目	(実技試験対策)お客様にプランをわかりやすく提案・説明し承諾を得ることができる②
9回目	(実技試験対策)お客様にプランをわかりやすく提案・説明し承諾を得ることができる③
10回目	(実技試験対策)お客様の結婚式・披露宴を円滑に運営するための事前準備ができる①
11回目	(実技試験対策)お客様の結婚式・披露宴を円滑に運営するための事前準備ができる②
12回目	(実技試験対策)お客様の結婚式・披露宴を円滑に運営するための事前準備ができる③
13回目	実技期末試験
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	・個人の理解力を把握するため、小テストを実施
評価方法	・期末テスト100%
受講生へのメッセージ	・ブライダルコーディネイト検定テキスト(必ず、忘れないように！)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level3	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定3級と2級合格を目指し指導を行う。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年) 							
<p>【到達目標】</p> <p>ブライダルコーディネイト検定3級と2級を取得することができる</p>							

授業計画・内容		
1回目	日本および世界の文化を理解し、接客トークに活かすことができる	
2回目	国や行政機関が制定した法令を理解し説明することができる	
3回目	地域の習慣、国内外の宗教、儀礼、作法を理解し説明できる	
4回目	結婚の歴史を理解し、お客様に伝えるシミュレーションをグループで実践できる	
5回目	結婚の歴史を理解し、お客様に伝えるシミュレーションをグループで実践できる	
6回目	結婚に関する民法を理解し、お客様に伝えるシミュレーションをグループで実践できる	
7回目	(テキスト)Lesson1結婚とは を理解し説明することができる	
8回目	(テキスト)Lesson2ブライダルビジネスについて理解し説明することができる	
9回目	(テキスト)Lesson3婚約～二次会まで結婚式にいたるまでの一連の流れを理解し説明することができる	
10回目	(テキスト)Lesson4コーディネーター業務を理解し説明することができる	
11回目	(テキスト)Lesson5打合せ業務を理解し説明することができる	
12回目	(テキスト)Lesson6コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定について理解し説明することができる	
13回目	(テキスト)手配業務について理解し説明することができる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	・個人の理解力を把握するため、小テストを実施	
評価方法	・期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	・ブライダルコーディネイト検定テキスト(必ず、忘れないように！)	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal fair planning	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>・ブライダル業界24年の経験講師により、和婚の歴史を紐解き今現在に通じる新たな和婚の企画ができるようになる。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
<p>・和の歴史、基本の和婚を身に付け、和婚式の応用の提案ができる</p>							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション和婚の挙式、披露宴や授業の目的を知ることができる	
2回目	神前式の復習と和装の復習で、和婚の理解を深めることができる	
3回目	(和装の小テスト)和婚挙式(紅差しの儀・管迫の儀・水合わせの儀・懐剣の儀)	
4回目	和の結婚式基本型(進行)雅楽を理解する	
5回目	和装での挙式・演出での小物を理解する	
6回目	和婚の①挙式と②披露宴の企画書を作成することができる	
7回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる	
8回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる	
9回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる	
10回目	和婚の挙式プロデュース・プレゼンテーションができる	
11回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる	
12回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる	
13回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる	
14回目	★評価週	和婚の披露宴のプロデュース・プレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試	和の結婚式の振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	・和婚の挙式プレゼンテーション70%・披露宴プレゼンテーション30%	
受講生への メッセージ	・和婚の意味を理解し、現在らしさを加えての結婚式の提案をしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・資料は担当講師より配付		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal fair planning	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実施授業：ブライダル業界のIT活用の現状と未来について学び、これから実用化をするwebサービスの企画を立案し提案する。</p> <p>【実務経験】PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p> <p>【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたwebサービスの企画立案し、提案すること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒他已紹介、本プロジェクトの経緯と目的の共有
2回目	IT業界とブライダル業界の現状についての説明 業界の現状について説明することができる。
3回目	本プロジェクトの目標設定 この授業の最終目標について説明することができる。
4回目	事実の抽出と抽象化と転用について 業界サービスについて分析することができる。
5回目	班分けと班の目標設定 各班でのこの授業の最終目標について説明することができる。
6回目	プレゼンについて プレゼンの本質について説明することができる。
7回目	プレゼンについて プレゼンの有効な構成や手順について説明することができる。
8回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
9回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
10回目	株式会社サウスポイント様へ中間プレゼンテーション
11回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
12回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
13回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
14回目	★評価週 企業様へ最終プレゼンテーション
15回目	★まとめ・追試/再試 フィードバック
準備学習 時間外学習	
評価方法	プレゼンテーション
受講生への メッセージ	世相により、今は社会で活躍するにあたってIT知識は欠かせないものとなっています。またその時々に応じ、提案して行動することが求められます。この授業ではITの基礎的な知識を学ぶことができ、また企画提案力を身に付けることができます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルプランニング I Bridal planning I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>挙式の意味を理解し、模擬挙式の提案、実行を遂行する授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
<p>基本の挙式を学び、自ら積極性を持ち取り組み、実りある模擬挙式を目指してほしいです。</p>							

授業計画・内容	
1回目	挙式の意味を学び身に付けることができる(CD検定P82.83)
2回目	様々な挙式(人前式、神殿式、チャペル式)を学び理解し説明できるようになる
3回目	人前式のスタイルを考える、各チームで提案することができる
4回目	人前式のプログラムを組むことができる
5回目	人前式での役割を学び身に付けることができる
6回目	チャペル挙式より学び人前式を理解し説明できるようになる
7回目	チャペル挙式見学において挙式を理解し説明できるようになる
8回目	挙式のプランニングの見直しをし理解し説明できるようになる
9回目	コラージュ作成により挙式のイメージ I を理解し説明できるようになる
10回目	コラージュ作成により挙式のイメージ II を理解し説明できるようになる
11回目	各チーム編成でグループの理解度を高めることができる
12回目	各チーム編成で役割分担を学び身に付けることができる
13回目	各チーム編成でスケジュール作成を学び身に付けることができる
14回目	イベントを企画し、運営することができる
15回目	イベントを企画し、運営することができる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	人前式見学においてのレポート提出で 100%評価(中間テスト)とする
受講生へのメッ セージ	ご入学おめでとうございます。まずイベント制作で模擬人前式を全員で協力的に実施してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師配付、(ブライダルコーディネーター検定の教本)P82.83	

科目名 (英)	ブライダルプランニングⅡ Bridal Planning II	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】

模擬披露宴を企画・運営するために、披露宴についての理解をより深めていきます

【実務経験】

株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)
業界経験25年

【到達目標】

披露宴の専門知識を学び、模擬披露宴を行うための知識や現場力を身につけることができるようになる。

授業計画・内容

1回目	前期振り返り・ブライダル用語Ⅰを理解し説明することができる	
2回目	ブライダル用語Ⅰ小テスト/ブライダル用語Ⅱを理解し説明することができる	
3回目	映像を視聴し、披露宴について理解しディスカッションすることができる	
4回目	結婚式の知識やマナーについて理解し説明することができる(招待状の返信ハガキを実際に書く)・披露宴とは何か理解し説明することができる	
5回目	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(ドレスコーディネーター・フローリスト・アテンダー・司会)	
6回目	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(カメラマン・映像・音響・サービス)	
7回目	中間テスト(ブライダル用語編)	
8回目	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日までの業務について)	
9回目	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日の業務について)	
10回目	披露宴の演出について調べ研究し内容を発表することができる	
11回目	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて流れを考える)※グループワーク	
12回目	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて考えたものをプレゼンテーションする)※アウトプット	
13回目	テスト前対策	
14回目	★評価週	期末テスト・テスト返却
15回目	★まとめ・追試/再試	模擬披露宴準備

準備学習
時間外学習

評価方法

中間テスト50%
期末テスト50%

受講生への
メッセージ

模擬披露宴を素晴らしいものにするために様々なことを学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル Bridal professional	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ユミカツラインターナショナル認定の卒業課題制作として、テーマウェディングの企画書を作成します。							
※実務経験 キャリアコンサルタント2年、広告業会社経営3年							
【到達目標】 テーマウェディングを作成し、プレゼンテーションができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	テーマウェディングとは何か、理解し説明できるようになる
2回目	わかりやすい企画書の作成方法を理解し実践できる
3回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる1
4回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる2
5回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる3
6回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる4
7回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる5
8回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる6
9回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる7
10回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる8
11回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる9
12回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる10
13回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる11
14回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる12
15回目	★評価週 企画書をユミカツラインターナショナルへ提出する
準備学習 時間外学習	
評価方法	ユミカツラインターナショナルの担当者が作品の評価を実施
受講生への メッセージ	伝統を正しく理解して、発展できるような人を目指しましょう
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル bridal professional	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>発展めまぐるしい現代の情報技術の概要や活用例を学び、専攻の分野で活用できる応用力を養う。</p> <p>※実務経験 PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> 最新IT技術の特徴や活用法、問題点について説明できる。 最新IT技術を応用した、ブライダル業界でのソリューションを提供できる。 プレゼンテーション資料の作成、及びプレゼンテーションを行える。 							
授業計画・内容							
1回目	IT・AIを活用した事例を知り、IT・AIについて理解し説明できる						
2回目	IT企業様へ訪問し、活用事例を実際に見る						
3回目	IT企業様にお越しいただき、ホスピタリティ業界とAI活用について理解し説明できる						
4回目	市場調査資料の作成が出来る						
5回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる①						
6回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる②						
7回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる③						
8回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる④						
9回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる⑤						
10回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる⑥						
11回目	学内プレゼンテーション						
12回目	プレゼンテーションを振り返り、内容改善とプレゼンテーション力の見直しができる①						
13回目	プレゼンテーションを振り返り、内容改善とプレゼンテーション力の見直しができる②						
14回目	プレゼンテーションを振り返り、内容改善とプレゼンテーション力の見直しができる③						
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック					
準備学習 時間外学習							
評価方法	プレゼンテーションの完成度100%とする。						
受講生へのメッセージ	講師、協力企業ともに、全力でサポートするので「自分たちがブライダル業界を変える！」つもりで企画を練り上げていきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	ブライダルマネジメント Bridal management	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
【学習内容】収益を上げる為の工程や数値管理、業務分析等は練習問題などで習得する。特に収益構造の仕組みを認識する指導をする。又時代背景に応じた商品プランの立案からマーケティング戦略などを学び、プレゼン能力のある学生育成をする。

【実務経験】ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験、2014年にホテル旅館運営支援事業の会社を設立、ホテル・旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。

【到達目標】
ホスピタリティ産業におけるレベニューマネジメントの概念を知り、日々の業務として売上の最適化に長けた顧客を最優先するレベニューマネージャー業務を学ぶことでマネジメントにも通じる知識を習得する。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	レベニューマネジメントとは何か その原理原則を知り、RM(レベニューマネジメント)の目的が理解し説明できる	
2回目	収益管理の商品特性と市場が理解でき、RMの重要性を知り、説明することができる	
3回目	需要予測の重要性 ホテルの商品やサービスの需要に関するデータ収集分析が将来の販売予測に重要な理由が理解し説明できる	
4回目	現在の数値分析の内容及びその重要性が理解し説明できる	
5回目	現状分析から将来の数値を予測する必要性を知り、説明できる	
6回目	需要予測と戦略的価格設定の関係性を理解し、価格がどのようにして決定するかのプロセスを説明できる	
7回目	在庫と価格管理 最適な在庫管理の手法を理解し説明できる	
8回目	顧客の市場区分別分析や在庫管理戦略としての売り越し実施の条件を理解し説明できる	
9回目	価格管理 在庫と価格管理の関係性を認識し説明できる	
10回目	流通経路管理 非ネット系流通経路の分析手法を理解し説明できる	
11回目	ネット系流通経路 分析手法を理解し説明できる	
12回目	競合他社分析基準を理解し説明できる	
13回目	飲食サービスのレベニューマネジメント概要を理解し説明できる	
14回目	★評価週	グループディスカッション
15回目	★まとめ・追試/再試	グループディスカッション

準備学習
時間外学習
基本的にWebsite情報を元に、色んな情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から・・・であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面では無く、社会のニュースや業界事業施設周辺マーケットや流通サービス業の価格設定等も常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し学びは日常の中に沢山あり、それに気づく事が重要です。又、PCやタブレットは単なる道具ですが、当然ながら道具を使いこなすPCスキルも必要です。

評価方法
期末試験によって評価する

受講生へのメッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ブライダルマネジメント Bridal management	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ブライダル業界xAIで実際に社会実装を目的とした企画制作を行い、プレゼンテーションを行う。</p> <p>講師紹介：PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクス分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p>							
【到達目標】							
持続可能な事業として、企業に企画を受け入れてもらうことを目標としてプレゼンテーションができること							
授業計画・内容							
1回目	制作会社のフィードバックの確認を行い、進捗の確認が出来る						
2回目	開発計画スケジュールの作成が出来る						
3回目	予算、及び収支計画の作成が出来る						
4回目	市場調査資料の作成が出来る						
5回目	プレゼンテーションビデオの作成が出来る						
6回目	プレゼンテーションの復習を行い、不足感を補える						
7回目	クライアント質疑応答対策を行いプレゼンに備えることが出来る						
8回目	クライアントフィードバックの対応一企画内容をまとめることが出来る						
9回目	クライアントフィードバックの対応一開発スケジュールを作成出来る						
10回目	クライアントフィードバックの対応一予算、及び収支計画の作成が出来る						
11回目	クライアントフィードバックの対応一市場調査をまとめることが出来る						
12回目	クライアントフィードバックの対応一質疑応答が出来る						
13回目	プレゼンテーション予行をし、本番に備えることが出来る						
14回目	★評価週 プレゼンテーション本番でクライアントに事業内容を伝えることが出来る						
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック					
準備学習 時間外学習	なし						
評価方法	プレゼンテーションの完成度100%とする。						
受講生へのメッセージ	講師、協力企業とともに、全力でサポートするので「自分たちがブライダル業界を変える！」つもりで企画を練り上げていきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	ブライダル演習 Bridal exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 専門的な機材を用いて、スチームアイロンのかけ方を練習したり、基礎的なメンテナンスの処置の仕方などを教えていきます。 なぜそれをおこなったのか理由づけも発表して頂き、理解を深めます。</p> <p>※実務者経験： 他校にてデザイナー学科の非常勤講師として勤務していた経験を持つ。ドレスショップのメンテナンス&製作スタッフを経て(約4年)、現在はフリーのデザイナーとしてオーダー衣装を製作している。(3年目)</p> <p>ドレススタイリストとして基本的なメンテナンス方法を習得するとともに、ドレスのサイズ調整ができるようになる。 なぜそれを行ったのか説明ができるようになる。 基本的な衣装のメンテナンスができるようになる。 製作を通して針の取り扱いに慣れ、決められた時間内に縫うことができる。</p>							

授業計画・内容	
4月8日	オリエンテーション。機材の取り扱い注意事項を理解し説明することができる
4月15日	メンテナンスの意味を知る。実際にスチーマーを使用してパニエのプレスができるようになる。(二人一組)
4月22日	実際にスチーマーを使用してドレスのプレスができるようになる。(二人一組)
5月13日	①パニエのプレス②ドレスのプレスの復習③お直し方法の説明と実践
5月20日	①パニエのプレス②ドレスのプレスの復習③お直しの復習とパーツの取り付け方法
5月27日	①パニエのプレス②ドレスのプレスの復習③試験対策
6月3日	中間テスト・パニエ、ドレスのプレスがけをして一か所メンテナンスし、講師へ説明をする。
6月17日	ドレスのサイズ調整の方法を知る。縫い方の種類を知る。実際に縫うことができる。
6月24日	時間を計って縫い、実際に自身が縫うのにかかる時間を知ることができる。①
7月1日	時間を計って縫い、実際に自身が縫うのにかかる時間を知ることができる。②
7月8日	時間を計って縫う。ドレス脇両側を補正することができる。①
7月22日	時間を計って縫う。ドレス脇両側を補正することができる。②
8月26日	試験ドレス決め。試験課題発表(詰めるサイズ発表)汚れ落とし方法の種類を覚え、的確な判断で行うことができる。
9月2日	★評価週 期末試験①ドレスの詰めができる。
9月9日	★まとめ・追試/再試 期末試験②汚れ落とし一か所とプレスを行い、講師へ説明を行うことができる。
準備学習 時間外学習	時間が間に合わない場合は何度でも練習してください。何より楽しんでドレスに触れることと、専門雑誌を読むことです。
評価方法	中間テスト(30点) 期末テスト・両側が縫えている(50点) 仕上がりの丁寧さ。(20点)
受講生への メッセージ	縫うスピードは人それぞれです。いつでも相談してください。 大切なのはあきらめないことと、丁寧さです。 地味な作業ができてこそ、お客様の喜びにつながります。 一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
指定教科書はありませんが、日頃からウェディング雑誌や、装苑、palmなどクリエイティブな雑誌を読み、感性を磨いてください。	

科目名 (英)	ブライダル演習 Bridal exercises	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 専門職として着物に関する知識を広げる座学、婚礼にまつわる着物の着せ付けの授業を行う。 相モデルでの実習となる授業のため、遅刻や欠席は出来るだけせず臨んでほしい。							
【実務経験】 冠婚葬祭や、ショーなどで着付けを手掛ける(12年)国家資格である1級着付け技能士の資格を有し、着付けの指導も行っている。(7年)							
【到達目標】 晴れの日の着付けにおいて知識を身に付け、実技を反復して練習することにより衣装店やブライダルヘアメイク業界に出て即戦力となる。また着付け師として着物や帯の柄とお客様の体型とのバランスを考慮し、見合った着せ付けが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	道具のセッティング、畳み方の復習。長襦袢を美しく着付けることができる。
2回目	長襦袢を美しく着付ける復習。黒留袖を着付けることができる。
3回目	長襦袢を美しく着付ける復習。黒留袖を着付けることができる。
4回目	帯結び演習①長襦袢、着物を5分で着付け、お太鼓結びまで出来るようになる。
5回目	帯結び演習②長襦袢、着物を5分で着付け、お太鼓結びまで出来るようになる。
6回目	帯結び演習③長襦袢、着物を5分で着付け、お太鼓帯結びまで出来るようになる。
7回目	帯結び演習④長襦袢、着物を5分で着付け、お太鼓帯結びまで出来るようになる。
8回目	【中間テスト】 20分で長襦袢着付けることができる。
9回目	補正を見直し、長襦袢を美しく着付け(15分)留袖、帯を35分で着付けることができる。
10回目	着物の知識を生かした接客のシュミレーションを身に付けることができる(お客様を対象とした提案力)
11回目	3人1組で着付けのヘルプを身に付けることができる(職務上で必要とされる技術)
12回目	3人1組で着付けのヘルプを身に付けることができる(職務上で必要とされる技術)
13回目	定期試験に向けて練習する。
14回目	★評価週 50分で黒留袖を着付ける。
15回目	★まとめ・追試/再試 50分で黒留袖を着付ける。
準備学習 時間外学習	相モデルで時間確保のため、授業前に必要な道具を準備しチャイムと同時に始められるようにする。ノートや動画を見直し復習する。筆記用具、定規(15センチ以上)マスク、フェイスシールドを持参する。ドラマや映画で着物を見る機会があったら意識して見てみる。
評価方法	中間テスト30%期末テスト70% 実技試験で評価。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 着物用語辞典・きもの入門	

科目名 (英)	ブライダル基礎 I Bridal foundation I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ブライダル業界での基礎知識を学び、ブライダルビジネスにおいて総合エキスパートを目指す授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
<p>基本をしっかりとし身に付けて、ブライダル業界に興味を持ち、将来の自己に役立ててほしいです。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、授業内容の説明、評価方法の説明(自己紹介)
2回目	ブライダルDVDでの感想(ホテル、レストラン)の相違を理解し説明できるようになる
3回目	ブライダルマナー(招待状の返信、参列者ファッション、のし袋の書き方等)を身に付けることができる
4回目	ブライダル概論(Ⅰ)ブライダル業界のマーケット、ブライダルの職種と役割りを学び身に付けることができる
5回目	ブライダル概論(Ⅱ)ブライダル用語Aを学び身に付けることができる
6回目	ブライダル概論(Ⅲ)ブライダル用語Aを引き続き学び身に付けることができる
7回目	中間テスト(ブライダル用語50問)対策を学び身に付けることができる
8回目	中間テスト解答と解説を学び身に付けることができる
9回目	ブライダル基礎(Ⅰ)披露宴の当日までのスケジュールを理解し説明できるようになる
10回目	ブライダル基礎(Ⅱ)今どきの演出&定番演出を理解し説明できるようになる
11回目	ブライダル基礎(Ⅲ)披露宴の基本プログラムを理解し説明できるようになる
12回目	ブライダル基礎(Ⅳ)披露宴の進行表を理解し説明できるようになる
13回目	各自で進行表の作成を学び身に付けることができる
14回目	イベントを企画、運営し実践できる
15回目	イベントを企画、運営し実践できる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	学科、中間テスト 50% 13回目の進行表作成 50%
受講生へのメッ セージ	ご入学おめでとうございます。ブライダル基礎をとにかく学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
ゼクシイまたは講師配付	

科目名 (英)	ブライダル基礎Ⅱ Bridal foundationⅡ	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界にてプロデュース業20年以上のキャリアを活かし、社会人としてのブライダル基礎知識を身に付け、後期ではよりリアルウェディングにおいての実践能力を深め、またコミュニケーション力を身に付けるようにします。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラクに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らブライダルの進行が出来る。 ・コミュニケーション力を高める。(特にトーク力の強化) 							

授業計画・内容	
1回目	披露宴の進行表を作成できる(グループワーク・洋・和)
2回目	和装進行表を作成できる(挙式、神殿)1日のスケジュールを理解する
3回目	和装進行表を作成できる(挙式、チャペル)1日のスケジュールを理解する
4回目	規模や招待客、披露宴の雰囲気をイメージし、カウンセリングシートを作成する
5回目	カウンセリングシート完成を目指す(わかりやすく、記入しやすく、要点の重要性を学ぶ)
6回目	カウンセリングシートによる新規接客の基本(挨拶・名刺交換・トーク力・提案力)
7回目	～中間テスト～
8回目	ハワイウェディングについて、日本打合せ・海外施行について理解し説明ができる
9回目	引出物、引菓子、縁起物の必要性を理解する / 見積書作成をし、見積書における説明ができる
10回目	①接客シュミレーションの基本(見積書からの提案ができる)
11回目	②接客シュミレーションの基本(進行表からの提案ができる)
12回目	③接客シュミレーションの基本(ペーパーアイテムからの提案ができる)
13回目	①ペーパーアイテム(招待状の基本知識を学ぶ)
14回目	②ペーパーアイテム(席次表、メニュー表の基本知識を学ぶ)
15回目	★評価週 ブライダル基礎の総試験
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 中間50% 期末50%
受講生への メッセージ	後期ブライダル基礎を学んでリアルウェディングで自信を持ち、新郎新婦とのコミュニケーション力を発揮できるようになれば幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】	
・ブライダルコーディネーターテキスト、スタンダード・講師テキスト配付	

科目名 (英)	フラワー実習 I Flower training I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえて、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだブライダル・フラワートレンド講義を行う。							
【実務経験】2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。							
【到達目標】 トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを学び、実践に活かすスキルを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介／前期授業内容について
2回目	昨今のブライダルトレンドを読み解き説明できるようになる。
3回目	シーズナルイベント装花／マザーズデーアレンジメント制作ができるようになる。
4回目	2022年のブライダルトレンドを学び説明できるようになる。
5回目	年間のフラワーイベントについて理解することができる。
6回目	ブライダルブーケ制作／クラッチスタイルについて理解することができる。
7回目	中間試験
8回目	昨今のテーブルコーディネートを理解することができる。
9回目	これまでの講義をふまえ、2022年ブライダルトレンドプレゼン資料を製作する。
10回目	ブライダルトレンドについて理解しプレゼンテーションすることができる
11回目	フラワーブーケ制作／サマーグリーンブーケの制作ができるようになる。
12回目	期末試験
13回目	まとめ・解答、授業を振り返りブライダルフラワーの一連の流れを説明できる。
14回目	イベントを企画、運営し実践できる
15回目	イベントを企画、運営し実践できる
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験30%/期末試験70%
受講生へのメッセージ	トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを実習を交えながら楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヘアメイク演習 Hair make exercise	必修 選択	必修 選択	年次	3
学科・コース	スタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に約20年間、フリーのヘアメイクアーティストとしてサロン、舞台、ショー、ブライダル現場などでヘアメイクを手掛けながら、様々なメイクの基礎知識、基礎技術を習得するための授業を行う。

※実務経験

フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門また、JMA認定講師としても活動。

【到達目標】

技術者としての心構え、接遇をよく理解し、現場に必要なメイクの基礎知識、基礎技術を習得、実践することができる。自分と

授業計画・内容		
1回目	技術者としての心構えを理解し、道具の使い方、ケア方法を知り、実践できる。	
2回目	フルメイクの流れを覚え、基本的なベースメイクの作り方を知り、理解できる。	
3回目	基本的なベースメイクの作り方を復習し、実践できる(セルフメイク)	
4回目	基本的なアイブロウの描き方、アイメイクの方法を知り、実践できる(セルフメイク)	
5回目	アイブロウ、アイメイクに加え、基本的なリップ、チークの入れ方を知り、実践できる(セルフメイク)	
6回目	ヘアアレンジ 道具の使い方を知り、実践できる。	
7回目	ヘアアレンジ 簡単なアレンジが作れるようになる。	
8回目	ヘアアレンジ 簡単なアレンジが作れるようになる。	
9回目	相モデルの接遇を知り、実践できる。	
10回目	基本的なベースメイクが施術できるようになる(相モデル)	
11回目	基本的なアイブロウ、アイメイクが施術できるようになる(相モデル)	
12回目	アイブロウ、アイメイクに加え、基本的なリップ、チークが施術できるようになる(相モデル)	
13回目	モデルに合わせてメイクができるようになる。	
14回目	★評価週	定期テスト モデル:
15回目		苦手部分を克服
準備学習 時間外学習	日頃から、メイクに興味を持ってみましょう。	

科目名 (英)	ホスピタリティ演習	必修 選択	必修 選択	年次	2
	Hospitality exercises	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース				

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に就職活動が始まった今、1年時で学んだことを復習し改めて実践していくことで自分事と捉えることができ、就職活動の大変さこの授業ではアウトプットをメインにして進めていきます。

【実務経験】

保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)／ホテルにプランナーとして1年勤務／結婚式場オ
BLD WEDDINGS株式会社にプランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる)
業界経験16年

【到達目標】

- ・自身の現状を把握し職種、受験企業を決定する
- ・グループディスカッションに対応できる
- ・選考に関する自身のウイークポイントを理解し対策を練ることができる
- ・深堀質問に対して答えることができる
- ・履歴書、自己PR、志望動機を完成させ面接に臨むことができる

授業計画・内容		
1回目	個々の就職活動現状確認し、各自対策をたてることできる(ヒアリングシート記入)	
2回目	なぜなぜ分析を基に自己PRを作成できるようになる	
3回目	志望動機、自己PRを作成し履歴書を完成させることできる	
4回目	グループ間で模擬面接を行い企業側(面接官)の「目線」を考慮することできる	
5回目	グループディスカッションを実践し各役割を理解することできる	
6回目	グループディスカッションを実践し各役割を理解することできる／志望動機、自己PRのチェック	
7回目	面接を受けるにあたっての注意点を理解することできる	
8回目	模擬面接を実施することできる	
9回目	模擬面接のフィードバックを基に自分を振り返ることできる	
10回目	SPI・一般常識問題を解くことできる	
11回目	①オンライン面接に対応することできる	
12回目	②オンライン面接について理解することできる	
13回目	期末テスト対策:与えられたテーマを基にグループディスカッションを実践することできる	
14回目	★評価週	期末テスト:グループディスカッションを実践することでき
15回目		社会人としての心構えを理解し説明することできる
準備学習 時間外学習		

科目名 (英)	ヨガ Yoga	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

4500年前から伝わるヨガの健康法を、カラダだけでなく内面や感情面へもアプローチし、現代社会における辛さや苦しみからの解放をテーマに授業をおこないます。カラダを動かすことによって全身の流れをよくし肉体の健康に働きかけます。カラダの痛みや癖がある生徒にはその癖を自力で改善できる力をつけることができるようにします。目に見えない問題やストレスに弱い生徒にはその解決方法をヨガによって見出します。

※実務経験
 ヨガスタジオ経営し、新人や養成講座の研修実績のある講師が担当します。(5年)

【到達目標】
 ヨガの歴史を知り、ヨガとは何なのかを理解し、説明できる
 ヨガの呼吸法を習得し、実生活の中に取り入れることができる。緊張する場面や自身の苦手な場面・怒りを鎮める等様々なシチュエーションに合わせた感情のコントロール方法をヨガを通じて学ぶことができる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	自己紹介・授業の説明。ヨガとは何かを知り、カラダとココロにおける健康の重要性が理解し説明できる	
2回目	ヨガの歴史について。ヨガの哲学や実践方法・目的を理解し説明できる	
3回目	①ヨガの呼吸法について。呼吸をおこなうことによって自律神経のバランスを整わせることができる	
4回目	②ヨガの呼吸法について。呼吸と感情がつながっていることを知り、感情のコントロール方法を学び説明できる	
5回目	①ヨガアサナ(ポーズ)の準備をおこなう。ストレッチやほぐしの体操で体を緩め動きやすい状態をつくることができる	
6回目	②ヨガアサナ(ポーズ)の準備をおこなう。呼吸と動きを同時におこない基本的なヨガの動き方を習得することができる	
7回目	③ヨガアサナ(ポーズ)の準備をおこなう。身体の癖や弱い部分を見つけて力強さをつけることができる。	
8回目	自身の体質について知ることができる。アーユルヴェーダのドーシャチェックをして自分の体質に合う習慣を学び実践できる	
9回目	ヨガの効能がどこへ働くのかを理解し説明できる。ココロとカラダの繋がりを知ることができる	
10回目	苦しみの原因を理解し、その対処法を学び説明できる(カルマヨガ・バクティヨガについて)	
11回目	①ヨガクラス(実践) ヨガのポーズを通して自分自身のカラダとココロのデトックスを実践できる	
12回目	②ヨガクラス(実践) バランスのポーズを通して自分の不安定さと向き合う力をつけることができる	
13回目	③ヨガクラス(実践) 1つ1つのポーズを通してヨガの最大の効能といわれる二重性からの解放をおこなうことができる	
14回目	★評価週	自分自身に集中するヨガクラス(テスト)
15回目	★まとめ・追試/再試	ヨガについての総復習、苦手を克服することができる

準備学習 時間外学習	規則正しい生活をして、ヨガクラスの実践に備えてください。
---------------	------------------------------

評価方法	期末テスト100パーセント
------	---------------

受講生への メッセージ	本講義は、現代社会におけるストレスへの対処法をヨガを通して学んでいきます。運動と思われがちなヨガですが、それはヨガのほんの一部に過ぎません。カラダもですが、1番は自分自身のココロの在り方を大切にしながら本講義を受講していただければ幸いです。
----------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい服装で受講してください。(ヨガマットは学校にて用意します)

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

レストランサービス技能検定を取得するための知識や技術を身に付ける。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)
ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

レストランサービス技能検定を取得するために、基本的なサービスを動きを理解し実践できる
場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する

授業計画・内容

1回目	ソムリエ協会推奨 ワイン抜栓の方法を学ぶ事が出来る
2回目	オレンジカットの方法を学ぶ事が出来る
3回目	レモンライス・カットが出来る様になる
4回目	スパイラルレモンの方法を学ぶ事が出来る
5回目	場面に応じたオーダーテイクのテクニックを学ぶ事が出来る
6回目	気がついて、減っていても注いではいけない水のサービス(グループワーク)を考える事が出来る
7回目	中間試験
8回目	グラスの磨き方を学ぶ事が出来る
9回目	テーブルナフキンの折り方を学ぶ事が出来る
10回目	箸置きを折る方法を学ぶ事が出来る
11回目	レモンライス・カットの応用ができるようになる
12回目	テーブルクロス(リネン全般)の使用方法を学ぶ事が出来る
13回目	試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 苦手を克服することができる
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生へのメッ セージ	

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>レストランサービス技能検定を取得するための知識と技術を身に付けます。</p> <p>※実務経験 教本に基づき知識の習得をする(実務経験)厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2004年国家資格1級取得、2005年HRSテーブルマナー認定講師、2009年HRS技能検定委員</p>							
【到達目標】							
<p>基本的には、食事の時に合わせるドリンク知識、酒類の分類、ソフトドリンクの分類。ドリンクタイプの基礎知識を習得する。 基本的なバーツール、カクテルメイクを指導し、基本的動作は出来る様にします。</p> <p>ブライダル業界でお客様に披露宴に関わる、フード・ドリンクの正しい知識を身に付け、提案することが出来る</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、他己紹介。授業の目的、授業の進め方について理解する。
2回目	(座学)カクテルタイプ、TPOについて理解できる (実技)バーツールの名称、扱い方を理解し説明できる
3回目	(座学)酒の種類、名称について理解できる (実技)ボトルの開け方、持ち方、注ぎ方を理解して実践できる
4回目	(座学)ワインの基礎知識を理解できる (実技)シェーキングの基礎を実践できる
5回目	(座学)ビールの基礎知識を理解できる (実技)ビルドの基礎を実践できる
6回目	(座学)ソフトドリンクの基礎を理解できる (実技)ノンアルコールカクテルをカクテルメイクできる
7回目	(中間試験)ドリンク全般の基礎知識の筆記試験、シェーキング実技試験
8回目	西洋料理:前菜・スープ・魚・甲殻類・家禽・野菜の基礎知識を理解し説明できる
9回目	中国料理の基礎知識を理解し説明できる
10回目	パスタ・チーズ・デザート・調理方法の基礎知識を理解し説明できる
11回目	メニュー(歴史・規則・構成)の知識を身につけお客様に提案できる基礎を理解し説明できる
12回目	日本料理の基礎知識を理解し説明できる(作法・マナー含む)
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業で行った酒類全般、ソフトドリンク、TPOなどの暗記と復習をする。 学んだ実技的なボトルの開け方、持ち方、注ぎ方、シェーキングの仕方等をイメージトレーニングする。
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 検定委員の経験を有する教員から現場で活かせる技術や知識を学びます。							
【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)							
【到達目標】 各国の歴史・文化を通じて知見を深める 〈具体的な目標〉 目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する 目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う 目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化							

授業計画・内容	
1回目	P93各種宴会の等のセッティング
2回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
3回目	レストランサービスの内容 (テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
6回目	レストランサービスの内容(食事の国際習慣・プロトコルの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装)を学び理解
7回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
10回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
11回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
12回目	課題を抽出し克服出来るようになる
13回目	試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	Restaurant skill test	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

レストラン技能検定を取得するために、レストランサービスの根本から理解を深めます。

25年に及び現場で培ったノウハウを活かしながら実社会で通用する心構えと行動指針をレストランマネジメントと紐付けて理解を深めていく授業です

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

授業を通じて日常の感謝を各分野の状況で活かせる考え方を身につける事が出来るようになる

〈具体的な目標〉

実例の反復によるホスピタリティ概念の習得

授業計画・内容

1回目	ホスピタリティの優先度が高い業界を考え実践例を挙げ学ぶ事が出来る(業界の特色を知る)
2回目	自分の価値観を挙げ優先順位をつけ結びつく場面の想定を考える事が出来る
3回目	学校生活におけるホスピタリティを考え行動に移す事が出来る
4回目	職場におけるホスピタリティを考え好転出来る環境を作る考え方を学ぶ事が出来る(コミュニケーション)
5回目	ホスピタリティを活かすツールを考え活用方法を学ぶ事が出来る(ツールの導入)
6回目	職場でのホスピタリティがもたらす効果を考える事が出来る(社内・職場内・ステークホルダー)
7回目	中間試験
8回目	経営者が従業員に対して考えるホスピタリティを学ぶ事が出来る
9回目	一期一会「once-in-a-lifetime meeting」を考える事が出来る
10回目	実例から読み取る場面の背景を考える事が出来る
11回目	実例を基に日本のクレーム対応を活かし次回来店に繋げられる考えを身につける事が出来る。(ケーススタディ①)
12回目	実例を基に日本のクレーム対応を活かし次回来店に繋げられる考えを身につける事が出来る。(ケーススタディ②)
13回目	試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 検定委員の経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を学びます。							
【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)							
【到達目標】 実社会で通用する基礎知識を取得し説明が出来るようになる 実生活で活用する知識を得て実践する考え方の習得							

授業計画・内容	
1回目	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる
2回目	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食器用具・備品を学び理解する事ができる
3回目	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる
4回目	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
6回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
7回目	中間試験
8回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
9回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
10回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
11回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来るようになる
12回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
13回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
14回目	課題を抽出し克服出来るようになる
15回目	★まとめ 期末試験
準備学 習 時間 外学習 評価方 法	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
受講生 へのメッ セージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

検定委員の経験を有する教員から現場で活かせる技術や知識を学びます。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

レストランサービス技能検定を取得するための知識と技術を身に付け、夏季試験に合格する

〈具体的な目標〉

目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する

目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う

目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化

授業計画・内容

1回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
2回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
3回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
6回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
7回目	中間試験
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
10回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
11回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
12回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
13回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 苦手を克服することができる
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験・期末試験
受講生へのメッ セージ	

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	英会話 English Conversaion	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。							
※実務経験 数々の企業にてビジネスパーソンやグローバルリーダー向け英語研修を10年以上担当。							
【到達目標】 日常生活やビジネス等で、よく出てくるトピックに関して自信を持って話すことができる。							

授業計画・内容	
1回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す、質問することができる
2回目	L. 19 場所を尋ねる、説明することができる
3回目	L. 20 道案内をする、尋ねることができる
4回目	L. 21 料金について尋ねる、説明することができる
5回目	L. 23 頻度について質問する、答えることができる
6回目	L. 24 アイテムの特徴を説明することができる
7回目	L. 25 食べ物の量について話す、尋ねることができる
8回目	L. 26 必要性に関して話す、尋ねることができる
9回目	L. 27 食生活について話す、説明することができる
10回目	L. 28 食べ物について説明する、尋ねることができる
11回目	L. 29, 30, 31 過去の出来事について話す、質問することができる。ある出来事に対してのリアクションや返答ができる
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる
13回目	総復習 わからないことを質問しテスト対策ができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
評価方法	試験100%
受講生へのメッセージ	次のレベルに進みました。更に自信をもって流暢に話せるよう一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 Speak Now 1	

科目名 (英)	英会話 English Conversaion	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。</p> <p>※実務経験 数々の企業にてビジネスパーソンやグローバルリーダー向け英語研修を10年以上担当。</p> <p>【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話すことができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	L. 1 初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる	
2回目	L. 2, 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる	
3回目	L. 5, 6 好き・嫌い等の好みについての会話や質問返しができる	
4回目	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べるができる	
5回目	L. 11,12 人を褒める&褒められた際の会話表現や、(衣服など)着ているものに関して述べるができる	
6回目	L. 7, 13, & 14 時間について表現することができる。日々の習慣について話す&質問することができる	
7回目	L. 19, 20 道案内をする・場所を尋ねることができる	
8回目	L. 21, 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをすることができる	
9回目	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーができる	
10回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す&質問することができる	
11回目	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答ができる	
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる	
13回目	総復習 わからないことを質問できる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んで起きましょう。	
評価方法	試験100%	
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		
Speak Now 1		

科目名 (英)	音響・照明演習 Sound and lighting exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ブライダルにおける音響・照明・映像・演出業務の学習及び実習をおこないます。現在取り締まりが厳しくなっているブライダル業界における音楽著作権、違法ダウンロードの説明等。特殊な演出業務。最新鋭の映像演出(プロジェクションマッピング)等をしっかり体感してもらいながら学んでまいります。</p> <p>※実務経験 アルマリアン福岡(2013～)、ホテルマリノリゾート福岡(2020～)、博多百年蔵(2019～)、ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート(2013～)、ホテルモントレラスール福岡(2011～)、ララシヤンス伊万里迎賓館(2016～) 音響照明セクション現場責任者</p>							
【到達目標】 業界の中身を詳しく説明し、音響・照明・映像・演出業務の基礎の部分を理解出来る。 プランニングする上で、お客様の思いを形にする事が出来るという事をプランナーの立場として理解する事が出来る。 これからのブライダル業界のエンターテインメント性を理解する事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	ブライダル演出業務について * 演出内容が理解できるようになる。
2回目	ブライダルにおける音響操作についてまた基本的知識 * 簡易的な操作の流れの意味がわかるようになる。
3回目	音楽著作権、および違法ダウンロードについて * 法律による規制が理解出来るようになる。
4回目	BGMコーディネートについて① * お客様として * 新郎新婦の気持ちが理解出来るようになる。
5回目	BGMコーディネートについて② * コーディネーターとして * プランナーとしての気持ちが理解出来るようになる。
6回目	機材関係について① 宴会場にスタンバイされている機材関係について * 機材の簡易的な操作が理解出来るようになる。
7回目	機材関係について② 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
8回目	機材関係について③ 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
9回目	サプライズ演出(フラッシュモブ、メモリアル等について) * サプライズ演出が理解出来るようになる。
10回目	プロジェクションマッピング演出について * 大画面映像演出の仕組みが理解出来るようになる。
11回目	スマートフォンでの活用法① 写真加工等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる
12回目	スマートフォンでの活用法② 写真加工等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。
13回目	スマートフォンでの活用法③ 動画等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。(評価)レポート提出
14回目	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる①
15回目	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる②
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポートによる試験を行います。一人一人の考えや意見を尊重していきながら、しっかり思いを記入していただくような内容にしたいと考えております。また、内容によって実技も入れていこうと考えております。
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。コロナ禍の中で大変な時期にこの業界のお仕事を志してくれて本当に嬉しく思います。みなさんの力がこれからのこの業界を必ずもっと上のステージに持ち上げていけると確信しております。しっかり楽しく勉強していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	韓国語 I・II Korean I・II	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>延世大学語学堂卒業。最高級6級を取得。留学生活を送りながら生きた韓国語を学んだ講師と共に、ハングル文字の仕組みや自然な会話、現地で使える言葉やフレーズを身につけ、旅行や韓国人のお客様を迎える時、活用できる韓国語を学んでいきます。それぞれのシチュエーションに合った韓国語を学び活かせることを目標とします。主にロールプレイ形式で授業を進行し、空港で使えるフレーズ等もしっかりと学習していきます。</p> <p>※実務経験 韓国6年在住、教員免許取得。</p> <p>【到達目標】 読み・書き・聞く・話すをバランス良く学習し、実際に韓国人と話す際に緊張せず、シチュエーションに合った自然な受け答えができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	アンニョンハセヨ！自己紹介・韓国語を学ぶ前に！ ハングルの構成を理解し説明できる	
2回目	母音子音について理解し説明できる	
3回目	母音子音・パッチムについて理解し説明できる	
4回目	発音について理解し説明できる・自己紹介ができる	
5回目	小テスト(読み・書き)・助詞(～が・～に)と代名詞について理解し説明できる	
6回目	動詞・形容詞の活用、語尾文法(～です・～ます)について理解し説明できる	
7回目	否定文を学び活用することができる・旅行で使えるフレーズを活用することができる	
8回目	存在・場所を現す品詞について学び活用することができる・道案内で使えるフレーズを活用することができる	
9回目	漢数字・カレンダー・時計を読むことができる	
10回目	小テスト・機内で使えるフレーズを活用できる	
11回目	フレーズ確認を確認し説明できる	
12回目	K-POPで学ぶ韓国語を理解し説明できる	
13回目	総復習・質問・理解を深め、テスト対策ができる	
14回目	★評価週	テスト(筆記&スピーキング)
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト結果の確認、全体のまとめ
準備学習 時間外学習	復習を中心とし、週1時間程度の自習をお勧めします	
評価方法	小テスト・期末テスト	
受講生へのメッセージ	韓国語を学ぶにあたって重要なポイントをわかりやすく丁寧に説明します。たくさん話し、聞くことを主にして、授業を進行します。小テストは簡単で授業をしっかりと聞けば解けるレベルです。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリントを毎時間配布します		

科目名 (英)	韓国語 I・II	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	Korean I・II	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての韓国語教育を行ってきました。ホスピタリティ業務に使えるオリジナル教材を作って、韓国語の基礎を更に固め、発音・文字・文法を中心に深く指導していきます。授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりして、流暢に話せるまで練習してもらいます。

※実務経験
韓国6年在住、教員免許取得。

【到達目標】

韓国語を通じて異文化に触れ、国際的な感覚を身に付けることができる。韓国語での、日常会話、ビジネス会話ができるようになるための基礎を身に付けることができるようになる。

授業計画・内容

1回目	今学期の目標、計画、学習内容をみんなで確認してから、各自のスケジュールを立てて、全員で学習を進めることができる。	
2回目	単語の量を増やし試験問題を解くことができる。	
3回目	日常会話・ビジネス会話を勉強し、仕事場の対応ができる。	
4回目	各自の問題点を見つけ、克服方法を考え、韓国語を一つ一つ身につけることができる口	
5回目	検定試験の内容、勉強方法について再確認し、試験対策を身につけることができる	
6回目	ホスピタリティ業界の言葉、会話を勉強し、仕事現場に臨む能力を身に付け実践できる	
7回目	問題を徹底的にやることによって、問題解決のキーポイントを掴むことができる	
8回目	リスニング難関問題を乗り越えるように、聴力をアップすることができる。	
9回目	練習問題をたくさんやることによって、単語を集中して覚えることができる。	
10回目	将来の職場の場面を設定して、韓国語で対応できるように、会話を身につけることができる。	
11回目	実際の仕事内容と結び付けて、韓国人カスタマーサービスができる。口	
12回目	今までの間違った問題の訂正、勉強を進め、一人一人の語学能力を更に高めることができる。	
13回目	今までの学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	まとめ	フィードバック、苦手を克服できる

準備学習
時間外学習

評価方法

- 授業態度(30%)
 - 小テスト(20%)
 - 定期テスト(50%)
- 割合で成績評価を行う。

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	韓国 I・II	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	Korean I・II	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての韓国語教育を行ってきました。ホスピタリティ業務に使えるオリジナル教材を作って、韓国語の基礎を更に固め、発音・文字・文法を中心に深く指導していきます。授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりして、流暢に話せるまで練習してもらいます。

※実務経験
韓国6年在住、教員免許取得。

【到達目標】

韓国語を通じて異文化に触れ、国際的な感覚を身に付けることができる。韓国語での、日常会話、ビジネス会話ができるようになるための基礎を身に付けることができるようになる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	今学期の目標、計画、学習内容をみんなで確認してから、各自のスケジュールを立てて、全員で学習を進めることができる。	
2回目	プリントを配り、会話練習しながら、単語の量を増やすことができる	
3回目	各自の問題点を見つけ、修正方法を考えることができる①	
4回目	各自の問題点を見つけ、修正方法を考えることができる②	
5回目	各自の問題点を見つけ、修正方法を考えることができる③	
6回目	個別指導、各自の問題点を見つけ、改善方法を考えることができる	
7回目	中間テスト、検定試験前のチェック	
8回目	全面的に復習し、試験問題のポイントを再チェックできる	
9回目	間違った問題の訂正ができる	
10回目	日常会話・ビジネス会話を理解し実践できる	
11回目	実際の仕事場面を設定し、韓国人カスタマーサービスを理解し実践できる	
12回目	検定試験3級の内容、勉強方法について理解し実践できる	
13回目	期末試験について、全面的に復習	
14回目	★評価週	筆記・会話
15回目	★まとめ・追試/再試	反省会・間違った問題を訂正ができる

準備学習 時間外学習	随時単語の暗記・会話の練習・過去問題の復習	
------------	-----------------------	--

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
------	--	--

受講生へのメッセージ		
------------	--	--

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate project	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。 企業様からの課題に取り組みます							
【実務経験】 プライダル業界25年間で、プライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 プライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 相手に伝わるプレゼンテーションができる。 企業で通用する企画立案ができる。 課題に対する問題解決ができる							

授業計画・内容		
1回目	企業様から課題オリエンテーション、課題を理解し説明できる	
2回目	課題を理解し説明することができる	
3回目	課題に対する問題解決案を立案することができる①	
4回目	課題に対する問題解決案を立案することができる②	
5回目	課題に対する問題解決案を立案することができる③	
6回目	課題に対する問題解決案を立案することができる④	
7回目	課題に対する問題解決案を立案することができる⑤	
8回目	中間学内発表	
9回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる①	
10回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる②	
11回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる③	
12回目	課題の問題解決をチームで考案する①	
13回目	課題の問題解決をチームで考案する②	
14回目	★評価週	企業様へプレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック
準備学習 時間外学習	相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。	
評価方法	最終プレゼンテーションにて評価する	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
各自、ノートと筆記用具を持参してください。		

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate project	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。 企業様からの課題に取り組みます							
【実務経験】 プライダル業界25年間で、プライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 プライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 相手に伝わるプレゼンテーションができる。 企業で通用する企画立案ができる。 課題に対する問題解決ができる							

授業計画・内容	
1回目	企業様から課題オリエンテーション、課題を理解し説明できる
2回目	課題を理解し説明することができる
3回目	課題に対する問題解決案を立案することができる①
4回目	課題に対する問題解決案を立案することができる②
5回目	課題に対する問題解決案を立案することができる③
6回目	課題に対する問題解決案を立案することができる④
7回目	課題に対する問題解決案を立案することができる⑤
8回目	中間学内発表
9回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる①
10回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる②
11回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる③
12回目	課題の問題解決をチームで考案する①
13回目	課題の問題解決をチームで考案する②
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。
評価方法	最終プレゼンテーションにて評価する
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
各自、ノートと筆記用具を持参してください。	

科目名 (英)	空間コーディネート Spatial coordination	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】フローリスト/フラワーアーティストとしてフラワーブランドを主宰する講師が、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ講義を実施します。プランニングやアレンジメント実技なども交え、実践力となるスキルを身につけ、進路の選択肢を広げます。 【実務経験】2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。							
【到達目標】 最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介/空間コーディネートのトレンドを考察し、レポートにまとめることができる	
2回目	空間コーディネートとは何か理解することが出来る	
3回目	課題発表/ディスカッションをすることができる	
4回目	ディスプレイに用いる什器の組み合わせ方法を理解することが出来る	
5回目	シーズナルイベント装花を制作できる	
6回目	商品ディスプレイについて理解することが出来る	
7回目	「ドレスコーディネートと生花」とは何かを理解することが出来る	
8回目	中間試験	
9回目	プラントハンガー制作ができる	
10回目	NEOLめ飾り制作ができる	
11回目	色彩がもたらす心理効果を理解することが出来る	
12回目	スタイリストコースが制作しているドレスを使用し、ディスプレイプランニングする①	
13回目	スタイリストコースが制作しているドレスを使用し、ディスプレイプランニングする②	
14回目	★評価週	ドレスディスプレイができる①
15回目	★まとめ・追試/再試	ドレスディスプレイができる②
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間試験30% 期末試験70%	
受講生への メッセージ	最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することで、空間コーディネート力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	司会・アテンド演習 Moderator / Attend Exercise	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>・司会経験者である講師がボイストレーニングから披露宴の司会が出来るようにし、アテンダー(挙式・披露宴のアテンダー)の経験がある講師による実技で理解を深める</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p> <p>【到達目標】 1～8の司会実技では、各自が進行に従いスムーズな声や姿勢を司会者としてできる。 9～13のアテンダー実技ではプランナーとして新郎新婦に寄り添うことができ、信頼のできるアテンダーの任務ができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	①ボイストレーニング、新郎新婦入場・開宴の辞・主賓挨拶・乾杯のコメントができるようになる	
2回目	②祝宴開始・新婦お色直し入場・ウエディングケーキ入刀のコメントができる	
3回目	③新郎新婦退場・友人スピーチ・子供花束のコメントができる	
4回目	④余興コメント・電報コメントのコメントができる	
5回目	⑤キャンドルサービス・フォトサービス・プロフィールコメントができる	
6回目	⑥花束贈呈・両家代表謝辞・新郎新婦退場・お開きのコメントを習得する	
7回目	⑦テスト対策(質問)	
8回目	⑧中間テスト 司会実技(評価)	
9回目	⑨アテンド業務の役割について理解を深める(講師紹介と授業の目的)	
10回目	⑩挙式から披露宴までのアテンド業務の流れを習得する	
11回目	⑪新婦の歩き方や姿勢・ブーケの持ち方など実践できるようになる	
12回目	⑫アテンド実技で披露宴の流れを実践できるようになる(前半)	
13回目	⑬アテンド実技で披露宴の流れを実践できるようになる(後半)	
14回目	★評価週	⑭アテンド実技のテスト(評価)
15回目	★まとめ	フィードバック、授業を振り返り苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト50% 期末テスト50%	
受講生へのメッセージ	司会・アテンドの実技を身に付け、実際のブライダルにて役立てて自信を持ち、プランナーとしての誇りにしてほしいです	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	手話Ⅱ Sign Language	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。 聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。							
※実務者経験： ・手話奉仕員養成講座講師として17年 ・手話通訳養成講座指導者として3年 ・外部手話講師として13年							
【到達目標】 1年時の総復習を行い、自身の手話習得状況を把握することができる。手話表現の読み取り技術の向上を目指し、基本的な会話の読み取りができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	第28講座 話し合ってみましょうⅢ -空間をうまく使いましょう①左右・前後の空間活用ができる-
2回目	第29講座 話し合ってみましょうⅢ -空間をうまく使いましょう②上下空間・指さしと視線の活用ができる-
3回目	第30講座 話し合ってみましょうⅢ -両手や指をうまく使いましょう①手話で同時性の表現ができる-
4回目	第31講座 話し合ってみましょうⅢ -両手や指をうまく使いましょう②手話で指の代理的表現ができる-
5回目	第32講座 話し合ってみましょうⅢ -手話で繰り返しの表現ができる-
6回目	第33講座 話し合ってみましょうⅢ -手話で意味に合った手話ができる-
7回目	第34講座 話し合ってみましょうⅢ -空間・両手や指を使って手話で表現できる-
8回目	第35講座 総合練習 -基本文法を手話で表現できる-
9回目	第36講座 総合練習 -基本文法を手話で表現できる-
10回目	第37講座 総合練習 -ろう者の手話スピーチを見て、理解できる-
11回目	第38講座 総合練習 -手話を使ってみんなで話し合うことができる-
12回目	手話を使ってみんなで話し合うことができる①
13回目	手話を使ってみんなで話し合うことができる②
14回目	★評価週
15回目	★まとめ
準備学習 時間外学習	講師が、予習・復習をしながら、学習の内容を決めます
評価方法	テストの点数、授業中の態度などを評価します
受講生への メッセージ	「テキストを進めつつ、今まで習った第27講座までを生かして、ミニテスト・会話などもどんどん取り入れようと思います。 一緒に頑張りましょう。」
手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう	

科目名 (英)	手話 I・II sign language I・II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 聴覚障害のある人の生活上の困難を理解し、適切に対処するためには、困難の原因となっている聴覚障害や言語障害を理解する。個別的な困難・不便などの課題や対応方法を学び、聴覚障害者とのコミュニケーションや手話による会話の実践を行う。							
※実務者経験： ・手話奉仕員養成講座講師として17年 ・手話通訳養成講座指導者として3年 ・外部手話講師として13年							
【到達目標】 手話の基本文法を習得する。							

授業計画・内容		
1回目	「表情豊かに、具体的に」①表情・強弱・速度を理解し実践できる	
2回目	「表情豊かに、具体的に」②具体的表現(様子や形)を理解し実践できる	
3回目	「表情豊かに、具体的に」③具体的表現(動き)を理解し実践できる	
4回目	「主語をわかりやすく」①位置・方向(一対一で)理解し実践できる	
5回目	「主語をわかりやすく」②位置・方向(この場にはいない第三者を含んで)を理解し実践できる	
6回目	「主語をわかりやすく」③役割の切り替えを理解し実践できる	
7回目	「主語をわかりやすく」④指さしを理解し実践できる	
8回目	「空間をうまく使いましょう」①左右・前後の空間活用を理解し実践できる	
9回目	「空間をうまく使いましょう」②上下空間・指さしと視線の活用を理解し実践できる	
10回目	「両手や指をうまく使いましょう」①同時性を理解し実践できる	
11回目	「両手や指をうまく使いましょう」②指の代理的表現を理解し実践できる	
12回目	「繰り返しの表現」を理解し実践できる	
13回目	「意味に合った手話」理解し実践できる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう		

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基本的な就活スキルを学ぶ講座です。学生の自主的な活動につながるよう自己分析や履歴書の書き方や面接対策をはじめ面接官が質問する意図や求人票の見方など、実際の就職活動を効果的に進めていくための方法や、社会人としての心構えやビジネスマナーなどを織り込み、就活に対する不安を取り除きながら社会的スキルの底上げを目指す。</p> <p>※実務者経験：2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1. 自分の夢や目標を設定する。 2. 就活に対する不安を払拭し、面接力の向上と社会的スキルを磨く。</p>							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:授業の説明 ワークを通して就職活動の心構えについて理解することができる	
2回目	インターンシップ研修について目的を知り、事前の準備や電話応対などできるようになる	
3回目	会社訪問のルールやマナー、名刺交換などを身につけることができる	
4回目	履歴書の書き方、宛名書きなどを身につけることができる	
5回目	自己分析を通して、自己PRや自分の長所・短所など自分を客観的にみることができる	
6回目	自己分析を通して、自己PRや自分の長所・短所など自分を客観的にみることができる	
7回目	★中間試験	
8回目	求人票から、雇用形態、各種保険(税金)について理解することができる	
9回目	面接の目的と種類を理解し、服装と身だしなみの重要性を理解する	
10回目	面接の基本マナーと入室から退室までの基本動作を身につけることができる	
11回目	面接の受け答え(OK例・NG例)を動画から学び、実践することができる。	
12回目	面接リハーサル	
13回目	面接リハーサル	
14回目	★評価週	期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試	まとめ・フィードバック、苦手を知り克服することができる
準備学習 時間外学習	授業で学ぶことの積み上げに加え、日頃からニュース・新聞・雑誌・ネットなど自分が目指す業界について情報収集すること。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間試験・・・20% ● 評価試験・・・80% 	
受講生へのメッセージ	就職活動とは、あなたがやりたいこと、将来の夢を実現するための第一歩の活動です。そのためにはまず、自分自身を知ることや夢や目標を明確にし、有意義な人生にしましょう。 授業では、発言の機会やロールプレイングを取り入れていますので、「練習の場」と思って積極的に参加してください。 配布されたプリントは各自でファイリングし、毎回持参してください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント(適宜配布)		

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
企業が求める「人材」を理解し、体现できるよう表現力や行動力を身につけます。 対話スキルを上げることにより、気づきの感度を身につけます。社会人としての第一歩を自信を持って踏み出せるようビジネスマナーを習得します。 ※実務者経験：2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。							
【到達目標】							
①内定を頂くことができる準備を行うことができる。②基本的なビジネスマナーを身に付け、社会人としての準備をすることができる。							

授業計画・内容		
1回目	就職活動の進捗状況確認を行い、現状に対する考えを発表することができる / シラバスの説明	
2回目	受験経験を共有し、各々の対策に活かすことができる / 内定者は受験体験レポートを作成することができる	
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる / 内定者は就職予定先の企業研究を深める	
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる(目指す将来の展望を理解する)/グループワークを通してコミュニケーション力をつける	
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる / グループワークを通してリーダーシップを学ぶことができる	
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる/志望企業に応じた応募書類を作成することができる	
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる(一問一答)	
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる	
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる/グループワークを通してコンセンサスを得る方法を学ぶことができる	
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる/受験終了者:入社後の魅力ある自己紹介をすることができる	
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究	
12回目	ビジネスマナー① 社会人としての心構え/コンプライアンス/電話応対	
13回目	ビジネスマナー② 報連相/名刺の受け渡し/ビジネス文書	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	定期テスト100%	
受講生への メッセージ	自分の可能性を最大限に広げ、目標を達成させましょう。成功に必要なのは、なぜ、出来ないのかという理由ではなく、どうすればできるかという前向きな考え方であり、行動です。このような状況だからこそ、前を向いて目標に向かって努力することを惜しまない。その努力の結果が、自信と誇りになります。皆さんの輝く姿を心から楽しみにしております。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

本校にて多くの卒業生の就職講座を担当してきた教員による、就職活動に向けた基礎講座を行います。
自己分析、他己分析、就職活動に伴う書類対策を行う。質疑応答対策(グループ面接)、オンライン面接対策も行う。

※実務者経験 : 2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。

【到達目標】

11月末までに履歴書完成が出来る。
面接官に左右されない、オンライン・対面面接に対応できるようになる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	適正検査(能力検査、性格検査)について知ることが出来る。	
2回目	会社説明会(オンライン企業説明会の注意点)について知ることが出来る。	
3回目	対面面接・オンライン面接のそれぞれの第一印象の違いなどについて理解できる	
4回目	面接時の言葉遣いについて理解し、実践できる。	
5回目	自己分析を行うことが出来る①	
6回目	自己分析を行うことが出来る②	
7回目	自己PRのキーワード・キャッチコピーを自身で考え発表できる	
8回目	面接時の入室から退出までの具体的マナーを知ることが出来る	
9回目	接遇五原則(特にみだしなみについて)理解、実践できる。	
10回目	履歴書を完成させることが出来る	
11回目	ES(エントリーシート)を完成させることが出来る	
12回目	質問大会を行い面接時の対応力を磨くことが出来る	
13回目	総まとめ 後期で学んだことを再確認し実行できる。	
14回目	★評価週	期末試験グループ面接①
15回目	★まとめ・追試/再試	期末試験グループ面接②

準備学習 時間外学習	
------------	--

評価方法	グループ面接100%
------	------------

受講生へのメッセージ	面接は普段会うことのない大先輩たちとの出会いです。貴重な出会いを大切に心に残していきたいと思います
------------	---

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
就職活動が始まった今、1,2年次で学んだことを復習し改めて実践していくことで自分事と捉えることができ、就職活動の大変さ、大切さを理解してもらいます。 この授業ではインプットをメインにして進めていきます。							
【実務経験】 保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)/ホテルにプランナーとして1年勤務/結婚式場オープニングの為プランナーとして2年勤務 BLD WEDDINGS株式会社にプランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる) 業界経験16年							
【到達目標】 ・自身の現状を把握し職種、受験企業を決定する ・グループディスカッションに対応できる ・選考に関する自身のウィークポイントを理解し対策を練ることができる ・深掘質問に対して答えることができる ・履歴書、自己PR、志望動機を完成させ面接に臨むことができる							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(授業内容の説明・自己紹介をプレゼン風に)
2回目	何故面接対策が必要なのかという事を理解できる/なぜなぜ分析をする
3回目	志望動機、自己PRを作成し履歴書を完成させることができる
4回目	グループ間で模擬面接を行うために企業側(面接官)の「目線」を考えてみる
5回目	グループディスカッションの出題テーマの傾向、流れ、仕組みを理解することができる
6回目	グループディスカッションを実践し各役割を理解することができる
7回目	面接を受けるにあたっての注意点について理解し説明できる
8回目	模擬面接を行い、自己振り返りができる
9回目	模擬面接のフィードバックをうけ、自己振り返りができる
10回目	SPI一般常識問題について傾向を理解し説明できる
11回目	①オンライン面接について理解することができる
12回目	②オンライン面接について理解することができる
13回目	1～13回の内容を理解し、期末テストの対策ができる
14回目	★評価週
15回目	期末テストを実施 テスト返却・テスト解答/模擬面接をすることができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト50% 模擬面接50%
受講生への メッセージ	来年年明けても自己PRや志望動機考えていたいですか？ 卒業式の時まで考えていたいですか？ みんな一緒に笑って卒業するために、今、この瞬間から就職活動を頑張り、 夏休みの間までに内定をもらい、学生最後の長期休暇(冬休み)を心おきなく楽しみましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	宿泊業務実習 Accommodation Business Training	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテルの重要な営業部門である宿泊部門の業務の中でも特に、フロントサービスとハウスキーピングについて、その業務内容と役割などを講義実践形式で学ぶとともに、社会人スキルの底上げとホテルマンシップを習得することができる。							
【実務経験】 藤田観光株式会社ワシントンホテルにてフロント課勤務(3年)							
【到達目標】 ①ハウスキーピングの基礎を学び、マニュアルに沿って実施することができる。 ②フロントの業務内容の基礎知識を座学やロールプレイングを通じて学ぶことができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:講義の説明、ホテルビジネスの概要とホテルマンシップ(動機づけ)を理解する
2回目	ハウスキーピング業務① ベッドメイキングと客室備品、客室の種類について理解することができる
3回目	ハウスキーピング業務② ベッドメイキングとルームインスペクションを実践し、ベッドメイキングの流れを把握することができる
4回目	ハウスキーピング業務③ ルームアメニティとSDGsについて理解することができる
5回目	フロントオフィスの業務特性と役割について理解することができる
6回目	ホテル専門用語を使いながらチェックイン、チェックアウトの流れを理解し実践することができる
7回目	宿泊予約の電話対応を実践形式で学び、対応することができる
8回目	ドアマン、ベルスタッフ、コンシェルジュの業務内容を実践形式で学び、理解することができる
9回目	コンプレイン対応:様々な事例を取り上げ、苦情が起きる原因とお客様心理を理解し適切に対応することができる
10回目	リスクマネジメント:ホテルビジネスにおける危機管理、新型コロナウイルスについて理解することができる
11回目	前期授業のまとめ
12回目	★評価週
準備学習 時間外学習	常にモチベーションを高く、視野を広く持つこと。 体調管理に注意し、欠席しないように務めること。
評価方法	●実技試験・・・80% ●授業態度・・・20%(授業への取り組み姿勢と意欲も加味する) ※評価の詳細については、授業内で周知します。
受講生への メッセージ	お客様が望まれるサービスを提供し感動を与えるサービスのプロフェッショナルになるために、講義を受けるときはお客様目線で考え主体的に参加を期待します。そして上記にも書きましたが、常にモチベーションを高く視野を広く持つことや、体調管理はホテルマンにとっては必須ですので日頃から意識してください。 必要に応じてプリントを配布しますので、各自でファイリングしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】 宿泊業務の基礎/一般財団法人日本ホテル教育センター	

科目名 (英)	卒業制作 presentation to mark the two years study	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】

1年間学んだブライダル基礎知識を活かし、オリジナルテーマウェディングを企画・運営します。

【実務経験】

ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。
株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)

【到達目標】

オリジナル挙式・披露宴を考案→チームで運営することができる
挙式・披露宴施行に必要な役割を実践できる
チームワークを発揮することができる

授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】授業の目的を理解し説明することができる	
2回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる①	
3回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる②	
4回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる③	
5回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる④	
6回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる⑤	
7回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる⑥	
8回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる①	
9回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる②	
10回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる③	
11回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる④	
12回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる⑤	
13回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる⑥	
14回目	★評価週	当日のオペレーションができる①
15回目	★まとめ・追試/再試	当日のオペレーションができる②

準備学習
時間外学習

評価方法

レポート評価100%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	進級制作 Promotion production	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。企業様の担当者とオンラインで話す機会を設け、旅行立案のポイントを学び、企画書を用いたプレゼン実践を行います。

【実務経験】株式会社JTBにて3年間勤務。総合職として法人営業に携わる。旅行の企画立案・添乗など幅広く経験。その後、三井不動産グループ、東京ミッドタウンマネジメント株式会社へ転職。店舗マネジメント業務を経た後、イベント企画業務に携わり、イルミネーションなどの大型イベントを手がける。その後、独立し、研修講師やMC、執筆家としても活動している。講師歴5年。

【到達目標】

相手に伝わるプレゼンテーションができる。
企業で通用する企画立案ができる。
旅行立案ができる。

授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】授業の目的を知る。人の心に響く発声方法を学び、自己紹介・他己紹介をする。	
2回目	人前に立つ時の身だしなみや立ち居振る舞い、発声方法を習得する。また、プレゼンテーションの基本である話の組み立て方について理解し、実践できるようにする。	
3回目	SDS法・PREP法を使ったプレゼンテーションができるようになる。	
4回目	SDS法・PREP法を使い、企業における企画立案とプレゼンテーションができるようになる。	
5回目	企業様から旅行会社での仕事内容と旅行の企画について学ぶ。企画立案の基礎を理解し、説明できるようにする。	
6回目	企画書作成におけるタイトル付けや全体構成のコツを学び、パワーポイント作成ができるようになる。	
7回目	課題に対する企画を立案できるようにする。	
8回目	【中間テスト】企画内容をパワーポイント資料として作成し、プレゼンテーションできるようにする。	
9回目	海外旅行(個人・団体)の企画を立案できるようにする。	
10回目	海外旅行(個人・団体)の企画内容をパワーポイント資料として作成し、プレゼンテーションできるようにする。	
11回目	海外ウエディング+旅行企画を立案できるようにする。	
12回目	海外ウエディング+旅行企画内容をパワーポイント資料として作成できるようにする。	
13回目	海外ウエディング+旅行企画内容をパワーポイント資料を基に、プレゼンテーションできるようにする。	
14回目	★評価週	海外ウエディング+旅行企画プレゼン発表を行う。
15回目	★まとめ・追試/再試	企業様からのフィードバック

準備学習
時間外学習

相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。

評価方法

中間テスト20%、期末テスト80%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	卒業制作 presentation to mark the two years study	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。
企業様からの課題に取り組みます

【実務経験】
ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。
株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)

【到達目標】
相手に伝わるプレゼンテーションができる。
企業で通用する企画立案ができる。
課題に対する問題解決ができる

授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】授業の目的を知る。人の心に響く発声方法を学び、自己紹介・他己紹介をする。	
2回目	人前に立つ時の身だしなみや立ち居振る舞い、発声方法を習得する。また、プレゼンテーションの基本である話の組み立て方について理解し、実践できるようにする。	
3回目	SDS法・PREP法を使ったプレゼンテーションができるようになる。	
4回目	SDS法・PREP法を使い、企業における企画立案とプレゼンテーションができるようになる。	
5回目	企業様から課題オリエンテーション、課題を理解し説明できる	
6回目	課題の問題解決をチームで考案する①	
7回目	課題の問題解決をチームで考案する②	
8回目	課題の問題解決をチームで考案する③	
9回目	課題の問題解決をチームで考案する④	
10回目	課題の問題解決をチームで考案する⑤	
11回目	課題の問題解決をチームで考案する⑥	
12回目	課題の問題解決をチームで考案する⑦	
13回目	課題の問題解決をチームで考案する⑧	
14回目	★評価週	企業様へプレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック

相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。

準備学習
時間外学習

評価方法
最終プレゼンテーションにて評価する

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。</p> <p>※実務経験 茶道裏千家の師範として10年以上独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。</p> <p>【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。</p>						

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・茶道の歴史を知ることが出来る。(千利休の人物像)茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。
2回目	和室でのふるまい(襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方)を知ることが出来る。
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。①
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
5回目	家でも楽しめるお茶の点て方を知ることが出来る。盆略点前①
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆略点前②
7回目	盆略点前③抹茶を頂くときのお茶碗の扱い方を身に付ける
8回目	実際にお茶を点てて飲むことができる。お菓子の取り方、頂き方を身に付けることができる。
9回目	「総合芸術」という茶道を深く知ることができる
10回目	点てる人(亭主)・頂く人(お客)に分かれて実際にお茶を点てることができる
11回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)
12回目	★評価週 期末テスト(実技・筆記)
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して行ってほしいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】

日本の伝統であり文化である書道を見直し、日常いつの時代にも必要とされる「書く」ということの原点に立ち指導する。学校で用意された筆ペン・大筆を用い、筆ペンでは主にひらがな・カタカナ・自分の名前を正確に美しく書けるように指導する。大筆では基本的点画を「永字八法」で説明した後、楷書の代表的古典「九成宮」を臨書し半紙に四字程度書くことを指導する。個々への添削を加える。

【講師経歴】 1978年 福岡教育大学書道科卒業 数年間にわたり自宅で子供向け習字教室・自宅で大人向け仮名書道教室開催
2005～2010年頃 茶道師範の方へ出張書道指導
2010年頃 約3年間「インフィニ・フィニッシングアカデミー」(ニューオータニ博多内)にて書道講師を務める
2015年～現在 木乃花の会 仮名書道講師

【到達目標】

筆ペンや大筆を正しく使い、社会人として必要なひらがな・カタカナ・自分の名前を正確に美しく書けるようになる。冠婚葬祭の場で最低限必要の手書きの心得を身に付ける。大筆を使って漢字の基本的点画を「永字八法」で習得し、楷書の手習いを通して半紙に四字程度をバランスよく書けるようになる。筆文字の楽しさを知る。

授業計画・内容

1回目	日本の伝統文化としての書道について知る。筆ペンの持ち方・角度、書く姿勢など正しくできるようになる。筆ならし、ひらがなを少し書いてみる。	
2回目	「いろはにほへと」を原字の説明を聞き、字の成り立ちに沿って書くことができる。	
3回目	カタカナのことについて説明を聞き、正しく書けるようになる。ひらがな・カタカナのおさらいをする。	
4回目	各自の氏名の書き方を指導・添削を受け、それによって悪いクセがあれば気づき修正する。	
5回目	氏名に加えて、住所の書き方についてもコツを知り、正しく美しく書けるようになる。	
6回目	冠婚葬祭に必要な表書きの心得、芳名帳を書く時のマナーなども知り、書けるようになる。	
7回目	大筆の持ち方、扱い方について説明を聞き、線や丸を書いてみる。	
8回目	「永字八法」に見る書のすべての点画の基礎について説明を聞き、「永」を書いてみる。	
9回目	楷書の代表的古典「九成宮」を臨書し、半紙に四文字程度書けるようになる。	
10回目	(続) 楷書の代表的古典「九成宮」を臨書し、半紙に四文字程度書けるようになる。	
11回目	漢字仮名まじりの四文字を半紙におさまりよく書けるようになる。	
12回目	好きな四文字熟語を書いてみて、漢字の総合的なコツを知る。	
13回目	日常役に立つ毛筆書きの文言を書けるようになる。	
14回目	★評価週	総復習として作品を仕上げることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック後、苦手を克服することができる。

準備学習
時間外学習

評価方法

筆ペンでひらがな・カタカナ・自分の名前を正しく美しく書けるようになったか。大筆で書くことに慣れ、楽しくのびのびと正確な字を書けるようになったか。

受講生への
メッセージ

筆ペンや筆は基本的なコツを覚えるととても便利で重宝する筆記具です。手書きのぬくもりを人に伝えるつもりで楽しく書道をやみましょう。上手な字より、良い字を書くことです。一人一人の個性も大事にしつつ、書くという表現のおもしろさを感じられれば幸いです。

【使用教科書・教材・参考書】

古典「九成宮醴泉銘」法帖

科目名 (英)	日本の伝統と文化	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	Japanese tradition and culture	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 日本の伝統と文化の知識を深め、活用できる。							
【実務経験】 接客業経験5年以上、マナー講師5年以上、法人～個人や地方自治体の専属のマナー研修等を行っている講師などが担当							
【到達目標】 日本の伝統と文化を知り、現代に活用していく							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション・「江戸しぐさ」から学ぶ相手への心配り。相手尊重主義の行動を「江戸しぐさ」から学び、習得できる。						
2回目	お辞儀について：日本の伝統的な正しい姿勢とお辞儀を知り、現代に活かすようになる。						
3回目	「江戸しぐさ」基本心得 エコロジーと共生哲学を学び、現代に活かすことができるようになる。江戸っ子の条件。						
4回目	言葉のマナーについて：日本の正しい敬語を知り、品格をあげることができる						
5回目	EQと江戸しぐさ 心の知能指数を知り、心を肥やすことを知り、実践することができる。						
6回目	食のマナーについて：日本の食事の挨拶を知り、食を楽しむことを習得できる。						
7回目	筆ペン・基本の持ち方・名前を縦書きに書くことができる。縦書きの基本の習得ができる						
8回目	「往来しぐさ」知らない同士が和やかになれる。傘かしげなど実践できる						
9回目	冠婚葬祭のマナーについて：日本の伝統にそう、装いを知る事ができる						
10回目	「融合しぐさ」ができる 江戸しぐさの中の言葉遣い・人間関係						
11回目	筆ペン はがきや手紙を縦書きで書くことができる。						
12回目	着物の知識を身に着ける。お客さまや外国の方へ聞かれた際、対応ができるようになる。						
13回目	お茶の作法 茶道の基礎を学び、お客様へのお話ができるようになる。						
14回目	のし紙、のし袋 日常生活のいろいろなシーンで役に立つ、冠婚葬祭表書きを書いてみる。						
15回目	★まとめ・筆ペンなどまとめ	筆記試験					
準備学習 時間外学習							
評価方法	提出物 30% 筆ペンテスト 70%						
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化を知り、現代のおもてなしに役立てましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
【使用教科書・教材・参考書】 筆ペンの時間は、筆ペンの準備をお願いします。							

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員
学科・コース	ドレススタイリスト&ビューティーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日本の伝統である華道を学ぶことによって、花に親しみ、季節を感じ、おもてなしの心を理解する。できるだけその季節に関する花や行事等の話もしたいと思います。</p> <p>※実務者経験 華道家元池坊・稲葉社中に約18年間に在籍し、様々な華道展に作品出品、コンクール参加、また福岡市の関係機関で講師の経験もあります。</p>						
<p>【到達目標】 華道の歴史や道具について学ぶことができる。お花の知識を身につけ、基本的ないけばなのスタイルを学ぶことができる。日本の伝統の華道について理解できる。</p> <p>華道・いけばなの起源は、自分のためではなく人のために活かせることです。 それがおもてなしの心につながっていきます。そのことを理解し、自分が活けなくても見るときに感じて下さい。</p>						

授業計画・内容		
1回目	自己紹介 華道の歴史や道具について説明し、華道の授業を理解する	
2回目	日本舞踊の歴史を理解し、説明できるようになる	
3回目	能と歌舞伎について理解し、説明できるようになる	
4回目	日本画や絵画について理解し、説明できるようになる	
5回目	着物の歴史を理解し、浴衣を着付けができるようになる	
6回目	盛花 規則を理解する 剣山の使い方を理解する	
7回目	季節の花について解説 デッサン 季節の花を理解する	
8回目	自由花 自由な発想で生けることができる 花を活かす生け方を考えてみる	
9回目	盛花を活ける 器に対する花材の長さを考え生けることができる	
10回目	盛花を活ける 季節の花材を使って生けることができる	
11回目	自由花 父の日を意識した花材で、自由に考え生けることができる	
12回目	和室における作法を理解し実践できる①(戸の開け閉め、歩き方、座り方)	
13回目	和室における作法を理解し実践できる②(戸の開け閉め、歩き方、座り方)	
14回目	★評価週	実技試験・筆記試験
15回目	★まとめ	苦手を知り克服する
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	花は、生き物なので大切に扱ってください。花に少しでも興味を持ってもらえたら、うれしいです。花は必ず持って帰ってください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダルプランナーコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で活きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。							
【実務経験】 ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。							
【到達目標】 PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。 ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。							

授業計画・内容		
1回目	お客様の来館に至るまでの動向、新規スタッフと施行スタッフに求められる異なる能力を理解し説明できる	
2回目	集客するための施策や手法を比較検討し、フェアの打ち出しや内容を組み立てることができる。	
3回目	PPTを使用し、媒体打ち出しを意識した広告を作成できる。	
4回目	新規来館アンケートにおける質問の意図と目的を理解し説明できる	
5回目	新規接客の流れを把握し、アンケートを基にヒアリング力を理解し実践できる	
6回目	定番の演出～今求められる演出を把握し、お客様に合わせた提案を行うことができる。	
7回目	ヒアリング内容を基に、イメージをチョイスしテーマシートを作成することができる。	
8回目	希望する人数帯に対して、異なる提案の仕方を理解し説明できる	
9回目	結婚式費用について理解し、プランの仕組みを把握することができる。	
10回目	ヒアリング～クロージングまで、アイスブレイクを取り入れた手法を理解し説明できる	
11回目	成約手続きや今後のスケジュールの組み立てと案内ができる。	
12回目	当日までの打合せの流れを理解し、お客様に合わせたアイテムのチョイスができる。	
13回目	お客様の希望を理解し、パートナーに対して的確な情報をアウトプットすることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト(筆記試験)100%	
受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ブライダルプランナーコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で活きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。							
【実務経験】 ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。							
【到達目標】 PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。 ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。 実際の新郎新婦様の打合せ～施行まで成功させることができる							

授業計画・内容	
1回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)①
2回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)②
3回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)③
4回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)④
5回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)⑤
6回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)①
7回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)②
8回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)③
9回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)④
10回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)⑤
11回目	打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)①
12回目	打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)②
13回目	打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)③
14回目	★評価週 打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)④
15回目	★まとめ・追試/再試 レポート提出、振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポート評価100%
受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース						
曜日・時限							

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で生きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。

【実務経験】

ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。

【到達目標】

PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。
ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。
実際の新郎新婦様の打合せ～施行まで成功させることができる

授業計画・内容

1回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる①	
2回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる②	
3回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる③	
4回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる④	
5回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる⑤	
6回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)①	
7回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)②	
8回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)③	
9回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)④	
10回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)⑤	
11回目	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)①	
12回目	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)②	
13回目	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)③	
14回目	★評価週	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)④
15回目	★まとめ・追試/再試	レポート提出、振り返り

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	レポート評価100%
------	------------

受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。
----------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース						
曜日・時限							

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で活きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。

【実務経験】

ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。

【到達目標】

PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。
ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。
実際の新郎新婦様の打合せ～施行まで成功させることができる

授業計画・内容

1回目	披露宴のサービスが出来るようになる ①	
2回目	披露宴のサービスが出来るようになる ②	
3回目	披露宴のサービスが出来るようになる ③	
4回目	披露宴のサービスが出来るようになる ④	
5回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑤	
6回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑥	
7回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑦	
8回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑧	
9回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑨	
10回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑩	
11回目	挙式・披露宴本番のオペレーションを想定し、チームでリハーサルをすることができる①	
12回目	挙式・披露宴本番のオペレーションを想定し、チームでリハーサルをすることができる②	
13回目	挙式・披露宴本番のオペレーションを想定し、チームでリハーサルをすることができる③	
14回目	★評価週	挙式・披露宴本番を成功させることができる
15回目	★まとめ・追試/再試	レポート提出、振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	レポート評価100%	
受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	Excel・Word	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
	Excel・Word	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
Word、Excelを中心に授業をしていきますが、同時にパソコンの使い方、インターネットの活用方法も授業の中に取り入れていきたいと思ひます。毎時間目標とする課題を設定していく計画です。							
※実務経験 営業、Webディレクターを経験後、フリーランスでブライダルサービス、PA(5年)の現場で活動中							
【到達目標】 <具体的な目標> Word:印刷物を見て、自分でゼロから作れるようになる。 Excel:仕事で使う関数を身につけ、効率よく仕事ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。
2回目	Word:基本操作 文章作成、ページレイアウト、保存ができるようになる。
3回目	Word:文章の編集 文字の配置、インデント、文字の書式設定、行間の調整、印刷設定ができるようになる。
4回目	Word:表現力のある文章作成 表現のある文章作成ができるようになる。
5回目	Word:図形の応用 図形のさまざまな編集ができるようになる。
6回目	Word:表の作成 表の構成、行列の挿入と削除ができるようになる。
7回目	Word:便利な機能 検索と置換、様々な装飾ができるようになる。
8回目	Word:SmartArtグラフィック 目的に応じたSmartArtを選択、操作ができるようになる。
9回目	Word:文章をサポートする機能とテンプレートの活用 スクリーンショット、クイックパーツ、テンプレートを活用できるようになる。
10回目	Excel:Excelの基本操作 データの入力と編集、表の作成ができるようになる。
11回目	Excel:数式の作成 数式の入力、関数、絶対参照ができるようになる。
12回目	Excel:表の編集 フォントの書式設定、条件付き書式設定、シートの編集ができるようになる。
13回目	Excel:グラフ作成と印刷 グラフの活用、編集、印刷ができるようになる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	身近にある広告や印刷物に対してコレはどの様に作っているのか興味を持ってください。 そして自分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をしてみて欲しい。 パソコンが自宅や身近に触れる機会のある方は、どんどん触れてください。
評価方法	提出物100%で評価します。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ICT.AIビジネス	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	ICT / AI business	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】
一般的なプログラム言語「JavaScript」と「アート」を通じて、プログラミングの概要を学びます。

【実務経験】
講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。

【到達目標】
JapaScriptを通じてオブジェクト指向を学び、簡単な成果物を作成することができる

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒紹介、授業の目的の共有
2回目	ハーローワールドを実行することができる
3回目	関数を使用し、リファレンスを活用することができる
4回目	変数とデータ型を理解し、活用することができる
5回目	フレームを操作し、演算を活用して動的な描画を行うことができる
6回目	関数作成し、活用することができる
7回目	条件文によって、分岐処理を行うことができる
8回目	ループによって、繰り返し処理を行うことができる
9回目	偶発性を活かした線を引くことができる
10回目	偶発性を活かした円を描くことができる
11回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 1
12回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 2
13回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 3
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
	期末テスト
	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	プロとして、すぐに活用できるスキルを習得していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ICT・AI基礎 ICT/AI basic	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【学習内容】 パソコンを使っての社会との関わり方、代表的なツールの基本的な操作方法を通して、自ら創造し「解決する力」を育て、次のステップに進む力を身につける講義を目指します。</p> <p>【実務経験】 個別指導パソコンスクールWAVEの講師を2年、現在MAスタジオを運営しつつWEBデザイン、経理・総務の業務を兼任して行っています。</p>							
<p>到達目標 ファイルの取り扱い、フォルダの活用方法を身につける。主にWord、Excelの基本動作を覚えながら、実生活や実務での活用方法をイメージできるようになる</p>							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション、自己紹介、パソコンについて	
2回目	学習に必要な情報収集、インターネットの検索のコツを習得できる	
3回目	(MicrosoftWord)タイピング、ワードの起動、データの保存、終了操作ができる、ビジネスの現場での活用例	
4回目	(MicrosoftWord)文字の入力、装飾文章作成の流れを理解できる、ツールバーの解説	
5回目	(MicrosoftWord)タブやインデントの使用して文章を作成できる。書式設定についての解説	
6回目	(MicrosoftWord)イラストの挿入、配置ができる	
7回目	(MicrosoftWord)表の挿入、配置ができる	
8回目	(MicrosoftWord)表現力をアップする機能、便利な機能を習得できる	
9回目	(Microsoft Excel)Excelでできること、起動、データの保存、終了操作ができる、ビジネスの現場での活用例	
10回目	(Microsoft Excel)文字の入力、装飾文章作成の流れを理解できる。ツールバーの解説	
11回目	(Microsoft Excel)足し算、引き算、掛け算、割り算といった初歩の関数を使えるようになる	
12回目	(Microsoft Excel)イラストや図の挿入ができるようになる	
13回目	(Microsoft Excel)グラフの挿入などができるようになる	
14回目	作業・評価週	自由課題を指定の書式を含んだ形で制限時間内に仕上げる
15回目	まとめ	テストフィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト(自由課題)100%予定 Word・Excelそれぞれの課題で制作された成果物に特定の装飾や書式が含まれているかどうかで評価。	
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。本講義ではこれから皆さんが現場でパソコンを使って社会に貢献し、問題を解決していくためのキッカケを掴むコツをお伝えしていければと考えています。パソコンもソフトも便利ですがいわゆるひとつのツールですので、使われる方によっては目的も千差万別です。自分が必要な成果を引き出す力や考え方を身につければ、どんなソフトにも応用でき、これから先の皆さんの世界がさらに広がっていくでしょう。まずは気軽に触れてみて楽しんでください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	JMA検定3級 JMA test grade 3	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
JMA3級検定に合格できる知識と技術を習得する。							
【実務経験】フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダル現場などでヘアメイクを手掛けながら、専門学校等で講師も務める。また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】 技術者として必要とされるマナー、接遇を身に付け、JMA3級検定に合格できる知識と技術を得ることができる。							

授業計画・内容		
1回目	JMAとは何か、道具の使い方、技術者としての心構えを理解することができる。	
2回目	セッティング、手指消毒、スキンケア(クレンジングまで)技術を習得し、実践できる。	
3回目	セッティング、手指消毒、スキンケア(乳液まで)技術を習得し、実践できる。	
4回目	ポイントクレンジング～乳液までをスムーズに行い、基本のベースメイクの作り方を知り、理解できる。	
5回目	JMA3級ベースメイクの作り方を理解し、実践できる。	
6回目	スキンケア～ベースメイク(フェイスパウダーまで)をスムーズに行うことができる。	
7回目	リキッドファンデーションテクニック強化 色、厚み、ムラ等に気を付け、美しく仕上げることができる。	
8回目	コンシーラーテクニック強化 色、量、ムラ、使用箇所等に気を付け、美しく仕上げることができる。	
9回目	基本的な骨格補正(チーク、ハイライト、ローライト)方法を知り、実践できる。	
10回目	骨格補正をモデルに合わせて美しく仕上げることができる。	
11回目	JMA3級内容を決められた時間内で美しく仕上げることができる。	
12回目	JMA3級内容を30分以内で美しく仕上げることができる。	
13回目	JMA3級内容を30分以内でモデルに合わせて、美しく仕上げることができる。	
14回目	★評価週	定期試験 JMA3級内容
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手部分の克服ができる。
準備学習 時間外学習	習った点は必ず復習し、翌週に生かせるように練習して臨んでください。	
評価方法	定期テスト100% 技術者としてのマナー、手技、手順が正しいか、仕上がりが美しいか等、総合的に評価します。	
受講生への メッセージ	手順が細かく決まっており、最初は煩わしいと思うかもしれませんが、努力すれば必ず合格できる検定です。メイクの知識、テクニックの向上も望めますし、履歴書にも記入できる検定です。苦手意識を持たず、意欲的に取り組みましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 JMAテキスト、メイク道具、筆記用具		

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ブライダルプランナーコース					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
一般企業の70%以上で実施している『一般常識テスト』に合格するためのトレーニングを行う。「一般企業の70%が実施している」ということは、裏を返せば、30%の企業では、「知っていて当たり前。知らなくても入社後、新聞購読などで身に着け、問題意識を持ち続けるべき最低限の内容」ということで、このようなテストがない企業も多数あることを、まず理解し、「社会人になるための第一歩」として取り組むこと。							
※実務経験 東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間の小中学生への学習指導を続ける							
【到達目標】 SPI・一般常識・時事問題を学び知識の習得をすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	①【時事】2021～2022トピックスを理解し説明できる
2回目	①【時事】2021～2022トピックスを理解し説明できる
3回目	②【一般常識:学力]中高での英数国理社を理解し説明できる
4回目	②【一般常識:学力]中高での英数国理社を理解し説明できる
5回目	③【一般常識:時事]政治・経済・国際を理解し説明できる
6回目	③【一般常識:時事]政治・経済・国際を理解し説明できる
7回目	④【一般常識:雑学]文化・芸術・スポーツを理解し説明できる
8回目	④【一般常識:雑学]文化・芸術・スポーツを理解し説明できる
9回目	⑤【一般常識:社会人教育]マナーを理解し実践できる
10回目	⑤【一般常識:社会人教育]マナーを理解し実践できる
11回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し説明できる
12回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し考察、プレゼンテーションすることができる
13回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し考察、プレゼンテーションすることができる
14回目	★評価週
	期末テスト
15回目	★まとめ
	フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 必要なものを、その都度、お渡します。	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

就職試験で多くの会社が入力しているSPI試験について、あらゆる角度から対策を実施します。出題の傾向やコツを掴むことができ、基本的な考え方の土台をしっかりと築くことができます。様々なワークの実践で、SPIへの苦手意識を克服し、学びが社会で役に立つという意識まで変化させることで、積極的な取り組みを実現します。

※実務経験について:4年大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。その後、イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事し、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、また大学の就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。

【到達目標】

SPIを採用する企業側の意図を理解する。問題の傾向と出題の特徴を掴むことで、効率よく問題が解けるようになる。また、いろいろなワークを通して、考える力、直感が鍛えられる。最終的に、SPIの克服が、単なる採用試験の枠を超えて「自分を高めるため」という意識を持って取り組めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、自己紹介、学ぶことの大切さについて理解し説明できる
2回目	SPIの概要について 筆記試験実施の意味合いについて理解し説明できる
3回目	問題の傾向と対策① 情報をインプットする必要性と方法を理解し説明できる
4回目	問題の傾向と対策② 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
5回目	問題の傾向と対策③ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
6回目	問題の傾向と対策④ 読書の必要性と効率の良い読み方を習得できる
7回目	問題の傾向と対策⑤ 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
8回目	問題の傾向と対策⑥ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
9回目	中間試験
10回目	試験の解説と課題設定 自分の傾向を知り、重点を置いて取り組む部分を理解し説明できる
11回目	問題の傾向と対策⑦ 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
12回目	問題の傾向と対策⑧ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
13回目	期末試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	就職試験で採用されているSPIについて事前に調べておく
評価方法	筆記試験 ・中間テスト(50%) ・期末テスト(50%)
受講生への メッセージ	筆記試験は苦手意識を持っている人が多いと思います。そこで、この授業を受けることで、SPI対策をして点数を高める努力が、実は社会に出て役に立つ人材の基礎力になることを理解して、苦手意識を克服を目指します。ひとつひとつ課題に取り組んでいくと、考え方の基礎が築かれていきます。全ては自分の役に立つと信じて、楽しく学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
航空業界入試一次試験に合格するために必要な、計算力・読解力を指導する。どの授業よりも、授業実施前の個人差が大きい内容であることを鑑み、個別指導に力点を置くとともに、学生間相互の学び合いなどを通じて、コミュニケーションを密にし、学生自身の自主性・伝達力強化も図る。							
※実務経験 東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間小中学生への学習指導を続ける							
【到達目標】 SPIとは何かを知り、基本的な計算問題に取り組みSPIでの自身の弱点を見つけその弱点の克服に向けて何をすればよいのかを計画を立て、実行することができる。							

授業計画・内容	
1回目	予想問題の問題1～問題15までを理解できる
2回目	予想問題の問題1～問題15までを解くことができる
3回目	予想問題の問題1～問題15までを時間内に半分以上、解くことができる
4回目	予想問題の問題16～問題35までを理解できる
5回目	予想問題の問題16～問題35までを解くことができる
6回目	予想問題の問題16～問題35までを時間内に半分以上、解くことができる
7回目	予想問題の問題36～問題50までを理解できる
8回目	予想問題の問題35～問題50までを解くことができる
9回目	予想問題の問題35～問題50までを時間内に半分以上、解くことができる
10回目	新たな予想問題①50問を時間内に半分以上、解くことができる
11回目	新たな予想問題②50問を時間内に半分以上、解くことができる
12回目	新たな予想問題③50問を時間内に半分以上、解くことができる
13回目	新たな予想問題④50問を時間内に半分以上、解くことができる
14回目	★評価週 期末テスト
15回目	★まとめ フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 必要なものを、その都度、お渡します。	

科目名 (英)	TOEIC	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	TOEIC	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ブライダルプランナーコース				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

TOEICで600点越えを目指すために必要な基礎的な語彙力やイディオム、文法の学習と、リスニングのための耳づくりに主眼を置いた丁寧な授業をおこなう。日本人が聞き取りや発音を苦手とする英語の音声にはとくに注意して指導することで、リスニング力の大幅な向上を目指す。自分で発音できない音は聞き取れない、という大前提があるので、まずは発音をしてもらって細かな音の矯正を重ねていく。
【実務経験】私塾にて9年前より小学生～大学受験まで幅広い層に英語を教えている。卒業生には上智大学、九州大学、早稲田大学合格者。TOEIC975点。英検1級。翻訳や通訳の経験もあり、翻訳書には『セラビユーティクタッチの技法』(春秋社)、『レイキ完全本』(BABジャパン)がある。通訳実績としては、環太平洋子どもサミットにて同時通訳(平成18年度:沖縄)、日本人間ドック会議にて通訳(平成19年度:沖縄)など。講師歴2年

【到達目標】

TOEICのテスト自体は、最低でも英検2級レベルの英語力をもっていないと、なかなか難しい面があります。ですから、まずは「英語自体が難しくてたいへん」と思う気持ちを、少しでも、「英語は楽しく役に立つ」と感じてもらえるようにしたいです。初級向けの単語やイディオムを習得するための教材を中心に使い、学んだことは着実におぼえて身に付けてもらうことを目標にします。毎回、授業を受けることで、生徒のみなさんに何か一つでも英語表現の「お土産」を持ち帰ってもらいたいと思います。学んだことをしっかり復習すれば8割はとれる試験を計2回、実施しますので、全員が合格点をとれるようにしてほしいです。

授業計画・内容

1回目	書き込みノート15 & 16を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
2回目	書き込みノート17 & 18を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
3回目	書き込みノート19 & 20を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
4回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
5回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
6回目	中間テストを実施することにより、これまでの学習内容を確実なものにし、到達度を確認することができる。	
7回目	中間テストの評価と復習。書き込みノート21 & 22を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
8回目	書き込みノート23 & 24を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
9回目	書き込みノート25 & 26を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に付けることができる。	
10回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
11回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
12回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
13回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に付けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
14回目	★評価週	期末テストにより、これまでの理解度をはかることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テストの返却・解説・評価をすることでさらなる学習意欲を刺激することができる。
準備学習 時間外学習	2回のテストでは、それまでの学習内容をよくよく理解すれば8割以上得点できるような内容にします。すなわち授業中に聞いたことをしっかり復習していれば合格点がとれますので、毎日試験勉強と思ってその日学んだことを復習してください。	
評価方法	中間テスト3割 期末テスト7割	
受講生への メッセージ	TOEIC600点への道のりは決して楽ではありませんが、足元から一步一步、いっしょに英語という山にいっしょに登っていきましょう。ほんやりしているとすぐ試験日が来ますから、毎回毎回の授業を試験勉強だと思って集中して聴いてください。	

【使用教科書・教材・参考書】

『TOEICテスト書き込みノート単語&熟語編』

『公式TOEIC L&R VOL7』

科目名 (英)	TOEIC	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	TOEIC	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

TOEIC600点クリアを目指すために本番に出題される問題をどんどん解いていく。ただし、数をこなすというよりはリスニングとリーディングの具体的な問題を解きながら、わからないままに進むのではなく、ひとつひとつ確実にクリアしていきます。これまでと同様、リスニング問題を解きつつ英語耳をつくるための細かな矯正をおこないます。

【実務経験】 私塾にて9年前より小学生から高校生大学生まで幅広い英語指導を行っている。卒業生は英語力を生かして九州大、上智大、早稲田大などに合格。また、翻訳や通訳の実務経験もあり。翻訳した書籍『セラピューティックタッチの技法』(春秋社)、『レイキ完全本』(BABジャパン)など。通訳実務経験:「環太平洋子ども環境サミット」にて同時通訳(平成18年)、「日本人間ドック会議」にて同時通訳(平成19年度)など。講師歴2年

【到達目標】

これまでの学習を踏まえて、TOEICテスト本番と同じ問題をできるだけたくさん解くことで、単語、イディオム、文法、リスニングの力をつけていく。リスニング、リーディングテストの前半の基礎部分に関しては、手堅く点数がとれるようになる実力をつける。

授業計画・内容

1回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson3 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
2回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson3 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
3回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson4 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
4回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson4 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
5回目	『TOEICテスト新形式精選模試リーディング』 p.32～35に取り組むことで文法やイディオムの基礎をつけることができる。	
6回目	次回テストのための復習と対策:やる気をたかめ、学習のポイントをつかむことができる。	
7回目	中間テストをすることで、これまでの理解度と到達度をはかることができる。	
8回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson5 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
9回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson5、6 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
10回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson6、7に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
11回目	『TOEICテスト新形式精選模試リーディング』 p.36～42に取り組むことで文法やイディオムの基礎をつけることができる。	
12回目	『TOEICテスト新形式精選模試リーディング』 p.43～48に取り組むことで文法やイディオムの基礎をつけることができる。	
13回目	次回テストのための復習と対策:やる気をたかめ、学習のポイントをつかむことができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより、今学期の理解度と到達度をはかることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テストの返却と講評・解説により問題点を知ることができる。
準備学習 時間外学習	中間テスト、期末テスト、ともにあつという間に巡って来るので、毎回毎回の授業をテスト勉強だと認識して真剣に取り組み次の授業までにしっかりと内容を復習すること。授業初めに、前回の内容をテスト形式で問います。	
評価方法	中間テスト3割 期末テスト7割	
受講生への メッセージ		

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ Associate hospitality coordinator	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	早田
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日4限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホスピタリティマインドを理解し、日本のサービス産業、ホスピタリティ産業の重要性、歴史と文化、定義など理論について学習する。
また、実践編として接客マナー・クレーム対応などホテルの窓口を参照にしたロールプレイを繰り返す事で高い実務能力を教授する。

※実務者経験: 医療法人井上会 篠栗病院にて平成6年4月～平成16年1月まで、医事課スタッフとして医療窓口における患者サービスの責任者として従事する。ホスピタリティコーディネータ有資格者として実務にあわせたホスピタリティマインド及びビジネススキルを身につける。

【到達目標】

ホスピタリティのマインド・理論・実践を学び説明できるようになる。
ホスピタリティ業界(ホテル・レストラン等)のフロント・コンシェルジュ・サービスにて起こりえる対応の症例について体得できるようにする。
接客能力の向上として、適切な身だしなみ、言葉遣い、言い回しができるようになる。
ホスピタリティを推進するチームのメンバー・リーダーとしての資質を発揮する事ができるようになる。
アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータの資格を取得する。

授業計画・内容

1回目	アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ及びコミュニケーションスキルアップ検定概要について理解し説明できるようになる。	
2回目	ホスピタリティの社会的スキル・人との関わり方の基本的な対応や考え方(笑いと笑顔の違い/おしゃれと身だしなみの違い)ができるようになる。	
3回目	ホスピタリティトレーニング/事例を元に観察・推理・理解・行動及び気づきができるようになる	
4回目	第1章:日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性(付加価値・イノベーションとは)について理解し説明する事ができる。	
5回目	求められるサービス産業のグローバル化(日本が誇るメイド・イン・ジャパン/サービス・ドミナント・ロジック)について理解し説明する事ができる。	
6回目	第2章:ホスピタリティの歴史と文化について理解し説明できるようになる。	
7回目	第3章:サービスとホスピタリティの語源/第4章:ホスピタリティの定義について理解し説明できるようになる。	
8回目	第5章:ホスピタリティの5領域/第6章:組織と顧客のホスピタリティについて理解し説明できるようになる。	
9回目	第1章:コミュニケーションとは/第2章:基本的対話スキル①について理解し説明できるようになる。	
10回目	第2章:基本的対話スキル②について理解し説明できるようになる。	
11回目	第3章:自己表現スキル③について理解し説明できるようになる。	
12回目	第4章:社会的スキル/第5章:サービスマインドについて理解し説明できるようになる。	
13回目	コミュニケーションスキルアップ検定実施/ホスピタリティコーディネータ課題説明	
14回目	★評価週/テスト及びデータ入力	
15回目	★まとめ及びデータ入力	
準備学習 時間外学習	予習及び復習として各講義におけるテキストを黙読する。 学生生活及びアルバイト等を通じて感じるホスピタリティについて観察し、授業内において発表する。 授業で学んだホスピタリティを普段の生活内やアルバイトにて実践し、どのような効果を得る事ができたか発表できるようにする。	
評価方法	・コミュニケーションスキルアップ検定の合否 ・授業内にて配布している資料を基にしたテスト ・ホスピタリティ実践レポート:2000字	
受講生への メッセージ	ホスピタリティはマインドを理解する事と、スキルを身につけてビジネスに活かす事の両方が大切です。 私たちが幸せと感じる心を育てる教育として様々な事例を通じて学習していきますので、楽しみながら、そして人に笑顔を提供できるようなプロフェッショナルとして活躍できるように一緒に学びましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

NPO法人 日本ホスピタリティ推進協会:ホスピタリティコーディネータ教本
滋慶教育科学研究所 コミュニケーションスキルアップ検定

科目名 (英)	カメラワーク&テクニック Camera work & technique	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
「美しい写真」について、技術的・美術的2つの側面から学習し、理解できるようになる。							
<p>※実務経験 大学卒業と同時に、プロの世界へ。以来20年以上、人物写真(ポートレート)を撮り続ける。広告、雑誌の世界からプロフィール写真家へ移行。2015年頃、東京から地元福岡を拠点に。「自分が美しいと思う写真」へと展開していく。「世界とつながる」をモットーに、米国の写真コンテスト受賞を皮切りに、現在も海外各地の写真家と交流を続ける。</p>							
【到達目標】							
<p>「楽しい写真」から「美しい写真」まで、カメラ(一眼レフ)を使いこなせるようになる。 グループワークで実際に一眼レフで撮影しながら、「体験的・経験的」に、カメラと写真の技術を身につける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション/カメラの構え方/今後の説明/グループ分け/いい写真と悪い写真の違いについて理解し説明できる
2回目	オートで撮る！構図について習得する
3回目	オートで撮る！構図 ライティング(照明)光について理解し説明できる
4回目	オートで撮る！構図 レンズによって変わる写真の奥深さが会得できる
5回目	明るさを決める三要素の理解し説明できる
6回目	絞り優先！オートでは撮れない構図について理解し説明できる
7回目	絞り優先！オートでは撮れない構図&ライティング(照明) について理解し説明できる
8回目	中間テスト
9回目	露出補正でさらに上手に撮影ができる
10回目	シャッター速度優先！オートでは撮れない、ダイナミックな写真を撮れるようになる
11回目	WB=色温度。電球と白色LEDで実験。混ぜるな危険！色について理解し説明できる
12回目	挑戦！マニュアル撮影。手足のようにカメラを操ることができる
13回目	カメラのアップダウンの構図。奥行きのある写真。足を長く撮る方法。ポートレートをかっこよく撮ることができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	定期テスト(筆記60%、実技40%)
受講生へのメッセージ	一見難しい大きなカメラ(一眼レフ)、実はとても簡単です。ステップずつ学んでいき、「楽しい写真」「美しい写真」を撮りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>キャリア教育を基に社会人基礎力の向上を目的に、本講義を通して3つの能力、12の要素を身に着けた人材を育成します。学生相互の人間関係(コミュニケーション)を密にし、学生の自発的、自治的な活動を支援します。また、自己理解を深め、適切な進路選択ができるようにします。</p> <p>※実務経験 ブライダル総合会社にてチーフプランナー、ドレススタイリストとして約4年、ブライダルジュエリー会社にて対面販売約2年</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>自ら挨拶ができ、人の話を聞き規律性を持った行動が出来る。 学生相互において適切なコミュニケーションを図ることができる。</p>							

授業計画・内容		
4月14日	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方を通して、自身のこれからの2年間の環境を知る	
4月28日	ホスピタリティ業界における正しい挨拶を行うことができる	
5月12日	コミュニケーションの大切さ、必要性を理解することができる	
5月19日	ホスピタリティ業界における正しい身だしなみを行うことができる	
5月26日	お客様の迎え入れや接客時における最低限のマナーを身に着けることができる	
6月2日	①基本的対話スキル向上させることができる(話す・聴く・質問の仕方を学ぶ)	
6月9日	②基本的対話スキル向上させることができる(グループ・集団での会話を学ぶ)	
6月16日	①自己表現スキルを身に着けることができる(人間関係を円滑にする表現技術)	
6月23日	②自己表現スキルを身に着けることができる(職務上で必要とされる表現技術)	
6月30日	③自己表現スキルを身に着けることができる(アンガーマネジメント、感情への対処)	
7月7日	①社会的スキルを身に着けることができる(対人行動、対人マナー)	
7月14日	②社会的スキルを身に着けることができる(文章作成の実践)	
8月25日	サービスマインドを身に着ける(心得、姿勢)	
9月1日	★評価週	コミュニケーションスキルアップ検定
9月8日	★まとめ・追試/再試	コミュニケーションスキルアップ検定の総復習
準備学習 時間外学習		
評価方法		
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>サービス業のみならず仕事を自信のキャリアに変える為の考え方や、成長の進め方を様々なディスカッションを重ねる事で身に付けて行く事ができる。また自分の情熱や思いを正しくアウトプットできる自信とテクニックを学ぶ。</p> <p>※実務経験 ブライダル総合会社にてチーフプランナー、ドレススタイリストとして約4年、ブライダルジュエリー会社にて対面販売約2年</p> <p>【到達目標】 自身の強み弱みを見極め、強みを引き出す事で自分の目指す業界へチャレンジする姿勢と考えを身に付ける事ができる。サービス業を軸としたサービスを自身の武器とする事の大切さ、サービスでお金を稼ぐという意識と目標を見つける事ができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介を盛り込んだフリーディスカッションができる	
2回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (自分が社会に出る事の意味)	
3回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (仕事とは何か? 仕事が自分に及ぼすものとは?)	
4回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (お金を稼ぐ事の意義)	
5回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (サービスが人に与えるメリットを考える)	
6回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (サービスでお金を稼ぐ為に大切な事は何か?)	
7回目	自分の目標を探すトレーニングのやり方を理解し実践できる	
8回目	ポジティブシンキングの効果を理解し実践することができる	
9回目	ネガティブシンキングが影響するライフスタイルの悪化について理解し説明できる	
10回目	夢実現へのプロセルロードマップを作成することができる①	
11回目	夢実現へのプロセルロードマップを作成することができる②	
12回目	夢実現へのプロセルロードマップを作成することができる③	
13回目	グループプレゼンテーションのトレーニングができる(自己表現スキルと伝える熱意のテクニック)	
14回目	★評価週	フィードバック
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	各種ワークシートの提出物100%	
受講生への メッセージ	サービス業で自身をキャリアアップさせるための自己表現は、仕事のキャリアにおいてだけでなく自身を更に高いステップに押し上げてくれる手助けとなります。自分をしっかり見つめ、自分の良さをしっかりと強みに変える思考を一緒に身に付けて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム Career Program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>学生相互の人間関係を密にし、学生の自発的、自主的な活動を支援します。 また、自己理解を深め、適切な進路選択ができる</p> <p>※実務経験 ブライダル総合会社にてチーフプランナー、ドレススタイリストとして約4年、ブライダルジュエリー会社にて対面販売約2年</p>							
【到達目標】 毎回、「到達目標シート」を設定して、着実に「考える力」「書く力」を育てていきます。到達目標は、「知っている」ということから、「できる人」になることです。							

授業計画・内容	
1回目	今後のスケジュールを確認して企業10社の選び方、研究の仕方を話し合い、方向性を決めることが出来る。
2回目	グループ分かれ企業研究の仕方や期日を決めていくことが出来る
3回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る①
4回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る②
5回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る③
6回目	企業研究上での課題の発見と調整を行い翌週の発表につなげることが出来る
7回目	中間発表(資料作成)が出来る。
8回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る④
9回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る⑤
10回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る⑥
11回目	企業研究発表での問題点と調整を行い翌週の発表につなげることが出来る
12回目	企業研究の発表会を実施できる
13回目	総まとめ 後期で学んだことを再確認し、角度の高い志望動機を作成できる
14回目	★評価週 質問の大切を理解し、わからないことを自身の言葉を確認することができる①
15回目	★まとめ・追試/再試 質問の大切を理解し、わからないことを自身の言葉を確認することができる②
準備学習 時間外学習	
評価方法	研究発表内容100%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 前期から引き続き、家計管理から保険、年金、税金、資産運用、住宅ローンなど、日常生活を送るなかで必要となる、お金に関する知識についてお伝えしていきます。							
※実務経験 (株)東急ホテルズインターナショナル販売促進部に所属(約5年)し、販売促進のためのプランニングをし、それを航空会社、旅行社、関係各国の観光省と共にプロモーションをした。また日本リージェントにて日本におけるホテル開発時の販売促進に従事した。							
【到達目標】							
①お金に関する基礎的な知識を習得し、自分自身の人生設計を立てることができる。 ②金融や経済の仕組みを知ること、世の中の流れや今後の見通しを立てることができる。 ③3級FP技能士の資格取得のために必要な基礎知識を身につけることができる。							

授業計画・内容	
1回目	保険①「保険制度の概要」を理解し説明できる
2回目	保険②「民間の保険 ～生命保険の概要」を理解し説明できる
3回目	保険③「民間の保険 ～損害保険の概要」を理解し説明できる
4回目	保険④「保険の活用」を理解し説明できる
5回目	不動産①「不動産に関する法律知識の概要」について理解し説明できる
6回目	不動産②「不動産の活用と税」を理解し説明できる
7回目	金融資産運用①「金融と経済の基礎知識」を理解し説明できる
8回目	金融資産運用②「金融資産運用の考え方」を理解し説明できる
9回目	金融資産運用③「投資型金融商品の概要 ～債券と株～」を理解し説明できる
10回目	金融資産運用④「投資型金融商品の概要 ～投資信託とデリバティブ～」を理解し説明できる
11回目	金融資産運用⑤「資産運用の考え方」を理解し説明できる
12回目	「公的年金制度の概要」について理解し説明することができる
13回目	期末テスト対策、わからないところを説明できる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日常生活でお金との付き合いは日々発生しますが、その際に必要となるお金の基礎知識は、学校教育の中で体系的に学ぶことがありません。本講義では、家計管理から保険、年金、税金、資産運用、住宅ローンなど、日常生活を送るなかで必要となる、お金に関する知識についてお伝えしていきます。							
※実務経験 (株)東急ホテルズインターナショナル販売促進部に所属(約5年)し、販売促進のためのプランニングをし、それを航空会社、旅行社、関係各国の観光省と共にプロモーションをした。また日本リージェントにて日本におけるホテル開発時の販売促進に従事した。							
【到達目標】 ①お金に関する基礎的な知識を習得し、自分自身の人生設計を立てることができる。 ②金融や経済の仕組みを知ること、世の中の流れや今後の見通しを立てることができる。 ③3級FP技能士の資格取得のために必要な基礎知識を身につけることができる。							

授業計画・内容	
1回目	【人生におけるお金とは】【FPの定義と役割】を理解し説明できる
2回目	生活を取り巻く世の中の環境を知り「日本と世界の経済を取り巻く状況」を理解し説明できる
3回目	家計管理の基礎知識を理解し説明できる
4回目	自分の人生設計(ライフプラン)の考察「ライフプランとは何か?」「日本の税制について」理解し説明できる
5回目	「日本の税制について」(続き)タックスプランニング①「所得税の仕組み」(前半)について理解し説明できる
6回目	「所得税の仕組み」(前回の復習と続き)について理解し説明できる
7回目	日本の社会保険制度①について理解し説明できる
8回目	日本の社会保険制度②について理解し説明できる
9回目	「ライフプラン表とキャッシュフロー表」を作成できる
10回目	「人生の3大資金」について理解し説明できる
11回目	「退職後の生活設計」を理解し説明することができる
12回目	「公的年金制度の概要」について理解し説明することができる
13回目	期末テスト対策、わからないところを説明できる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	サービス業で自身をキャリアアップさせるための自己表現は、仕事のキャリアにおいてだけでなく自身を更に高いステップに押し上げてくれる手助けとなります。自分をしっかり見つめ、自分の良さをしっかりと強みに変える思考を一緒に身に付けて行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンピューター演習 Computer exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】 パワーポイントの使い方を学び基本から応用まで操作できるようになり プレゼン手法や伝わる資料作成・発表体験を支援します。 ※実務経験 玩具の営業9年、ブライダル(各セクショントータル)15年、Webディレクター1年半							
【到達目標】 「シンプルで見やすく伝わる」資料作成できる。 伝わるプレゼン発表スキルを身につける。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・講師紹介、授業の進め方、授業目的を共有できる	
2回目	パワーポイントについて/読みやすい文章の書き方(フォント、タブキー、順列、検索など)を覚える キーボード操作ができる	
3回目	復習・振り返り/シンプルで見やすい図形の使い方を理解し実践できる	
4回目	復習・振り返り/ショートカットについて・表グラフの種類解説 実習 グラフ作成ができる	
5回目	復習・振り返り/画像の挿入・編集 データ種類解説 実習 画像の挿入・編集ができる	
6回目	復習・振り返り/Excelデータコピー編集ができる 見栄え整えるポイントについて解説	
7回目	ウェディング業界にまつわるチラシ作成にまつわる作業を身につけることができる 実習①	
8回目	ウェディング業界にまつわるチラシ作成ができる 実習② データ変換方法について/制作発表できる	
9回目	プレゼンについて プレゼン資料作成の流れを学ぶことができる	
10回目	資料作りの前に市場を知り、必要な準備を行うことができる	
11回目	テーマ決め・プレゼン資料作成スキルを身につけることができる	
12回目	プレゼン資料作成できる	
13回目	プレゼン発表・ディスカッションを行うことができる	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト振り返り・前期まとめ
準備学習 時間外学習		
評価方法	提出物30% テスト70%	
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。 PCを使用してプレゼン資料作成できるスキルを身につけます。 ウェディング業界で活躍する為に必要な知識や手法です。 実践的に一緒に学んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	コンピュータ演習 Computer exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Word、Excel、PowerPointを中心に学習しますが、同時にパソコンの使い方、インターネットの活用方法も授業の中に取り入れていきたいと思ひます。 毎時間目標とする課題を設定していく計画です。</p> <p>※実務者経験: 玩具の営業9年、ブライダル(各セクショントータル)15年、Webディレクター1年半</p> <p>【到達目標】 Word:印刷物を見て、自分でゼロから作れる様になる。 Excel:仕事で使う関数を身につけ、お店の伝票入力をできるレベルにはなる。 PowerPoint:スライドを使いプレゼンテーションできる様になる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:自己紹介、USBメモリの使い方、ショートカットについて理解し説明できる。タイピングの練習
2回目	word:文章作成、段落の書式設定、用紙サイズ、漢字の入力、保存方法について理解し説明できる
3回目	word:画像の挿入、表の作成、グラフ作成について理解し説明できる
4回目	word:イベントの案内等作成(課題)ができる
5回目	word:お店オープンチラシ制作(課題)ができる
6回目	PowerPoint:テンプレートを使ってスライドを作成①ができる
7回目	PowerPoint:テンプレートを使ってスライドを作成②ができる
8回目	PowerPoint:プレゼンテーションの方法を理解し実践できる
9回目	PowerPoint:課題制作①ができる
10回目	PowerPoint:課題制作②ができる
11回目	PowerPoint:課題発表ができる
12回目	excel:文字入力、印刷範囲の設定を理解し実践できる
13回目	excel:画像の挿入、グラフ、表レイアウトを理解し実践できる
14回目	★評価週 excel:伝票入力ができる
15回目	★まとめ・追試/再試 excel:在庫管理、顧客管理、売り上げ管理表の作成ができる
準備学習 時間外学習	身近にある広告や印刷物に対してコレほどの様に作っているのか興味を持ってください。 そして自分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をして欲しい。
評価方法	課題提出100%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	セルフスタイリング	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	Self-Styling	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナー				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 就活用メイクや基本的なスキンケア、身だしなみなどメイクの土台となる知識、技術を重点的に講義する。専門職を目指す意識を持って、姿勢やマナー、美しく自分に合ったメイクを身に付けるための授業を行う。 【実務経験】 冠婚葬祭、広告雑誌、ファッションショーなどのヘアメイクをフリーランスとして14年間活動している。							
【到達目標】 ①身だしなみの重要性、スキンケアの知識を習得②メイク道具を顔のパーツごとに正しく使いこなせるようになる③確かな技術とスピード、どちらも身に付ける。④理想の顔型を理解し、自分の顔を分析し、自分に合ったメイクを習得する。							

授業計画・内容	
1回目	学校生活について知り、ルールを理解する。
2回目	メイク道具紹介 メイクの必要性 スキンケアの重要性を学ぶことができる。【持参物】日頃使用しているスキンケア用品、ノーメイクで臨むこと。
3回目	メイク演習①肌の構造 スキンケアの実践 ベースメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
4回目	メイク演習②自分の肌質や、肌色に合ったベースメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
5回目	メイク演習③アイブロウの習得。カットして整える～基本バランスで描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
6回目	ヘア演習①(座学を含む)スーツに合うヘアアレンジ(シンヨンスタイル)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
7回目	ヘア演習②スーツに合うヘアアレンジ(ハーフアップ)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
8回目	メイク演習④ベース復習。アイメイクの習得。単色塗り～グラデーション。アイライナーで目元の演出が出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
9回目	メイク演習⑤アイブロウ強化。(座学を含む)カットして整える～基本バランスで描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
10回目	メイク演習⑥リップの正しい色選び、チークが基本バランス通りに描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
11回目	メイク演習⑦50分で基礎メイクが出来るようになる。化粧水乳液などスキンケアをした状態からベースメイク～チーク&リップまでのフルメイクを行う。
12回目	ヘア演習③スーツに合うヘアアレンジ(シンヨンスタイル)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
13回目	メイク演習⑦50分で基礎メイクが出来るようになる。化粧水乳液などスキンケアをした状態からフルメイクを行う。男子はベースメイク、アイブロウ、ヘアセットまでを行う。
14回目	メイク演習⑧50分で自分の顔に似合わせたメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。男子はベースメイク、アイブロウ、ヘアセットまでを行う。
15回目	イベント準備期間へ充当
準備学習 時間外学習	◎毎時間の持参物・・・筆記用具、配布したプリント類、白フェイスタオル2枚、メイク道具一式(普段セルフメイクで使用しているもの)、肌が弱い方は、基礎化粧品一式(化粧水、乳液、美容液など。学校にも用意はあります。)メイク落とし、パフ、スポンジ、リップブラシ(他のブラシに関しては持参は自由)※全て100均のものでも構いません。◎原則として友達同士の道具の貸し借りは禁止とします。毎時間忘れずに用意すること。◎人数が多いため授業前にメイク道具のセッティングを行ったり、メイクオフを速やかに行い授業に参加すること。◎直接肌に触れる道具は(スポンジ、ブラシ類など)は自宅で清潔にして持参すること。
評価方法	10分でセッティング、50分で定期試験(100点満点)授業の理解度、メイクの仕上がりが主な評価対象ですが、日頃の授業態度、忘れ物等も評価の対象に含まれます。
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。自分の顔を知り、メイクを施して綺麗になることも大切な身だしなみの一つです。基礎から始まり、応用へとステップアップしていきます。皆さん一人ひとりがメイクの力でもっと輝けるようにここでは様々なメイクテクニックと一緒に楽しく学んでいきましょう。よろしくお願いします。
【使用教科書・教材・参考書】	
日本メイクアップ技術検定試験 2・3級公式テキスト/スキンケア辞典/メイクアップシニアアドバイザー資格認証講習テキスト	

科目名 (英)	テクノロジー演習 Technology exercises	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界における経営、運営の構造を理解し、サービスが商品価値として顧客に提供される構造をビジネス的感覚の精度を上げる事で構想、構築、提供の方法を学ぶ							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ホテル旅館のリーダーやマネジメント職を見据え、自身でサービスをより高い価値として考察し、構築し、最大化して提供するスキルを身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	サービスマーケティングを活用した接客サービスの基本を学び	
2回目	顧客心理を利用したサービス提供のロジックを理解し説明できるようになる	
3回目	顧客心理を利用したサービス提供のロジックを理解し、実際の提供するテクニックを身に付ける事ができる	
4回目	WEBマーケティングの基本を理解し説明することができる①	
5回目	WEBマーケティングの基本を理解し説明することができる②	
6回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる①	
7回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる②	
8回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる③	
9回目	ホスピタリティにおけるデジタルと人的サービスの共存について概要を学び、説明することができる	
10回目	業界における労働生産性についての基本を学び説明ができる	
11回目	業界における労働生産性についての活用方法を学び説明ができる	
12回目	業界における労働生産性が生むパーソナルサービスの影響を説明することができる	
13回目	試験前のこれまでの授業内容の振り返りの実施	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試	試験のフィードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	業界のコストとリソースの観点からマネジメントができるサービス人材を目指します。自身が宿泊業のサービス商品をよりキャリアアップさせる武器として身に付けられるように半年間一緒に学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	テクノロジー演習 Technology exercises	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 収益を上げる為のマーケティングの基礎からその重要性を学び、商品売る事の仕組みを認識する様な指導をする。</p> <p>※実務経験 ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業会社を設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。</p> <p>【到達目標】 学生が身近に接する広告キャンペーンや実際の事例からの実践を通じた学習を行う。 自らがそれぞれのテーマに取り組み、調査研究した成果を発表する為に、①感じ ②考え ③記録 ④行動(プレゼン)の学生自らの 研究心が醸成され、ホテルマーケティングの手法を分析判断することが出来る。</p>							

授業計画・内容		
1回目	・講師自己紹介 学生に自己PR 年間の授業スタイル説明・何故マーケティングが必要かを知ることが出来る。(課題)	
2回目	・マーケティングについて学び、マーケティング応用の売れる仕組みを理解することが出来る。(課題)	
3回目	・マーケティングを構成する4つのPとは何かを理解する(5月課題)	
4回目	・商品に対する料金の決め方・客室(宿泊)料金に定価はあるのかを知ることが出来る。	
5回目	・市場と顧客の考え方について理解することが出来る。	
6回目	・マーケティングにおける販売促進活動とはどんなものかを理解することが出来る。(6月課題)	
7回目	・多様化するホテル形態・その事業特性を知ることが出来る。	
8回目	・ホテルの売上構成と、その要素について学ぶことが出来る。	
9回目	・ホテルの売上げを増やす方法について理解することが出来る。	
10回目	・AIDMAモデルとブランド戦略について学ぶことが出来る。	
11回目	・ホテルが考えるブランド戦略を知ることが出来る。(7月課題)	
12回目	・ホテルマーケティングとCSの連動について学ぶことが出来る。(夏休み課題)	
13回目	・ホテルにおける顧客情報管理について学ぶことが出来る。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	・これからのホテルマーケティング
準備学習 時間外学習	・新聞やネット情報に対し関心を持ち、感じる力と、その情報に対し考える習慣、その考えた事を記録に残し、自分の考えを発言できる様に する為、日頃からニュースに関心を持つ事 最も大事にしたい事は現状を認識して未来を予測する力をつける事	
評価方法	・課題レポート(プレゼン) 50% 期末試験結果 50%	
受講生への メッセージ	・マーケティングは時代の変化変貌の中で、絶え間なく進化していきます。5Gの時代、VRやARの時代に、私たちの生活も企業も、そして 国も、世界も変化し続けています。 今を認識すると「同時に皆さんの10年後20年後を予測しながら、波に乗れる生き方をしましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・学生使用テキスト無し ・プリント配布 あるいはPPT表示による課題		

科目名 (英)	ドレススタイリング基礎 I Dress Styling Basics I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界におけるドレススタイリストとしての基本的な知識を身につけ、新郎新婦の洋装の着付けができるようになる。							
※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダルスタイリストと東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。現在は主にドレスコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 新郎新婦の衣装、または付随する小物についての基礎知識が身につく、基本的なコーディネートができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介 ブライダル業界におけるドレススタイリストの役割とは？ 婚礼衣裳業界の仕事内容などについて説明することができる	
2回目	ウエディングの種類 現在の挙式スタイルについて学び理解するし説明することができる	
3回目	ウエディングの歴史 日本そして世界における婚礼衣裳の歴史を学び、理解し説明することができる	
4回目	新婦の洋装衣装のライン、素材について学び、説明することができる(フィッティングにチャレンジ)	
5回目	新婦のドレスコーディネート(小物)とブーケについて学び、説明することができる(フィッティングにチャレンジ)	
6回目	新婦の和装について学び、代表的な衣装、それに付随する小物の説明が出来るようになる	
7回目	中間テスト(筆記)	
8回目	中間テストの答案返却と解説、今までの授業の復習	
9回目	新郎の婚礼衣裳の種類、歴史について学び、理解し説明することができる	
10回目	インナーの着用の仕方、パニエの種類を学び、ドレスフィッティングができるようになる	
11回目	タキシードのフィッティングを学び、新郎新婦のバランスを考えたコーディネートができるようになる	
12回目	採寸方法、補正について学び、自分でできるようになる	
13回目	お手入れ(スチームやプレス)、品出しについて学び、自分で必要なお手入れができるようになる	
14回目	★評価週	ドレスフィッティング実技試験(タイム測定)①
15回目	★まとめ	ドレスフィッティング実技試験(タイム測定)②
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間試験(筆記)・期末試験(実技)	
受講生への メッセージ	結婚式において新婦様のお衣装選びはとても重要な要素の一つです。お客様に運命の1着が見つかるお手伝いをするのがドレススタイリストの仕事です。本授業でスタイリストの業務内容の基本を楽しみながら学んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 ワインに関する基礎知識、楽しみ方を学び、ワインに親しめるようにします。 【実務経験】 博多和門にてソムリエとして6年半勤務後、ホテルでの仕事に興味を持ちソラリア西鉄ホテル福岡にて3年勤務。 現在は西鉄グランドホテルのソムリエとして勤務。							
【到達目標】 代表的なワイン生産国の基礎知識を習得し、ワインの奥深さ(歴史や産地、ワイナリーの特徴)を体得し説明できるようになる。□							

授業計画・内容		
1回目	ワインの歴史やブドウの栽培方法、醸造方法を学び、ワインについて理解し説明できる	
2回目	ワインの主要なブドウ品種、ラベルの読み方、ワインのサービス方法を理解し説明できる	
3回目	①フランスワインについて説明できる(ボルドー、ブルゴーニュの2大産地)	
4回目	②フランスワインについて説明できる(他のフランスの主要産地)	
5回目	①フランス以外の旧世界のワインについて説明できる(イタリア、ドイツ、スペイン)	
6回目	①新世界のワインについて説明できる(アメリカ、チリ、日本)	
7回目	②新世界のワインについて説明できる(オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ)	
8回目	地球環境とワイン: サステイナブルな取り組みについて知り説明できる	
9回目	ワインと料理のペアリング(ペアリングのポイント、料理に合うワインの提案が出来るようになる)	
10回目	ワイン以外のアルコール飲料について学び造詣を深めることができる	
11回目	オリジナルワインカクテルを考案できる①	
12回目	オリジナルワインカクテルを考案できる②	
13回目	オリジナルワインカクテルについてグループ内でプレゼンテーションできる	
14回目	★評価週	試験
15回目		苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	筆記試験	
受講生への メッセージ	ワインは知識があるともっとおいしくなります。難しく考えずに楽しく学んで頂き、ワインに親しんでください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長年バーテンダーとして業務を行い、自身のBARを経営する専任講師が実習や座学を通してわかりやすく、お酒やバーテンダーに必要な知識を学べる授業です</p> <p>※実務経験 ホテルオークラにてバーテンダーとして10年勤務</p>							
<p>【到達目標】 技術面では、シェーク(シェーキング)、ステア(パースプーンのスティアの仕方)、グラスの持ち方、注ぎ方、グラスの出し方、シェーカーの洗い方、拭き方。グラスの洗い方など、スマートにできるようになる。 バーの仕事に携わっても即戦力になるようにする。</p>							

授業計画・内容		
1回目	(座学)バーとは、バーテンダーとは。(実技)バーツールの取り扱い方を理解し実践できる	
2回目	(座学)氷について理解し説明できるようになる(実技)氷のカット、丸氷、ダイヤモンドカットができるようになる	
3回目	(座学)焼酎、甲類焼酎と乙類焼酎の違いを理解し説明できるようになる(実技)シェークができるようになる	
4回目	(座学)カクテルのアルコール度数の出し方を理解し説明できるようになる(実技)ステア練習	
5回目	(座学)シェークについて分析ができる(実技)ジンフィズ、トムマリズの違いを理解し説明できるようになる	
6回目	スタンダードカクテル制作ができる(ホワイトレディ、バラライカ、X,Y,Z、マルガリータ)	
7回目	ステア理論(マティーニ、マンハッタン)ビルドカクテル(モスコミュール)ができる	
8回目	(座学)リキュールの種類を理解し説明できる(実技)いろいろなシェーキングができる	
9回目	(座学)リキュールの種類を理解し説明できる(実技)フローズンカクテル制作ができる	
10回目	生クリーム系のカクテル制作(グラスホッパー、ミリオンダラー)2層のカクテルを作ることができる	
11回目	(座学)バーテンダーとしての心構え復習(実技)シェーキングができるようになる	
12回目	(座学)酒類全般の基礎知識を理解し説明できる①(実技)ステア見直し	
13回目	(座学)酒類全般の基礎知識を理解し説明できる②(実技)目分量の練習	
14回目	★評価週	スタンダードカクテルによる実技試験
15回目	★まとめ・追試/再試	スタンダードカクテルによる実技試験
準備学習 時間外学習	授業で学んだシェークとステアの技術をイメージトレーニングする。 スタンダードカクテルレシピを暗記する。	
評価方法	10段階評価による実技試験と、酒類全般の筆記試験を期末に行います。	
受講生への メッセージ	バーテンダーとしての所作、知識、お客様との距離感を1年生の時よりも応用力がつけられるようになる。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ビジネスマナー講座 business manner	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長年に渡り一般企業・短大・大学でマナーに関することを教えてきた専任教員から講義と実践を通じて、入社1年目に求められる社会人としてのマナーをひとつひとつ身に付けることができます。</p> <p>※実務者経験：2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。</p>							
<p>【到達目標】 自信をもって入社に臨めるようにはまず心の壁を取り除き、必要なビジネスマナーを習得。さらにコミュニケーション力を磨くことができます。</p>							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーションを受け、今後の授業計画を知ることが出来る。自身の希望する職種に必要なものを知ることが出来る。						
2回目	入社前に行くこと・社会人モードに切り替えることの大切さとは・履歴書の大切さを知ることが出来る。						
3回目	社会人としての基本動作と身だしなみ・仕事で役に立つ言い回し・敬語を学ぶことが出来る。						
4回目	前回の復習とまとめ・色彩深層心理学による自己分析・履歴書の提出が出来る。						
5回目	前回の自己分析を通して1分間の相手の心に響く自己紹介(300文字)が出来るようになる。						
6回目	自信が持てる話し方・プレゼンテーションの基本を学ぶことが出来る。						
7回目	中間テスト:1分間の自己PR						
8回目	仕事の進め方・メモの取り方・報連相のやり方・日報の書き方を学ぶことが出来る。						
9回目	電話を受けるときのマナー・かけるときのマナー・メールのマナー・ビジネス文書の作り方を学ぶことが出来る。						
10回目	コミュニケーションの取り方・会話が途切れない言葉の選び方を学ぶことが出来る。						
11回目	前回の復習とロールプレイを行い、苦手な部分を克服することが出来る。						
12回目	TO DOリスト・PDCAサイクル・情報収集の仕方・新聞の読み方を学ぶことが出来る。						
13回目	総復習を行い、不明確な点を明確にすることが出来る。						
14回目	★評価週	試験:ロールプレイ					
15回目	★まとめ・追試/再試	振返り、苦手を克服できる					
準備学習 時間外学習							
評価方法	・履歴書(20%)・ロールプレイ(80%)						
受講生への メッセージ	授業を通して”小さな習慣”を身に付け、続けることで自信を付けて自分自身をチェンジしていきましょう。深層心理・カラー心理はとて楽しいです。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	ビジネス英会話 Business English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
Intermediate level course further strengthening students' conversational abilities							
※work experience: Experienced as an English teacher in Japan since 2001							
【到達目標】							
Students will have mastery of everyday conversational topics and confidence in tackling more advanced topics							

授業計画・内容	
1回目	L. 1 Where are you from? Can greet people and take leave. Pre-test and Class syllabus overview.
2回目	L. 2,3 Qualities Can ask about and describe people
3回目	L.4 Quantities Can use quantities to describe behavior
4回目	L.5 Food experiences Can ask about and describe types of food
5回目	L.6 Recipes Can give instructions on how to make dishes
6回目	L.8 Restaurants Can take and give food orders
7回目	L.7 Great Service Can describe restaurants and make recommendations
8回目	L.9 Health Can describe health problems and make suggestions
9回目	L.10 Advice Can ask for and give advice
10回目	L.11-12 Comparing Can ask for and make comparisons, give reasons
11回目	L. 13-14 Ability and Need Can express ability and express necessity
12回目	L. 15 Deciding Can consider pros and cons of competing ideas
13回目	REVIEW Review Lesson. Test prep.
14回目	★評価週 test
15回目	★まとめ・追試/再試 Overcome weaknesses
準備学習 時間外学習	
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	We will build on your study success in the first year and further develop your fluency. Let's talk more!
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フォト&ムービー演習	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	Photo & movie exercises	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ブライダルプランナーコース				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

プロとしてのメディア制作や撮影の実務経験ある教員が、写真の撮影や映像編集、また選定方法についての授業を実施します。

※実務経験

フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)

【到達目標】

撮影技術について理解し、撮影について提案することができる。
撮影された写真・映像を理解し選定することができる。

授業計画・内容

1回目	自己紹介、他己紹介、ブライダル業界における映像、写真の役割を理解し説明することができる	
2回目	写真・映像を選定するにあたって、いい写真・映像とは何かを考え、ディスカッションすることができる	
3回目	構図と画面比率について理解し、説明することができる	
4回目	写真のメタ情報について理解し、説明することができる。ファイル情報共有を行うことができる	
5回目	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる	
6回目	焦点距離について理解し説明することができる	
7回目	絞りとシャッター速度について理解し説明することができる	
8回目	露出について理解し説明することができる	
9回目	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる	
10回目	人物撮影のポイントについて理解し説明することができる	
11回目	Rawファイルとレタッチの効果についてについて理解し説明することができる	
12回目	照明や三脚などのカメラアクセサリについて学習し、活用方法を理解し説明することができる	
13回目	撮影演習 これまでの授業の内容を活かして撮影し、それを説明することができる	
14回目	★評価週	写真選定と撮影技術についてのテスト
15回目	★まとめ・追試/再試	写真撮影と撮影技術についてのテストと振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

期末テスト

受講生への
メッセージ

昔は特別な体験だった写真撮影・映像編集が、今はスマートフォンの普及により一般化しました。それにより現代では、求められる技術も高くなっていますが、授業を通してホスピタリティのプロとしての一歩先の写真の知識を身につけましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ブライダルアイテム Bridal items	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】フローリスト/フラワーアーティストとしてフラワーブランドを主宰する講師が、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ講義を実施します。プランニングやアレンジメント実技なども交え、実践力となるスキルを身につけ、進路の選択肢を広げます。 【実務経験】2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネーター、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。							
【到達目標】 最新のブライダルアイテムトレンドを学び実践に活かすことができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介/ブライダルフラワー・ブライダルジュエリーのトレンドをそれぞれ考察し、レポートにまとめることができる	
2回目	昨今のブライダルトレンドを理解することができる	
3回目	ショーケースディスプレイについて理解することができる	
4回目	トレンドブーケ制作が出来るようになる①	
5回目	2022年のブライダルドレストレンドについて理解することができる	
6回目	トレンドブーケ制作が出来るようになる②	
7回目	課題発表/ディスカッション	
8回目	オリエンテーション・自己紹介/授業内容について	
9回目	アクセサリ作り工程や素材の特徴を理解することができる	
10回目	昨今のトレンドにあわせた小物を理解し提案することができる	
11回目	リングサイズの測り方を理解しオリジナルリングのデザインをすることができる	
12回目	オリジナルリング制作が出来るようになる	
13回目	プレゼンテーション/ディスカッション①	
14回目	★評価週	プレゼンテーション/ディスカッション②
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	プレゼンテーション100%	
受講生への メッセージ	最新のブライダルトレンドを取り入れた一連の流れを楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level3	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定3級合格を目指し指導を行う。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
ブライダルコーディネイト検定3級を取得することができる							

授業計画・内容		
1回目	第4章 ブライダル関連業種、第5章ブライダルのエリア特性(P40～P47)を理解し説明できる	
2回目	第6章 ブライダル業界の1年と集客システム(P48.P49)を理解し説明できる	
3回目	Lesson3 ブライダルの基礎、第1章 見合いと婚約(P52～P57)を理解し説明できる	
4回目	第2章 結納・婚約式(P58～P68)を理解し説明できる	
5回目	小テスト(前週の復習)、第3章ブライダル準備(P69.P70)を理解し説明できる	
6回目	第4章 キリスト教式(P71～P75)を理解し説明できる	
7回目	第5章 神前式、第6章 仏前式、第7章 人前式(P76～P83)を理解し説明できる	
8回目	第8章 シビルマリッジ、第9章 披露宴、第10章 海外ウェディング、第11章 二次会(P84～P91)を理解し説明できる	
9回目	Lesson4 コーディネーター業務、第1章 コーディネーター業務とは(P94～P100)を理解し説明できる	
10回目	第2章 新規業務、第3章 ブライダルセールスの特徴(P101～P108)を理解し説明できる	
11回目	第4章 ホスピタリティ営業、第5章、第6章 プレゼンテーションの手法(P109～P114)を理解し説明できる	
12回目	第7章 新規アフターフォロー、第8章 成約業務、第9章 ペーパーワーク(P115～P121)を理解し説明できる	
13回目	過去問、模擬試験を実施	
14回目	★評価週	フィードバック、苦手を克服することができる
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト解答と総復習
準備学習 時間外学習	・個人の理解力を把握するため、小テストを実施	
評価方法	・期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	・ブライダルコーディネイト検定テキスト(必ず、忘れないように！)	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination test grade 3	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーターの国家資格を取得するための対策授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
2024年1月の国家資格検定試験に合格ができる。							

授業計画・内容	
1回目	ブライダルコーディネーターとは、結婚とは、第1章結婚の定義(P1～11)を理解し説明できるようになる
2回目	第2章日本の結婚式・歴史と文化(P12～21)を理解し説明できるようになる
3回目	第3章欧米の結婚式・歴史と文化(P22～32)を理解し説明できるようになる
4回目	Lesson②ブライダルビジネス 第1章～第6章(P34～49)を理解し説明できるようになる
5回目	Lesson③ブライダルの基礎 第1章～第2章(P52～68)を理解し説明できるようになる
6回目	第3章ブライダル準備 第4章～第5章(P69～79)を理解し説明できるようになる
7回目	第6章仏前式、第7章人前式、第8章～第11章(P80～91)を理解し説明できるようになる
8回目	Lesson①～③までのまとめと小テスト&解答を学び身に付けることができる
9回目	Lesson④コーディネーター業務 第1章、第2章(P94～106)を理解し説明できるようになる
10回目	第3章ブライダルセールスの特徴、第9章ペーパーワーク(P107～121)を理解し説明できるようになる
11回目	Lesson⑤打合せ業務 第1章～第4章Lesson⑥(P124～137)を理解し説明できるようになる
12回目	(6)洋装のラッキーアイテム～3、4 和装の基本(P138～153)を理解し説明できるようになる
13回目	第4章ヘアメイク・ネイルアート～、第5章会場コーディネート(P154～164)を理解し説明できるようになる
～	★評価週 Lesson④～Lesson⑥の総テストと解答を学び身に付けることができる
15回目	★まとめ・追試/再試 第7章ペーパーアイテム、第9章披露宴演出(P165～176)を学び身に付けることができる
準備学習 時間外学習	5回目の授業日は茶室にて結納の授業を行いますので、教室の確保をお願いします。
評価方法	学科 中間テスト 50% (筆記)期末テスト 50%
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。これから2年間のブライダルCD検定初年度でしっかり基礎を学び合格に結び付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	Bridal coordination test grade 3	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダルプランナーコース			曜日・時限			
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定3級合格を目指し指導を行う。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ブライダルコーディネイト検定3級を取得することができる							

授業計画・内容		
1回目	第4章 ホスピタリティ営業、第5章、～第9章(P109～P121)について理解する	
2回目	Lesson5 打ち合わせ業務 第1章～第4章 Lesson6(P124～P138)について理解する	
3回目	3、花婿の洋装と洋装小物 4、和装の基本、第3章 ブーケ(P139～P155)について理解する	
4回目	第5章 会場コーディネイト、第6章 テーブルコーディネイト、第7章 ペーパーアイテム(P156～P167)について理解する	
5回目	第8章 料理・飲み物、第9章 披露宴の基本演出、第10章 演出(P168～P181)について理解する	
6回目	第11章 引出物・引菓子、第12章 記録・記念アイテム Lesson7(P182～P194)について理解する	
7回目	第3章 挙式・披露宴の演出手配、第4章～第6章(P195～P204)について理解する	
8回目	Lesson8 当日業務、第1章、第2章、第3章(P206～P216)について理解する	
9回目	第4章 テーブルセッティング、第5章 当日のサービス業務、第6章(P217～P228)について理解する	
10回目	過去問題集によるテスト対策①	
11回目	過去問題集によるテスト対策②	
12回目	過去問題集によるテスト対策③	
13回目	過去問題集によるテスト対策④	
14回目	★評価週	検定問題より模擬試験実施
15回目	★まとめ・追試/再試	過去問題集によるテスト対策⑤
準備学習 時間外学習		
評価方法	・期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	・必ず試験に合格するという気持ちで、受講してください。 毎回の検定テキストは忘れないように。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination test grade 3	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーターの国家資格を取得するための対策授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
2023年1月の国家資格検定試験に合格ができる。							

授業計画・内容		
1回目	ブライダルCD検定2021年度問題の解答と解説50問(筆記問題)を学び身に付けることができる	
2回目	ブライダルCD検定2021年度問題の解答と解説15問(実技問題)を学び身に付けることができる	
3回目	前期の振り返りを身に付けることができる(P106)見積書を理解し説明できるようになる	
4回目	第3章ブライダルセールスの特徴、第4章ホスピタリティ営業(P107~110)を理解し説明できるようになる	
5回目	第5章プランニング、第6章プレゼンテーションの手法、第7章新規アフターフォロー(P111~116)を理解し説明できるようになる	
6回目	第8章成約業務(P117~121)を理解し説明できるようになる	
7回目	中間テスト対策を学び身に付けることができる	
8回目	中間テストと解答を学び身に付けることができる	
9回目	Lesson⑤打合せ業務(P124~127)を理解し説明できるようになる	
10回目	第1章コーディネート(P130.131)コラージュ作成を理解し説明できるようになる	
11回目	第2章衣装選定(P132~141)を理解し説明できるようになる	
12回目	4. 和装の基本、(P142~147)を理解し説明できるようになる	
13回目	第3章ブーケ、フラワーアイテムの選定(P148~153)を理解し説明できるようになる	
14回目	★評価週	期末テスト対策
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	学科・中間テスト50% (筆記)期末テスト50%	
受講生へのメッセージ	進級おめでとうございます。この前期授業でブライダルCD検定の基礎を学び、合格に結び付けてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定2級 Bridal coordination examination level2	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定2級合格を目指し指導を行う。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ブライダルコーディネイト検定2級を取得することができる							

授業計画・内容	
1回目	(実技試験対策)お客様のニーズをくみ取ることができる①
2回目	(実技試験対策)お客様のニーズをくみ取ることができる②
3回目	(実技試験対策)お客様のニーズをくみ取ることができる③
4回目	(実技試験対策)お客様にあったブライダルサービス・商品等を想像・企画することができる①
5回目	(実技試験対策)お客様にあったブライダルサービス・商品等を想像・企画することができる②
6回目	(実技試験対策)お客様にあったブライダルサービス・商品等を想像・企画することができる③
7回目	(実技試験対策)お客様にプランをわかりやすく提案・説明し承諾を得ることができる①
8回目	(実技試験対策)お客様にプランをわかりやすく提案・説明し承諾を得ることができる②
9回目	(実技試験対策)お客様にプランをわかりやすく提案・説明し承諾を得ることができる③
10回目	(実技試験対策)お客様の結婚式・披露宴を円滑に運営するための事前準備ができる①
11回目	(実技試験対策)お客様の結婚式・披露宴を円滑に運営するための事前準備ができる②
12回目	(実技試験対策)お客様の結婚式・披露宴を円滑に運営するための事前準備ができる③
13回目	実技期末試験
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	・個人の理解力を把握するため、小テストを実施
評価方法	・期末テスト100%
受講生へのメッセージ	・ブライダルコーディネイト検定テキスト(必ず、忘れないように！)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level3	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定3級と2級合格を目指し指導を行う。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ブライダルコーディネイト検定3級と2級を取得することができる							

授業計画・内容		
1回目	日本および世界の文化を理解し、接客トークに活かすことができる	
2回目	国や行政機関が制定した法令を理解し説明することができる	
3回目	地域の習慣、国内外の宗教、儀礼、作法を理解し説明できる	
4回目	結婚の歴史を理解し、お客様に伝えるシミュレーションをグループで実践できる	
5回目	結婚の歴史を理解し、お客様に伝えるシミュレーションをグループで実践できる	
6回目	結婚に関する民法を理解し、お客様に伝えるシミュレーションをグループで実践できる	
7回目	(テキスト)Lesson1結婚とは を理解し説明することができる	
8回目	(テキスト)Lesson2ブライダルビジネスについて理解し説明することができる	
9回目	(テキスト)Lesson3婚約～二次会まで結婚式にいたるまでの一連の流れを理解し説明することができる	
10回目	(テキスト)Lesson4コーディネーター業務を理解し説明することができる	
11回目	(テキスト)Lesson5打合せ業務を理解し説明することができる	
12回目	(テキスト)Lesson6コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定について理解し説明することができる	
13回目	(テキスト)手配業務について理解し説明することができる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	・個人の理解力を把握するため、小テストを実施	
評価方法	・期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	・ブライダルコーディネイト検定テキスト(必ず、忘れないように！)	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルシステム Bridal system	必修 選択	必修 選択	年次	1
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に

【学習内容】

式場のプランナーが接客時に使用している【ブライダルシステム】を使用し、結婚式の【申し込み】～【当日】までの【打合せ】の企画や提案】・【見積書の提示】を学びます

【実務経験】

株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン ブライダルコン

【到達目標】

ブライダル専用システムの機能・仕様を理解することができる
 新郎新婦と打ち合わせをする際の、ブライダル専用システムを使用した接客・説明ができる
 テムを使用し、挙式・披露宴の進行表のタイムスケジュールを組むことができる

授業計画・内容		
1回目	自己紹介 今後の目標設定 システムログイン確認 ブライダル専用システム全体の機能・概要を理解	
2回目	現在のWEDDINGスタイル と ブライドスケジュール 新規接客と打合せ接客時におけるシステムの使	
3回目	挙式会場シミュレーション 接客をしながらのシステムの利用方法を取得できる	
4回目	バンケットシミュレーション 接客をしながらのシステムの利用方法を取得できる	
5回目	バンケット テーブルコーディネート ※テーマ設定 コーディネートシミュレーションシステムを使用し提	
6回目	六輝表 お日取り選定システムを使用し、婚礼予約の取り方を身に付けることができる	
7回目	シーン別衣裳提案力を身に付けることができる	
8回目	演出アイテムの把握とシーン別の使用方法を理解することができる	
9回目	婚礼料理の種類と金額を理解することができる	
10回目	ブライダルシーンにおける装花の種類と金額を理解することができる	
11回目	挙式進行表 シミュレーション チャペル挙式・人前挙式(プランニング) 音楽選定 システムを使用し	
12回目	披露宴進行表 シミュレーション 披露宴進行のタイムスケジュールを組み立てることができる	
13回目	披露宴進行表 シミュレーション 音楽選局 披露宴のシーン別音楽の選曲・提案をすることができる	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目		フィードバック、不明な点を解決することが出来る。
準備学習 時間外学習	始業時には、各自パソコンを立ち上げ、ログインをしてください USB持参してください	

科目名 (英)	ブライダルシステム Bridal system	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界にてブライダルプランナー、そして支配人として、新規接客を10,000組以上担当した実績のある専任教員が、新規接客で新郎新婦に結婚式のご提案ができるようになることを目的に、人材を育成します。学習方法は、座学による接客理論と、実践のロールプレイングを通じて学習します。							
【実務経験】 ブライダルプロデュース会社/支配人として約10年勤務、ブライダルコンサルティング会社執行役員営業本部長として業界に携わる							
【到達目標】 新規接客における顧客心理を理解し、説明することができる。 新規接客における決定率を意識し、接客シミュレーションができる							

授業計画・内容	
1回目	婚礼施設における新規接客の重要性を理解することができる
2回目	新規接客プランナーにおける決定率の重要性を理解し説明することができる
3回目	新郎新婦の購買心理を理解し、接客に活かすことができる
4回目	新規接客で大切なことと即決理論を理解し、シミュレーションで実践することができる
5回目	即決をいただける新規接客の流れを理解し、シミュレーションで実践することができる
6回目	好印象を持たれる名刺渡しと自己紹介のスキルを身につけることができる① (ロールプレイング)
7回目	中間試験(筆記)
8回目	新郎新婦のご要望を聞き出すヒヤリングスキルを身につけることができる① (ロールプレイング)
9回目	新郎新婦のご要望を聞き出すヒヤリングスキルを身につけることができる② (ロールプレイング)
10回目	新郎新婦のご要望に対して、持っている知識を用いてご提案するスキルを身につけることができる① (ロールプレイング)
11回目	新郎新婦のご要望に対して、持っている知識を用いてご提案するスキルを身につけることができる② (ロールプレイング)
12回目	名刺渡しからヒヤリングまでの一連の接客スキルを身につけることができる① (ロールプレイング)
13回目	名刺渡しからヒヤリングまでの一連の接客スキルを身につけることができる② (ロールプレイング)
14回目	★評価週 決定率をあげるための接客技術を実践することができる
15回目	★まとめ・追試/再試 期末試験(実践): 決定率をあげるための接客技術を実践することができる
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を各自行ってください。
評価方法	中間テスト(筆記)50%、期末テスト(実技)50%
受講生への メッセージ	本講義は、婚礼施設の現場で求められる新規接客の基本知識と接客スキルを身につけていきます。 ブライダル業界で即戦力として活躍するご自身を想像しながら、受講いただけると幸いです。よろしくお願ひします。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルシステム Bridal system	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
ブライダル業界にてブライダルプランナー、そして支配人として、新規接客を10,000組以上担当した実績のある専任教員が、新規接客で新郎新婦に結婚式のご提案ができるようになることを目的に、人材を育成します。学習方法は、座学による接客理論と、実践のロールプレイングを通じて学習します。

【到達目標】
新規接客において、新郎新婦のご要望を聞き出すことができる。
聞き出したご要望に対して、自分が持っている知識を用いて結婚式のご提案ができる。

授業計画・内容		
1回目	婚礼施設における新規接客の重要性を理解することができる	
2回目	新規接客プランナーに必要な要素を理解することができる	
3回目	新郎新婦の購買心理を理解することができる	
4回目	新規接客で大切なことと即決理論を理解することができる	
5回目	即決をいただける新規接客の流れを理解することができる	
6回目	好印象を持たれる名刺渡しと自己紹介のスキルを身につけることができる① (ロールプレイング)	
7回目	中間試験(筆記)／好印象を持たれる名刺渡しと自己紹介のスキルを身につけることができる② (ロールプレイング)	
8回目	新郎新婦のご要望を聞き出すヒヤリングスキルを身につけることができる① (ロールプレイング)	
9回目	新郎新婦のご要望を聞き出すヒヤリングスキルを身につけることができる② (ロールプレイング)	
10回目	新郎新婦のご要望に対して、持っている知識を用いてご提案するスキルを身につけることができる① (ロールプレイング)	
11回目	新郎新婦のご要望に対して、持っている知識を用いてご提案するスキルを身につけることができる② (ロールプレイング)	
12回目	名刺渡しからヒヤリングまでの一連の接客スキルを身につけることができる① (ロールプレイング)	
13回目	名刺渡しからヒヤリングまでの一連の接客スキルを身につけることができる② (ロールプレイング)	
14回目	★評価週	名刺渡しからヒヤリングまでの一連の接客スキルを身につけることができる③ (ロールプレイング)
15回目	★まとめ・追試/再試	期末試験(実践):名刺渡しからヒヤリングまでの一連の接客スキルを身につけることができる (ロールプレイング)
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を各自行ってください。	
評価方法	中間テスト(筆記)50%、期末テスト(実技)50%	
受講生への メッセージ	本講義は、婚礼施設の現場で求められる新規接客の基本知識と接客スキルを身につけていきます。 ブライダル業界で即戦力として活躍するご自身を想像しながら、受講いただけると幸いです。よろしくお願ひします。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal fair planning	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>・ブライダル業界24年の経験講師により、和婚の歴史を紐解き今現在に通じる新たな和婚の企画ができるようになる。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
<p>・和の歴史、基本の和婚を身に付け、和婚式の応用の提案ができる</p>							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション和婚の挙式、披露宴や授業の目的を知ることができる	
2回目	神前式の復習と和装の復習で、和婚の理解を深めることができる	
3回目	(和装の小テスト)和婚挙式(紅差しの儀・管迫の儀・水合わせの儀・懐剣の儀)	
4回目	和の結婚式基本型(進行)雅楽を理解する	
5回目	和装での挙式・演出での小物を理解する	
6回目	和婚の①挙式と②披露宴の企画書を作成することができる	
7回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる	
8回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる	
9回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる	
10回目	和婚の挙式プロデュース・プレゼンテーションができる	
11回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる	
12回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる	
13回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる	
14回目	★評価週	和婚の披露宴のプロデュース・プレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試	和の結婚式の振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	・和婚の挙式プレゼンテーション70%・披露宴プレゼンテーション30%	
受講生への メッセージ	・和婚の意味を理解し、現在らしさを加えての結婚式の提案をしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
・資料は担当講師より配付		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal fair planning	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実施授業：ブライダル業界のIT活用の現状と未来について学び、これから実用化をするwebサービスの企画を立案し提案する。</p> <p>【実務経験】PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p> <p>【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたwebサービスの企画立案し、提案すること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒他已紹介、本プロジェクトの経緯と目的の共有
2回目	IT業界とブライダル業界の現状についての説明 業界の現状について説明することができる。
3回目	本プロジェクトの目標設定 この授業の最終目標について説明することができる。
4回目	事実の抽出と抽象化と転用について 業界サービスについて分析することができる。
5回目	班分けと班の目標設定 各班でのこの授業の最終目標について説明することができる。
6回目	プレゼンについて プレゼンの本質について説明することができる。
7回目	プレゼンについて プレゼンの有効な構成や手順について説明することができる。
8回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
9回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
10回目	株式会社サウスポイント様へ中間プレゼンテーション
11回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
12回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
13回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
14回目	★評価週 企業様へ最終プレゼンテーション
15回目	★まとめ・追試/再試 フィードバック
準備学習 時間外学習	
評価方法	プレゼンテーション
受講生への メッセージ	世相により、今は社会で活躍するにあたってIT知識は欠かせないものとなっています。またその時々に応じ、提案して行動することが求められます。この授業ではITの基礎的な知識を学ぶことができ、また企画提案力を身に付けることができます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルプランニング I Bridal planning I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>挙式の意味を理解し、模擬挙式の提案、実行を遂行する授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
<p>基本の挙式を学び、自ら積極性を持ち取り組み、実りある模擬挙式を目指してほしいです。</p>							

授業計画・内容	
1回目	挙式の意味を学び身に付けることができる(CD検定P82.83)
2回目	様々な挙式(人前式、神殿式、チャペル式)を学び理解し説明できるようになる
3回目	人前式のスタイルを考える、各チームで提案することができる
4回目	人前式のプログラムを組むことができる
5回目	人前式での役割を学び身に付けることができる
6回目	チャペル挙式より学び人前式を理解し説明できるようになる
7回目	チャペル挙式見学において挙式を理解し説明できるようになる
8回目	挙式のプランニングの見直しをし理解し説明できるようになる
9回目	コラージュ作成により挙式のイメージ I を理解し説明できるようになる
10回目	コラージュ作成により挙式のイメージ II を理解し説明できるようになる
11回目	各チーム編成でグループの理解度を高めることができる
12回目	各チーム編成で役割分担を学び身に付けることができる
13回目	各チーム編成でスケジュール作成を学び身に付けることができる
14回目	イベントを企画し、運営することができる
15回目	イベントを企画し、運営することができる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	人前式見学におけるレポート提出で 100%評価(中間テスト)とする
受講生へのメッ セージ	ご入学おめでとうございます。まずイベント制作で模擬人前式を全員で協力的に実施してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師配付、(ブライダルコーディネーター検定の教本)P82.83	

科目名 (英)	ブライダルプランニングⅡ Bridal Planning II	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】

模擬披露宴を企画・運営するために、披露宴についての理解をより深めていきます

【実務経験】

株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)
業界経験25年

【到達目標】

披露宴の専門知識を学び、模擬披露宴を行うための知識や現場力を身につけることができるようになる。

授業計画・内容

1回目	前期振り返り・ブライダル用語Ⅰを理解し説明することができる	
2回目	ブライダル用語Ⅰ小テスト/ブライダル用語Ⅱを理解し説明することができる	
3回目	映像を視聴し、披露宴について理解しディスカッションすることができる	
4回目	結婚式の知識やマナーについて理解し説明することができる(招待状の返信ハガキを実際に書く)・披露宴とは何か理解し説明することができる	
5回目	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(ドレスコーディネーター・フローリスト・アテンダー・司会)	
6回目	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(カメラマン・映像・音響・サービス)	
7回目	中間テスト(ブライダル用語編)	
8回目	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日までの業務について)	
9回目	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日の業務について)	
10回目	披露宴の演出について調べ研究し内容を発表することができる	
11回目	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて流れを考える)※グループワーク	
12回目	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて考えたものをプレゼンテーションする)※アウトプット	
13回目	テスト前対策	
14回目	★評価週	期末テスト・テスト返却
15回目	★まとめ・追試/再試	模擬披露宴準備

準備学習
時間外学習

評価方法

中間テスト50%
期末テスト50%

受講生への
メッセージ

模擬披露宴を素晴らしいものにするために様々なことを学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル Bridal professional	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ユミカツラインターナショナル認定の卒業課題制作として、テーマウェディングの企画書を作成します。							
※実務経験 キャリアコンサルタント2年、広告業会社経営3年							
【到達目標】 テーマウェディングを作成し、プレゼンテーションができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	テーマウェディングとは何か、理解し説明できるようになる
2回目	わかりやすい企画書の作成方法を理解し実践できる
3回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる1
4回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる2
5回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる3
6回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる4
7回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる5
8回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる6
9回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる7
10回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる8
11回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる9
12回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる10
13回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる11
14回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる12
15回目	★評価週 企画書をユミカツラインターナショナルへ提出する
準備学習 時間外学習	
評価方法	ユミカツラインターナショナルの担当者が作品の評価を実施
受講生への メッセージ	伝統を正しく理解して、発展できるような人を目指しましょう
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル bridal professional	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>発展めまぐるしい現代の情報技術の概要や活用例を学び、専攻の分野で活用できる応用力を養う。</p> <p>※実務経験 PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> 最新IT技術の特徴や活用法、問題点について説明できる。 最新IT技術を応用した、ブライダル業界でのソリューションを提供できる。 プレゼンテーション資料の作成、及びプレゼンテーションを行える。 							
授業計画・内容							
1回目	IT・AIを活用した事例を知り、IT・AIについて理解し説明できる						
2回目	IT企業様へ訪問し、活用事例を実際に見る						
3回目	IT企業様にお越しいただき、ホスピタリティ業界とAI活用について理解し説明できる						
4回目	市場調査資料の作成が出来る						
5回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる①						
6回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる②						
7回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる③						
8回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる④						
9回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる⑤						
10回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる⑥						
11回目	学内プレゼンテーション						
12回目	プレゼンテーションを振り返り、内容改善とプレゼンテーション力の見直しができる①						
13回目	プレゼンテーションを振り返り、内容改善とプレゼンテーション力の見直しができる②						
14回目	プレゼンテーションを振り返り、内容改善とプレゼンテーション力の見直しができる③						
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック					
準備学習 時間外学習							
評価方法	プレゼンテーションの完成度100%とする。						
受講生へのメッセージ	講師、協力企業ともに、全力でサポートするので「自分たちがブライダル業界を変える！」つもりで企画を練り上げていきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	ブライダルマーケティング Bridal marketing	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>東急ホテルズインターナショナル(株)マーケティング部の出身で、ツアーのプランニングや市場分析、および販売促進のプランを実際に行った経験をいかし、マーケティングの重要性を理解していただく。いいホテルを建てればお客様が自然にいらっしゃる時代は終わり、告知、販売促進、PRや広告宣伝、そして販売ルートの開拓をしないとイケない時代になっていることをふまえ、具体的なプランニングや広告を考えていく。</p> <p>(実務経験) (株)東急ホテルズインターナショナル販売促進部に所属(約5年)し、販売促進のためのプランニングをし、それを航空会社、旅行社、関係各国の観光省と共にプロモーションをした。また日本リージェントにて日本におけるホテル開発時の販売促進に従事した。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>① マーケティングの重要性が理解できる ② 販売促進のためのプランニングができる ③ ターゲット別に販売促進を考えることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	導入(マーケティングの仕事内容を理解する)
2回目	4つのP(place, price, product, promotion)を理解する
3回目	広告宣伝とは何かを具体例をまじえて理解する
4回目	PRをパブリシティの効果を考えながら理解する
5回目	CMを見て、何が効果的で何があまりアピールしないのかを考える
6回目	新聞広告をみて何が効果的で何があまりアピールしないのかを考える
7回目	雑誌広告やフリーのペーパーの広告をみて、何が効果的で何があまりアピールしないのかを考える
8回目	広告宣伝を実際にプランニングしてみよう その1
9回目	広告宣伝を実際にプランニングしてみよう その2
10回目	広告宣伝を実際にプランニングしてみよう その3
11回目	ターゲットとは何かを理解する
12回目	ターゲットを細分化して成功した例を学ぶ
13回目	まとめ、復習、テストの準備
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	交通広告、フリーペーパー、テレビCMなど身の回りの販売促進物に注意をはらって、自分なりにその効果を見るようにしましょう。
評価方法	小テストまたはレポート提出20% テスト80%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルマネジメント Bridal management	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】収益を上げる為の工程や数値管理、業務分析等は練習問題などで習得する。特に収益構造の仕組みを認識する指導をする。又時代背景に応じた商品プランの立案からマーケティング戦略などを学び、プレゼン能力のある学生育成をする。

【実務経験】ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験、2014年にホテル旅館運営支援事業の会社を設立、ホテル・旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。

【到達目標】

ホスピタリティ産業におけるレベニューマネジメントの概念を知り、日々の業務として売上の最適化に長けた顧客を最優先するレベニューマネージャー業務を学ぶことでマネジメントにも通じる知識を習得する。

授業計画・内容

1回目	レベニューマネジメントとは何か その原理原則を知り、RM(レベニューマネジメント)の目的が理解し説明できる	
2回目	収益管理の商品特性と市場が理解でき、RMの重要性を知り、説明することができる	
3回目	需要予測の重要性 ホテルの商品やサービスの需要に関するデータ収集分析が将来の販売予測に重要な理由が理解し説明できる	
4回目	現在の数値分析の内容及びその重要性が理解し説明できる	
5回目	現状分析から将来の数値を予測する必要性を知り、説明できる	
6回目	需要予測と戦略的価格設定の関係性を理解し、価格がどのようにして決定するかのプロセスを説明できる	
7回目	在庫と価格管理 最適な在庫管理の手法を理解し説明できる	
8回目	顧客の市場区分別分析や在庫管理戦略としての売り越し実施の条件を理解し説明できる	
9回目	価格管理 在庫と価格管理の関係性を認識し説明できる	
10回目	流通経路管理 非ネット系流通経路の分析手法を理解し説明できる	
11回目	ネット軽流通経路 分析手法を理解し説明できる	
12回目	競合他社分析基準を理解し説明できる	
13回目	飲食サービスのレベニューマネジメント概要を理解し説明できる	
14回目	★評価週	グループディスカッション
15回目	★まとめ・追試/再試	グループディスカッション

準備学習
時間外学習

基本的にWebsite情報を元に、色んな情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から・・・であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面では無く、社会のニュースや業界事業施設周辺マーケットや流通サービス業の価格設定等も常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し学びは日常の中に沢山あり、それに気づく事が重要です。又、PCやタブレットは単なる道具ですが、当然ながら道具を使いこなすPCスキルも必要です。

評価方法

期末試験によって評価する

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ブライダルマネジメント Bridal management	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ブライダル業界xAIで実際に社会実装を目的とした企画制作を行い、プレゼンテーションを行う。</p> <p>講師紹介：PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクス分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p>							
【到達目標】							
持続可能な事業として、企業に企画を受け入れてもらうことを目標としてプレゼンテーションができること							
授業計画・内容							
1回目	制作会社のフィードバックの確認を行い、進捗の確認が出来る						
2回目	開発計画スケジュールの作成が出来る						
3回目	予算、及び収支計画の作成が出来る						
4回目	市場調査資料の作成が出来る						
5回目	プレゼンテーションビデオの作成が出来る						
6回目	プレゼンテーションの復習を行い、不足感を補える						
7回目	クライアント質疑応答対策を行いプレゼンに備えることが出来る						
8回目	クライアントフィードバックの対応一企画内容をまとめることが出来る						
9回目	クライアントフィードバックの対応一開発スケジュールを作成出来る						
10回目	クライアントフィードバックの対応一予算、及び収支計画の作成が出来る						
11回目	クライアントフィードバックの対応一市場調査をまとめることが出来る						
12回目	クライアントフィードバックの対応一質疑応答が出来る						
13回目	プレゼンテーション予行をし、本番に備えることが出来る						
14回目	★評価週 プレゼンテーション本番でクライアントに事業内容を伝えることが出来る						
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック					
準備学習 時間外学習	なし						
評価方法	プレゼンテーションの完成度100%とする。						
受講生へのメッセージ	講師、協力企業ともに、全力でサポートするので「自分たちがブライダル業界を変える！」つもりで企画を練り上げていきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	ブライダル基礎 I Bridal foundation I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ブライダル業界での基礎知識を学び、ブライダルビジネスにおいて総合エキスパートを目指す授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
<p>基本をしっかりとし身に付けて、ブライダル業界に興味を持ち、将来の自己に役立ててほしいです。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、授業内容の説明、評価方法の説明(自己紹介)
2回目	ブライダルDVDでの感想(ホテル、レストラン)の相違を理解し説明できるようになる
3回目	ブライダルマナー(招待状の返信、参列者ファッション、のし袋の書き方等)を身に付けることができる
4回目	ブライダル概論(Ⅰ)ブライダル業界のマーケット、ブライダルの職種と役割りを学び身に付けることができる
5回目	ブライダル概論(Ⅱ)ブライダル用語Aを学び身に付けることができる
6回目	ブライダル概論(Ⅲ)ブライダル用語Aを引き続き学び身に付けることができる
7回目	中間テスト(ブライダル用語50問)対策を学び身に付けることができる
8回目	中間テスト解答と解説を学び身に付けることができる
9回目	ブライダル基礎(Ⅰ)披露宴の当日までのスケジュールを理解し説明できるようになる
10回目	ブライダル基礎(Ⅱ)今どきの演出&定番演出を理解し説明できるようになる
11回目	ブライダル基礎(Ⅲ)披露宴の基本プログラムを理解し説明できるようになる
12回目	ブライダル基礎(Ⅳ)披露宴の進行表を理解し説明できるようになる
13回目	各自で進行表の作成を学び身に付けることができる
14回目	イベントを企画、運営し実践できる
15回目	イベントを企画、運営し実践できる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	学科、中間テスト 50% 13回目の進行表作成 50%
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。ブライダル基礎をとにかく学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
ゼクシィまたは講師配付	

科目名 (英)	ブライダル基礎Ⅱ Bridal foundationⅡ	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界にてプロデュース業20年以上のキャリアを活かし、社会人としてのブライダル基礎知識を身に付け、後期ではよりリアルウェディングにおいての実践能力を深め、またコミュニケーション力を身に付けるようにします。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らブライダルの進行が出来る。 ・コミュニケーション力を高める。(特にトーク力の強化) 							

授業計画・内容	
1回目	披露宴の進行表を作成できる(グループワーク・洋・和)
2回目	和装進行表を作成できる(挙式、神殿)1日のスケジュールを理解する
3回目	和装進行表を作成できる(挙式、チャペル)1日のスケジュールを理解する
4回目	規模や招待客、披露宴の雰囲気をイメージし、カウンセリングシートを作成する
5回目	カウンセリングシート完成を目指す(わかりやすく、記入しやすく、要点の重要性を学ぶ)
6回目	カウンセリングシートによる新規接客の基本(挨拶・名刺交換・トーク力・提案力)
7回目	～中間テスト～
8回目	ハワイウェディングについて、日本打合せ・海外施行について理解し説明ができる
9回目	引出物、引菓子、縁起物の必要性を理解する / 見積書作成をし、見積書における説明ができる
10回目	①接客シュミレーションの基本(見積書からの提案ができる)
11回目	②接客シュミレーションの基本(進行表からの提案ができる)
12回目	③接客シュミレーションの基本(ペーパーアイテムからの提案ができる)
13回目	①ペーパーアイテム(招待状の基本知識を学ぶ)
14回目	②ペーパーアイテム(席次表、メニュー表の基本知識を学ぶ)
15回目	★評価週 ブライダル基礎の総試験
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 中間50% 期末50%
受講生への メッセージ	後期ブライダル基礎を学んでリアルウェディングで自信を持ち、新郎新婦とのコミュニケーション力を発揮できるようになれば幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】	
・ブライダルコーディネーターテキスト、スタンダード・講師テキスト配付	

科目名 (英)	フラワー実習 I Flower training I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえて、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだブライダル・フラワートレンド講義を行う。							
【実務経験】2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。							
【到達目標】 トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを学び、実践に活かすスキルを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介／前期授業内容について
2回目	昨今のブライダルトレンドを読み解き説明できるようになる。
3回目	シーズナルイベント装花／マザーズデーアレンジメント制作ができるようになる。
4回目	2022年のブライダルトレンドを学び説明できるようになる。
5回目	年間のフラワーイベントについて理解することができる。
6回目	ブライダルブーケ制作／クラッチスタイルについて理解することができる。
7回目	中間試験
8回目	昨今のテーブルコーディネートを理解することができる。
9回目	これまでの講義をふまえ、2022年ブライダルトレンドプレゼン資料を製作する。
10回目	ブライダルトレンドについて理解しプレゼンテーションすることができる
11回目	フラワーブーケ制作／サマーグリーンブーケの制作ができるようになる。
12回目	期末試験
13回目	まとめ・解答、授業を振り返りブライダルフラワーの一連の流れを説明できる。
14回目	イベントを企画、運営し実践できる
15回目	イベントを企画、運営し実践できる
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験30%/期末試験70%
受講生へのメッセージ	トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを実習を交えながら楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ペーパーアイテム Paper items	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 ペーパーアイテムについて学ぶ、理解すると同時に市場の動向を学ぶ。 アイデアやテーマを提供提起し、ブライダルアイテムでのトレンドを取り入れながら、アレンジの基礎を習得する ※実務経験 フリーランスのウェディングプランナー8年目。							
【到達目標】 婚礼に必要なペーパーアイテム、ご招待状・席次表についてトレンドや市場の動向を学ぶ。 ご招待状・席次表の作成方法を理解する。ご招待状・席次表の手配業務・スケジュールを学ぶ。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的を理解し説明できる	
2回目	<1>招待状～<4>招待状の文面 テキストP18 忌み言葉 六輝などを理解し説明できる	
3回目	<5>席札・席次表～<6>メニュー表、オリジナルパンフレット テーブルプランと配席を理解し説明できる	
4回目	ペーパーアイテムに関するセールストークを理解し、実践できる	
5回目	ペーパーアイテム全般テスト(振り返り)	
6回目	【リボンワーク】リボンの巻き方の種類。リボンの結び方を習得することが出来る	
7回目	【ウェルカムボード講義】カリグラフィーでおしゃれな文字を書くことが出来る。	
8回目	【ブーケとリボン】ミニブーケを作り、リボンで更にセンスアップすることが出来る	
9回目	【ゲストテーブルアレンジプレゼン】各チーム毎にデザイン画の提出とご案内(発表)することが出来る。花器や資材集め。	
10回目	【ワイヤリングとヘッドドレス】ワイヤリングとテーピングをマスターし、ヘッドドレスを作ることが出来る。	
11回目	【ボックスアレンジ】オアシスの正しい吸水方法と花の挿し方が出来る。ボックスフラワーアレンジを作ることが出来る	
12回目	【ゲストテーブルアレンジプレゼン】各チーム毎にデザイン画の提出とご案内(発表)することが出来る。花器や資材集め①	
13回目	【ゲストテーブルアレンジプレゼン】各チーム毎にデザイン画の提出とご案内(発表)することが出来る。花器や資材集め②	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ	フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト	
受講生へのメッ セージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ヨガ Yoga	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
授業 形態		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

4500年前から伝わるヨガの健康法を、カラダだけでなく内面や感情面へもアプローチし、現代社会における辛さや苦しみからの解放をテーマに授業をおこないます。カラダを動かすことによって全身の流れをよくし肉体の健康に働きかけます。カラダの痛みや癖がある生徒にはその癖を自力で改善できる力をつけることができるようにします。目に見えない問題やストレスに弱い生徒にはその解決方法をヨガによって見出します。

※実務経験

ヨガスタジオ経営し、新人や養成講座の研修実績のある講師が担当します。(5年)

【到達目標】

ヨガの歴史を知り、ヨガとは何なのかを理解し、説明できる

ヨガの呼吸法を習得し、実生活の中に取り入れることができる。緊張する場面や自身の苦手な場面・怒りを鎮める等様々なシチュエーションに合わせた感情のコントロール方法をヨガを通じて学ぶことができる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	自己紹介・授業の説明。ヨガとは何かを知り、カラダとココロにおける健康の重要性が理解し説明できる	
2回目	ヨガの歴史について。ヨガの哲学や実践方法・目的を理解し説明できる	
3回目	①ヨガの呼吸法について。呼吸をおこなうことによって自律神経のバランスを整わせることができる	
4回目	②ヨガの呼吸法について。呼吸と感情がつながっていることを知り、感情のコントロール方法を学び説明できる	
5回目	①ヨガアサナ(ポーズ)の準備をおこなう。ストレッチやほぐしの体操で体を緩め動きやすい状態をつくることができる	
6回目	②ヨガアサナ(ポーズ)の準備をおこなう。呼吸と動きを同時におこない基本的なヨガの動き方を習得することができる	
7回目	③ヨガアサナ(ポーズ)の準備をおこなう。身体の癖や弱い部分を見つけて力強さをつけることができる。	
8回目	自身の体質について知ることができる。アーユルヴェーダのドーシャチェックをして自分の体質に合う習慣を学び実践できる	
9回目	ヨガの効能がどこへ働くのかを理解し説明できる。ココロとカラダの繋がりを知ることができる	
10回目	苦しみの原因を理解し、その対処法を学び説明できる(カルマヨガ・バクティヨガについて)	
11回目	①ヨガクラス(実践) ヨガのポーズを通して自分自身のカラダとココロのデトックスを実践できる	
12回目	②ヨガクラス(実践) バランスのポーズを通して自分の不安定さと向き合う力をつけることができる	
13回目	③ヨガクラス(実践) 1つ1つのポーズを通してヨガの最大の効能といわれる二重性からの解放をおこなうことができる	
14回目	★評価週	自分自身に集中するヨガクラス(テスト)
15回目	★まとめ・追試/再試	ヨガについての総復習、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	規則正しい生活をして、ヨガクラスの実践に備えてください。	
評価方法	期末テスト100パーセント	
受講生への メッセージ	本講義は、現代社会におけるストレスへの対処法をヨガを通して学んでいきます。運動と思われがちなヨガですが、それはヨガのほんの一部に過ぎません。カラダもですが、1番は自分自身のココロの在り方を大切にしながら本講義を受講していただければ幸いです。	

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい服装で受講してください。(ヨガマットは学校にて用意します)

科目名 (英)	レストランサービス演習 I Restaurant Service Exercise I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

検定委員の経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を学びます。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)
ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

実社会で通用する基礎知識を取得し説明が出来る

実生活で活用する知識を得る事が出来る

授業計画・内容

1回目	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる	
2回目	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食器・備品を学び理解する事ができる	
3回目	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる	
4回目	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる	
5回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる	
6回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる	
7回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる	
8回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる	
9回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる	
10回目	レストランサービスの内容(食事の国際習慣・プロトコルの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装)を学び理解する事ができる	
11回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。	
12回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る	
13回目	試験対策	
14回目	★評価週	試験
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	筆記試験	
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストランサービス実習Ⅰ	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	Restaurant service training I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

【実務経験】

レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技試験官

【目標到達】

社会で通用する技術と心構えの習得

〈具体的な目標〉

目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る

目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る

目標③行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る

授業計画・内容

1回目	挨拶・歩行動作・離着席時の補助ができる	
2回目	入店からゲスト・ホストを考慮した行動と椅子の離着席・溢さない水の注ぎ方・姿勢・足の運び方ができる	
3回目	シルバーの名称・説明とサーバーの使用方法を理解し説明できる	
4回目	入店からメニューのお勧め・注文品の復唱・姿勢・言葉遣い・シルバーセット・溢さないコーヒーの注ぎ方を理解し実践することができる	
5回目	ゲスト・ホストを考慮した料理提供とサービス雑音軽減を意識したパッシング(片づけ)・トレイの使用方法を理解し説明できる	
6回目	サービス観点に基づき中間実技試験	
7回目	知識の確認と今までの技術習得の復習	
8回目	ソムリエ協会推奨ワイン抜栓を理解し実践できる	
9回目	12分制限時間内での課題を終了することができる	
10回目	12分制限時間内での課題を終了することができる	
11回目	9分制限時間内での課題を終了することができる	
12回目	9分制限時間内での課題を終了することができる	
13回目	試験対策、振り返り	
14回目	★評価週	筆記試験・実技試験
15回目	★まとめ	テストフィードバック、苦手なところを克服できる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	実技試験	
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	
【使用教科書・教材・参考書】		
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法		

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

レストランサービス技能検定を取得するための知識や技術を身に付ける。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)
ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

レストランサービス技能検定を取得するために、基本的なサービスを動きを理解し実践できる
場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する

授業計画・内容

1回目	ソムリエ協会推奨 ワイン抜栓の方法を学ぶ事が出来る
2回目	オレンジカットの方法を学ぶ事が出来る
3回目	レモンライス・カットが出来る様になる
4回目	スパイラルレモンの方法を学ぶ事が出来る
5回目	場面に応じたオーダーテイクのテクニックを学ぶ事が出来る
6回目	気がついて、減っていても注いではいけない水のサービス(グループワーク)を考える事が出来る
7回目	中間試験
8回目	グラスの磨き方を学ぶ事が出来る
9回目	テーブルナフキンの折り方を学ぶ事が出来る
10回目	箸置きを折る方法を学ぶ事が出来る
11回目	レモンライス・カットの応用ができるようになる
12回目	テーブルクロス(リネン全般)の使用方法を学ぶ事が出来る
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生へのメッ セージ	

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
レストランサービス技能検定を取得するための知識と技術を身に付けます。							
※実務経験 教本に基づき知識の習得をする(実務経験)厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2004年国家資格1級取得、2005年HRSテーブルマナー認定講師、2009年HRS技能検定委員							
【到達目標】							
基本的には、食事の時に合わせるドリンク知識、酒類の分類、ソフトドリンクの分類。ドリンクタイプの基礎知識を習得する。 基本的なバーツール、カクテルメイクを指導し、基本的動作は出来る様にします。							
ブライダル業界でお客様に披露宴に関わる、フード・ドリンクの正しい知識を身に付け、提案することが出来る							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、他己紹介。授業の目的、授業の進め方について理解する。
2回目	(座学)カクテルタイプ、TPOについて理解できる (実技)バーツールの名称、扱い方を理解し説明できる
3回目	(座学)酒の種類、名称について理解できる (実技)ボトルの開け方、持ち方、注ぎ方を理解して実践できる
4回目	(座学)ワインの基礎知識を理解できる (実技)シェーキングの基礎を実践できる
5回目	(座学)ビールの基礎知識を理解できる (実技)ビルドの基礎を実践できる
6回目	(座学)ソフトドリンクの基礎を理解できる (実技)ノンアルコールカクテルをカクテルメイクできる
7回目	(中間試験)ドリンク全般の基礎知識の筆記試験、シェーキング実技試験
8回目	西洋料理:前菜・スープ・魚・甲殻類・家禽・野菜の基礎知識を理解し説明できる
9回目	中国料理の基礎知識を理解し説明できる
10回目	パスタ・チーズ・デザート・調理方法の基礎知識を理解し説明できる
11回目	メニュー(歴史・規則・構成)の知識を身につけお客様に提案できる基礎を理解し説明できる
12回目	日本料理の基礎知識を理解し説明できる(作法・マナー含む)
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業で行った酒類全般、ソフトドリンク、TPOなどの暗記と復習をする。 学んだ実技的なボトルの開け方、持ち方、注ぎ方、シェーキングの仕方等をイメージトレーニングする。
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 検定委員の経験を有する教員から現場で活かせる技術や知識を学びます。							
【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)							
【到達目標】 各国の歴史・文化を通じて知見を深める 〈具体的な目標〉 目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する 目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う 目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化							

授業計画・内容	
1回目	P93各種宴会の等のセッティング
2回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解することができる
3回目	レストランサービスの内容 (テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解することができる
4回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解することができる
5回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解することができる
6回目	レストランサービスの内容(食事の国際習慣・プロトコルの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装)を学び理解
7回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
10回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
11回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
12回目	課題を抽出し克服出来るようになる
13回目	試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	Restaurant skill test	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース					曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

レストラン技能検定を取得するために、レストランサービスの根本から理解を深めます。

25年に及び現場で培ったノウハウを活かしながら実社会で通用する心構えと行動指針をレストランマネジメントと紐付けて理解を深めていく授業です

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)
ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

授業を通じて日常の感謝を各分野の状況で活かせる考え方を身につける事が出来るようになる

〈具体的な目標〉

実例の反復によるホスピタリティ概念の習得

授業計画・内容

1回目	ホスピタリティの優先度が高い業界を考え実践例を挙げ学ぶ事が出来る(業界の特色を知る)
2回目	自分の価値観を挙げ優先順位をつけ結びつく場面の想定を考える事が出来る
3回目	学校生活におけるホスピタリティを考え行動に移す事が出来る
4回目	職場におけるホスピタリティを考え好転出来る環境を作る考え方を学ぶ事が出来る(コミュニケーション)
5回目	ホスピタリティを活かすツールを考え活用方法を学ぶ事が出来る(ツールの導入)
6回目	職場でのホスピタリティがもたらす効果を考える事が出来る(社内・職場内・ステークホルダー)
7回目	中間試験
8回目	経営者が従業員に対して考えるホスピタリティを学ぶ事が出来る
9回目	一期一会「once-in-a-lifetime meeting」を考える事が出来る
10回目	実例から読み取る場面の背景を考える事が出来る
11回目	実例を基に日本のクレーム対応を活かし次回来店に繋げられる考えを身につける事が出来る。(ケーススタディ①)
12回目	実例を基に日本のクレーム対応を活かし次回来店に繋げられる考えを身につける事が出来る。(ケーススタディ②)
13回目	試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 検定委員の経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を学びます。							
【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)							
【到達目標】 実社会で通用する基礎知識を取得し説明が出来るようになる 実生活で活用する知識を得て実践する考え方の習得							

授業計画・内容	
1回目	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる
2回目	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食器用具・備品を学び理解する事ができる
3回目	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる
4回目	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
6回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
7回目	中間試験
8回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
9回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
10回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
11回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来るようになる
12回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
13回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
14回目	課題を抽出し克服出来るようになる
15回目	★まとめ 期末試験
準備学 習 時間 外学習 評価方 法	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
受講生 へのメッ セージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

検定委員の経験を有する教員から現場で活かせる技術や知識を学びます。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

レストランサービス技能検定を取得するための知識と技術を身に付け、夏季試験に合格する

〈具体的な目標〉

目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する

目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う

目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化

授業計画・内容

1回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
2回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
3回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
6回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
7回目	中間試験
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
10回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
11回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
12回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
13回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 苦手を克服することができる
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験・期末試験
受講生へのメッ セージ	

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	映像編集演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	Video editing exercises	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダルプランナーコース					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
映像制作技術を有する教員が、映像・フォト実習授業を展開し、どういった映像を制作するのか、立案から完成までのプロセスを経験します。							
※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)							
【到達目標】							
映像を制作するスキル、ソフトの使い方等を必要最低限身に付け、納期を意識したスケジュールの組み立て、納期に対するクオリティの確保などを体験し、映像制作ができるようになる。また、納期限を意識するなど、他仕事にも応用できる能力を身につける							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション/映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる①(写真を使った簡単な操作方法)	
2回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる②(写真を使った簡単な操作方法)	
3回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる③(テロップを用いて簡単な操作方法)	
4回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる④(動画を使った簡単な操作方法)	
5回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる⑤(動画を使った簡単な操作方法)	
6回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる⑥(動画を使った簡単な操作方法・それぞれの作った映	
7回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る①	
8回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る②	
9回目	素材撮影・映像制作が出来る①	
10回目	素材撮影・映像制作が出来る②	
11回目	素材撮影・映像制作が出来る③	
12回目	素材撮影・映像制作が出来る④	
13回目	素材撮影・映像制作が出来る⑤	
14回目	★評価週	完成映像の提出
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	テスト(映像提出による完成度)にて評価	
受講生への メッセージ	映像制作に興味・関心を持っていただき、クリエイティブな分野へのアンテナを張っていただけるような人物、アイデアを形にする事が出来るような人物になってください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
PC数台・PCソフト(Adobe premiere pro)		

科目名 (英)	英会話 English Conversaion	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。</p> <p>※実務経験 数々の企業にてビジネスパーソンやグローバルリーダー向け英語研修を10年以上担当。</p> <p>【到達目標】 日常生活やビジネス等で、よく出てくるトピックに関して自信を持って話すことができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す、質問することができる
2回目	L. 19 場所を尋ねる、説明することができる
3回目	L. 20 道案内をする、尋ねることができる
4回目	L. 21 料金について尋ねる、説明することができる
5回目	L. 23 頻度について質問する、答えることができる
6回目	L. 24 アイテムの特徴を説明することができる
7回目	L. 25 食べ物の量について話す、尋ねることができる
8回目	L. 26 必要性に関して話す、尋ねることができる
9回目	L. 27 食生活について話す、説明することができる
10回目	L. 28 食べ物について説明する、尋ねることができる
11回目	L. 29, 30, 31 過去の出来事について話す、質問することができる。ある出来事に対してのリアクションや返答ができる
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる
13回目	総復習 わからないことを質問しテスト対策ができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
評価方法	試験100%
受講生へのメッセージ	次のレベルに進みました。更に自信をもって流暢に話せるよう一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
Speak Now 1	

科目名 (英)	英会話 English Conversaion	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。</p> <p>※実務経験 数々の企業にてビジネスパーソンやグローバルリーダー向け英語研修を10年以上担当。</p> <p>【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話すことができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	L. 1 初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる	
2回目	L. 2, 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる	
3回目	L. 5, 6 好き・嫌い等の好みについての会話や質問返しができる	
4回目	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べるができる	
5回目	L. 11,12 人を褒める&褒められた際の会話表現や、(衣服など)着ているものに関して述べるができる	
6回目	L. 7, 13, & 14 時間について表現することができる。日々の習慣について話す&質問することができる	
7回目	L. 19, 20 道案内をする・場所を尋ねることができる	
8回目	L. 21, 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをすることができる	
9回目	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーができる	
10回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す&質問することができる	
11回目	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答ができる	
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる	
13回目	総復習 わからないことを質問できる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んで起きましょう。	
評価方法	試験100%	
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】 Speak Now 1		

科目名 (英)	音響・照明演習 Sound and lighting exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルにおける音響・照明・映像・演出業務の学習及び実習をおこないます。現在取り締まりが厳しくなっているブライダル業界における音楽著作権、違法ダウンロードの説明等。特殊な演出業務。最新鋭の映像演出(プロジェクションマッピング)等をしっかり体感してもらいながら学んでまいります。 ※実務経験 アルマリアン福岡(2013～)、ホテルマリノアリゾート福岡(2020～)、博多百年蔵(2019～)、ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート(2013～)、ホテルモントレラスール福岡(2011～)、ララシヤンス伊万里迎賓館(2016～) 音響照明セクション現場責任者							
【到達目標】 業界の中身を詳しく説明し、音響・照明・映像・演出業務の基礎の部分を理解出来る。 プランニングする上で、お客様の思いを形にする事が出来るという事をプランナーの立場として理解する事が出来る。 これからのブライダル業界のエンターテインメント性を理解する事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	ブライダル演出業務について * 演出内容が理解できるようになる。
2回目	ブライダルにおける音響操作についてまた基本的知識 * 簡易的な操作の流れの意味がわかるようになる。
3回目	音楽著作権、および違法ダウンロードについて * 法律による規制が理解出来るようになる。
4回目	BGMコーディネートについて① * お客様として * 新郎新婦の気持ちが理解出来るようになる。
5回目	BGMコーディネートについて② * コーディネーターとして * プランナーとしての気持ちが理解出来るようになる。
6回目	機材関係について① 宴会場にスタンバイされている機材関係について * 機材の簡易的な操作が理解出来るようになる。
7回目	機材関係について② 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
8回目	機材関係について③ 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
9回目	サプライズ演出(フラッシュモブ、メモリアル等について) * サプライズ演出が理解出来るようになる。
10回目	プロジェクションマッピング演出について * 大画面映像演出の仕組みが理解出来るようになる。
11回目	スマートフォンでの活用法① 写真加工等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる
12回目	スマートフォンでの活用法② 写真加工等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。
13回目	スマートフォンでの活用法③ 動画等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。(評価)レポート提出
14回目	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる①
15回目	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる②
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポートによる試験を行います。一人一人の考えや意見を尊重していきながら、しっかり思いを記入していただくような内容にしたいと考えております。また、内容によって実技も入れていこうと考えております。
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。コロナ禍の中で大変な時期にこの業界のお仕事を志してくれて本当に嬉しく思います。みなさんの力がこれからのこの業界を必ずもっと上のステージに持ち上げていけると確信しております。しっかり楽しく勉強していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	韓国語Ⅰ・Ⅱ KoreanⅠ・Ⅱ	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
延世大学語学堂卒業。最高級6級を取得。留学生活を送りながら生きた韓国語を学んだ講師と共に、ハングル文字の仕組みや自然な会話、現地で使える言葉やフレーズを身につけ、旅行や韓国人のお客様を迎える時、活用できる韓国語を学んでいきます。それぞれのシチュエーションに合った韓国語を学び活かせることを目標とします。主にロールプレイ形式で授業を進行し、空港で使えるフレーズ等もしっかりと学習していきます。

※実務経験
韓国6年在住、教員免許取得。

【到達目標】
読み・書き・聞く・話すをバランス良く学習し、実際に韓国人と話す際に緊張せず、シチュエーションに合った自然な受け答えができる。

授業計画・内容		
1回目	アンニョンハセヨ！自己紹介・韓国語を学ぶ前に！ ハングルの構成を理解し説明できる	
2回目	母音子音について理解し説明できる	
3回目	母音子音・パッチムについて理解し説明できる	
4回目	発音について理解し説明できる・自己紹介ができる	
5回目	小テスト(読み・書き)・助詞(～が・～に)と代名詞について理解し説明できる	
6回目	動詞・形容詞の活用、語尾文法(～です・～ます)について理解し説明できる	
7回目	否定文を学び活用することができる・旅行で使えるフレーズを活用することができる	
8回目	存在・場所を現す品詞について学び活用することができる・道案内で使えるフレーズを活用することができる	
9回目	漢数字・カレンダー・時計を読むことができる	
10回目	小テスト・機内で使えるフレーズを活用できる	
11回目	フレーズ確認を確認し説明できる	
12回目	K-POPで学ぶ韓国語を理解し説明できる	
13回目	総復習・質問・理解を深め、テスト対策ができる	
14回目	★評価週	テスト(筆記&スピーキング)
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト結果の確認、全体のまとめ
準備学習 時間外学習	復習を中心とし、週1時間程度の自習をお勧めします	
評価方法	小テスト・期末テスト	
受講生へのメッセージ	韓国語を学ぶにあたって重要なポイントをわかりやすく丁寧に説明します。たくさん話し、聞くことを主にして、授業を進行します。小テストは簡単で授業をしっかりと聞けば解けるレベルです。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリントを毎時間配布します		

科目名 (英)	韓国語 I・II	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	Korean I・II	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダルプランナーコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての韓国語教育を行ってきました。ホスピタリティ業務に使えるオリジナル教材を作って、韓国語の基礎を更に固め、発音・文字・文法を中心に深く指導していきます。授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりして、流暢に話せるまで練習してもらいます。

※実務経験
韓国6年在住、教員免許取得。

【到達目標】

韓国語を通じて異文化に触れ、国際的な感覚を身に付けることができる。韓国語での、日常会話、ビジネス会話ができるようになるための基礎を身に付けることができるようになる。

授業計画・内容

1回目	今学期の目標、計画、学習内容をみんなで確認してから、各自のスケジュールを立てて、全員で学習を進めることができる。	
2回目	単語の量を増やし試験問題を解くことができる。	
3回目	日常会話・ビジネス会話を勉強し、仕事場の対応ができる。	
4回目	各自の問題点を見つけ、克服方法を考え、韓国語を一つ一つ身につけることができる口	
5回目	検定試験の内容、勉強方法について再確認し、試験対策を身につけることができる	
6回目	ホスピタリティ業界の言葉、会話を勉強し、仕事現場に臨む能力を身に付け実践できる	
7回目	問題を徹底的にやることによって、問題解決のキーポイントを掴むことができる	
8回目	リスニング難関問題を乗り越えるように、聴力をアップすることができる。	
9回目	練習問題をたくさんやることによって、単語を集中して覚えることができる。	
10回目	将来の職場の場面を設定して、韓国語で対応できるように、会話を身につけることができる。	
11回目	実際の仕事内容と結び付けて、韓国人カスタマーサービスができる。口	
12回目	今までの間違った問題の訂正、勉強を進め、一人一人の語学能力を更に高めることができる。	
13回目	今までの学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	まとめ	フィードバック、苦手を克服できる

準備学習
時間外学習

評価方法

- 授業態度 (30%)
 - 小テスト (20%)
 - 定期テスト (50%)
- 割合で成績評価を行う。

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	韓国 I・II	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	Korean I・II	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての韓国語教育を行ってきました。ホスピタリティ業務に使えるオリジナル教材を作って、韓国語の基礎を更に固め、発音・文字・文法を中心に深く指導していきます。授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりして、流暢に話せるまで練習してもらいます。

※実務経験
韓国6年在住、教員免許取得。

【到達目標】

韓国語を通じて異文化に触れ、国際的な感覚を身に付けることができる。韓国語での、日常会話、ビジネス会話ができるようになるための基礎を身に付けることができるようになる。

授業計画・内容

1回目	今学期の目標、計画、学習内容をみんなで確認してから、各自のスケジュールを立てて、全員で学習を進めることができる。	
2回目	プリントを配り、会話練習しながら、単語の量を増やすことができる	
3回目	各自の問題点を見つけ、修正方法を考えることができる①	
4回目	各自の問題点を見つけ、修正方法を考えることができる②	
5回目	各自の問題点を見つけ、修正方法を考えることができる③	
6回目	個別指導、各自の問題点を見つけ、改善方法を考えることができる	
7回目	中間テスト、検定試験前のチェック	
8回目	全面的に復習し、試験問題のポイントを再チェックできる	
9回目	間違った問題の訂正ができる	
10回目	日常会話・ビジネス会話を理解し実践できる	
11回目	実際の仕事場面を設定し、韓国人カスタマーサービスを理解し実践できる	
12回目	検定試験3級の内容、勉強方法について理解し実践できる	
13回目	期末試験について、全面的に復習	
14回目	★評価週	筆記・会話
15回目	★まとめ・追試/再試	反省会・間違った問題を訂正ができる
準備学習 時間外学習	随時単語の暗記・会話の練習・過去問題の復習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生への メッセージ		

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate project	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。 企業様からの課題に取り組みます							
【実務経験】 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 相手に伝わるプレゼンテーションができる。 企業で通用する企画立案ができる。 課題に対する問題解決ができる							

授業計画・内容	
1回目	企業様から課題オリエンテーション、課題を理解し説明できる
2回目	課題を理解し説明することができる
3回目	課題に対する問題解決案を立案することができる①
4回目	課題に対する問題解決案を立案することができる②
5回目	課題に対する問題解決案を立案することができる③
6回目	課題に対する問題解決案を立案することができる④
7回目	課題に対する問題解決案を立案することができる⑤
8回目	中間学内発表
9回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる①
10回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる②
11回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる③
12回目	課題の問題解決をチームで考案する①
13回目	課題の問題解決をチームで考案する②
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。
評価方法	最終プレゼンテーションにて評価する
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
各自、ノートと筆記用具を持参してください。	

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate project	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。
企業様からの課題に取り組みます

【実務経験】
ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。
株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)

【到達目標】
相手に伝わるプレゼンテーションができる。
企業で通用する企画立案ができる。
課題に対する問題解決ができる

授業計画・内容

1回目	企業様から課題オリエンテーション、課題を理解し説明できる	
2回目	課題を理解し説明することができる	
3回目	課題に対する問題解決案を立案することができる①	
4回目	課題に対する問題解決案を立案することができる②	
5回目	課題に対する問題解決案を立案することができる③	
6回目	課題に対する問題解決案を立案することができる④	
7回目	課題に対する問題解決案を立案することができる⑤	
8回目	中間学内発表	
9回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる①	
10回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる②	
11回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる③	
12回目	課題の問題解決をチームで考案する①	
13回目	課題の問題解決をチームで考案する②	
14回目	★評価週	企業様へプレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック

準備学習
時間外学習

相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。

評価方法

最終プレゼンテーションにて評価する

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	空間コーディネート Spatial coordination	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】フローリスト/フラワーアーティストとしてフラワーブランドを主宰する講師が、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ講義を実施します。プランニングやアレンジメント実技なども交え、実践力となるスキルを身につけ、進路の選択肢を広げます。 【実務経験】2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。							
【到達目標】 最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・自己紹介/空間コーディネートのトレンドを考察し、レポートにまとめることができる	
2回目	空間コーディネートとは何か理解することが出来る	
3回目	課題発表/ディスカッションをすることができる	
4回目	ディスプレイに用いる仕器の組み合わせ方法を理解することが出来る	
5回目	シーズナルイベント装花を制作できる	
6回目	商品ディスプレイについて理解することが出来る	
7回目	「ドレスコーディネートと生花」とは何かを理解することが出来る	
8回目	中間試験	
9回目	プラントハンガー制作ができる	
10回目	NEOLめ飾り制作ができる	
11回目	色彩がもたらす心理効果を理解することが出来る	
12回目	スタイリストコースが制作しているドレスを使用し、ディスプレイプランニングする①	
13回目	スタイリストコースが制作しているドレスを使用し、ディスプレイプランニングする②	
14回目	★評価週	ドレスディスプレイができる①
15回目	★まとめ・追試/再試	ドレスディスプレイができる②
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間試験30% 期末試験70%	
受講生への メッセージ	最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することで、空間コーディネート力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	司会・アテンド演習 Moderator / Attend Exercise	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>・司会経験者である講師がボイストレーニングから披露宴の司会が出来るようにし、アテンダー(挙式・披露宴のアテンダー)の経験がある講師による実技で理解を深める</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p> <p>【到達目標】 1～8の司会実技では、各自が進行に従いスムーズな声や姿勢を司会者としてできる。 9～13のアテンダー実技ではプランナーとして新郎新婦に寄り添うことができ、信頼のできるアテンダーの任務ができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	①ボイストレーニング、新郎新婦入場・開宴の辞・主賓挨拶・乾杯のコメントができるようになる	
2回目	②祝宴開始・新婦お色直し入場・ウエディングケーキ入刀のコメントができる	
3回目	③新郎新婦退場・友人スピーチ・子供花束のコメントができる	
4回目	④余興コメント・電報コメントのコメントができる	
5回目	⑤キャンドルサービス・フォトサービス・プロフィールコメントができる	
6回目	⑥花束贈呈・両家代表謝辞・新郎新婦退場・お開きのコメントを習得する	
7回目	⑦テスト対策(質問)	
8回目	⑧中間テスト 司会実技(評価)	
9回目	⑨アテンド業務の役割について理解を深める(講師紹介と授業の目的)	
10回目	⑩挙式から披露宴までのアテンド業務の流れを習得する	
11回目	⑪新婦の歩き方や姿勢・ブーケの持ち方など実践できるようになる	
12回目	⑫アテンド実技で披露宴の流れを実践できるようになる(前半)	
13回目	⑬アテンド実技で披露宴の流れを実践できるようになる(後半)	
14回目	★評価週	⑭アテンド実技のテスト(評価)
15回目	★まとめ	フィードバック、授業を振り返り苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト50% 期末テスト50%	
受講生へのメッセージ	司会・アテンドの実技を身に付け、実際のブライダルにて役立てて自信を持ち、プランナーとしての誇りにしてほしいです	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	手話Ⅱ Sign Language	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。 聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。							
※実務者経験： ・手話奉仕員養成講座講師として17年 ・手話通訳養成講座指導者として3年 ・外部手話講師として13年							
【到達目標】 1年時の総復習を行い、自身の手話習得状況を把握することができる。手話表現の読み取り技術の向上を目指し、基本的な会話の読み取りができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	第28講座 話し合ってみましょうⅢ -空間をうまく使いましょう①左右・前後の空間活用ができる-
2回目	第29講座 話し合ってみましょうⅢ -空間をうまく使いましょう②上下空間・指さしと視線の活用ができる-
3回目	第30講座 話し合ってみましょうⅢ -両手や指をうまく使いましょう①手話で同時性の表現ができる-
4回目	第31講座 話し合ってみましょうⅢ -両手や指をうまく使いましょう②手話で指の代理的表現ができる-
5回目	第32講座 話し合ってみましょうⅢ -手話で繰り返しの表現ができる-
6回目	第33講座 話し合ってみましょうⅢ -手話で意味に合った手話ができる-
7回目	第34講座 話し合ってみましょうⅢ -空間・両手や指を使って手話で表現できる-
8回目	第35講座 総合練習 -基本文法を手話で表現できる-
9回目	第36講座 総合練習 -基本文法を手話で表現できる-
10回目	第37講座 総合練習 -ろう者の手話スピーチを見て、理解できる-
11回目	第38講座 総合練習 -手話を使ってみんなで話し合うことができる-
12回目	手話を使ってみんなで話し合うことができる①
13回目	手話を使ってみんなで話し合うことができる②
14回目	★評価週
15回目	★まとめ
準備学習 時間外学習	講師が、予習・復習をしながら、学習の内容を決めます
評価方法	テストの点数、授業中の態度などを評価します
受講生への メッセージ	「テキストを進めつつ、今まで習った第27講座までを生かして、ミニテスト・会話などもどんどん取り入れようと思います。 一緒に頑張りましょう。」
手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう	

科目名 (英)	手話 I・II sign language I・II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 聴覚障害のある人の生活上の困難を理解し、適切に対処するためには、困難の原因となっている聴覚障害や言語障害を理解する。個別的な困難・不便などの課題や対応方法を学び、聴覚障害者とのコミュニケーションや手話による会話の実践を行う。							
※実務者経験： ・手話奉仕員養成講座講師として17年 ・手話通訳養成講座指導者として3年 ・外部手話講師として13年							
【到達目標】 手話の基本文法を習得する。							

授業計画・内容		
1回目	「表情豊かに、具体的に」①表情・強弱・速度を理解し実践できる	
2回目	「表情豊かに、具体的に」②具体的表現(様子や形)を理解し実践できる	
3回目	「表情豊かに、具体的に」③具体的表現(動き)を理解し実践できる	
4回目	「主語をわかりやすく」①位置・方向(一対一で)理解し実践できる	
5回目	「主語をわかりやすく」②位置・方向(この場にはいない第三者を含んで)を理解し実践できる	
6回目	「主語をわかりやすく」③役割の切り替えを理解し実践できる	
7回目	「主語をわかりやすく」④指さしを理解し実践できる	
8回目	「空間をうまく使いましょう」①左右・前後の空間活用を理解し実践できる	
9回目	「空間をうまく使いましょう」②上下空間・指さしと視線の活用を理解し実践できる	
10回目	「両手や指をうまく使いましょう」①同時性を理解し実践できる	
11回目	「両手や指をうまく使いましょう」②指の代理的表現を理解し実践できる	
12回目	「繰り返しの表現」を理解し実践できる	
13回目	「意味に合った手話」理解し実践できる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう		

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基本的な就活スキルを学ぶ講座です。学生の自主的な活動につながるよう自己分析や履歴書の書き方や面接対策をはじめ面接官が質問する意図や求人票の見方など、実際の就職活動を効果的に進めていくための方法や、社会人としての心構えやビジネスマナーなどを織り込み、就活に対する不安を取り除きながら社会的スキルの底上げを目指す。</p> <p>※実務者経験：2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1. 自分の夢や目標を設定する。 2. 就活に対する不安を払拭し、面接力の向上と社会的スキルを磨く。</p>							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:授業の説明 ワークを通して就職活動の心構えについて理解することができる	
2回目	インターンシップ研修について目的を知り、事前の準備や電話応対などできるようになる	
3回目	会社訪問のルールやマナー、名刺交換などを身につけることができる	
4回目	履歴書の書き方、宛名書きなどを身につけることができる	
5回目	自己分析を通して、自己PRや自分の長所・短所など自分を客観的にみることができる	
6回目	自己分析を通して、自己PRや自分の長所・短所など自分を客観的にみることができる	
7回目	★中間試験	
8回目	求人票から、雇用形態、各種保険(税金)について理解することができる	
9回目	面接の目的と種類を理解し、服装と身だしなみの重要性を理解する	
10回目	面接の基本マナーと入室から退室までの基本動作を身につけることができる	
11回目	面接の受け答え(OK例・NG例)を動画から学び、実践することができる。	
12回目	面接リハーサル	
13回目	面接リハーサル	
14回目	★評価週	期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試	まとめ・フィードバック、苦手を知り克服することができる
準備学習 時間外学習	授業で学ぶことの積み上げに加え、日頃からニュース・新聞・雑誌・ネットなど自分が目指す業界について情報収集すること。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●中間試験・・・20% ●評価試験・・・80% 	
受講生へのメッセージ	就職活動とは、あなたがやりたいこと、将来の夢を実現するための第一歩の活動です。そのためにはまず、自分自身を知ることや夢や目標を明確にし、有意義な人生にしましょう。 授業では、発言の機会やロールプレイングを取り入れていますので、「練習の場」と思って積極的に参加してください。 配布されたプリントは各自でファイリングし、毎回持参してください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント(適宜配布)		

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
企業が求める「人材」を理解し、体験できるよう表現力や行動力を身につけます。 対話スキルを上げることにより、気づきの感度を身につけます。社会人としての第一歩を自信を持って踏み出せるようビジネスマナーを習得します。							
※実務者経験：2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。							
【到達目標】							
①内定を頂くことができる準備を行うことができる。②基本的なビジネスマナーを身に付け、社会人としての準備をすることができる。							

授業計画・内容		
1回目	就職活動の進捗状況確認を行い、現状に対する考えを発表することができる / シラバスの説明	
2回目	受験経験を共有し、各々の対策に活かすことができる / 内定者は受験体験レポートを作成することができる	
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる / 内定者は就職予定先の企業研究を深める	
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる(目指す将来の展望を理解する)/グループワークを通してコミュニケーション力をつける	
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる / グループワークを通してリーダーシップを学ぶことができる	
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる/志望企業に応じた応募書類を作成することができる	
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる(一問一答)	
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる	
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる/グループワークを通してコンセンサスを得る方法を学ぶことができる	
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる/受験終了者:入社後の魅力ある自己紹介をすることができる	
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究	
12回目	ビジネスマナー① 社会人としての心構え/コンプライアンス/電話対応	
13回目	ビジネスマナー② 報連相/名刺の受け渡し/ビジネス文書	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	定期テスト100%	
受講生への メッセージ	自分の可能性を最大限に広げ、目標を達成させましょう。成功に必要なのは、なぜ、出来ないのかという理由ではなく、どうすればできるかという前向きな考え方であり、行動です。このような状況だからこそ、前を向いて目標に向かって努力することを惜しまない。その努力の結果が、自信と誇りになります。皆さんの輝く姿を心から楽しみにしております。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

本校にて多くの卒業生の就職講座を担当してきた教員による、就職活動に向けた基礎講座を行います。
自己分析、他己分析、就職活動に伴う書類対策を行う。質疑応答対策(グループ面接)、オンライン面接対策も行う。

※実務者経験 : 2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。

【到達目標】

11月末までに履歴書完成が出来る。
面接官に左右されない、オンライン・対面面接に対応できるようになる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	適正検査(能力検査、性格検査)について知ることが出来る。	
2回目	会社説明会(オンライン企業説明会の注意点)について知ることが出来る。	
3回目	対面面接・オンライン面接のそれぞれの第一印象の違いなどについて理解できる	
4回目	面接時の言葉遣いについて理解し、実践できる。	
5回目	自己分析を行うことが出来る①	
6回目	自己分析を行うことが出来る②	
7回目	自己PRのキーワード・キャッチコピーを自身で考え発表できる	
8回目	面接時の入室から退出までの具体的マナーを知ることが出来る	
9回目	接遇五原則(特にみだしなみについて)理解、実践できる。	
10回目	履歴書を完成させることが出来る	
11回目	ES(エントリーシート)を完成させることが出来る	
12回目	質問大会を行い面接時の対応力を磨くことが出来る	
13回目	総まとめ 後期で学んだことを再確認し実行できる。	
14回目	★評価週	期末試験グループ面接①
15回目	★まとめ・追試/再試	期末試験グループ面接②

準備学習 時間外学習	
------------	--

評価方法	グループ面接100%
------	------------

受講生へのメッセージ	面接は普段会うことのない大先輩たちとの出会いです。貴重な出会いを大切に心に残していきたいと思います
------------	---

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
就職活動が始まった今、1,2年次で学んだことを復習し改めて実践していくことで自分事と捉えることができ、就職活動の大変さ、大切さを理解してもらいます。 この授業ではインプットをメインにして進めていきます。							
【実務経験】 保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)/ホテルにプランナーとして1年勤務/結婚式場オープニングの為にプランナーとして2年勤務 BLD WEDDINGS株式会社にプランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる) 業界経験16年							
【到達目標】 ・自身の現状を把握し職種、受験企業を決定する ・グループディスカッションに対応できる ・選考に関する自身のウィークポイントを理解し対策を練ることができる ・深掘質問に対して答えることができる ・履歴書、自己PR、志望動機を完成させ面接に臨むことができる							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(授業内容の説明・自己紹介をプレゼン風に)
2回目	何故面接対策が必要なのかという事を理解できる/なぜなぜ分析をする
3回目	志望動機、自己PRを作成し履歴書を完成させることができる
4回目	グループ間で模擬面接を行うために企業側(面接官)の「目線」を考えてみる
5回目	グループディスカッションの出題テーマの傾向、流れ、仕組みを理解することができる
6回目	グループディスカッションを実践し各役割を理解することができる
7回目	面接を受けるにあたっての注意点について理解し説明できる
8回目	模擬面接を行い、自己振り返りができる
9回目	模擬面接のフィードバックをうけ、自己振り返りができる
10回目	SPI一般常識問題について傾向を理解し説明できる
11回目	①オンライン面接について理解することができる
12回目	②オンライン面接について理解することができる
13回目	1～13回の内容を理解し、期末テストの対策ができる
14回目	★評価週
15回目	期末テストを実施 テスト返却・テスト解答/模擬面接をすることができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト50% 模擬面接50%
受講生への メッセージ	来年年明けても自己PRや志望動機考えていたいですか？ 卒業式の時まで考えていたいですか？ みんな一緒に笑って卒業するために、今、この瞬間から就職活動を頑張り、 夏休みの間までに内定をもらい、学生最後の長期休暇(冬休み)を心おきなく楽しみましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	宿泊業務実習 Accommodation Business Training	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテルの重要な営業部門である宿泊部門の業務の中でも特に、フロントサービスとハウスキーピングについて、その業務内容と役割などを講義実践形式で学ぶとともに、社会人スキルの底上げとホテルマンシップを習得することができる。							
【実務経験】 藤田観光株式会社ワシントンホテルにてフロント課勤務(3年)							
【到達目標】 ①ハウスキーピングの基礎を学び、マニュアルに沿って実施することができる。 ②フロントの業務内容の基礎知識を座学やロールプレイングを通じて学ぶことができる。							

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション:講義の説明、ホテルビジネスの概要とホテルマンシップ(動機づけ)を理解する
2回目	ハウスキーピング業務① ベッドメイキングと客室備品、客室の種類について理解することができる
3回目	ハウスキーピング業務② ベッドメイキングとルームインスペクションを実践し、ベッドメイキングの流れを把握することができる
4回目	ハウスキーピング業務③ ルームアメニティとSDGsについて理解することができる
5回目	フロントオフィスの業務特性と役割について理解することができる
6回目	ホテル専門用語を使いながらチェックイン、チェックアウトの流れを理解し実践することができる
7回目	宿泊予約の電話対応を実践形式で学び、対応することができる
8回目	ドアマン、ベルスタッフ、コンシェルジュの業務内容を実践形式で学び、理解することができる
9回目	コンプレイン対応:様々な事例を取り上げ、苦情が起きる原因とお客様心理を理解し適切に対応することができる
10回目	リスクマネジメント:ホテルビジネスにおける危機管理、新型コロナウイルスについて理解することができる
11回目	前期授業のまとめ
12回目	★評価週
準備学習 時間外学習	常にモチベーションを高く、視野を広く持つこと。 体調管理に注意し、欠席しないように務めること。
評価方法	●実技試験・・・80% ●授業態度・・・20%(授業への取り組み姿勢と意欲も加味する) ※評価の詳細については、授業内で周知します。
受講生への メッセージ	お客様が望まれるサービスを提供し感動を与えるサービスのプロフェッショナルになるために、講義を受けるときはお客様目線で考え主体的に参加を期待します。そして上記にも書きましたが、常にモチベーションを高く視野を広く持つことや、体調管理はホテルマンにとっては必須ですので日頃から意識してください。 必要に応じてプリントを配布しますので、各自でファイリングしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】 宿泊業務の基礎/一般財団法人日本ホテル教育センター	

科目名 (英)	卒業制作 presentation to mark the two years study	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】

1年間学んだブライダル基礎知識を活かし、オリジナルテーマウェディングを企画・運営します。

【実務経験】

ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。
株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)

【到達目標】

オリジナル挙式・披露宴を考案→チームで運営することができる
挙式・披露宴施行に必要な役割を実践できる
チームワークを発揮することができる

授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】授業の目的を理解し説明することができる	
2回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる①	
3回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる②	
4回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる③	
5回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる④	
6回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる⑤	
7回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる⑥	
8回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる①	
9回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる②	
10回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる③	
11回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる④	
12回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる⑤	
13回目	各セクションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる⑥	
14回目	★評価週	当日のオペレーションができる①
15回目	★まとめ・追試/再試	当日のオペレーションができる②

準備学習
時間外学習

評価方法

レポート評価100%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	進級制作 Promotion production	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。企業様の担当者とオンラインで話す機会を設け、旅行立案のポイントを学び、企画書を用いたプレゼン実践を行います。

【実務経験】株式会社JTBにて3年間勤務。総合職として法人営業に携わる。旅行の企画立案・添乗など幅広く経験。その後、三井不動産グループ、東京ミッドタウンマネジメント株式会社へ転職。店舗マネジメント業務を経た後、イベント企画業務に携わり、イルミネーションなどの大型イベントを手がける。その後、独立し、研修講師やMC、執筆家としても活動している。講師歴5年。

【到達目標】

相手に伝わるプレゼンテーションができる。
企業で通用する企画立案ができる。
旅行立案ができる。

授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】授業の目的を知る。人の心に響く発声方法を学び、自己紹介・他己紹介をする。	
2回目	人前に立つ時の身だしなみや立ち居振る舞い、発声方法を習得する。また、プレゼンテーションの基本である話の組み立て方について理解し、実践できるようにする。	
3回目	SDS法・PREP法を使ったプレゼンテーションができるようになる。	
4回目	SDS法・PREP法を使い、企業における企画立案とプレゼンテーションができるようになる。	
5回目	企業様から旅行会社での仕事内容と旅行の企画について学ぶ。企画立案の基礎を理解し、説明できるようにする。	
6回目	企画書作成におけるタイトル付けや全体構成のコツを学び、パワーポイント作成ができるようになる。	
7回目	課題に対する企画を立案できるようにする。	
8回目	【中間テスト】企画内容をパワーポイント資料として作成し、プレゼンテーションできるようにする。	
9回目	海外旅行(個人・団体)の企画を立案できるようにする。	
10回目	海外旅行(個人・団体)の企画内容をパワーポイント資料として作成し、プレゼンテーションできるようにする。	
11回目	海外ウエディング+旅行企画を立案できるようにする。	
12回目	海外ウエディング+旅行企画内容をパワーポイント資料として作成できるようにする。	
13回目	海外ウエディング+旅行企画内容をパワーポイント資料を基に、プレゼンテーションできるようにする。	
14回目	★評価週	海外ウエディング+旅行企画プレゼン発表を行う。
15回目	★まとめ・追試/再試	企業様からのフィードバック

準備学習
時間外学習

相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。

評価方法

中間テスト20%、期末テスト80%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	卒業制作 presentation to mark the two years study	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。
企業様からの課題に取り組みます

【実務経験】
ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。
株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)

【到達目標】
相手に伝わるプレゼンテーションができる。
企業で通用する企画立案ができる。
課題に対する問題解決ができる

授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】授業の目的を知る。人の心に響く発声方法を学び、自己紹介・他己紹介をする。	
2回目	人前に立つ時の身だしなみや立ち居振る舞い、発声方法を習得する。また、プレゼンテーションの基本である話の組み立て方について理解し、実践できるようにする。	
3回目	SDS法・PREP法を使ったプレゼンテーションができるようになる。	
4回目	SDS法・PREP法を使い、企業における企画立案とプレゼンテーションができるようになる。	
5回目	企業様から課題オリエンテーション、課題を理解し説明できる	
6回目	課題の問題解決をチームで考案する①	
7回目	課題の問題解決をチームで考案する②	
8回目	課題の問題解決をチームで考案する③	
9回目	課題の問題解決をチームで考案する④	
10回目	課題の問題解決をチームで考案する⑤	
11回目	課題の問題解決をチームで考案する⑥	
12回目	課題の問題解決をチームで考案する⑦	
13回目	課題の問題解決をチームで考案する⑧	
14回目	★評価週	企業様へプレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック

準備学習
時間外学習

相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。

評価方法

最終プレゼンテーションにて評価する

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。</p> <p>※実務経験 茶道裏千家の師範として10年以上独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。</p> <p>【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。</p>						

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・茶道の歴史を知ることが出来る。(千利休の人物像)茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。
2回目	和室でのふるまい(襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方)を知ることが出来る。
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。①
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
5回目	家でも楽しめるお茶の点て方を知ることが出来る。盆略点前①
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆略点前②
7回目	盆略点前③抹茶を頂くときのお茶碗の扱い方を身に付ける
8回目	実際にお茶を点てて飲むことができる。お菓子の取り方、頂き方を身に付けることができる。
9回目	「総合芸術」という茶道を深く知ることができる
10回目	点てる人(亭主)・頂く人(お客)に分かれて実際にお茶を点てることができる
11回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)
12回目	★評価週 期末テスト(実技・筆記)
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して行ってほしいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】

日本の伝統であり文化である書道を見直し、日常いつの時代にも必要とされる「書く」ということの原点に立ち指導する。学校で用意された筆ペン・大筆を用い、筆ペンでは主にひらがな・カタカナ・自分の名前を正確に美しく書けるように指導する。大筆では基本的点画を「永字八法」で説明した後、楷書の代表的古典「九成宮」を臨書し半紙に四字程度書くことを指導する。個々への添削を加える。

【講師経歴】 1978年 福岡教育大学書道科卒業 数年間にわたり自宅で子供向け習字教室・自宅で大人向け仮名書道教室開催
2005～2010年頃 茶道師範の方へ出張書道指導
2010年頃 約3年間「インフィニ・フィニッシングアカデミー」(ニューオータニ博多内)にて書道講師を務める
2015年～現在 木乃花の会 仮名書道講師

【到達目標】

筆ペンや大筆を正しく使い、社会人として必要なひらがな・カタカナ・自分の名前を正確に美しく書けるようになる。冠婚葬祭の場で最低限必要の手書きの心得を身に付ける。大筆を使って漢字の基本的点画を「永字八法」で習得し、楷書の手習いを通して半紙に四字程度をバランスよく書けるようになる。筆文字の楽しさを知る。

授業計画・内容

1回目	日本の伝統文化としての書道について知る。筆ペンの持ち方・角度、書く姿勢など正しくできるようになる。筆ならし、ひらがなを少し書いてみる。	
2回目	「いろはにほへと」を原字の説明を聞き、字の成り立ちに沿って書くことができる。	
3回目	カタカナのことについて説明を聞き、正しく書けるようになる。ひらがな・カタカナのおさらいをする。	
4回目	各自の氏名の書き方を指導・添削を受け、それによって悪いクセがあれば気づき修正する。	
5回目	氏名に加えて、住所の書き方についてもコツを知り、正しく美しく書けるようになる。	
6回目	冠婚葬祭に必要な表書きの心得、芳名帳を書く時のマナーなども知り、書けるようになる。	
7回目	大筆の持ち方、扱い方について説明を聞き、線や丸を書いてみる。	
8回目	「永字八法」に見る書のすべての点画の基礎について説明を聞き、「永」を書いてみる。	
9回目	楷書の代表的古典「九成宮」を臨書し、半紙に四文字程度書けるようになる。	
10回目	(続) 楷書の代表的古典「九成宮」を臨書し、半紙に四文字程度書けるようになる。	
11回目	漢字仮名まじりの四文字を半紙におさまりよく書けるようになる。	
12回目	好きな四文字熟語を書いてみて、漢字の総合的なコツを知る。	
13回目	日常役に立つ毛筆書きの文言を書けるようになる。	
14回目	★評価週	総復習として作品を仕上げることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック後、苦手を克服することができる。

準備学習
時間外学習

評価方法

筆ペンでひらがな・カタカナ・自分の名前を正しく美しく書けるようになったか。大筆で書くことに慣れ、楽しくのびのびと正確な字を書けるようになったか。

受講生への
メッセージ

筆ペンや筆は基本的なコツを覚えるととても便利で重宝する筆記具です。手書きのぬくもりを人に伝えるつもりで楽しく書道をやってみよう。上手な字より、良い字を書くことです。一人一人の個性も大事にしつつ、書くという表現のおもしろさを感じられれば幸いです。

【使用教科書・教材・参考書】

古典「九成宮醴泉銘」法帖

科目名 (英)	日本の伝統と文化	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	Japanese tradition and culture	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ブライダルプランナーコース				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 日本の伝統と文化の知識を深め、活用できる。							
【実務経験】 接客業経験5年以上、マナー講師5年以上、法人～個人や地方自治体の専属のマナー研修等を行っている講師などが担当							
【到達目標】 日本の伝統と文化を知り、現代に活用していく							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション・「江戸しぐさ」から学ぶ相手への心配り。相手尊重主義の行動を「江戸しぐさ」から学び、習得できる。						
2回目	お辞儀について：日本の伝統的な正しい姿勢とお辞儀を知り、現代に活かすようになる。						
3回目	「江戸しぐさ」基本心得 エコロジーと共生哲学を学び、現代に活かすことができるようになる。江戸っ子の条件。						
4回目	言葉のマナーについて：日本の正しい敬語を知り、品格をあげることができる						
5回目	EQと江戸しぐさ 心の知能指数を知り、心を肥やすことを知り、実践することができる。						
6回目	食のマナーについて：日本の食事の挨拶を知り、食を楽しむことを習得できる。						
7回目	筆ペン・基本の持ち方・名前を縦書きに書くことができる。縦書きの基本の習得ができる						
8回目	「往来しぐさ」知らない同士が和やかになれる。傘かしげなど実践できる						
9回目	冠婚葬祭のマナーについて：日本の伝統にそう、装いを知る事ができる						
10回目	「融合しぐさ」ができる 江戸しぐさの中の言葉遣い・人間関係						
11回目	筆ペン はがきや手紙を縦書きで書くことができる。						
12回目	着物の知識を身に着ける。お客さまや外国の方へ聞かれた際、対応ができるようになる。						
13回目	お茶の作法 茶道の基礎を学び、お客様へのお話ができるようになる。						
14回目	のし紙、のし袋 日常生活のいろいろなシーンで役に立つ、冠婚葬祭表書きを書いてみる。						
15回目	★まとめ・筆ペンなどまとめ	筆記試験					
準備学習 時間外学習							
評価方法	提出物 30% 筆ペンテスト 70%						
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化を知り、現代のおもてなしに役立てましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
【使用教科書・教材・参考書】 筆ペンの時間は、筆ペンの準備をお願いします。							

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員
学科・コース	ブライダルプランナーコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 前期 曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日本の伝統である華道を学ぶことによって、花に親しみ、季節を感じ、おもてなしの心を理解する。できるだけその季節に関する花や行事等の話もしたいと思います。</p> <p>※実務者経験 華道家元池坊・稲葉社中に約18年間に在籍し、様々な華道展に作品出品、コンクール参加、また福岡市の関係機関で講師の経験もあります。</p>						
<p>【到達目標】 華道の歴史や道具について学ぶことができる。お花の知識を身につけ、基本的ないけばなのスタイルを学ぶことができる。日本の伝統の華道について理解できる。</p> <p>華道・いけばなの起源は、自分のためではなく人のために活かせることです。 それがおもてなしの心につながっていきます。そのことを理解し、自分が活けなくても見るときに感じて下さい。</p>						

授業計画・内容		
1回目	自己紹介 華道の歴史や道具について説明し、華道の授業を理解する	
2回目	日本舞踊の歴史を理解し、説明できるようになる	
3回目	能と歌舞伎について理解し、説明できるようになる	
4回目	日本画や絵画について理解し、説明できるようになる	
5回目	着物の歴史を理解し、浴衣を着付けができるようになる	
6回目	盛花 規則を理解する 剣山の使い方を理解する	
7回目	季節の花について解説 デッサン 季節の花を理解する	
8回目	自由花 自由な発想で生けることができる 花を活かす生け方を考えてみる	
9回目	盛花を活ける 器に対する花材の長さを考え生けることができる	
10回目	盛花を活ける 季節の花材を使って生けることができる	
11回目	自由花 父の日を意識した花材で、自由に考え生けることができる	
12回目	和室における作法を理解し実践できる①(戸の開け閉め、歩き方、座り方)	
13回目	和室における作法を理解し実践できる②(戸の開け閉め、歩き方、座り方)	
14回目	★評価週	実技試験・筆記試験
15回目	★まとめ	苦手を知り克服する
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	花は、生き物なので大切に扱ってください。花に少しでも興味を持ってもらえたら、うれしいです。花は必ず持って帰ってください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合コース						
曜日・時限							

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理に対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で活きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。

【実務経験】

ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。

【到達目標】

PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。
ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。

授業計画・内容

1回目	お客様の来館に至るまでの動向、新規スタッフと施行スタッフに求められる異なる能力を理解し説明できる	
2回目	集客するための施策や手法を比較検討し、フェアの打ち出しや内容を組み立てることができる。	
3回目	PPTを使用し、媒体打ち出しを意識した広告を作成できる。	
4回目	新規来館アンケートにおける質問の意図と目的を理解し説明できる	
5回目	新規接客の流れを把握し、アンケートを基にヒアリング力を理解し実践できる	
6回目	定番の演出～今求められる演出を把握し、お客様に合わせた提案を行うことができる。	
7回目	ヒアリング内容を基に、イメージをチョイスしテーマシートを作成することができる。	
8回目	希望する人数帯に対して、異なる提案の仕方を理解し説明できる	
9回目	結婚式費用について理解し、プランの仕組みを把握することができる。	
10回目	ヒアリング～クロージングまで、アイスブレイクを取り入れた手法を理解し説明できる	
11回目	成約手続きや今後のスケジュールの組み立てと案内ができる。	
12回目	当日までの打合せの流れを理解し、お客様に合わせたアイテムのチョイスができる。	
13回目	お客様の希望を理解し、パートナーに対して的確な情報をアウトプットすることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服できる

準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト(筆記試験)100%
受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合コース						
曜日・時限							

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で活きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。

【実務経験】

ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。

【到達目標】

PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。
ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。
実際の新郎新婦様の打合せ～施行まで成功させることができる

授業計画・内容

1回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)①	
2回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)②	
3回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)③	
4回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)④	
5回目	打合せに向けて提案書を作成できる(テーブルコーディネート)⑤	
6回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)①	
7回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)②	
8回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)③	
9回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)④	
10回目	打合せに向けて提案書を作成できる(衣装・ヘアメイク)⑤	
11回目	打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)①	
12回目	打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)②	
13回目	打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)③	
14回目	★評価週	打合せに向けて提案書を作成できる(ウェルカムスペース、装飾)④
15回目	★まとめ・追試/再試	レポート提出、振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	レポート評価100%	
受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合コース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で生きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。							
【実務経験】 ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。							
【到達目標】 PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。 ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。 実際の新郎新婦様の打合せ～施行まで成功させることができる							

授業計画・内容	
1回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる①
2回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる②
3回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる③
4回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる④
5回目	初回打合せに向けて、カウンセリングシートの目的を理解し作成することができる⑤
6回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)①
7回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)②
8回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)③
9回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)④
10回目	打合せに向けて提案書を作成できる(挙式イメージ・テーマ)⑤
11回目	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)①
12回目	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)②
13回目	打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)③
14回目	★評価週 打合せに向けて提案書を作成できる(前撮り)④
15回目	★まとめ・追試/再試 レポート提出、振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポート評価100%
受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	campus婚	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	campus婚	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合コース						
曜日・時限							

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ウェディングプランナーとして、レストラン、ホテルの会場で新規接客から施行、企画運営管理を対応。また、新人研修やスタッフ育成にも従事。今なお、現役ブライダルコンサルタントとしてホテルを中心に活動中。専門式場やゲストハウス、ホテルによって異なる対応の違いや、求められる企画の立案、今のお客様が求めるウェディングスタイルの提案の仕方を、PPTやシステムを使用し、現場で活きるコミュニケーション力、ヒアリング力や提案力を身につけ、活躍できる人材を育成します。

【実務経験】

ウェディングプランナーから始まり、現コンサルタントとして業界25年目。司会業や和装着付などプランナー業務以外の分野でも現場で活動。

【到達目標】

PPTを取り入れた、新規業務における来館施策～成約までの流れを把握することができる。
ブライダルシステムを取り入れ、成約後の施行打合せの内容と流れを理解し、プランナー業務の一連を習得することができる。
実際の新郎新婦様の打合せ～施行まで成功させることができる

授業計画・内容

1回目	披露宴のサービスが出来るようになる ①	
2回目	披露宴のサービスが出来るようになる ②	
3回目	披露宴のサービスが出来るようになる ③	
4回目	披露宴のサービスが出来るようになる ④	
5回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑤	
6回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑥	
7回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑦	
8回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑧	
9回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑨	
10回目	披露宴のサービスが出来るようになる ⑩	
11回目	挙式・披露宴本番のオペレーションを想定し、チームでリハーサルをすることができる①	
12回目	挙式・披露宴本番のオペレーションを想定し、チームでリハーサルをすることができる②	
13回目	挙式・披露宴本番のオペレーションを想定し、チームでリハーサルをすることができる③	
14回目	★評価週	挙式・披露宴本番を成功させることができる
15回目	★まとめ・追試/再試	レポート提出、振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	レポート評価100%	
受講生への メッセージ	プランナーとしての基礎知識をしっかりと身につけながら、今現場で必要とされる施策や対策を理解し、お客様の思いをカタチにする為のコミュニケーション力・提案力を強化していきましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	Excel・Word Excel・Word	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	プライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
Word、Excelを中心に授業をしていきますが、同時にパソコンの使い方、インターネットの活用方法も授業の中に取り入れていきたいと思えます。毎時間目標とする課題を設定していく計画です。							
※実務経験 営業、Webディレクターを経験後、フリーランスでプライダルサービス、PA(5年)の現場で活動中							
【到達目標】 <具体的な目標> Word:印刷物を見て、自分でゼロから作れるようになる。 Excel:仕事で使う関数を身につけ、効率よく仕事ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。
2回目	Word:基本操作 文章作成、ページレイアウト、保存ができるようになる。
3回目	Word:文章の編集 文字の配置、インデント、文字の書式設定、行間の調整、印刷設定ができるようになる。
4回目	Word:表現力のある文章作成 表現のある文章作成ができるようになる。
5回目	Word:図形の応用 図形のさまざまな編集ができるようになる。
6回目	Word:表の作成 表の構成、行列の挿入と削除ができるようになる。
7回目	Word:便利な機能 検索と置換、様々な装飾ができるようになる。
8回目	Word:SmartArtグラフィック 目的に応じたSmartArtを選択、操作ができるようになる。
9回目	Word:文章をサポートする機能とテンプレートの活用 スクリーンショット、クイックパーツ、テンプレートを活用できるようになる。
10回目	Excel:Excelの基本操作 データの入力と編集、表の作成ができるようになる。
11回目	Excel:数式の作成 数式の入力、関数、絶対参照ができるようになる。
12回目	Excel:表の編集 フォントの書式設定、条件付き書式設定、シートの編集ができるようになる。
13回目	Excel:グラフ作成と印刷 グラフの活用、編集、印刷ができるようになる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	Excel:ワークシートの操作と色々な活用方法 作業グループ、検索と置換、コメント挿入ができるようになる。
総復習	苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	身近にある広告や印刷物に対してコレはどの様に作っているのか興味を持ってください。 そして自分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をしてみたい。 パソコンが自宅や身近に触れる機会のある方は、どんどん触れてください。
評価方法	提出物100%で評価します。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ICT.AIビジネス	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	ICT / AI business	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	プライダル総合コース				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】
一般的なプログラム言語「JavaScript」と「アート」を通じて、プログラミングの概要を学びます。

【実務経験】
講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。

【到達目標】
JapaScriptを通じてオブジェクト指向を学び、簡単な成果物を作成することができる

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒紹介、授業の目的の共有
2回目	ハーローワールドを実行することができる
3回目	関数を使用し、リファレンスを活用することができる
4回目	変数とデータ型を理解し、活用することができる
5回目	フレームを操作し、演算を活用して動的な描画を行うことができる
6回目	関数作成し、活用することができる
7回目	条件文によって、分岐処理を行うことができる
8回目	ループによって、繰り返し処理を行うことができる
9回目	偶発性を活かした線を引くことができる
10回目	偶発性を活かした円を描くことができる
11回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 1
12回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 2
13回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 3
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
	期末テスト
	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	プロとして、すぐに活用できるスキルを習得していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ICT・AI基礎 ICT/AI basic	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	プライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【学習内容】 パソコンを使っての社会との関わり方、代表的なツールの基本的な操作方法を通して、自ら創造し「解決する力」を育て、次のステップに進む力を身につける講義を目指します。</p> <p>【実務経験】 個別指導パソコンスクールWAVEの講師を2年、現在MAスタジオを運営しつつWEBデザイン、経理・総務の業務を兼任して行っています。</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
到達目標 ファイルの取り扱い、フォルダの活用方法を身につける。主にWord、Excelの基本動作を覚えながら、実生活や実務での活用方法をイメージできるようになる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション、自己紹介、パソコンについて	
2回目	学習に必要な情報収集、インターネットの検索のコツを習得できる	
3回目	(MicrosoftWord)タイピング、ワードの起動、データの保存、終了操作ができる、ビジネスの現場での活用例	
4回目	(MicrosoftWord)文字の入力、装飾文章作成の流れを理解できる、ツールバーの解説	
5回目	(MicrosoftWord)タブやインデントの使用して文章を作成できる。書式設定についての解説	
6回目	(MicrosoftWord)イラストの挿入、配置ができる	
7回目	(MicrosoftWord)表の挿入、配置ができる	
8回目	(MicrosoftWord)表現力をアップする機能、便利な機能を習得できる	
9回目	(Microsoft Excel)Excelでできること、起動、データの保存、終了操作ができる、ビジネスの現場での活用例	
10回目	(Microsoft Excel)文字の入力、装飾文章作成の流れを理解できる。ツールバーの解説	
11回目	(Microsoft Excel)足し算、引き算、掛け算、割り算といった初歩の関数を使えるようになる	
12回目	(Microsoft Excel)イラストや図の挿入ができるようになる	
13回目	(Microsoft Excel)グラフの挿入などができるようになる	
14回目	作業・評価週	自由課題を指定の書式を含んだ形で制限時間内に仕上げる
15回目	まとめ	テストフィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト(自由課題)100%予定 Word・Excelそれぞれの課題で制作された成果物に特定の装飾や書式が含まれているかどうかで評価。	
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。本講義ではこれから皆さんが現場でパソコンを使って社会に貢献し、問題を解決していくためのキッカケを掴むコツをお伝えしていければと考えています。パソコンもソフトも便利ですがいわゆるひとつのツールですので、使われる方によっては目的も千差万別です。自分が必要な成果を引き出す力や考え方を身につければ、どんなソフトにも応用でき、これから先の皆さんの世界がさらに広がっていくでしょう。まずは気軽に触れてみて楽しんでください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	JMA検定3級 JMA test grade 3	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
JMA3級検定に合格できる知識と技術を習得する。							
【実務経験】フリーのヘアメイクアーティストとして(18年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダル現場などでヘアメイクを手掛けながら、専門学校等で講師も務める。また、JMA認定講師としても活動。							
【到達目標】 技術者として必要とされるマナー、接遇を身に付け、JMA3級検定に合格できる知識と技術を得ることができる。							

授業計画・内容		
1回目	JMAとは何か、道具の使い方、技術者としての心構えを理解することができる。	
2回目	セッティング、手指消毒、スキンケア(クレンジングまで)技術を習得し、実践できる。	
3回目	セッティング、手指消毒、スキンケア(乳液まで)技術を習得し、実践できる。	
4回目	ポイントクレンジング～乳液までをスムーズに行い、基本のベースメイクの作り方を知り、理解できる。	
5回目	JMA3級ベースメイクの作り方を理解し、実践できる。	
6回目	スキンケア～ベースメイク(フェイスパウダーまで)をスムーズに行うことができる。	
7回目	リキッドファンデーションテクニック強化 色、厚み、ムラ等に気を付け、美しく仕上げることができる。	
8回目	コンシーラーテクニック強化 色、量、ムラ、使用箇所等に気を付け、美しく仕上げることができる。	
9回目	基本的な骨格補正(チーク、ハイライト、ローライト)方法を知り、実践できる。	
10回目	骨格補正をモデルに合わせて美しく仕上げることができる。	
11回目	JMA3級内容を決められた時間内で美しく仕上げることができる。	
12回目	JMA3級内容を30分以内で美しく仕上げることができる。	
13回目	JMA3級内容を30分以内でモデルに合わせて、美しく仕上げることができる。	
14回目	★評価週	定期試験 JMA3級内容
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手部分の克服ができる。
準備学習 時間外学習	習った点は必ず復習し、翌週に生かせるように練習して臨んでください。	
評価方法	定期テスト100% 技術者としてのマナー、手技、手順が正しいか、仕上がりが美しいか等、総合的に評価します。	
受講生への メッセージ	手順が細かく決まっており、最初は煩わしいと思うかもしれませんが、努力すれば必ず合格できる検定です。メイクの知識、テクニックの向上も望めますし、履歴書にも記入できる検定です。苦手意識を持たず、意欲的に取り組みましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 JMAテキスト、メイク道具、筆記用具		

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	プライダール総合コース					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
一般企業の70%以上で実施している『一般常識テスト』に合格するためのトレーニングを行う。「一般企業の70%が実施している」ということは、裏を返せば、30%の企業では、「知っていて当たり前。知らなくても入社後、新聞購読などで身に着け、問題意識を持ち続けるべき最低限の内容」ということで、このようなテストがない企業も多数あることを、まず理解し、「社会人になるための第一歩」として取り組むこと。							
※実務経験 東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間の小中学生への学習指導を続ける							
【到達目標】 SPI・一般常識・時事問題を学び知識の習得をすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	①【時事】2021～2022トピックスを理解し説明できる
2回目	①【時事】2021～2022トピックスを理解し説明できる
3回目	②【一般常識:学力]中高での英数国理社を理解し説明できる
4回目	②【一般常識:学力]中高での英数国理社を理解し説明できる
5回目	③【一般常識:時事]政治・経済・国際を理解し説明できる
6回目	③【一般常識:時事]政治・経済・国際を理解し説明できる
7回目	④【一般常識:雑学]文化・芸術・スポーツを理解し説明できる
8回目	④【一般常識:雑学]文化・芸術・スポーツを理解し説明できる
9回目	⑤【一般常識:社会人教育]マナーを理解し実践できる
10回目	⑤【一般常識:社会人教育]マナーを理解し実践できる
11回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し説明できる
12回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し考察、プレゼンテーションすることができる
13回目	⑥【時事]最新ニュースのトピックスを理解し考察、プレゼンテーションすることができる
14回目	★評価週 期末テスト
15回目	★まとめ フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 必要なものを、その都度、お渡します。	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	プライダル総合コース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

就職試験で多くの会社が入力しているSPI試験について、あらゆる角度から対策を実施します。出題の傾向やコツを掴むことができ、基本的な考え方の土台をしっかりと築くことができます。様々なワークの実践で、SPIへの苦手意識を克服し、学びが社会で役に立つという意識まで変化させることで、積極的な取り組みを実現します。

※実務経験について:4年大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。その後、イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事し、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、また大学の就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。

【到達目標】

SPIを採用する企業側の意図を理解する。問題の傾向と出題の特徴を掴むことで、効率よく問題が解けるようになる。また、いろいろなワークを通して、考える力、直感が鍛えられる。最終的に、SPIの克服が、単なる採用試験の枠を超えて「自分を高めるため」という意識を持って取り組めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、自己紹介、学ぶことの大切さについて理解し説明できる
2回目	SPIの概要について 筆記試験実施の意味合いについて理解し説明できる
3回目	問題の傾向と対策① 情報をインプットする必要性と方法を理解し説明できる
4回目	問題の傾向と対策② 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
5回目	問題の傾向と対策③ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
6回目	問題の傾向と対策④ 読書の必要性と効率の良い読み方を習得できる
7回目	問題の傾向と対策⑤ 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
8回目	問題の傾向と対策⑥ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
9回目	中間試験
10回目	試験の解説と課題設定 自分の傾向を知り、重点を置いて取り組む部分を理解し説明できる
11回目	問題の傾向と対策⑦ 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
12回目	問題の傾向と対策⑧ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
13回目	期末試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	就職試験で採用されているSPIについて事前に調べておく
評価方法	筆記試験 ・中間テスト(50%) ・期末テスト(50%)
受講生への メッセージ	筆記試験は苦手意識を持っている人が多いと思います。そこで、この授業を受けることで、SPI対策をして点数を高める努力が、実は社会に出て役に立つ人材の基礎力になることを理解して、苦手意識を克服を目指します。ひとつひとつ課題に取り組んでいくと、考え方の基礎が築かれていきます。全ては自分の役に立つと信じて、楽しく学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	プライダル総合コース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

航空業界入試一次試験に合格するために必要な、計算力・読解力を指導する。どの授業よりも、授業実施前の個人差が大きい内容であることを鑑み、個別指導に力点を置くとともに、学生間相互の学び合いなどを通じて、コミュニケーションを密にし、学生自身の自主性・伝達力強化も図る。

※実務経験

東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間小中学生への学習指導を続ける

【到達目標】

SPIとは何かを知り、基本的な計算問題に取り組みSPIでの自身の弱点を見つけその弱点の克服に向けて何をすればよいのかを計画を立て、実行することができる。

授業計画・内容

1回目	予想問題の問題1～問題15までを理解できる	
2回目	予想問題の問題1～問題15までを解くことができる	
3回目	予想問題の問題1～問題15までを時間内に半分以上、解くことができる	
4回目	予想問題の問題16～問題35までを理解できる	
5回目	予想問題の問題16～問題35までを解くことができる	
6回目	予想問題の問題16～問題35までを時間内に半分以上、解くことができる	
7回目	予想問題の問題36～問題50までを理解できる	
8回目	予想問題の問題35～問題50までを解くことができる	
9回目	予想問題の問題35～問題50までを時間内に半分以上、解くことができる	
10回目	新たな予想問題①50問を時間内に半分以上、解くことができる	
11回目	新たな予想問題②50問を時間内に半分以上、解くことができる	
12回目	新たな予想問題③50問を時間内に半分以上、解くことができる	
13回目	新たな予想問題④50問を時間内に半分以上、解くことができる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ	フィードバック、苦手を克服できる

準備学習
時間外学習

毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。

評価方法

期末テスト100%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

必要なものを、その都度、お渡します。

科目名 (英)	TOEIC	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	TOEIC	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合コース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

TOEICで600点越えを目指すために必要な基礎的な語彙力やイディオム、文法の学習と、リスニングのための耳づくりに主眼を置いた丁寧な授業をおこなう。日本人が聞き取りや発音を苦手とする英語の音声にはとくに注意して指導することで、リスニング力の大幅な向上を目指す。自分で発音できない音は聞き取れない、という大前提があるので、まずは発音してもらって細かな音の矯正を重ねていく。
【実務経験】私塾にて9年前より小学生～大学受験まで幅広い層に英語を教えている。卒業生には上智大学、九州大学、早稲田大学合格者。TOEIC975点。英検1級。翻訳や通訳の経験もあり、翻訳書には『セラビユーティクタッチの技法』(春秋社)、『レイキ完全本』(BABジャパン)がある。通訳実績としては、環太平洋子どもサミットにて同時通訳(平成18年度:沖縄)、日本人間ドック会議にて通訳(平成19年度:沖縄)など。講師歴2年

【到達目標】

TOEICのテスト自体は、最低でも英検2級レベルの英語力をもっていないと、なかなか難しい面があります。ですから、まずは「英語自体が難しくてたいへん」と思う気持ちを、少しでも、「英語は楽しく役に立つ」と感じてもらえるようにしたいです。初級向けの単語やイディオムを習得するための教材を中心に使い、学んだことは着実におぼえて身に着けてもらうことを目標にします。毎回、授業を受けることで、生徒のみなさんに何か一つでも英語表現の「お土産」を持ち帰ってもらいたいと思います。学んだことをしっかり復習すれば8割はとれる試験を計2回、実施しますので、全員が合格点をとれるようにしてほしいです。

授業計画・内容

1回目	書き込みノート15 & 16を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に着けることができる。	
2回目	書き込みノート17 & 18を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に着けることができる。	
3回目	書き込みノート19 & 20を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に着けることができる。	
4回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に着けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
5回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に着けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
6回目	中間テストを実施することにより、これまでの学習内容を確実なものにし、到達度を確認することができる。	
7回目	中間テストの評価と復習。書き込みノート21 & 22を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に着けることができる。	
8回目	書き込みノート23 & 24を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に着けることができる。	
9回目	書き込みノート25 & 26を実践・解説をすることにより、TOEIC頻出の単語表現や聴解力を身に着けることができる。	
10回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に着けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
11回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に着けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
12回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に着けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
13回目	TOEIC模擬試験の一部を実践解説することにより、テストの感覚を身に着けてもらい、学習したことを確実におぼえてもらうことができる。	
14回目	★評価週	期末テストにより、これまでの理解度をはかることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テストの返却・解説・評価をすることでさらなる学習意欲を刺激することができる。
準備学習 時間外学習	2回のテストでは、それまでの学習内容をよくよく理解すれば8割以上得点できるような内容にします。すなわち授業中に聞いたことをしっかり復習していれば合格点がとれますので、毎日試験勉強と思ってその日学んだことを復習してください。	
評価方法	中間テスト3割 期末テスト7割	
受講生への メッセージ	TOEIC600点への道のりは決して楽ではありませんが、足元から一步一步、いっしょに英語という山にいっしょに登っていきましょう。ほんやりしているとすぐ試験日が来ますから、毎回毎回の授業を試験勉強だと思って集中して聴いてください。	

【使用教科書・教材・参考書】

『TOEICテスト書き込みノート単語&熟語編』

『公式TOEIC L&R VOL7』

科目名 (英)	TOEIC	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	TOEIC	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	プライダール総合コース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

TOEIC600点クリアを目指すために本番に出題される問題をどんどん解いていく。ただし、数をこなすというよりはリスニングとリーディングの具体的な問題を解きながら、わからないままに進むのではなく、ひとつひとつ確実にクリアしていきます。これまでと同様、リスニング問題を解きつつ英語耳をつくるための細かな矯正をおこないます。

【実務経験】私塾にて9年前より小学生から高校生大学生まで幅広い英語指導を行っている。卒業生は英語力を生かして九州大、上智大、早稲田大などに合格。また、翻訳や通訳の実務経験もあり。翻訳した書籍『セラピューティックタッチの技法』(春秋社)、『レイキ完全本』(BABジャパン)など。通訳実務経験:「環太平洋子ども環境サミット」にて同時通訳(平成18年)、「日本人間ドック会議」にて同時通訳(平成19年度)など。講師歴2年

【到達目標】

これまでの学習を踏まえて、TOEICテスト本番と同じ問題をできるだけたくさん解くことで、単語、イディオム、文法、リスニングの力をつけていく。リスニング、リーディングテストの前半の基礎部分に関しては、手堅く点数がとれるようになる実力をつける。

授業計画・内容

1回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson3 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
2回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson3 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
3回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson4 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
4回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson4 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
5回目	『TOEICテスト新形式精選模試リーディング』 p.32~35に取り組むことで文法やイディオムの基礎をつけることができる。	
6回目	次回テストのための復習と対策:やる気をたかめ、学習のポイントをつかむことができる。	
7回目	中間テストをすることで、これまでの理解度と到達度をはかることができる。	
8回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson5 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
9回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson5、6 に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
10回目	『TOEIC公式テスト リスニング問題』 Lesson6、7に取り組むことで、リスニング力と表現力を高めることができる。	
11回目	『TOEICテスト新形式精選模試リーディング』 p.36~42に取り組むことで文法やイディオムの基礎をつけることができる。	
12回目	『TOEICテスト新形式精選模試リーディング』 p.43~48に取り組むことで文法やイディオムの基礎をつけることができる。	
13回目	次回テストのための復習と対策:やる気をたかめ、学習のポイントをつかむことができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより、今学期の理解度と到達度をはかることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テストの返却と講評・解説により問題点を知ることができる。
準備学習 時間外学習	中間テスト、期末テスト、ともにあつという間に巡って来るので、毎回毎回の授業をテスト勉強だと認識して真剣に取り組む。次の授業までにしっかりと内容を復習すること。授業初めに、前回の内容をテスト形式で問います。	
評価方法	中間テスト3割 期末テスト7割	
受講生への メッセージ		

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	早田
	Associate hospitality coordinator	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	水曜日4限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホスピタリティマインドを理解し、日本のサービス産業、ホスピタリティ産業の重要性、歴史と文化、定義など理論について学習する。
また、実践編として接客マナー・クレーム対応などホテルの窓口を参照にしたロールプレイを繰り返す事で高い実務能力を教授する。

※実務者経験: 医療法人井上会 篠栗病院にて平成6年4月～平成16年1月まで、医事課スタッフとして医療窓口における患者サービスの責任者として従事する。ホスピタリティコーディネータ有資格者として実務にあわせたホスピタリティマインド及びビジネススキルを身につける。

【到達目標】

ホスピタリティのマインド・理論・実践を学び説明できるようになる。
ホスピタリティ業界(ホテル・レストラン等)のフロント・コンシェルジュ・サービスにて起こりえる対応の症例について体得できるようにする。
接客能力の向上として、適切な身だしなみ、言葉遣い、言い回しができるようになる。
ホスピタリティを推進するチームの一員・リーダーとしての資質を発揮する事ができるようになる。
アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータの資格を取得する。

授業計画・内容

1回目	アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ及びコミュニケーションスキルアップ検定概要について理解し説明できるようになる。	
2回目	ホスピタリティの社会的スキル・人との関わり方の基本的な対応や考え方(笑いと笑顔の違い/おしゃれと身だしなみの違い)ができるようになる。	
3回目	ホスピタリティトレーニング/事例を元に観察・推理・理解・行動及び気づきができるようになる	
4回目	第1章:日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性(付加価値・イノベーションとは)について理解し説明する事ができる。	
5回目	求められるサービス産業のグローバル化(日本が誇るメイド・イン・ジャパン/サービス・ドミナント・ロジック)について理解し説明する事ができる。	
6回目	第2章:ホスピタリティの歴史と文化について理解し説明できるようになる。	
7回目	第3章:サービスとホスピタリティの語源/第4章:ホスピタリティの定義について理解し説明できるようになる。	
8回目	第5章:ホスピタリティの5領域/第6章:組織と顧客のホスピタリティについて理解し説明できるようになる。	
9回目	第1章:コミュニケーションとは/第2章:基本的対話スキル①について理解し説明できるようになる。	
10回目	第2章:基本的対話スキル②について理解し説明できるようになる。	
11回目	第3章:自己表現スキル③について理解し説明できるようになる。	
12回目	第4章:社会的スキル/第5章:サービスマインドについて理解し説明できるようになる。	
13回目	コミュニケーションスキルアップ検定実施/ホスピタリティコーディネータ課題説明	
14回目	★評価週/テスト及びデータ入力	
15回目	★まとめ及びデータ入力	
準備学習 時間外学習	予習及び復習として各講義におけるテキストを黙読する。 学生生活及びアルバイト等を通じて感じるホスピタリティについて観察し、授業内において発表する。 授業で学んだホスピタリティを普段の生活内やアルバイトにて実践し、どのような効果を得る事ができたか発表できるようにする。	
評価方法	・コミュニケーションスキルアップ検定の合否 ・授業内にて配布している資料を基にしたテスト ・ホスピタリティ実践レポート:2000字	
受講生への メッセージ	ホスピタリティはマインドを理解する事と、スキルを身につけビジネスに活かす事の両方が大切です。 私たちが幸せと感じる心を育てる教育として様々な事例を通じて学習していきますので、楽しみながら、そして人に笑顔を提供できるようなプロフェッショナルとして活躍できるように一緒に学びましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

NPO法人 日本ホスピタリティ推進協会:ホスピタリティコーディネータ教本
滋慶教育科学研究所 コミュニケーションスキルアップ検定

科目名 (英)	カメラワーク&テクニック Camera work & technique	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
「美しい写真」について、技術的・美術的2つの側面から学習し、理解できるようになる。							
<p>※実務経験 大学卒業と同時に、プロの世界へ。以来20年以上、人物写真(ポートレート)を撮り続ける。広告、雑誌の世界からプロフィール写真家へ移行。2015年頃、東京から地元福岡を拠点に。「自分が美しいと思う写真」へと展開していく。「世界とつながる」をモットーに、米国の写真コンテスト受賞を皮切りに、現在も海外各地の写真家と交流を続ける。</p>							
【到達目標】							
<p>「楽しい写真」から「美しい写真」まで、カメラ(一眼レフ)を使いこなせるようになる。 グループワークで実際に一眼レフで撮影しながら、「体験的・経験的」に、カメラと写真の技術を身につける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション/カメラの構え方/今後の説明/グループ分け/いい写真と悪い写真の違いについて理解し説明できる
2回目	オートで撮る！構図について習得する
3回目	オートで撮る！構図 ライティング(照明)光について理解し説明できる
4回目	オートで撮る！構図 レンズによって変わる写真の奥深さが会得できる
5回目	明るさを決める三要素の理解し説明できる
6回目	絞り優先！オートでは撮れない構図について理解し説明できる
7回目	絞り優先！オートでは撮れない構図&ライティング(照明) について理解し説明できる
8回目	中間テスト
9回目	露出補正でさらに上手に撮影ができる
10回目	シャッター速度優先！オートでは撮れない、ダイナミックな写真を撮れるようになる
11回目	WB=色温度。電球と白色LEDで実験。混ぜるな危険！色について理解し説明できる
12回目	挑戦！マニュアル撮影。手足のようにカメラを操ることができる
13回目	カメラのアップダウンの構図。奥行きのある写真。足を長く撮る方法。ポートレートをかっこよく撮ることができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	定期テスト(筆記60%、実技40%)
受講生へのメッセージ	一見難しい大きなカメラ(一眼レフ)、実はとても簡単です。ステップずつ学んでいき、「楽しい写真」「美しい写真」を撮りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>キャリア教育を基に社会人基礎力の向上を目的に、本講義を通して3つの能力、12の要素を身に着けた人材を育成します。学生相互の人間関係(コミュニケーション)を密にし、学生の自発的、自治的な活動を支援します。また、自己理解を深め、適切な進路選択ができるようにします。</p> <p>※実務経験 ブライダル総合会社にてチーフプランナー、ドレススタイリストとして約4年、ブライダルジュエリー会社にて対面販売約2年</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>自ら挨拶ができ、人の話を聞き規律性を持った行動が出来る。 学生相互において適切なコミュニケーションを図ることができる。</p>							

授業計画・内容		
4月14日	自己紹介・他己紹介、授業の目的、専門学校での過ごし方を通して、自身のこれからの2年間の環境を知る	
4月28日	ホスピタリティ業界における正しい挨拶を行うことができる	
5月12日	コミュニケーションの大切さ、必要性を理解することができる	
5月19日	ホスピタリティ業界における正しい身だしなみを行うことができる	
5月26日	お客様の迎え入れや接客時における最低限のマナーを身に着けることができる	
6月2日	①基本的対話スキル向上させることができる(話す・聴く・質問の仕方を学ぶ)	
6月9日	②基本的対話スキル向上させることができる(グループ・集団での会話を学ぶ)	
6月16日	①自己表現スキルを身に着けることができる(人間関係を円滑にする表現技術)	
6月23日	②自己表現スキルを身に着けることができる(職務上で必要とされる表現技術)	
6月30日	③自己表現スキルを身に着けることができる(アンガーマネジメント、感情への対処)	
7月7日	①社会的スキルを身に着けることができる(対人行動、対人マナー)	
7月14日	②社会的スキルを身に着けることができる(文章作成の実践)	
8月25日	サービスマインドを身に着ける(心得、姿勢)	
9月1日	★評価週	コミュニケーションスキルアップ検定
9月8日	★まとめ・追試/再試	コミュニケーションスキルアップ検定の総復習
準備学習 時間外学習		
評価方法		
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>サービス業のみならず仕事を自信のキャリアに変える為の考え方や、成長の進め方を様々なディスカッションを重ねる事で身に付けて行く事ができる。また自分の情熱や思いを正しくアウトプットできる自信とテクニックを学ぶ。</p> <p>※実務経験 ブライダル総合会社にてチーフプランナー、ドレススタイリストとして約4年、ブライダルジュエリー会社にて対面販売約2年</p> <p>【到達目標】 自身の強み弱みを見極め、強みを引き出す事で自分の目指す業界へチャレンジする姿勢と考えを身に付ける事ができる。サービス業を軸としたサービスを自身の武器とする事の大切さ、サービスでお金を稼ぐという意識と目標を見つける事ができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介を盛り込んだフリーディスカッションができる	
2回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (自分が社会に出る事の意味)	
3回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (仕事とは何か? 仕事が自分に及ぼすものとは?)	
4回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (お金を稼ぐ事の意義)	
5回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (サービスが人に与えるメリットを考える)	
6回目	グループディスカッションの意図を理解し実践できる (サービスでお金を稼ぐ為に大切な事は何か?)	
7回目	自分の目標を探すトレーニングのやり方を理解し実践できる	
8回目	ポジティブシンキングの効果を理解し実践することができる	
9回目	ネガティブシンキングが影響するライフスタイルの悪化について理解し説明できる	
10回目	夢実現へのプロセルロードマップを作成することができる①	
11回目	夢実現へのプロセルロードマップを作成することができる②	
12回目	夢実現へのプロセルロードマップを作成することができる③	
13回目	グループプレゼンテーションのトレーニングができる(自己表現スキルと伝える熱意のテクニック)	
14回目	★評価週	フィードバック
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	各種ワークシートの提出物100%	
受講生への メッセージ	サービス業で自身をキャリアアップさせるための自己表現は、仕事のキャリアにおいてだけでなく自身を更に高いステップに押し上げてくれる手助けとなります。自分をしっかり見つめ、自分の良さをしっかりと強みに変える思考を一緒に身に付けて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	キャリアプログラム Career Program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>学生相互の人間関係を密にし、学生の自発的、自主的な活動を支援します。 また、自己理解を深め、適切な進路選択ができる</p> <p>※実務経験 ブライダル総合会社にてチーフプランナー、ドレススタイリストとして約4年、ブライダルジュエリー会社にて対面販売約2年</p>							
【到達目標】 毎回、「到達目標シート」を設定して、着実に「考える力」「書く力」を育てていきます。到達目標は、「知っている」ということから、「できる人」になることです。							

授業計画・内容	
1回目	今後のスケジュールを確認して企業10社の選び方、研究の仕方を話し合い、方向性を決めることが出来る。
2回目	グループ分かれ企業研究の仕方や期日を決めていくことが出来る
3回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る①
4回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る②
5回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る③
6回目	企業研究上での課題の発見と調整を行い翌週の発表につなげることが出来る
7回目	中間発表(資料作成)が出来る。
8回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る④
9回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る⑤
10回目	企業研究作業を行い企業を知ることが出来る⑥
11回目	企業研究発表での問題点と調整を行い翌週の発表につなげることが出来る
12回目	企業研究の発表会を実施できる
13回目	総まとめ 後期で学んだことを再確認し、角度の高い志望動機を作成できる
14回目	★評価週 質問の大切を理解し、わからないことを自身の言葉を確認することができる①
15回目	★まとめ・追試/再試 質問の大切を理解し、わからないことを自身の言葉を確認することができる②
準備学習 時間外学習	
評価方法	研究発表内容100%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	プライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 前期から引き続き、家計管理から保険、年金、税金、資産運用、住宅ローンなど、日常生活を送るなかで必要となる、お金に関する知識についてお伝えしていきます。</p> <p>※実務経験 (株)東急ホテルズインターナショナル販売促進部に所属(約5年)し、販売促進のためのプランニングをし、それを航空会社、旅行社、関係各国の観光省と共にプロモーションをした。また日本リージェントにて日本におけるホテル開発時の販売促進に従事した。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①お金に関する基礎的な知識を習得し、自分自身の人生設計を立てることができる。 ②金融や経済の仕組みを知ること、世の中の流れや今後の見通しを立てることができる。 ③3級FP技能士の資格取得のために必要な基礎知識を身につけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	保険①「保険制度の概要」を理解し説明できる
2回目	保険②「民間の保険 ～生命保険の概要」を理解し説明できる
3回目	保険③「民間の保険 ～損害保険の概要」を理解し説明できる
4回目	保険④「保険の活用」を理解し説明できる
5回目	不動産①「不動産に関する法律知識の概要」について理解し説明できる
6回目	不動産②「不動産の活用と税」を理解し説明できる
7回目	金融資産運用①「金融と経済の基礎知識」を理解し説明できる
8回目	金融資産運用②「金融資産運用の考え方」を理解し説明できる
9回目	金融資産運用③「投資型金融商品の概要 ～債券と株～」を理解し説明できる
10回目	金融資産運用④「投資型金融商品の概要 ～投資信託とデリバティブ～」を理解し説明できる
11回目	金融資産運用⑤「資産運用の考え方」を理解し説明できる
12回目	「公的年金制度の概要」について理解し説明することができる
13回目	期末テスト対策、わからないところを説明できる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

日常生活でお金との付き合いは日々発生しますが、その際に必要となるお金の基礎知識は、学校教育の中で体系的に学ぶことがありません。本講義では、家計管理から保険、年金、税金、資産運用、住宅ローンなど、日常生活を送るなかで必要となる、お金に関する知識についてお伝えしていきます。

※実務経験

(株)東急ホテルズインターナショナル販売促進部に所属(約5年)し、販売促進のためのプランニングをし、それを航空会社、旅行社、関係各国の観光省と共にプロモーションをした。また日本リージェントにて日本におけるホテル開発時の販売促進に従事した。

【到達目標】

- ①お金に関する基礎的な知識を習得し、自分自身の人生設計を立てることができる。
- ②金融や経済の仕組みを知ること、世の中の流れや今後の見通しを立てることができる。
- ③3級FP技能士の資格取得のために必要な基礎知識を身につけることができる。

授業計画・内容

1回目	【人生におけるお金とは】【FPの定義と役割】を理解し説明できる	
2回目	生活を取り巻く世の中の環境を知り「日本と世界の経済を取り巻く状況」を理解し説明できる	
3回目	家計管理の基礎知識を理解し説明できる	
4回目	自分の人生設計(ライフプラン)の考察「ライフプランとは何か?」「日本の税制について」理解し説明できる	
5回目	「日本の税制について」(続き)タックスプランニング①「所得税の仕組み」(前半)について理解し説明できる	
6回目	「所得税の仕組み」(前回の復習と続き)について理解し説明できる	
7回目	日本の社会保険制度①について理解し説明できる	
8回目	日本の社会保険制度②について理解し説明できる	
9回目	「ライフプラン表とキャッシュフロー表」を作成できる	
10回目	「人生の3大資金」について理解し説明できる	
11回目	「退職後の生活設計」を理解し説明することができる	
12回目	「公的年金制度の概要」について理解し説明することができる	
13回目	期末テスト対策、わからないところを説明できる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	サービス業で自身をキャリアアップさせるための自己表現は、仕事のキャリアにおいてだけでなく自身を更に高いステップに押し上げてくれる手助けとなります。自分をしっかり見つめ、自分の良さをしっかりと強みに変える思考を一緒に身に付けて行きましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	コンピューター演習 Computer exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】 パワーポイントの使い方を学び基本から応用まで操作できるようになり プレゼン手法や伝わる資料作成・発表体験を支援します。 ※実務経験 玩具の営業9年、ブライダル(各セクショントータル)15年、Webディレクター1年半							
【到達目標】 「シンプルで見やすく伝わる」資料作成できる。 伝わるプレゼン発表スキルを身につける。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション・講師紹介、授業の進め方、授業目的を共有できる	
2回目	パワーポイントについて/読みやすい文章の書き方(フォント、タブキー、順列、検索など)を覚える キーボード操作ができる	
3回目	復習・振り返り/シンプルで見やすい図形の使い方を理解し実践できる	
4回目	復習・振り返り/ショートカットについて・表グラフの種類解説 実習 グラフ作成ができる	
5回目	復習・振り返り/画像の挿入・編集 データ種類解説 実習 画像の挿入・編集ができる	
6回目	復習・振り返り/Excelデータコピー編集ができる 見栄え整えるポイントについて解説	
7回目	ウェディング業界にまつわるチラシ作成にまつわる作業を身につけることができる 実習①	
8回目	ウェディング業界にまつわるチラシ作成ができる 実習② データ変換方法について/制作発表できる	
9回目	プレゼンについて プレゼン資料作成の流れを学ぶことができる	
10回目	資料作りの前に市場を知り、必要な準備を行うことができる	
11回目	テーマ決め・プレゼン資料作成スキルを身につけることができる	
12回目	プレゼン資料作成できる	
13回目	プレゼン発表・ディスカッションを行うことができる	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト振り返り・前期まとめ
準備学習 時間外学習		
評価方法	提出物30% テスト70%	
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。 PCを使用してプレゼン資料作成できるスキルを身につけます。 ウェディング業界で活躍する為に必要な知識や手法です。 実践的に一緒に学んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	コンピュータ演習 Computer exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Word、Excel、PowerPointを中心に学習しますが、同時にパソコンの使い方、インターネットの活用方法も授業の中に取り入れていきたいと思ひます。 毎時間目標とする課題を設定していく計画です。</p> <p>※実務者経験: 玩具の営業9年、ブライダル(各セクショントータル)15年、Webディレクター1年半</p> <p>【到達目標】 Word:印刷物を見て、自分でゼロから作れる様になる。 Excel:仕事で使う関数を身につけ、お店の伝票入力をできるレベルにはなる。 PowerPoint:スライドを使いプレゼンテーションできる様になる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:自己紹介、USBメモリの使い方、ショートカットについて理解し説明できる。タイピングの練習
2回目	word:文章作成、段落の書式設定、用紙サイズ、漢字の入力、保存方法について理解し説明できる
3回目	word:画像の挿入、表の作成、グラフ作成について理解し説明できる
4回目	word:イベントの案内等作成(課題)ができる
5回目	word:お店オープンチラシ制作(課題)ができる
6回目	PowerPoint:テンプレートを使ってスライドを作成①ができる
7回目	PowerPoint:テンプレートを使ってスライドを作成②ができる
8回目	PowerPoint:プレゼンテーションの方法を理解し実践できる
9回目	PowerPoint:課題制作①ができる
10回目	PowerPoint:課題制作②ができる
11回目	PowerPoint:課題発表ができる
12回目	excel:文字入力、印刷範囲の設定を理解し実践できる
13回目	excel:画像の挿入、グラフ、表レイアウトを理解し実践できる
14回目	★評価週 excel:伝票入力ができる
15回目	★まとめ・追試/再試 excel:在庫管理、顧客管理、売り上げ管理表の作成ができる
準備学習 時間外学習	身近にある広告や印刷物に対してコレほどの様に作っているのか興味を持ってください。 そして自分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をしてみて欲しい。
評価方法	課題提出100%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	セルフスタイリング	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	Self-Styling	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合コース					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 就活用メイクや基本的なスキンケア、身だしなみなどメイクの土台となる知識、技術を重点的に講義する。専門職を目指す意識を持って、姿勢やマナー、美しく自分に合ったメイクを身に付けるための授業を行う。 【実務経験】 冠婚葬祭、広告雑誌、ファッションショーなどのヘアメイクをフリーランスとして14年間活動している。							
【到達目標】 ①身だしなみの重要性、スキンケアの知識を習得②メイク道具を顔のパーツごとに正しく使いこなせるようになる③確かな技術とスピード、どちらも身に付ける。④理想の顔型を理解したうえで、自分の顔を分析し、自分に合ったメイクを習得する。							

授業計画・内容	
1回目	学校生活について知り、ルールを理解する。
2回目	メイク道具紹介 メイクの必要性 スキンケアの重要性を学ぶことができる。【持参物】日頃使用しているスキンケア用品、ノーメイクで臨むこと。
3回目	メイク演習①肌の構造 スキンケアの実践 ベースメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
4回目	メイク演習②自分の肌質や、肌色に合ったベースメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
5回目	メイク演習③アイブロウの習得。カットして整える～基本バランスで描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
6回目	ヘア演習①(座学を含む)スーツに合うヘアアレンジ(シンヨンスタイル)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
7回目	ヘア演習②スーツに合うヘアアレンジ(ハーフアップ)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
8回目	メイク演習④ベース復習。アイメイクの習得。単色塗り～グラデーション。アイライナーで目元の演出が出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。
9回目	メイク演習⑤アイブロウ強化。(座学を含む)カットして整える～基本バランスで描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
10回目	メイク演習⑥リップの正しい色選び、チークが基本バランス通りに描くことが出来る。授業前にポイントメイクのみ落としベースメイクをした状態で臨むこと。
11回目	メイク演習⑦50分で基礎メイクが出来るようになる。化粧水乳液などスキンケアをした状態からベースメイク～チーク&リップまでのフルメイクを行う。
12回目	ヘア演習③スーツに合うヘアアレンジ(シンヨンスタイル)が出来るようになる。オイルやワックスなど当日は使用せずに授業に臨むこと。
13回目	メイク演習⑦50分で基礎メイクが出来るようになる。化粧水乳液などスキンケアをした状態からフルメイクを行う。男子はベースメイク、アイブロウ、ヘアセットまでを行う。
14回目	メイク演習⑧50分で自分の顔に似合わせたメイクが出来るようになる。授業前にメイクは全て落とし、化粧水乳液などスキンケアをした状態で臨むこと。男子はベースメイク、アイブロウ、ヘアセットまでを行う。
15回目	イベント準備期間へ充当
準備学習 時間外学習	◎毎時間の持参物・・・筆記用具、配布したプリント類、白フェイスタオル2枚、メイク道具一式(普段セルフメイクで使用しているもの)、肌が弱い方は、基礎化粧品一式(化粧水、乳液、美容液など。学校にも用意はあります。)メイク落とし、パフ、スポンジ、リップブラシ(他のブラシに関しては持参は自由)※全て100均のものでも構いません。◎原則として友達同士の道具の貸し借りは禁止とします。毎時間忘れずに用意すること。◎人数が多いため授業前にメイク道具のセッティングを行ったり、メイクオフを速やかに行い授業に参加すること。◎直接肌に触れる道具は(スポンジ、ブラシ類など)は自宅で清潔にして持参すること。
評価方法	10分でセッティング、50分で定期試験(100点満点)授業の理解度、メイクの仕上がりが主な評価対象ですが、日頃の授業態度、忘れ物等も評価の対象に含まれます。
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。自分の顔を知り、メイクを施して綺麗になることも大切な身だしなみの一つです。基礎から始まり、応用へとステップアップしていきます。皆さん一人ひとりがメイクの力でもっと輝けるようにここでは様々なメイクテクニックを一緒に楽しく学んでいきましょう。よろしくお願いします。
【使用教科書・教材・参考書】	
日本メイクアップ技術検定試験 2・3級公式テキスト/スキンケア辞典/メイクアップシニアアドバイザー資格認証講習テキスト	

科目名 (英)	テクノロジー演習 Technology exercises	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル業界における経営、運営の構造を理解し、サービスが商品価値として顧客に提供される構造をビジネス的感覚の精度を上げる事で構想、構築、提供の方法を学ぶ							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ホテル旅館のリーダーやマネジメント職を見据え、自身でサービスをより高い価値として考察し、構築し、最大化して提供するスキルを身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	サービスマーケティングを活用した接客サービスの基本を学び	
2回目	顧客心理を利用したサービス提供のロジックを理解し説明できるようになる	
3回目	顧客心理を利用したサービス提供のロジックを理解し、実際の提供するテクニックを身に付ける事ができる	
4回目	WEBマーケティングの基本を理解し説明することができる①	
5回目	WEBマーケティングの基本を理解し説明することができる②	
6回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる①	
7回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる②	
8回目	WEBマーケティングの戦略を理解し説明することができる③	
9回目	ホスピタリティにおけるデジタルと人的サービスの共存について概要を学び、説明することができる	
10回目	業界における労働生産性についての基本を学び説明ができる	
11回目	業界における労働生産性についての活用方法を学び説明ができる	
12回目	業界における労働生産性が生むパーソナルサービスの影響を説明することができる	
13回目	試験前のこれまでの授業内容の振り返りの実施	
14回目	★評価週	筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試	試験のフィードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	業界のコストとリソースの観点からマネジメントができるサービス人材を目指します。自身が宿泊業のサービス商品をよりキャリアアップさせる武器として身に付けられるように半年間一緒に学びましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	テクノロジー演習 Technology exercises	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 収益を上げる為のマーケティングの基礎からその重要性を学び、商品を守る事の仕組みを認識する様な指導をする。</p> <p>※実務経験 ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業会社を設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。</p> <p>【到達目標】 学生が身近に接する広告キャンペーンや実際の事例からの実践を通じた学習を行う。 自らがそれぞれのテーマに取り組み、調査研究した成果を発表する為に、①感じ ②考え ③記録 ④行動(プレゼン)の学生自らの 研究心が醸成され、ホテルマーケティングの手法を分析判断することが出来る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	・講師自己紹介 学生に自己PR 年間の授業スタイル説明・何故マーケティングが必要かを知ることが出来る。(課題)
2回目	・マーケティングについて学び、マーケティング応用の売れる仕組みを理解することが出来る。(課題)
3回目	・マーケティングを構成する4つのPとは何かを理解する(5月課題)
4回目	・商品に対する料金の決め方・客室(宿泊)料金に定価はあるのかを知ることが出来る。
5回目	・市場と顧客の考え方について理解することが出来る。
6回目	・マーケティングにおける販売促進活動とはどんなものかを理解することが出来る。(6月課題)
7回目	・多様化するホテル形態・その事業特性を知ることが出来る。
8回目	・ホテルの売上構成と、その要素について学ぶことが出来る。
9回目	・ホテルの売上げを増やす方法について理解することが出来る。
10回目	・AIDMAモデルとブランド戦略について学ぶことが出来る。
11回目	・ホテルが考えるブランド戦略を知ることが出来る。(7月課題)
12回目	・ホテルマーケティングとCSの連動について学ぶことが出来る。(夏休み課題)
13回目	・ホテルにおける顧客情報管理について学ぶことが出来る。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	・新聞やネット情報に対し関心を持ち、感じる力と、その情報に対し考える習慣、その考えた事を記録に残し、自分の考えを発言できるようにする為、日頃からニュースに関心を持つ事 最も大事にしたい事は現状を認識して未来を予測する力をつける事
評価方法	・課題レポート(プレゼン) 50% 期末試験結果 50%
受講生への メッセージ	・マーケティングは時代の変化変貌の中で、絶え間なく進化していきます。5Gの時代、VRやARの時代に、私たちの生活も企業も、そして国も、世界も変化し続けています。 今を認識すると「同時に皆さんの10年後20年後を予測しながら、波に乗れる生き方をしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
・学生使用テキスト無し ・プリント配布 あるいはPPT表示による課題	

科目名 (英)	ドレススタイリング基礎 I Dress Styling Basics I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界におけるドレススタイリストとしての基本的な知識を身につけ、新郎新婦の洋装の着付けができるようになる。							
※実務経験 福岡のブライダルヘアメイク事務所「チェカチェカ」にてブライダルスタイリストと東京のオーダードレスショップ「トゥーレドゥー」にてドレスコーディネーターを計5年ほど経験後、得意とするカラーリストとして独立。現在は主にドレスコーディネートの指導やパーソナルカラー診断、骨格診断を中心に10年以上活動中。							
【到達目標】 新郎新婦の衣装、または付随する小物についての基礎知識が身につく、基本的なコーディネートができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介 ブライダル業界におけるドレススタイリストの役割とは？ 婚礼衣裳業界の仕事内容などについて説明することができる	
2回目	ウエディングの種類 現在の挙式スタイルについて学び理解するし説明することができる	
3回目	ウエディングの歴史 日本そして世界における婚礼衣裳の歴史を学び、理解し説明することができる	
4回目	新婦の洋装衣装のライン、素材について学び、説明することができる(フィッティングにチャレンジ)	
5回目	新婦のドレスコーディネート(小物)とブーケについて学び、説明することができる(フィッティングにチャレンジ)	
6回目	新婦の和装について学び、代表的な衣装、それに付随する小物の説明が出来るようになる	
7回目	中間テスト(筆記)	
8回目	中間テストの答案返却と解説、今までの授業の復習	
9回目	新郎の婚礼衣裳の種類、歴史について学び、理解し説明することができる	
10回目	インナーの着用の仕方、パニエの種類を学び、ドレスフィッティングができるようになる	
11回目	タキシードのフィッティングを学び、新郎新婦のバランスを考えたコーディネートができるようになる	
12回目	採寸方法、補正について学び、自分でできるようになる	
13回目	お手入れ(スチームやプレス)、品出しについて学び、自分で必要なお手入れができるようになる	
14回目	★評価週	ドレスフィッティング実技試験(タイム測定)①
15回目	★まとめ	ドレスフィッティング実技試験(タイム測定)②
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間試験(筆記)・期末試験(実技)	
受講生への メッセージ	結婚式において新婦様のお衣装選びはとても重要な要素の一つです。お客様に運命の1着が見つかるお手伝いをするのがドレススタイリストの仕事です。本授業でスタイリストの業務内容の基本を楽しみながら学んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 ワインに関する基礎知識、楽しみ方を学び、ワインに親しめるようにします。 【実務経験】 博多和門にてソムリエとして6年半勤務後、ホテルでの仕事に興味を持ちソラリア西鉄ホテル福岡にて3年勤務。 現在は西鉄グランドホテルのソムリエとして勤務。							
【到達目標】 代表的なワイン生産国の基礎知識を習得し、ワインの奥深さ(歴史や産地、ワイナリーの特徴)を体得し説明できるようになる。□							

授業計画・内容		
1回目	ワインの歴史やブドウの栽培方法、醸造方法を学び、ワインについて理解し説明できる	
2回目	ワインの主要なブドウ品種、ラベルの読み方、ワインのサービス方法を理解し説明できる	
3回目	①フランスワインについて説明できる(ボルドー、ブルゴーニュの2大産地)	
4回目	②フランスワインについて説明できる(他のフランスの主要産地)	
5回目	①フランス以外の旧世界のワインについて説明できる(イタリア、ドイツ、スペイン)	
6回目	①新世界のワインについて説明できる(アメリカ、チリ、日本)	
7回目	②新世界のワインについて説明できる(オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ)	
8回目	地球環境とワイン: サステイナブルな取り組みについて知り説明できる	
9回目	ワインと料理のペアリング(ペアリングのポイント、料理に合うワインの提案が出来るようになる)	
10回目	ワイン以外のアルコール飲料について学び造詣を深めることができる	
11回目	オリジナルワインカクテルを考案できる①	
12回目	オリジナルワインカクテルを考案できる②	
13回目	オリジナルワインカクテルについてグループ内でプレゼンテーションできる	
14回目	★評価週	試験
15回目		苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	筆記試験	
受講生への メッセージ	ワインは知識があるともっとおいしくなります。難しく考えずに楽しく学んで頂き、ワインに親しんでください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	バー演習 Bar exercises	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長年バーテンダーとして業務を行い、自身のBARを経営する専任講師が実習や座学を通してわかりやすく、お酒やバーテンダーに必要な知識を学べる授業です</p> <p>※実務経験 ホテルオークラにてバーテンダーとして10年勤務</p>							
<p>【到達目標】 技術面では、シェーク(シェーキング)、ステア(パースプーンのステアの仕方)、グラスの持ち方、注ぎ方、グラスの出し方、シェーカーの洗い方、拭き方。グラスの洗い方など、スマートにできるようになる。 バーの仕事に携わっても即戦力になるようにする。</p>							

授業計画・内容		
1回目	(座学)バーとは、バーテンダーとは。(実技)バーツールの取り扱い方を理解し実践できる	
2回目	(座学)氷について理解し説明できるようになる(実技)氷のカット、丸氷、ダイヤモンドカットができるようになる	
3回目	(座学)焼酎、甲類焼酎と乙類焼酎の違いを理解し説明できるようになる(実技)シェークができるようになる	
4回目	(座学)カクテルのアルコール度数の出し方を理解し説明できるようになる(実技)ステア練習	
5回目	(座学)シェークについて分析ができる(実技)ジンフィズ、トムマリnzの違いを理解し説明できるようになる	
6回目	スタンダードカクテル制作ができる(ホワイトレディ、バラライカ、X,Y,Z、マルガリータ)	
7回目	ステア理論(マティーニ、マンハッタン)ビルドカクテル(モスコミュール)ができる	
8回目	(座学)リキュールの種類を理解し説明できる(実技)いろいろなシェーキングができる	
9回目	(座学)リキュールの種類を理解し説明できる(実技)フローズンカクテル制作ができる	
10回目	生クリーム系のカクテル制作(グラスホッパー、ミリオンダラー)2層のカクテルを作ることができる	
11回目	(座学)バーテンダーとしての心構え復習(実技)シェーキングができるようになる	
12回目	(座学)酒類全般の基礎知識を理解し説明できる①(実技)ステア見直し	
13回目	(座学)酒類全般の基礎知識を理解し説明できる②(実技)目分量の練習	
14回目	★評価週	スタンダードカクテルによる実技試験
15回目	★まとめ・追試/再試	スタンダードカクテルによる実技試験
準備学習 時間外学習	授業で学んだシェークとステアの技術をイメージトレーニングする。 スタンダードカクテルレシピを暗記する。	
評価方法	10段階評価による実技試験と、酒類全般の筆記試験を期末に行います。	
受講生への メッセージ	バーテンダーとしての所作、知識、お客様との距離感を1年生の時よりも応用力がつけられるようになる。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ビジネスマナー講座 business manner	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	プライダダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 長年に渡り一般企業・短大・大学でマナーに関することを教えてきた専任教員から講義と実践を通じて、入社1年目に求められる社会人としてのマナーをひとつひとつ身に付けることができます。</p> <p>※実務者経験：2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。</p>							
<p>【到達目標】 自信をもって入社に臨めるようにはまず心の壁を取り除き、必要なビジネスマナーを習得。さらにコミュニケーション力を磨くことができます。</p>							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーションを受け、今後の授業計画を知ることが出来る。自身の希望する職種に必要なものを知ることが出来る。						
2回目	入社前に行くこと・社会人モードに切り替えることの大切さとは・履歴書の大切さを知ることが出来る。						
3回目	社会人としての基本動作と身だしなみ・仕事で役に立つ言い回し・敬語を学ぶことが出来る。						
4回目	前回の復習とまとめ・色彩深層心理学による自己分析・履歴書の提出が出来る。						
5回目	前回の自己分析を通して1分間の相手の心に響く自己紹介(300文字)が出来るようになる。						
6回目	自信が持てる話し方・プレゼンテーションの基本を学ぶことが出来る。						
7回目	中間テスト:1分間の自己PR						
8回目	仕事の進め方・メモの取り方・報連相のやり方・日報の書き方を学ぶことが出来る。						
9回目	電話を受けるときのマナー・かけるときのマナー・メールのマナー・ビジネス文書の作り方を学ぶことが出来る。						
10回目	コミュニケーションの取り方・会話が途切れない言葉の選び方を学ぶことが出来る。						
11回目	前回の復習とロールプレイを行い、苦手な部分を克服することが出来る。						
12回目	TO DOリスト・PDCAサイクル・情報収集の仕方・新聞の読み方を学ぶことが出来る。						
13回目	総復習を行い、不明確な点を明確にすることが出来る。						
14回目	★評価週	試験:ロールプレイ					
15回目	★まとめ・追試/再試	振返り、苦手を克服できる					
準備学習 時間外学習							
評価方法	・履歴書(20%)・ロールプレイ(80%)						
受講生への メッセージ	授業を通して”小さな習慣”を身に付け、続けることで自信を付けて自分自身をチェンジしていきましょう。深層心理・カラー心理はとても楽しいです。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	ビジネス英会話 Business English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
Intermediate level course further strengthening students' conversational abilities							
※work experience: Experienced as an English teacher in Japan since 2001							
【到達目標】							
Students will have mastery of everyday conversational topics and confidence in tackling more advanced topics							

授業計画・内容	
1回目	L. 1 Where are you from? Can greet people and take leave. Pre-test and Class syllabus overview.
2回目	L. 2,3 Qualities Can ask about and describe people
3回目	L.4 Quantities Can use quantities to describe behavior
4回目	L.5 Food experiences Can ask about and describe types of food
5回目	L.6 Recipes Can give instructions on how to make dishes
6回目	L.8 Restaurants Can take and give food orders
7回目	L.7 Great Service Can describe restaurants and make recommendations
8回目	L.9 Health Can describe health problems and make suggestions
9回目	L.10 Advice Can ask for and give advice
10回目	L.11-12 Comparing Can ask for and make comparisons, give reasons
11回目	L. 13-14 Ability and Need Can express ability and express necessity
12回目	L. 15 Deciding Can consider pros and cons of competing ideas
13回目	REVIEW Review Lesson. Test prep.
14回目	★評価週 test
15回目	★まとめ・追試/再試 Overcome weaknesses
準備学習 時間外学習	
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	We will build on your study success in the first year and further develop your fluency. Let's talk more!
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フード&ビバレッジ	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	Food & Beverage	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合コース				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 業界の現場に必要なワインサービスの基礎知識と基礎スキルを実技学習でフォローアップいたします ※実務経験 株式会社Plan.Do.See ホテル・レストラン店舗のソムリエとして福岡・東京・名古屋にて11年間勤務 その後独立ワインバー マルカッサン3Fを開業 現在に至る							
【到達目標】 ワイン検定 ブロンズクラス受験に挑戦できるスキルを身につけることができる ワインサービスの基礎を理解し実践できる							

授業計画・内容		
1回目	ワインのサービス概要 ワインサービスの全体的な流れを理解する	
2回目	①ワインサービス お客様のエスコートからワインオーダーテイク サービス備品セッティングをすることができる	
3回目	②ワインサービス ワインの抜栓を実践し挑戦する	
4回目	①サービスシーン(デート・記念日)を理解しワインサービスができる	
5回目	②サービスシーン(ビジネス・接待)を理解しワインサービスができる	
6回目	①ワイン別シーン(白ワイン)を理解しワインサービスができる	
7回目	②ワイン別シーン(赤ワイン)を理解しワインサービスができる	
8回目	①フード(コース料理)に合わせたワインの提案とサービスができる	
9回目	①フード(コース料理)に合わせたワインの提案とサービスができる	
10回目	②フード(アラカルト・チーズ)に合わせたワインの提案とサービスができる	
11回目	②フード(アラカルト・チーズ)に合わせたワインの提案とサービスができる	
12回目	②フード(アラカルト・チーズ)に合わせたワインの提案とサービスができる	
13回目	最終全体まとめ 全員がワインのパニエ抜栓のスキルを習得できている	
14回目	* 試験	
15回目	* 試験解答解説	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	実技試験	
受講生への メッセージ	本講義では実際の業界現場で活かせる実技体験を習得してもらえる講義内容です 積極的に挑戦し回数を重ねることでレベルアップにつながります	
【使用教科書・教材・参考書】		
日本ソムリエ協会教本 西洋料理 料飲接客サービス技法教本		

科目名 (英)	フード&ビバレッジ Food & Beverage	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
お茶・飲み物の知識を体感してもらいながら、接客に活かすことのできる知識を習得する(入れ方・バリエーション・ペアリングを知るなど)							
※実務経験 フランス料理店などで、10年以上サービスを行う。近年は、接客サービスなどの講師を行う。 カフェオーナー(COFFEE MAN経営) コーヒーのプランナー(約5年)として、お客様にあったコーヒーをご提供する。							
【到達目標】 紅茶の知識、提案できる能力を身につける コーヒーの知識、入れ方を習得する							

授業計画・内容	
1回目	紅茶: 紅茶の歴史、種類を学び、習得する
2回目	コーヒー: 良いコーヒーと悪いコーヒーについて理解し説明できる(ハンドドリップ挑戦)
3回目	紅茶: 視覚・味覚・収穫での表現方法を習得できる
4回目	コーヒー: コーヒーの美味しい入れ方体験・様々なコーヒーの器具・産地・焙煎度合いによる飲み比べができる・コーヒーとフードペアリング(相性を楽しむ)
5回目	コーヒー: カフェラテ・カプチーノ実演・体験(世界のコーヒー事情、エスプレッソの知識とバリスタとは、について習得できる)
6回目	紅茶: 紅茶の入れ方を理解し実践できる・ブレンド、バリエーションの習得
7回目	紅茶: ペアリングの知識を理解し説明できる
8回目	紅茶: 紅茶の歴史、種類を学び、習得する
9回目	ホスピタリティ業界の食品衛生について理解し説明できる①
10回目	ホスピタリティ業界の食品衛生について理解し説明できる②
11回目	日本独特の食にまつわる文化について理解し説明できる
12回目	お菓子とデザート、ドリンクの提案ができる①
13回目	お菓子とデザート、ドリンクの提案ができる②
14回目	食器とお菓子の組み合わせのセンスを磨くことができる
15回目	期末試験: レポート提出
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポート提出100%
受講生へのメッセージ	紅茶・コーヒーを知るだけでなく、体験してみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	フォト&ムービー演習 Photo & movie exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プロとしてのメディア制作や撮影の実務経験ある教員が、写真の撮影や映像編集、また選定方法についての授業を実施します。							
※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)							
【到達目標】							
撮影技術について理解し、撮影について提案することができる。 撮影された写真・映像を理解し選定することができる。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介、他己紹介、ブライダル業界における映像、写真の役割を理解し説明することができる	
2回目	写真・映像を選定するにあたって、いい写真・映像とは何かを考え、ディスカッションすることができる	
3回目	構図と画面比率について理解し、説明することができる	
4回目	写真のメタ情報について理解し、説明することができる。ファイル情報共有を行うことができる	
5回目	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる	
6回目	焦点距離について理解し説明することができる	
7回目	絞りとシャッター速度について理解し説明することができる	
8回目	露出について理解し説明することができる	
9回目	撮影演習 これまでの授業の内容を生かして撮影し、それを説明することができる	
10回目	人物撮影のポイントについて理解し説明することができる	
11回目	Rawファイルとレタッチの効果についてについて理解し説明することができる	
12回目	照明や三脚などのカメラアクセサリについて学習し、活用方法を理解し説明することができる	
13回目	撮影演習 これまでの授業の内容を活かして撮影し、それを説明することができる	
14回目	★評価週	写真選定と撮影技術についてのテスト
15回目	★まとめ・追試/再試	写真撮影と撮影技術についてのテストと振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト	
受講生への メッセージ	昔は特別な体験だった写真撮影・映像編集が、今はスマートフォンの普及により一般化しました。それにより現代では、求められる技術も高くなっていますが、授業を通してホスピタリティのプロとしての一歩先の写真の知識を身につけましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルアイテム Bridal items	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】フローリスト/フラワーアーティストとしてフラワーブランドを主宰する講師が、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ講義を実施します。プランニングやアレンジメント実技なども交え、実践力となるスキルを身につけ、進路の選択肢を広げます。 【実務経験】2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネーター、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。							
【到達目標】 最新のブライダルアイテムトレンドを学び実践に活かすことができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介/ブライダルフラワー・ブライダルジュエリーのトレンドをそれぞれ考察し、レポートにまとめることができる
2回目	昨今のブライダルトレンドを理解することができる
3回目	ショーケースディスプレイについて理解することができる
4回目	トレンドブーケ制作が出来るようになる①
5回目	2022年のブライダルドレストレンドについて理解することができる
6回目	トレンドブーケ制作が出来るようになる②
7回目	課題発表/ディスカッション
8回目	オリエンテーション・自己紹介/授業内容について
9回目	アクセサリ作り工程や素材の特徴を理解することができる
10回目	昨今のトレンドにあわせた小物を理解し提案することができる
11回目	リングサイズの測り方を理解しオリジナルリングのデザインをすることができる
12回目	オリジナルリング制作が出来るようになる
13回目	プレゼンテーション/ディスカッション①
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	プレゼンテーション100%
受講生への メッセージ	最新のブライダルトレンドを取り入れた一連の流れを楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level3	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定3級合格を目指し指導を行う。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
ブライダルコーディネイト検定3級を取得することができる							

授業計画・内容		
1回目	第4章 ブライダル関連業種、第5章ブライダルのエリア特性(P40～P47)を理解し説明できる	
2回目	第6章 ブライダル業界の1年と集客システム(P48.P49)を理解し説明できる	
3回目	Lesson3 ブライダルの基礎、第1章 見合いと婚約(P52～P57)を理解し説明できる	
4回目	第2章 結納・婚約式(P58～P68)を理解し説明できる	
5回目	小テスト(前週の復習)、第3章ブライダル準備(P69.P70)を理解し説明できる	
6回目	第4章 キリスト教式(P71～P75)を理解し説明できる	
7回目	第5章 神前式、第6章 仏前式、第7章 人前式(P76～P83)を理解し説明できる	
8回目	第8章 シビルマリッジ、第9章 披露宴、第10章 海外ウェディング、第11章 二次会(P84～P91)を理解し説明できる	
9回目	Lesson4 コーディネーター業務、第1章 コーディネーター業務とは(P94～P100)を理解し説明できる	
10回目	第2章 新規業務、第3章 ブライダルセールスの特徴(P101～P108)を理解し説明できる	
11回目	第4章 ホスピタリティ営業、第5章、第6章 プレゼンテーションの手法(P109～P114)を理解し説明できる	
12回目	第7章 新規アフターフォロー、第8章 成約業務、第9章 ペーパーワーク(P115～P121)を理解し説明できる	
13回目	過去問、模擬試験を実施	
14回目	★評価週	フィードバック、苦手を克服することができる
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト解答と総復習
準備学習 時間外学習	・個人の理解力を把握するため、小テストを実施	
評価方法	・期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	・ブライダルコーディネイト検定テキスト(必ず、忘れないように！)	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination test grade 3	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーターの国家資格を取得するための対策授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
2024年1月の国家資格検定試験に合格ができる。							

授業計画・内容	
1回目	ブライダルコーディネーターとは、結婚とは、第1章結婚の定義(P1～11)を理解し説明できるようになる
2回目	第2章日本の結婚式・歴史と文化(P12～21)を理解し説明できるようになる
3回目	第3章欧米の結婚式・歴史と文化(P22～32)を理解し説明できるようになる
4回目	Lesson②ブライダルビジネス 第1章～第6章(P34～49)を理解し説明できるようになる
5回目	Lesson③ブライダルの基礎 第1章～第2章(P52～68)を理解し説明できるようになる
6回目	第3章ブライダル準備 第4章～第5章(P69～79)を理解し説明できるようになる
7回目	第6章仏前式、第7章人前式、第8章～第11章(P80～91)を理解し説明できるようになる
8回目	Lesson①～③までのまとめと小テスト&解答を学び身に付けることができる
9回目	Lesson④コーディネーター業務 第1章、第2章(P94～106)を理解し説明できるようになる
10回目	第3章ブライダルセールスの特徴、第9章ペーパーワーク(P107～121)を理解し説明できるようになる
11回目	Lesson⑤打合せ業務 第1章～第4章Lesson⑥(P124～137)を理解し説明できるようになる
12回目	(6)洋装のラッキーアイテム～3、4 和装の基本(P138～153)を理解し説明できるようになる
13回目	第4章ヘアメイク・ネイルアート～、第5章会場コーディネート(P154～164)を理解し説明できるようになる
～	★評価週 Lesson④～Lesson⑥の総テストと解答を学び身に付けることができる
15回目	★まとめ・追試/再試 第7章ペーパーアイテム、第9章披露宴演出(P165～176)を学び身に付けることができる
準備学習 時間外学習	5回目の授業日は茶室にて結納の授業を行いますので、教室の確保をお願いします。
評価方法	学科 中間テスト 50% (筆記)期末テスト 50%
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。これから2年間のブライダルCD検定初年度でしっかり基礎を学び合格に結び付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)	

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	Bridal coordination test grade 3	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合コース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定3級合格を目指し指導を行う。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)							
【到達目標】 ブライダルコーディネイト検定3級を取得することができる							

授業計画・内容		
1回目	第4章 ホスピタリティ営業、第5章、～第9章(P109～P121)について理解する	
2回目	Lesson5 打ち合わせ業務 第1章～第4章 Lesson6(P124～P138)について理解する	
3回目	3、花婿の洋装と洋装小物 4、和装の基本、第3章 ブーケ(P139～P155)について理解する	
4回目	第5章 会場コーディネイト、第6章 テーブルコーディネイト、第7章 ペーパーアイテム(P156～P167)について理解する	
5回目	第8章 料理・飲み物、第9章 披露宴の基本演出、第10章 演出(P168～P181)について理解する	
6回目	第11章 引出物・引菓子、第12章 記録・記念アイテム Lesson7(P182～P194)について理解する	
7回目	第3章 挙式・披露宴の演出手配、第4章～第6章(P195～P204)について理解する	
8回目	Lesson8 当日業務、第1章、第2章、第3章(P206～P216)について理解する	
9回目	第4章 テーブルセッティング、第5章 当日のサービス業務、第6章(P217～P228)について理解する	
10回目	過去問題集によるテスト対策①	
11回目	過去問題集によるテスト対策②	
12回目	過去問題集によるテスト対策③	
13回目	過去問題集によるテスト対策④	
14回目	★評価週	検定問題より模擬試験実施
15回目	★まとめ・追試/再試	過去問題集によるテスト対策⑤
準備学習 時間外学習		
評価方法	・期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	・必ず試験に合格するという気持ちで、受講してください。 毎回の検定テキストは忘れないように。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination test grade 3	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーターの国家資格を取得するための対策授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
2023年1月の国家資格検定試験に合格ができる。							

授業計画・内容		
1回目	ブライダルCD検定2021年度問題の解答と解説50問(筆記問題)を学び身に付けることができる	
2回目	ブライダルCD検定2021年度問題の解答と解説15問(実技問題)を学び身に付けることができる	
3回目	前期の振り返りを身に付けることができる(P106)見積書を理解し説明できるようになる	
4回目	第3章ブライダルセールスの特徴、第4章ホスピタリティ営業(P107~110)を理解し説明できるようになる	
5回目	第5章プランニング、第6章プレゼンテーションの手法、第7章新規アフターフォロー(P111~116)を理解し説明できるようになる	
6回目	第8章成約業務(P117~121)を理解し説明できるようになる	
7回目	中間テスト対策を学び身に付けることができる	
8回目	中間テストと解答を学び身に付けることができる	
9回目	Lesson⑤打合せ業務(P124~127)を理解し説明できるようになる	
10回目	第1章コーディネート(P130.131)コラージュ作成を理解し説明できるようになる	
11回目	第2章衣装選定(P132~141)を理解し説明できるようになる	
12回目	4. 和装の基本、(P142~147)を理解し説明できるようになる	
13回目	第3章ブーケ、フラワーアイテムの選定(P148~153)を理解し説明できるようになる	
14回目	★評価週	期末テスト対策
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	特になし	
評価方法	学科・中間テスト50% (筆記)期末テスト50%	
受講生へのメッセージ	進級おめでとうございます。この前期授業でブライダルCD検定の基礎を学び、合格に結び付けてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会テキスト(スタンダード)		

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定2級 Bridal coordination examination level2	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定2級合格を目指し指導を行う。

※実務経験

ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。

株式会社ラックに営業職として2年勤務

ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)

【到達目標】

ブライダルコーディネイト検定2級を取得することができる

授業計画・内容	
---------	--

1回目	(実技試験対策)お客様のニーズをくみ取ることができる①	
2回目	(実技試験対策)お客様のニーズをくみ取ることができる②	
3回目	(実技試験対策)お客様のニーズをくみ取ることができる③	
4回目	(実技試験対策)お客様にあったブライダルサービス・商品等を想像・企画することができる①	
5回目	(実技試験対策)お客様にあったブライダルサービス・商品等を想像・企画することができる②	
6回目	(実技試験対策)お客様にあったブライダルサービス・商品等を想像・企画することができる③	
7回目	(実技試験対策)お客様にプランをわかりやすく提案・説明し承諾を得ることができる①	
8回目	(実技試験対策)お客様にプランをわかりやすく提案・説明し承諾を得ることができる②	
9回目	(実技試験対策)お客様にプランをわかりやすく提案・説明し承諾を得ることができる③	
10回目	(実技試験対策)お客様の結婚式・披露宴を円滑に運営するための事前準備ができる①	
11回目	(実技試験対策)お客様の結婚式・披露宴を円滑に運営するための事前準備ができる②	
12回目	(実技試験対策)お客様の結婚式・披露宴を円滑に運営するための事前準備ができる③	
13回目	実技期末試験	
14回目	★評価週	フィードバック
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる

準備学習
時間外学習

・個人の理解力を把握するため、小テストを実施

評価方法

・期末テスト100%

受講生への
メッセージ

・ブライダルコーディネイト検定テキスト(必ず、忘れないように!)

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ブライダルコーディネイト検定3級 Bridal coordination examination level3	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定、ブライダルコーディネータの資格を取得した講師が、テキストに沿ってブライダルコーディネイト技能検定3級と2級合格を目指し指導を行う。 ※実務経験 ブライダル業界25年間でブライダルCD国家資格を持つ講師が、ブライダルプロデュース会社あ・うん企画を設立し、現在は育成にも携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年) 							
<p>【到達目標】</p> <p>ブライダルコーディネイト検定3級と2級を取得することができる</p>							

授業計画・内容		
1回目	日本および世界の文化を理解し、接客トークに活かすことができる	
2回目	国や行政機関が制定した法令を理解し説明することができる	
3回目	地域の習慣、国内外の宗教、儀礼、作法を理解し説明できる	
4回目	結婚の歴史を理解し、お客様に伝えるシミュレーションをグループで実践できる	
5回目	結婚の歴史を理解し、お客様に伝えるシミュレーションをグループで実践できる	
6回目	結婚に関する民法を理解し、お客様に伝えるシミュレーションをグループで実践できる	
7回目	(テキスト)Lesson1結婚とは を理解し説明することができる	
8回目	(テキスト)Lesson2ブライダルビジネスについて理解し説明することができる	
9回目	(テキスト)Lesson3婚約～二次会まで結婚式にいたるまでの一連の流れを理解し説明することができる	
10回目	(テキスト)Lesson4コーディネーター業務を理解し説明することができる	
11回目	(テキスト)Lesson5打合せ業務を理解し説明することができる	
12回目	(テキスト)Lesson6コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定について理解し説明することができる	
13回目	(テキスト)手配業務について理解し説明することができる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	・個人の理解力を把握するため、小テストを実施	
評価方法	・期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	・ブライダルコーディネイト検定テキスト(必ず、忘れないように！)	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal fair planning	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>・ブライダル業界24年の経験講師により、和婚の歴史を紐解き今現在に通じる新たな和婚の企画ができるようになる。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
<p>・和の歴史、基本の和婚を身に付け、和婚式の応用の提案ができる</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション和婚の挙式、披露宴や授業の目的を知ることができる
2回目	神前式の復習と和装の復習で、和婚の理解を深めることができる
3回目	(和装の小テスト)和婚挙式(紅差しの儀・管迫の儀・水合わせの儀・懐剣の儀)
4回目	和の結婚式基本型(進行)雅楽を理解する
5回目	和装での挙式・演出での小物を理解する
6回目	和婚の①挙式と②披露宴の企画書を作成することができる
7回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる
8回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる
9回目	①挙式をプロデュース(企画書作成)ができる
10回目	和婚の挙式プロデュース・プレゼンテーションができる
11回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる
12回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる
13回目	②披露宴をプロデュース(企画書作成)ができる
14回目	★評価週 和婚の披露宴のプロデュース・プレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試 和の結婚式の振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	・和婚の挙式プレゼンテーション70%・披露宴プレゼンテーション30%
受講生への メッセージ	・和婚の意味を理解し、現在らしさを加えての結婚式の提案をしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
・資料は担当講師より配付	

科目名 (英)	ブライダルフェア企画 Bridal fair planning	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実施授業：ブライダル業界のIT活用の現状と未来について学び、これから実用化をするwebサービスの企画を立案し提案する。</p> <p>【実務経験】PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p> <p>【到達目標】 ブライダル業界での実用化を目的としたwebサービスの企画立案し、提案すること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒他已紹介、本プロジェクトの経緯と目的の共有
2回目	IT業界とブライダル業界の現状についての説明 業界の現状について説明することができる。
3回目	本プロジェクトの目標設定 この授業の最終目標について説明することができる。
4回目	事実の抽出と抽象化と転用について 業界サービスについて分析することができる。
5回目	班分けと班の目標設定 各班でのこの授業の最終目標について説明することができる。
6回目	プレゼンについて プレゼンの本質について説明することができる。
7回目	プレゼンについて プレゼンの有効な構成や手順について説明することができる。
8回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
9回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
10回目	株式会社サウスポイント様へ中間プレゼンテーション
11回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
12回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
13回目	資料作成とパワーポイントの使用方法 資料を作成しながらパワーポイントの一部の機能を活用できるようになる。
14回目	★評価週 企業様へ最終プレゼンテーション
15回目	★まとめ・追試/再試 フィードバック
準備学習 時間外学習	
評価方法	プレゼンテーション
受講生への メッセージ	世相により、今は社会で活躍するにあたってIT知識は欠かせないものとなっています。またその時々に応じ、提案して行動することが求められます。この授業ではITの基礎的な知識を学ぶことができ、また企画提案力を身に付けることができます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルプランニング I Bridal planning I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>挙式の意味を理解し、模擬挙式の提案、実行を遂行する授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
<p>基本の挙式を学び、自ら積極性を持ち取り組み、実りある模擬挙式を目指してほしいです。</p>							

授業計画・内容	
1回目	挙式の意味を学び身に付けることができる(CD検定P82.83)
2回目	様々な挙式(人前式、神殿式、チャペル式)を学び理解し説明できるようになる
3回目	人前式のスタイルを考える、各チームで提案することができる
4回目	人前式のプログラムを組むことができる
5回目	人前式での役割を学び身に付けることができる
6回目	チャペル挙式より学び人前式を理解し説明できるようになる
7回目	チャペル挙式見学において挙式を理解し説明できるようになる
8回目	挙式のプランニングの見直しをし理解し説明できるようになる
9回目	コラージュ作成により挙式のイメージ I を理解し説明できるようになる
10回目	コラージュ作成により挙式のイメージ II を理解し説明できるようになる
11回目	各チーム編成でグループの理解度を高めることができる
12回目	各チーム編成で役割分担を学び身に付けることができる
13回目	各チーム編成でスケジュール作成を学び身に付けることができる
14回目	イベントを企画し、運営することができる
15回目	イベントを企画し、運営することができる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	人前式見学におけるレポート提出で 100%評価(中間テスト)とする
受講生へのメッ セージ	ご入学おめでとうございます。まずイベント制作で模擬人前式を全員で協力的に実施してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師配付、(ブライダルコーディネーター検定の教本)P82.83	

科目名 (英)	ブライダルプランニングⅡ Bridal Planning II	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】

模擬披露宴を企画・運営するために、披露宴についての理解をより深めていきます

【実務経験】

株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)
業界経験25年

【到達目標】

披露宴の専門知識を学び、模擬披露宴を行うための知識や現場力を身につけることができるようになる。

授業計画・内容

1回目	前期振り返り・ブライダル用語Ⅰを理解し説明することができる	
2回目	ブライダル用語Ⅰ小テスト/ブライダル用語Ⅱを理解し説明することができる	
3回目	映像を視聴し、披露宴について理解しディスカッションすることができる	
4回目	結婚式の知識やマナーについて理解し説明することができる(招待状の返信ハガキを実際に書く)・披露宴とは何か理解し説明することができる	
5回目	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(ドレスコーディネーター・フローリスト・アテンダー・司会)	
6回目	披露宴を行うために必要な職種について理解し説明することができる(カメラマン・映像・音響・サービス)	
7回目	中間テスト(ブライダル用語編)	
8回目	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日までの業務について)	
9回目	披露宴を行うための役割について理解し説明することができる(当日の業務について)	
10回目	披露宴の演出について調べ研究し内容を発表することができる	
11回目	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて流れを考える)※グループワーク	
12回目	披露宴の進行を組み立てることができる(チームに分かれて考えたものをプレゼンテーションする)※アウトプット	
13回目	テスト前対策	
14回目	★評価週	期末テスト・テスト返却
15回目	★まとめ・追試/再試	模擬披露宴準備

準備学習
時間外学習

評価方法

中間テスト50%
期末テスト50%

受講生への
メッセージ

模擬披露宴を素晴らしいものにするために様々なことを学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル Bridal professional	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ユミカツラインターナショナル認定の卒業課題制作として、テーマウェディングの企画書を作成します。							
※実務経験 キャリアコンサルタント2年、広告業会社経営3年							
【到達目標】 テーマウェディングを作成し、プレゼンテーションができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	テーマウェディングとは何か、理解し説明できるようになる
2回目	わかりやすい企画書の作成方法を理解し実践できる
3回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる1
4回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる2
5回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる3
6回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる4
7回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる5
8回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる6
9回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる7
10回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる8
11回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる9
12回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる10
13回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる11
14回目	PPTを使ってテーマウェディングの企画書を作成できる12
15回目	★評価週 企画書をユミカツラインターナショナルへ提出する
準備学習 時間外学習	
評価方法	ユミカツラインターナショナルの担当者が作品の評価を実施
受講生への メッセージ	伝統を正しく理解して、発展できるような人を目指しましょう
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルプロフェッショナル bridal professional	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>発展めまぐるしい現代の情報技術の概要や活用例を学び、専攻の分野で活用できる応用力を養う。</p> <p>※実務経験 PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> 最新IT技術の特徴や活用法、問題点について説明できる。 最新IT技術を応用した、ブライダル業界でのソリューションを提供できる。 プレゼンテーション資料の作成、及びプレゼンテーションを行える。 							
授業計画・内容							
1回目	IT・AIを活用した事例を知り、IT・AIについて理解し説明できる						
2回目	IT企業様へ訪問し、活用事例を実際に見る						
3回目	IT企業様にお越しいただき、ホスピタリティ業界とAI活用について理解し説明できる						
4回目	市場調査資料の作成が出来る						
5回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる①						
6回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる②						
7回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる③						
8回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる④						
9回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる⑤						
10回目	ホスピタリティ業界×AIの活用アイデア設計ができる⑥						
11回目	学内プレゼンテーション						
12回目	プレゼンテーションを振り返り、内容改善とプレゼンテーション力の見直しができる①						
13回目	プレゼンテーションを振り返り、内容改善とプレゼンテーション力の見直しができる②						
14回目	プレゼンテーションを振り返り、内容改善とプレゼンテーション力の見直しができる③						
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック					
準備学習 時間外学習							
評価方法	プレゼンテーションの完成度100%とする。						
受講生へのメッセージ	講師、協力企業ともに、全力でサポートするので「自分たちがブライダル業界を変える！」つもりで企画を練り上げていきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	ブライダルマーケティング Bridal marketing	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>東急ホテルズインターナショナル(株)マーケティング部の出身で、ツアーのプランニングや市場分析、および販売促進のプランを実際に実施した経験をいかし、マーケティングの重要性を理解していただく。いいホテルを建てればお客様が自然にいらっしゃる時代は終わり、告知、販売促進、PRや広告宣伝、そして販売ルートの開拓をしないといけない時代になっていることをふまえ、具体的なプランニングや広告を考えていく。</p> <p>(実務経験) (株)東急ホテルズインターナショナル販売促進部に所属(約5年)し、販売促進のためのプランニングをし、それを航空会社、旅行社、関係各国の観光省と共にプロモーションをした。また日本リージェントにて日本におけるホテル開発時の販売促進に従事した。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>① マーケティングの重要性が理解できる ② 販売促進のためのプランニングができる ③ ターゲット別に販売促進を考えることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	導入(マーケティングの仕事内容を理解する)
2回目	4つのP(place, price, product, promotion)を理解する
3回目	広告宣伝とは何かを具体例をまじえて理解する
4回目	PRをパブリシティの効果を考えながら理解する
5回目	CMを見て、何が効果的で何があまりアピールしないのかを考える
6回目	新聞広告をみて何が効果的で何があまりアピールしないのかを考える
7回目	雑誌広告やフリーのペーパーの広告をみて、何が効果的で何があまりアピールしないのかを考える
8回目	広告宣伝を実際にプランニングしてみよう その1
9回目	広告宣伝を実際にプランニングしてみよう その2
10回目	広告宣伝を実際にプランニングしてみよう その3
11回目	ターゲットとは何かを理解する
12回目	ターゲットを細分化して成功した例を学ぶ
13回目	まとめ、復習、テストの準備
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	交通広告、フリーペーパー、テレビCMなど身の回りの販売促進物に注意をはらって、自分なりにその効果を見るようにしましょう。
評価方法	小テストまたはレポート提出20% テスト80%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ブライダルマネジメント Bridal management	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
【学習内容】収益を上げる為の工程や数値管理、業務分析等は練習問題などで習得する。特に収益構造の仕組みを認識する指導をする。又時代背景に応じた商品プランの立案からマーケティング戦略などを学び、プレゼン能力のある学生育成をする。
【実務経験】ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験、2014年にホテル旅館運営支援事業の会社を設立、ホテル・旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。

【到達目標】
ホスピタリティ産業におけるレベニューマネジメントの概念を知り、日々の業務として売上の最適化に長けた顧客を最優先するレベニューマネージャー業務を学ぶことでマネジメントにも通じる知識を習得する。

授業計画・内容

1回目	レベニューマネジメントとは何か その原理原則を知り、RM(レベニューマネジメント)の目的が理解し説明できる	
2回目	収益管理の商品特性と市場が理解でき、RMの重要性を知り、説明することができる	
3回目	需要予測の重要性 ホテルの商品やサービスの需要に関するデータ収集分析が将来の販売予測に重要な理由が理解し説明できる	
4回目	現在の数値分析の内容及びその重要性が理解し説明できる	
5回目	現状分析から将来の数値を予測する必要性を知り、説明できる	
6回目	需要予測と戦略的価格設定の関係性を理解し、価格がどのようにして決定するかのプロセスを説明できる	
7回目	在庫と価格管理 最適な在庫管理の手法を理解し説明できる	
8回目	顧客の市場区分別分析や在庫管理戦略としての売り越し実施の条件を理解し説明できる	
9回目	価格管理 在庫と価格管理の関係性を認識し説明できる	
10回目	流通経路管理 非ネット系流通経路の分析手法を理解し説明できる	
11回目	ネット系流通経路 分析手法を理解し説明できる	
12回目	競合他社分析基準を理解し説明できる	
13回目	飲食サービスのレベニューマネジメント概要を理解し説明できる	
14回目	★評価週	グループディスカッション
15回目	★まとめ・追試/再試	グループディスカッション

準備学習
時間外学習
基本的にWebsite情報を元に、色んな情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から・・・であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面では無く、社会のニュースや業界事業施設周辺マーケットや流通サービス業の価格設定等も常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し学びは日常の中に沢山あり、それに気づく事が重要です。又、PCやタブレットは単なる道具ですが、当然ながら道具を使いこなすPCスキルも必要です。

評価方法
期末試験によって評価する

受講生へのメッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ブライダルマネジメント Bridal manegement	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ブライダル業界xAIで実際に社会実装を目的とした企画制作を行い、プレゼンテーションを行う。</p> <p>講師紹介：PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクス分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p>							
【到達目標】							
持続可能な事業として、企業に企画を受け入れてもらうことを目標としてプレゼンテーションができること							
授業計画・内容							
1回目	制作会社のフィードバックの確認を行い、進捗の確認が出来る						
2回目	開発計画スケジュールの作成が出来る						
3回目	予算、及び収支計画の作成が出来る						
4回目	市場調査資料の作成が出来る						
5回目	プレゼンテーションビデオの作成が出来る						
6回目	プレゼンテーションの復習を行い、不足点を補える						
7回目	クライアント質疑応答対策を行いプレゼンに備えることが出来る						
8回目	クライアントフィードバックの対応一企画内容をまとめることが出来る						
9回目	クライアントフィードバックの対応一開発スケジュールを作成出来る						
10回目	クライアントフィードバックの対応一予算、及び収支計画の作成が出来る						
11回目	クライアントフィードバックの対応一市場調査をまとめることが出来る						
12回目	クライアントフィードバックの対応一質疑応答が出来る						
13回目	プレゼンテーション予行をし、本番に備えることが出来る						
14回目	★評価週 プレゼンテーション本番でクライアントに事業内容を伝えることが出来る						
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック					
準備学習 時間外学習	なし						
評価方法	プレゼンテーションの完成度100%とする。						
受講生へのメッセージ	講師、協力企業ともに、全力でサポートするので「自分たちがブライダル業界を変える！」つもりで企画を練り上げていきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	ブライダル演習	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	Bridal exercises	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 専門的な機材を用いて、スチームアイロンのかけ方を練習したり、基礎的なメンテナンスの処置の仕方などを教えていきます。
 なぜそれをおこなったのか理由づけも発表して頂き、理解を深めます。

※実務者経験:

他校にてデザイナー学科の非常勤講師として勤務していた経験を持つ。ドレスショップのメンテナンス&製作スタッフを経て(約4年)、現在はフリーのデザイナーとしてオーダー衣装を製作している。(3年目)

ドレススタイリストとして基本的なメンテナンス方法を習得するとともに、ドレスのサイズ調整ができるようになる。

なぜそれを行ったのか説明ができるようになる。

基本的な衣装のメンテナンスができるようになる。

製作を通して針の取り扱いに慣れ、決められた時間内に縫うことができる。

授業計画・内容	
---------	--

4月8日	オリエンテーション。機材の取り扱い注意事項を理解し説明することができる
4月15日	メンテナンスの意味を知る。実際にスチーマーを使用してパニエのプレスができるようになる。(二人一組)
4月22日	実際にスチーマーを使用してドレスのプレスができるようになる。(二人一組)
5月13日	①パニエのプレス②ドレスのプレスの復習③お直し方法の説明と実践
5月20日	①パニエのプレス②ドレスのプレスの復習③お直しの復習とパーツの取り付け方法
5月27日	①パニエのプレス②ドレスのプレスの復習③試験対策
6月3日	中間テスト・パニエ、ドレスのプレスがけをして一か所メンテナンスし、講師へ説明をする。
6月17日	ドレスのサイズ調整の方法を知る。縫い方の種類を知る。実際に縫うことができる。
6月24日	時間を計って縫い、実際に自身が縫うのにかかる時間を知ることができる。①
7月1日	時間を計って縫い、実際に自身が縫うのにかかる時間を知ることができる。②
7月8日	時間を計って縫う。ドレス脇両側を補正することができる。①
7月22日	時間を計って縫う。ドレス脇両側を補正することができる。②
8月26日	試験ドレス決め。試験課題発表(詰めるサイズ発表)汚れ落とし方法の種類を覚え、的確な判断で行うことができる。
9月2日	★評価週 期末試験①ドレスの詰めができる。
9月9日	★まとめ・追試/再試 期末試験②汚れ落とし一か所とプレスを行い、講師へ説明を行うことができる。
準備学習 時間外学習	時間が間に合わない場合は何度でも練習してください。何より楽しんでドレスに触れることと、専門雑誌を読むことです。
評価方法	中間テスト(30点) 期末テスト・両側が縫えている(50点) 仕上がりの丁寧さ。(20点)
受講生への メッセージ	縫うスピードは人それぞれです。いつでも相談してください。 大切なのはあきらめないことと、丁寧さです。 地味な作業ができてこそ、お客様の喜びにつながります。 一緒に頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

指定教科書はありませんが、日頃からウェディング雑誌や、装苑、palmなどクリエイティブな雑誌を読み、感性を磨いてください。

科目名 (英)	ブライダル演習 Bridal exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に

【学習内容】

衣服は「身を守るもの」「属性を示すもの」「立場を象徴するもの」「自己を表現するもの」「礼儀・マナー」として毎日欠かさず着た、その時代の人々の物の考え方や表現に触れることにより基礎力を高め、創造力を養う。

【実務経験】

(株)ユミカツインターナショナルレンタルドレスサロンにてサブチーフアドバイザーとして9年勤務。同じくプレタクチュールサライダル協会にて16年勤務。現在、全日本ブライダル協会認定講師、日本フォーマル協会認定ブライダル講師

【到達目標】

服飾の歴史を理解できるようになる。
歴史を学ぶことにより基礎力を高め、創造力を養う。
基本的な服飾専門用語を理解できるようになる。

授業計画・内容		
1回目	導入、「衣服とは何か？」を考え、グループで意見交換ができる	
2回目	古代Ⅰ メソポタミア・エジプトの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理	
3回目	古代Ⅱ ギリシャ・ローマの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解し説	
4回目	中世Ⅰ 中性ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解し説明	
5回目	中世Ⅱ 中性ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解し説明	
6回目	近世Ⅰ 近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解し説明	
7回目	近世Ⅱ 近世ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解し説明	
8回目	中間テスト	
9回目	近代Ⅰ イギリス ヴィクトリア女王の結婚式から歴史を理解し説明できる(ウェデ	
10回目	近代Ⅱ 近代ヨーロッパの衣服と、この時代の結婚式・婚礼衣装について理解し説明	
11回目	近現代Ⅰ この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解し説明できる(20世	
12回目	近現代Ⅱ この時代の衣服と、結婚式・婚礼衣装について理解し説明できる(第二	
13回目	試験対策を兼ねた復習	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目		期末テストの答合わせ、苦手を克服すること
準備学習 時間 外学習		

科目名 (英)	ブライダル演習 Bridal exercises	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】

専門職として着物に関する知識を広げる座学、婚礼にまつわる着物の着せ付けの授業を行う。
相モデルでの実習となる授業のため、遅刻や欠席は出来るだけせず臨んでほしい。

【実務経験】

冠婚葬祭や、ショーなどで着付けを手掛ける(12年)国家資格である1級着付け技能士の資格を有し、着付けの指導も行っている。(7年)

【到達目標】

晴れの日の着付けにおいて知識を身に付け、実技を反復して練習することにより衣装店やブライダルヘアメイク業界に出て即戦力となる。また着付師として着物や帯の柄とお客様の体型とのバランスを考慮し、見合った着せ付けが出来るようになる。

授業計画・内容

1回目	道具のセッティング、畳み方の復習。長襦袢を美しく着付けることができる。	
2回目	長襦袢を美しく着付ける復習。黒留袖を着付けることができる。	
3回目	長襦袢を美しく着付ける復習。黒留袖を着付けることができる。	
4回目	帯結び演習①長襦袢、着物を5分で着付け、お太鼓結びまで出来るようになる。	
5回目	帯結び演習②長襦袢、着物を5分で着付け、お太鼓結びまで出来るようになる。	
6回目	帯結び演習③長襦袢、着物を5分で着付け、お太鼓帯結びまで出来るようになる。	
7回目	帯結び演習④長襦袢、着物を5分で着付け、お太鼓帯結びまで出来るようになる。	
8回目	【中間テスト】 20分で長襦袢着付けることができる。	
9回目	補正を見直し、長襦袢を美しく着付け(15分)留袖、帯を35分で着付けることができる。	
10回目	着物の知識を生かした接客のシュミレーションを身に付けることができる(お客様を対象とした提案力)	
11回目	3人1組で着付けのヘルプを身に付けることができる(職務上で必要とされる技術)	
12回目	3人1組で着付けのヘルプを身に付けることができる(職務上で必要とされる技術)	
13回目	定期試験に向けて練習する。	
14回目	★評価週	50分で黒留袖を着付ける。
15回目	★まとめ・追試/再試	50分で黒留袖を着付ける。
準備学習 時間外学習	相モデルで時間確保のため、授業前に必要な道具を準備しチャイムと同時に始められるようにする。ノートや動画を見直し復習する。筆記用具、定規(15センチ以上)マスク、フェイスシールドを持参する。ドラマや映画で着物を見る機会があったら意識して見てみる。	
評価方法	中間テスト30%期末テスト70% 実技試験で評価。	
受講生への メッセージ		

【使用教科書・教材・参考書】

着物用語辞典・きもの入門

科目名 (英)	ブライダル基礎 I Bridal foundation I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ブライダル業界での基礎知識を学び、ブライダルビジネスにおいて総合エキスパートを目指す授業を行います。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p>							
【到達目標】							
<p>基本をしっかりとし身に付けて、ブライダル業界に興味を持ち、将来の自己に役立ててほしいです。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、授業内容の説明、評価方法の説明(自己紹介)
2回目	ブライダルDVDでの感想(ホテル、レストラン)の相違を理解し説明できるようになる
3回目	ブライダルマナー(招待状の返信、参列者ファッション、のし袋の書き方等)を身に付けることができる
4回目	ブライダル概論(Ⅰ)ブライダル業界のマーケット、ブライダルの職種と役割りを学び身に付けることができる
5回目	ブライダル概論(Ⅱ)ブライダル用語Aを学び身に付けることができる
6回目	ブライダル概論(Ⅲ)ブライダル用語Aを引き続き学び身に付けることができる
7回目	中間テスト(ブライダル用語50問)対策を学び身に付けることができる
8回目	中間テスト解答と解説を学び身に付けることができる
9回目	ブライダル基礎(Ⅰ)披露宴の当日までのスケジュールを理解し説明できるようになる
10回目	ブライダル基礎(Ⅱ)今どきの演出&定番演出を理解し説明できるようになる
11回目	ブライダル基礎(Ⅲ)披露宴の基本プログラムを理解し説明できるようになる
12回目	ブライダル基礎(Ⅳ)披露宴の進行表を理解し説明できるようになる
13回目	各自で進行表の作成を学び身に付けることができる
14回目	イベントを企画、運営し実践できる
15回目	イベントを企画、運営し実践できる
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	学科、中間テスト 50% 13回目の進行表作成 50%
受講生へのメッ セージ	ご入学おめでとうございます。ブライダル基礎をとにかく学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
ゼクシィまたは講師配付	

科目名 (英)	ブライダル基礎Ⅱ Bridal foundationⅡ	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ブライダル業界にてプロデュース業20年以上のキャリアを活かし、社会人としてのブライダル基礎知識を身に付け、後期ではよりリアルウェディングにおいての実践能力を深め、またコミュニケーション力を身に付けるようにします。</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラククに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らブライダルの進行が出来る。 ・コミュニケーション力を高める。(特にトーク力の強化) 							

授業計画・内容	
1回目	披露宴の進行表を作成できる(グループワーク・洋・和)
2回目	和装進行表を作成できる(挙式、神殿)1日のスケジュールを理解する
3回目	和装進行表を作成できる(挙式、チャペル)1日のスケジュールを理解する
4回目	規模や招待客、披露宴の雰囲気をイメージし、カウンセリングシートを作成する
5回目	カウンセリングシート完成を目指す(わかりやすく、記入しやすく、要点の重要性を学ぶ)
6回目	カウンセリングシートによる新規接客の基本(挨拶・名刺交換・トーク力・提案力)
7回目	～中間テスト～
8回目	ハワイウェディングについて、日本打合せ・海外施行について理解し説明ができる
9回目	引出物、引菓子、縁起物の必要性を理解する / 見積書作成をし、見積書における説明ができる
10回目	①接客シュミレーションの基本(見積書からの提案ができる)
11回目	②接客シュミレーションの基本(進行表からの提案ができる)
12回目	③接客シュミレーションの基本(ペーパーアイテムからの提案ができる)
13回目	①ペーパーアイテム(招待状の基本知識を学ぶ)
14回目	②ペーパーアイテム(席次表、メニュー表の基本知識を学ぶ)
15回目	★評価週 ブライダル基礎の総試験
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 中間50% 期末50%
受講生への メッセージ	後期ブライダル基礎を学んでリアルウェディングで自信を持ち、新郎新婦とのコミュニケーション力を発揮できるようになれば幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】	
・ブライダルコーディネーターテキスト、スタンダード・講師テキスト配付	

科目名 (英)	フラワー実習 I Flower training I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえて、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだブライダル・フラワートレンド講義を行う。							
【実務経験】2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。							
【到達目標】 トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを学び、実践に活かすスキルを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介／前期授業内容について
2回目	昨今のブライダルトレンドを読み解き説明できるようになる。
3回目	シーズナルイベント装花／マザーズデーアレンジメント制作ができるようになる。
4回目	2022年のブライダルトレンドを学び説明できるようになる。
5回目	年間のフラワートレンドについて理解することができる。
6回目	ブライダルブーケ制作／クラッチスタイルについて理解することができる。
7回目	中間試験
8回目	昨今のテーブルコーディネートを理解することができる。
9回目	これまでの講義をふまえ、2022年ブライダルトレンドプレゼン資料を製作する。
10回目	ブライダルトレンドについて理解しプレゼンテーションすることができる
11回目	フラワーブーケ制作／サマーグリーンブーケの制作ができるようになる。
12回目	期末試験
13回目	まとめ・解答、授業を振り返りブライダルフラワーの一連の流れを説明できる。
14回目	イベントを企画、運営し実践できる
15回目	イベントを企画、運営し実践できる
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間試験30%/期末試験70%
受講生へのメッセージ	トレンドを取り入れたブライダルの一連の流れを実習を交えながら楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ペーパーアイテム Paper items	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 ペーパーアイテムについて学ぶ、理解すると同時に市場の動向を学ぶ。 アイデアやテーマを提供提起し、ブライダルアイテムでのトレンドを取り入れながら、アレンジの基礎を習得する ※実務経験 フリーランスのウェディングプランナー8年目。							
【到達目標】 婚礼に必要なペーパーアイテム、ご招待状・席次表についてトレンドや市場の動向を学ぶ。 ご招待状・席次表の作成方法を理解する。ご招待状・席次表の手配業務・スケジュールを学ぶ。							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・他己紹介、授業の目的を理解し説明できる	
2回目	〈1〉招待状〜〈4〉招待状の文面 テキストP18 忌み言葉 六輝などを理解し説明できる	
3回目	〈5〉席札・席次表〜〈6〉メニュー表、オリジナルパンフレット テーブルプランと配席を理解し説明できる	
4回目	ペーパーアイテムに関するセールストークを理解し、実践できる	
5回目	ペーパーアイテム全般テスト(振り返り)	
6回目	【リボンワーク】リボンの巻き方の種類。リボンの結び方を習得することが出来る	
7回目	【ウェルカムボード講義】カリグラフィーでおしゃれな文字を書くことが出来る。	
8回目	【ブーケとリボン】ミニブーケを作り、リボンで更にセンスアップすることが出来る	
9回目	【ゲストテーブルアレンジプレゼン】各チーム毎にデザイン画の提出とご案内(発表)することが出来る。花器や資材集め。	
10回目	【ワイヤリングとヘッドドレス】ワイヤリングとテーピングをマスターし、ヘッドドレスを作ることが出来る。	
11回目	【ボックスアレンジ】オアシスの正しい吸水方法と花の挿し方が出来る。ボックスフラワーアレンジを作ることが出来る	
12回目	【ゲストテーブルアレンジプレゼン】各チーム毎にデザイン画の提出とご案内(発表)することが出来る。花器や資材集め①	
13回目	【ゲストテーブルアレンジプレゼン】各チーム毎にデザイン画の提出とご案内(発表)することが出来る。花器や資材集め②	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ	フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト	
受講生へのメッ セージ		
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ヨガ Yoga	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

4500年前から伝わるヨガの健康法を、カラダだけでなく内面や感情面へもアプローチし、現代社会における辛さや苦しみからの解放をテーマに授業をおこないます。カラダを動かすことによって全身の流れをよくし肉体の健康に働きかけます。カラダの痛みや癖がある生徒にはその癖を自力で改善できる力をつけることができるようにします。目に見えない問題やストレスに弱い生徒にはその解決方法をヨガによって見出します。

※実務経験

ヨガスタジオ経営し、新人や養成講座の研修実績のある講師が担当します。(5年)

【到達目標】

ヨガの歴史を知り、ヨガとは何なのかを理解し、説明できる

ヨガの呼吸法を習得し、実生活の中に取り入れることができる。緊張する場面や自身の苦手な場面・怒りを鎮める等様々なシチュエーションに合わせた感情のコントロール方法をヨガを通じて学ぶことができる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	自己紹介・授業の説明。ヨガとは何かを知り、カラダとココロにおける健康の重要性が理解し説明できる	
2回目	ヨガの歴史について。ヨガの哲学や実践方法・目的を理解し説明できる	
3回目	①ヨガの呼吸法について。呼吸をおこなうことによって自律神経のバランスを整わせることができる	
4回目	②ヨガの呼吸法について。呼吸と感情がつながっていることを知り、感情のコントロール方法を学び説明できる	
5回目	①ヨガアサナ(ポーズ)の準備をおこなう。ストレッチやほぐしの体操で体を緩め動きやすい状態をつくることができる	
6回目	②ヨガアサナ(ポーズ)の準備をおこなう。呼吸と動きを同時におこない基本的なヨガの動き方を習得することができる	
7回目	③ヨガアサナ(ポーズ)の準備をおこなう。身体の癖や弱い部分を見つけて力強さをつけることができる。	
8回目	自身の体質について知ることができる。アーユルヴェーダのドーシャチェックをして自分の体質に合う習慣を学び実践できる	
9回目	ヨガの効能がどこへ働くのかを理解し説明できる。ココロとカラダの繋がりを知ることができる	
10回目	苦しみの原因を理解し、その対処法を学び説明できる(カルマヨガ・バクティヨガについて)	
11回目	①ヨガクラス(実践) ヨガのポーズを通して自分自身のカラダとココロのデトックスを実践できる	
12回目	②ヨガクラス(実践) バランスのポーズを通して自分の不安定さと向き合う力をつけることができる	
13回目	③ヨガクラス(実践) 1つ1つのポーズを通してヨガの最大の効能といわれる二重性からの解放をおこなうことができる	
14回目	★評価週	自分自身に集中するヨガクラス(テスト)
15回目	★まとめ・追試/再試	ヨガについての総復習、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	規則正しい生活をして、ヨガクラスの実践に備えてください。	
評価方法	期末テスト100パーセント	
受講生への メッセージ	本講義は、現代社会におけるストレスへの対処法をヨガを通して学んでいきます。運動と思われがちなヨガですが、それはヨガのほんの一部に過ぎません。カラダですが、1番は自分自身のココロの在り方を大切にしながら本講義を受講していただければ幸いです。	

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい服装で受講してください。(ヨガマットは学校にて用意します)

科目名 (英)	レストランサービス演習 I Restaurant Service Exercise I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

検定委員の経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を学びます。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)
ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

実社会で通用する基礎知識を取得し説明が出来る

実生活で活用する知識を得る事が出来る

授業計画・内容

1回目	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる	
2回目	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食器用具・備品を学び理解する事ができる	
3回目	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる	
4回目	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる	
5回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる	
6回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる	
7回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる	
8回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる	
9回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる	
10回目	レストランサービスの内容(食事の国際習慣・プロトコルの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装)を学び理解する事ができる	
11回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。	
12回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る	
13回目	試験対策	
14回目	★評価週	試験
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	筆記試験	
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストランサービス実習Ⅰ	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	Restaurant service training I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

【実務経験】

レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技試験官

【目標到達】

社会で通用する技術と心構えの習得

〈具体的な目標〉

目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る

目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る

目標③行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る

授業計画・内容

1回目	挨拶・歩行動作・離着席時の補助ができる	
2回目	入店からゲスト・ホストを考慮した行動と椅子の離着席・溢さない水の注ぎ方・姿勢・足の運び方ができる	
3回目	シルバーの名称・説明とサーバーの使用方法を理解し説明できる	
4回目	入店からメニューのお勧め・注文品の復唱・姿勢・言葉遣い・シルバーセット・溢さないコーヒーの注ぎ方を理解し実践することができる	
5回目	ゲスト・ホストを考慮した料理提供とサービス雑音軽減を意識したパッシング(片づけ)・トレイの使用方法を理解し説明できる	
6回目	サービス観点に基づき中間実技試験	
7回目	知識の確認と今までの技術習得の復習	
8回目	ソムリエ協会推奨ワイン抜栓を理解し実践できる	
9回目	12分制限時間内での課題を終了することができる	
10回目	12分制限時間内での課題を終了することができる	
11回目	9分制限時間内での課題を終了することができる	
12回目	9分制限時間内での課題を終了することができる	
13回目	試験対策、振り返り	
14回目	★評価週	筆記試験・実技試験
15回目	★まとめ	テストフィードバック、苦手なところを克服できる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	実技試験	
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	Restaurant skill test	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合コース				2	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

レストランサービス技能検定を取得するための知識や技術を身に付ける。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

レストランサービス技能検定を取得するために、基本的なサービスを動きを理解し実践できる

場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する

授業計画・内容

1回目	ソムリエ協会推奨 ワイン抜栓の方法を学ぶ事が出来る
2回目	オレンジカットの方法を学ぶ事が出来る
3回目	レモンライス・カットが出来る様になる
4回目	スパイラルレモンの方法を学ぶ事が出来る
5回目	場面に応じたオーダーテイクのテクニックを学ぶ事が出来る
6回目	気がついて、減っていても注いではいけない水のサービス(グループワーク)を考える事が出来る
7回目	中間試験
8回目	グラスの磨き方を学ぶ事が出来る
9回目	テーブルナフキンの折り方を学ぶ事が出来る
10回目	箸置きを折る方法を学ぶ事が出来る
11回目	レモンライス・カットの応用ができるようになる
12回目	テーブルクロス(リネン全般)の使用方法を学ぶ事が出来る
13回目	試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 苦手を克服することができる
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験50%・期末試験50%
受講生へのメッ セージ	

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
レストランサービス技能検定を取得するための知識と技術を身に付けます。							
※実務経験 教本に基づき知識の習得をする(実務経験)厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2004年国家資格1級取得、2005年HRSテーブルマナー認定講師、2009年HRS技能検定委員							
【到達目標】							
基本的には、食事の時に合わせるドリンク知識、酒類の分類、ソフトドリンクの分類。ドリンクタイプの基礎知識を習得する。 基本的なバーツール、カクテルメイクを指導し、基本的動作は出来る様にします。							
ブライダル業界でお客様に披露宴に関わる、フード・ドリンクの正しい知識を身に付け、提案することが出来る							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、他己紹介。授業の目的、授業の進め方について理解する。
2回目	(座学)カクテルタイプ、TPOについて理解できる (実技)バーツールの名称、扱い方を理解し説明できる
3回目	(座学)酒の種類、名称について理解できる (実技)ボトルの開け方、持ち方、注ぎ方を理解して実践できる
4回目	(座学)ワインの基礎知識を理解できる (実技)シェーキングの基礎を実践できる
5回目	(座学)ビールの基礎知識を理解できる (実技)ビルドの基礎を実践できる
6回目	(座学)ソフトドリンクの基礎を理解できる (実技)ノンアルコールカクテルをカクテルメイクできる
7回目	(中間試験)ドリンク全般の基礎知識の筆記試験、シェーキング実技試験
8回目	西洋料理:前菜・スープ・魚・甲殻類・家禽・野菜の基礎知識を理解し説明できる
9回目	中国料理の基礎知識を理解し説明できる
10回目	パスタ・チーズ・デザート・調理方法の基礎知識を理解し説明できる
11回目	メニュー(歴史・規則・構成)の知識を身につけお客様に提案できる基礎を理解し説明できる
12回目	日本料理の基礎知識を理解し説明できる(作法・マナー含む)
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	授業で行った酒類全般、ソフトドリンク、TPOなどの暗記と復習をする。 学んだ実技的なボトルの開け方、持ち方、注ぎ方、シェーキングの仕方等をイメージトレーニングする。
評価方法	中間試験50% 期末試験50%
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 検定委員の経験を有する教員から現場で活かせる技術や知識を学びます。							
【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)							
【到達目標】 各国の歴史・文化を通じて知見を深める 〈具体的な目標〉 目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する 目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う 目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化							

授業計画・内容	
1回目	P93各種宴会の等のセッティング
2回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
3回目	レストランサービスの内容 (テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
6回目	レストランサービスの内容(食事の国際習慣・プロトコルの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装)を学び理解
7回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
10回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
11回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
12回目	課題を抽出し克服出来るようになる
13回目	試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 検定委員の経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を学びます。							
【実務経験】 ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン) ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)							
【到達目標】 実社会で通用する基礎知識を取得し説明が出来るようになる 実生活で活用する知識を得て実践する考え方の習得							

授業計画・内容	
1回目	食材・飲料等の基礎知識 メニューの歴史を学び理解する事ができる
2回目	食材・飲料等の基礎知識 西洋料理の食器用具・備品を学び理解する事ができる
3回目	接客の基本 サービススタッフに求められる資質を学び身につける事ができる
4回目	宴会サービスと宴会の種類および内容を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
6回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
7回目	中間試験
8回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
9回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
10回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
11回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
12回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
13回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
14回目	課題を抽出し克服出来るようになる
15回目	★まとめ 期末試験
準備学 習 時間 外学習 評価方 法	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
受講生 へのメッ セージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant skill test	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

検定委員の経験を有する教員から現場で活かせる技術や知識を学びます。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

レストランサービス技能検定を取得するための知識と技術を身に付け、夏季試験に合格する

〈具体的な目標〉

目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する

目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う

目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化

授業計画・内容

1回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
2回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
3回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
6回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
7回目	中間試験
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
10回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
11回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
12回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
13回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 苦手を克服することができる
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	中間試験・期末試験
受講生へのメッ セージ	

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	映像編集演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	Video editing exercises	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合コース					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
映像制作技術を有する教員が、映像・フォト実習授業を展開し、どういった映像を制作するのか、立案から完成までのプロセスを経験します。							
※実務経験 フリーとして映像制作に従事して20年以上。(ブライダル・広告)							
【到達目標】							
映像を制作するスキル、ソフトの使い方等を必要最低限身に付け、納期を意識したスケジュールの組み立て、納期に対するクオリティの確保などを体験し、映像制作ができるようになる。また、納期限を意識するなど、他仕事にも応用できる能力を身につける							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション/映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる①(写真を使った簡単な操作方法)	
2回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる②(写真を使った簡単な操作方法)	
3回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる③(テロップを用いて簡単な操作方法)	
4回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる④(動画を使った簡単な操作方法)	
5回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる⑤(動画を使った簡単な操作方法)	
6回目	映像制作ソフト(プレミア)の機能理解・操作方法について理解し説明できる⑥(動画を使った簡単な操作方法・それぞれの作った映	
7回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る①	
8回目	映像制作におけるコンセプトの立案、シナリオの制作が出来る②	
9回目	素材撮影・映像制作が出来る①	
10回目	素材撮影・映像制作が出来る②	
11回目	素材撮影・映像制作が出来る③	
12回目	素材撮影・映像制作が出来る④	
13回目	素材撮影・映像制作が出来る⑤	
14回目	★評価週	完成映像の提出
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	テスト(映像提出による完成度)にて評価	
受講生への メッセージ	映像制作に興味・関心を持っていただき、クリエイティブな分野へのアンテナを張っていただけるような人物、アイデアを形にする事が出来るような人物になってください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
PC数台・PCソフト(Adobe premiere pro)		

科目名 (英)	英会話 English Conversaion	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。</p> <p>※実務経験 数々の企業にてビジネスパーソンやグローバルリーダー向け英語研修を10年以上担当。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>日常生活やビジネス等で、よく出てくるトピックに関して自信を持って話すことができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す、質問することができる
2回目	L. 19 場所を尋ねる、説明することができる
3回目	L. 20 道案内をする、尋ねることができる
4回目	L. 21 料金について尋ねる、説明することができる
5回目	L. 23 頻度について質問する、答えることができる
6回目	L. 24 アイテムの特徴を説明することができる
7回目	L. 25 食べ物の量について話す、尋ねることができる
8回目	L. 26 必要性に関して話す、尋ねることができる
9回目	L. 27 食生活について話す、説明することができる
10回目	L. 28 食べ物について説明する、尋ねることができる
11回目	L. 29, 30, 31 過去の出来事について話す、質問することができる。ある出来事に対してのリアクションや返答ができる
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる
13回目	総復習 わからないことを質問しテスト対策ができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
評価方法	試験100%
受講生へのメッセージ	次のレベルに進みました。更に自信をもって流暢に話せるよう一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
Speak Now 1	

科目名 (英)	英会話 English Conversaion	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。</p> <p>※実務経験 数々の企業にてビジネスパーソンやグローバルリーダー向け英語研修を10年以上担当。</p> <p>【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話すことができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	L. 1 初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる	
2回目	L. 2, 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる	
3回目	L. 5, 6 好き・嫌い等の好みについての会話や質問返しができる	
4回目	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べるができる	
5回目	L. 11,12 人を褒める&褒められた際の会話表現や、(衣服など)着ているものに関して述べるができる	
6回目	L. 7, 13, & 14 時間について表現することができる。日々の習慣について話す&質問することができる	
7回目	L. 19, 20 道案内をする・場所を尋ねることができる	
8回目	L. 21, 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをすることができる	
9回目	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーができる	
10回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す&質問することができる	
11回目	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答ができる	
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる	
13回目	総復習 わからないことを質問できる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んで起きましょう。	
評価方法	試験100%	
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】 Speak Now 1		

科目名 (英)	音響・照明演習 Sound and lighting exercises	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルにおける音響・照明・映像・演出業務の学習及び実習をおこないます。現在取り締まりが厳しくなっているブライダル業界における音楽著作権、違法ダウンロードの説明等。特殊な演出業務。最新鋭の映像演出(プロジェクションマッピング)等をしっかり体感してもらいながら学んでもらいます。 ※実務経験 アルマリアン福岡(2013～)、ホテルマリノリゾート福岡(2020～)、博多百年蔵(2019～)、ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート(2013～)、ホテルモントレラスール福岡(2011～)、ララシヤンス伊万里迎賓館(2016～) 音響照明セクション現場責任者							
【到達目標】 業界の中身を詳しく説明し、音響・照明・映像・演出業務の基礎の部分を理解出来る。 プランニングする上で、お客様の思いを形にする事が出来るという事をプランナーの立場として理解する事が出来る。 これからのブライダル業界のエンターテインメント性を理解する事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	ブライダル演出業務について * 演出内容が理解できるようになる。
2回目	ブライダルにおける音響操作についてまた基本的知識 * 簡易的な操作の流れの意味がわかるようになる。
3回目	音楽著作権、および違法ダウンロードについて * 法律による規制が理解出来るようになる。
4回目	BGMコーディネートについて① * お客様として * 新郎新婦の気持ちが理解出来るようになる。
5回目	BGMコーディネートについて② * コーディネーターとして * プランナーとしての気持ちが理解出来るようになる。
6回目	機材関係について① 宴会場にスタンバイされている機材関係について * 機材の簡易的な操作が理解出来るようになる。
7回目	機材関係について② 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
8回目	機材関係について③ 教室の機材を実際に使い実習 * 教室の機材を理解出来るようになる。
9回目	サプライズ演出(フラッシュモブ、メモリアル等について) * サプライズ演出が理解出来るようになる。
10回目	プロジェクションマッピング演出について * 大画面映像演出の仕組みが理解出来るようになる。
11回目	スマートフォンでの活用法① 写真加工等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる
12回目	スマートフォンでの活用法② 写真加工等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。
13回目	スマートフォンでの活用法③ 動画等 * スマートフォンを使ったテクニックを理解する事ができる。(評価)レポート提出
14回目	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる①
15回目	ドレスショーを企画・運営するために音響・照明の役割を理解し実践できる②
準備学習 時間外学習	
評価方法	レポートによる試験を行います。一人一人の考えや意見を尊重していきながら、しっかり思いを記入していただくような内容にしたいと考えております。また、内容によって実技も入れていこうと考えております。
受講生へのメッセージ	ご入学おめでとうございます。コロナ禍の中で大変な時期にこの業界のお仕事を志してくれて本当に嬉しく思います。みなさんの力がこれからのこの業界を必ずもっと上のステージに持ち上げていけると確信しております。しっかり楽しく勉強していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	韓国語Ⅰ・Ⅱ KoreanⅠ・Ⅱ	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	プライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
延世大学語学堂卒業。最高級6級を取得。留学生活を送りながら生きた韓国語を学んだ講師と共に、ハングル文字の仕組みや自然な会話、現地で使える言葉やフレーズを身につけ、旅行や韓国人のお客様を迎える時、活用できる韓国語を学んでいきます。それぞれのシチュエーションに合った韓国語を学び活かせることを目標とします。主にロールプレイ形式で授業を進行し、空港で使えるフレーズ等もしっかりと学習していきます。

※実務経験
韓国6年在住、教員免許取得。

【到達目標】
読み・書き・聞く・話すをバランス良く学習し、実際に韓国人と話す際に緊張せず、シチュエーションに合った自然な受け答えができる。

授業計画・内容		
1回目	アンニョンハセヨ！自己紹介・韓国語を学ぶ前に！ ハングルの構成を理解し説明できる	
2回目	母音子音について理解し説明できる	
3回目	母音子音・パッチムについて理解し説明できる	
4回目	発音について理解し説明できる・自己紹介ができる	
5回目	小テスト(読み・書き)・助詞(～が・～に)と代名詞について理解し説明できる	
6回目	動詞・形容詞の活用、語尾文法(～です・～ます)について理解し説明できる	
7回目	否定文を学び活用することができる・旅行で使えるフレーズを活用することができる	
8回目	存在・場所を現す品詞について学び活用することができる・道案内で使えるフレーズを活用することができる	
9回目	漢数字・カレンダー・時計を読むことができる	
10回目	小テスト・機内で使えるフレーズを活用できる	
11回目	フレーズ確認を確認し説明できる	
12回目	K-POPで学ぶ韓国語を理解し説明できる	
13回目	総復習・質問・理解を深め、テスト対策ができる	
14回目	★評価週	テスト(筆記&スピーキング)
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト結果の確認、全体のまとめ
準備学習 時間外学習	復習を中心とし、週1時間程度の自習をお勧めします	
評価方法	小テスト・期末テスト	
受講生へのメッセージ	韓国語を学ぶにあたって重要なポイントをわかりやすく丁寧に説明します。たくさん話し、聞くことを主にして、授業を進行します。小テストは簡単で授業をしっかりと聞けば解けるレベルです。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリントを毎時間配布します		

科目名 (英)	韓国語 I・II	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	Korean I・II	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合コース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての韓国語教育を行ってきました。ホスピタリティ業務に使えるオリジナル教材を作って、韓国語の基礎を更に固め、発音・文字・文法を中心に深く指導していきます。授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりして、流暢に話せるまで練習してもらいます。

※実務経験
韓国6年在住、教員免許取得。

【到達目標】

韓国語を通じて異文化に触れ、国際的な感覚を身に付けることができる。韓国語での、日常会話、ビジネス会話ができるようになるための基礎を身に付けることができるようになる。

授業計画・内容

1回目	今学期の目標、計画、学習内容をみんなで確認してから、各自のスケジュールを立てて、全員で学習を進めることができる。	
2回目	単語の量を増やし試験問題を解くことができる。	
3回目	日常会話・ビジネス会話を勉強し、仕事場の対応ができる。	
4回目	各自の問題点を見つけ、克服方法を考え、韓国語を一つ一つ身につけることができる口	
5回目	検定試験の内容、勉強方法について再確認し、試験対策を身につけることができる	
6回目	ホスピタリティ業界の言葉、会話を勉強し、仕事現場に臨む能力を身に付け実践できる	
7回目	問題を徹底的にやることによって、問題解決のキーポイントを掴むことができる	
8回目	リスニング難関問題を乗り越えるように、聴力をアップすることができる。	
9回目	練習問題をたくさんやることによって、単語を集中して覚えることができる。	
10回目	将来の職場の場面を設定して、韓国語で対応できるように、会話を身につけることができる。	
11回目	実際の仕事内容と結び付けて、韓国人カスタマーサービスができる。口	
12回目	今までの間違った問題の訂正、勉強を進め、一人一人の語学能力を更に高めることができる。	
13回目	今までの学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	まとめ	フィードバック、苦手を克服できる

準備学習
時間外学習

評価方法

- 授業態度 (30%)
 - 小テスト (20%)
 - 定期テスト (50%)
- 割合で成績評価を行う。

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	韓国 I・II	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	Korean I・II	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合コース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての韓国語教育を行ってきました。ホスピタリティ業務に使えるオリジナル教材を作って、韓国語の基礎を更に固め、発音・文字・文法を中心に深く指導していきます。授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりして、流暢に話せるまで練習してもらいます。

※実務経験
韓国6年在住、教員免許取得。

【到達目標】

韓国語を通じて異文化に触れ、国際的な感覚を身に付けることができる。韓国語での、日常会話、ビジネス会話ができるようになるための基礎を身に付けることができるようになる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	今学期の目標、計画、学習内容をみんなで確認してから、各自のスケジュールを立てて、全員で学習を進めることができる。	
2回目	プリントを配り、会話練習しながら、単語の量を増やすことができる	
3回目	各自の問題点を見つけ、修正方法を考えることができる①	
4回目	各自の問題点を見つけ、修正方法を考えることができる②	
5回目	各自の問題点を見つけ、修正方法を考えることができる③	
6回目	個別指導、各自の問題点を見つけ、改善方法を考えることができる	
7回目	中間テスト、検定試験前のチェック	
8回目	全面的に復習し、試験問題のポイントを再チェックできる	
9回目	間違った問題の訂正ができる	
10回目	日常会話・ビジネス会話を理解し実践できる	
11回目	実際の仕事場面を設定し、韓国人カスタマーサービスを理解し実践できる	
12回目	検定試験3級の内容、勉強方法について理解し実践できる	
13回目	期末試験について、全面的に復習	
14回目	★評価週	筆記・会話
15回目	★まとめ・追試/再試	反省会・間違った問題を訂正ができる

準備学習 時間外学習	随時単語の暗記・会話の練習・過去問題の復習	
------------	-----------------------	--

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
------	--	--

受講生へのメッセージ		
------------	--	--

【使用教科書・教材・参考書】

--	--	--

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate project	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。
企業様からの課題に取り組みます

【実務経験】
ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。
株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)

【到達目標】

相手に伝わるプレゼンテーションができる。
企業で通用する企画立案ができる。
課題に対する問題解決ができる

授業計画・内容

1回目	企業様から課題オリエンテーション、課題を理解し説明できる	
2回目	課題を理解し説明することができる	
3回目	課題に対する問題解決案を立案することができる①	
4回目	課題に対する問題解決案を立案することができる②	
5回目	課題に対する問題解決案を立案することができる③	
6回目	課題に対する問題解決案を立案することができる④	
7回目	課題に対する問題解決案を立案することができる⑤	
8回目	中間学内発表	
9回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる①	
10回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる②	
11回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる③	
12回目	課題の問題解決をチームで考案する①	
13回目	課題の問題解決をチームで考案する②	
14回目	★評価週	企業様へプレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック

準備学習
時間外学習

相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。

評価方法

最終プレゼンテーションにて評価する

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	企業プロジェクト Corporate project	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。
企業様からの課題に取り組みます

【実務経験】
ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。
株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)

【到達目標】
相手に伝わるプレゼンテーションができる。
企業で通用する企画立案ができる。
課題に対する問題解決ができる

授業計画・内容

1回目	企業様から課題オリエンテーション、課題を理解し説明できる	
2回目	課題を理解し説明することができる	
3回目	課題に対する問題解決案を立案することができる①	
4回目	課題に対する問題解決案を立案することができる②	
5回目	課題に対する問題解決案を立案することができる③	
6回目	課題に対する問題解決案を立案することができる④	
7回目	課題に対する問題解決案を立案することができる⑤	
8回目	中間学内発表	
9回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる①	
10回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる②	
11回目	プレゼンテーション力を自己評価し、見直すことができる③	
12回目	課題の問題解決をチームで考案する①	
13回目	課題の問題解決をチームで考案する②	
14回目	★評価週	企業様へプレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック

準備学習
時間外学習

相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。

評価方法

最終プレゼンテーションにて評価する

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	空間コーディネート	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
	Spatial coordination	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ブライダル総合コース					曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】フローリスト/フラワーアーティストとしてフラワーブランドを主宰する講師が、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ講義を実施します。プランニングやアレンジメント実技なども交え、実践力となるスキルを身につけ、進路の選択肢を広げます。
【実務経験】2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。

【到達目標】

最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することができる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション・自己紹介/空間コーディネートのトレンドを考察し、レポートにまとめることができる	
2回目	空間コーディネートとは何か理解することが出来る	
3回目	課題発表/ディスカッションをすることができる	
4回目	ディスプレイに用いる仕器の組み合わせ方法を理解することが出来る	
5回目	シーゾナルイベント装花を制作できる	
6回目	商品ディスプレイについて理解することが出来る	
7回目	「ドレスコーディネートと生花」とは何かを理解することが出来る	
8回目	中間試験	
9回目	プラントハンガー制作ができる	
10回目	NEOLめ飾り制作ができる	
11回目	色彩がもたらす心理効果を理解することが出来る	
12回目	スタイリストコースが制作しているドレスを使用し、ディスプレイプランニングする①	
13回目	スタイリストコースが制作しているドレスを使用し、ディスプレイプランニングする②	
14回目	★評価週	ドレスディスプレイができる①
15回目	★まとめ・追試/再試	ドレスディスプレイができる②

準備学習
時間外学習

評価方法

中間試験30% 期末試験70%

受講生への
メッセージ

最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することで、空間コーディネート力を身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	司会・アテンド演習 Moderator / Attend Exercise	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>・司会経験者である講師がボイストレーニングから披露宴の司会が出来るようにし、アテンダー(挙式・披露宴のアテンダー)の経験がある講師による実技で理解を深める</p> <p>※実務経験 ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。 株式会社ラックに営業職として2年勤務 ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)</p> <p>【到達目標】 1～8の司会実技では、各自が進行に従いスムーズな声や姿勢を司会者としてできる。 9～13のアテンダー実技ではプランナーとして新郎新婦に寄り添うことができ、信頼のできるアテンダーの任務ができる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	①ボイストレーニング、新郎新婦入場・開宴の辞・主賓挨拶・乾杯のコメントができるようになる	
2回目	②祝宴開始・新婦お色直し入場・ウエディングケーキ入刀のコメントができる	
3回目	③新郎新婦退場・友人スピーチ・子供花束のコメントができる	
4回目	④余興コメント・電報コメントのコメントができる	
5回目	⑤キャンドルサービス・フォトサービス・プロフィールコメントができる	
6回目	⑥花束贈呈・両家代表謝辞・新郎新婦退場・お開きのコメントを習得する	
7回目	⑦テスト対策(質問)	
8回目	⑧中間テスト 司会実技(評価)	
9回目	⑨アテンド業務の役割について理解を深める(講師紹介と授業の目的)	
10回目	⑩挙式から披露宴までのアテンド業務の流れを習得する	
11回目	⑪新婦の歩き方や姿勢・ブーケの持ち方など実践できるようになる	
12回目	⑫アテンド実技で披露宴の流れを実践できるようになる(前半)	
13回目	⑬アテンド実技で披露宴の流れを実践できるようになる(後半)	
14回目	★評価週	⑭アテンド実技のテスト(評価)
15回目	★まとめ	フィードバック、授業を振り返り苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト50% 期末テスト50%	
受講生へのメッセージ	司会・アテンドの実技を身に付け、実際のブライダルにて役立てて自信を持ち、プランナーとしての誇りにしてほしいです	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	手話Ⅱ Sign Language	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。 聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。							
※実務者経験： ・手話奉仕員養成講座講師として17年 ・手話通訳養成講座指導者として3年 ・外部手話講師として13年							
【到達目標】 1年時の総復習を行い、自身の手話習得状況を把握することができる。手話表現の読み取り技術の向上を目指し、基本的な会話の読み取りができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	第28講座 話し合ってみましょうⅢ -空間をうまく使いましょう①左右・前後の空間活用ができる-
2回目	第29講座 話し合ってみましょうⅢ -空間をうまく使いましょう②上下空間・指さしと視線の活用ができる-
3回目	第30講座 話し合ってみましょうⅢ -両手や指をうまく使いましょう①手話で同時性の表現ができる-
4回目	第31講座 話し合ってみましょうⅢ -両手や指をうまく使いましょう②手話で指の代理的表現ができる-
5回目	第32講座 話し合ってみましょうⅢ -手話で繰り返しの表現ができる-
6回目	第33講座 話し合ってみましょうⅢ -手話で意味に合った手話ができる-
7回目	第34講座 話し合ってみましょうⅢ -空間・両手や指を使って手話で表現できる-
8回目	第35講座 総合練習 -基本文法を手話で表現できる-
9回目	第36講座 総合練習 -基本文法を手話で表現できる-
10回目	第37講座 総合練習 -ろう者の手話スピーチを見て、理解できる-
11回目	第38講座 総合練習 -手話を使ってみんなで話し合うことができる-
12回目	手話を使ってみんなで話し合うことができる①
13回目	手話を使ってみんなで話し合うことができる②
14回目	★評価週
15回目	★まとめ
準備学習 時間外学習	講師が、予習・復習をしながら、学習の内容を決めます
評価方法	テストの点数、授業中の態度などを評価します
受講生への メッセージ	「テキストを進めつつ、今まで習った第27講座までを生かして、ミニテスト・会話などもどんどん取り入れようと思います。 一緒に頑張りましょう。」
手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう	

科目名 (英)	手話 I・II sign language I・II	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>聴覚障害のある人の生活上の困難を理解し、適切に対処するためには、困難の原因となっている聴覚障害や言語障害を理解する。個別的な困難・不便などの課題や対応方法を学び、聴覚障害者とのコミュニケーションや手話による会話の実践を行う。</p> <p>※実務者経験： ・手話奉仕員養成講座講師として17年 ・手話通訳養成講座指導者として3年 ・外部手話講師として13年</p> <p>【到達目標】 手話の基本文法を習得する。</p>							

授業計画・内容		
1回目	「表情豊かに、具体的に」①表情・強弱・速度を理解し実践できる	
2回目	「表情豊かに、具体的に」②具体的表現(様子や形)を理解し実践できる	
3回目	「表情豊かに、具体的に」③具体的表現(動き)を理解し実践できる	
4回目	「主語をわかりやすく」①位置・方向(一対一で)理解し実践できる	
5回目	「主語をわかりやすく」②位置・方向(この場にはいない第三者を含んで)を理解し実践できる	
6回目	「主語をわかりやすく」③役割の切り替えを理解し実践できる	
7回目	「主語をわかりやすく」④指さしを理解し実践できる	
8回目	「空間をうまく使いましょう」①左右・前後の空間活用を理解し実践できる	
9回目	「空間をうまく使いましょう」②上下空間・指さしと視線の活用を理解し実践できる	
10回目	「両手や指をうまく使いましょう」①同時性を理解し実践できる	
11回目	「両手や指をうまく使いましょう」②指の代理的表現を理解し実践できる	
12回目	「繰り返しの表現」を理解し実践できる	
13回目	「意味に合った手話」理解し実践できる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	●小テスト(30%) ●実技または筆記(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生へのメッセージ		
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう</p>		

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基本的な就活スキルを学ぶ講座です。学生の自主的な活動につながるよう自己分析や履歴書の書き方や面接対策をはじめ面接官が質問する意図や求人票の見方など、実際の就職活動を効果的に進めていくための方法や、社会人としての心構えやビジネスマナーなどを織り込み、就活に対する不安を取り除きながら社会的スキルの底上げを目指す。</p> <p>※実務者経験：2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1. 自分の夢や目標を設定する。 2. 就活に対する不安を払拭し、面接力の向上と社会的スキルを磨く。</p>							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:授業の説明 ワークを通して就職活動の心構えについて理解することができる	
2回目	インターンシップ研修について目的を知り、事前の準備や電話応対などできるようになる	
3回目	会社訪問のルールやマナー、名刺交換などを身につけることができる	
4回目	履歴書の書き方、宛名書きなどを身につけることができる	
5回目	自己分析を通して、自己PRや自分の長所・短所など自分を客観的にみることができる	
6回目	自己分析を通して、自己PRや自分の長所・短所など自分を客観的にみることができる	
7回目	★中間試験	
8回目	求人票から、雇用形態、各種保険(税金)について理解することができる	
9回目	面接の目的と種類を理解し、服装と身だしなみの重要性を理解する	
10回目	面接の基本マナーと入室から退室までの基本動作を身につけることができる	
11回目	面接の受け答え(OK例・NG例)を動画から学び、実践することができる。	
12回目	面接リハーサル	
13回目	面接リハーサル	
14回目	★評価週	期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試	まとめ・フィードバック、苦手を知り克服することができる
準備学習 時間外学習	授業で学ぶことの積み上げに加え、日頃からニュース・新聞・雑誌・ネットなど自分が目指す業界について情報収集すること。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●中間試験・・・20% ●評価試験・・・80% 	
受講生へのメッセージ	就職活動とは、あなたがやりたいこと、将来の夢を実現するための第一歩の活動です。そのためにはまず、自分自身を知ることや夢や目標を明確にし、有意義な人生にしましょう。 授業では、発言の機会やロールプレイングを取り入れていますので、「練習の場」と思って積極的に参加してください。 配布されたプリントは各自でファイリングし、毎回持参してください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント(適宜配布)		

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
企業が求める「人材」を理解し、体现できるよう表現力や行動力を身につけます。 対話スキルを上げることにより、気づきの感度を身につけます。社会人としての第一歩を自信を持って踏み出せるようビジネスマナーを習得します。							
※実務者経験：2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。							
【到達目標】							
①内定を頂くことができる準備を行うことができる。②基本的なビジネスマナーを身に付け、社会人としての準備をすることができる。							

授業計画・内容		
1回目	就職活動の進捗状況確認を行い、現状に対する考えを発表することができる / シラバスの説明	
2回目	受験経験を共有し、各々の対策に活かすことができる / 内定者は受験体験レポートを作成することができる	
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる / 内定者は就職予定先の企業研究を深める	
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる(目指す将来の展望を理解する)/グループワークを通してコミュニケーション力をつける	
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる / グループワークを通してリーダーシップを学ぶことができる	
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる/志望企業に応じた応募書類を作成することができる	
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる(一問一答)	
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる	
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる/グループワークを通してコンセンサスを得る方法を学ぶことができる	
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる/受験終了者:入社後の魅力ある自己紹介をすることができる	
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究	
12回目	ビジネスマナー① 社会人としての心構え/コンプライアンス/電話応対	
13回目	ビジネスマナー② 報連相/名刺の受け渡し/ビジネス文書	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習		
評価方法	定期テスト100%	
受講生への メッセージ	自分の可能性を最大限に広げ、目標を達成させましょう。成功に必要なのは、なぜ、出来ないのかという理由ではなく、どうすればできるかという前向きな考え方であり、行動です。このような状況だからこそ、前を向いて目標に向かって努力することを惜しまない。その努力の結果が、自信と誇りになります。皆さんの輝く姿を心から楽しみにしております。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

本校にて多くの卒業生の就職講座を担当してきた教員による、就職活動に向けた基礎講座を行います。
自己分析、他己分析、就職活動に伴う書類対策を行う。質疑応答対策(グループ面接)、オンライン面接対策も行う。

※実務者経験 : 2012年フリーランスの講師として独立。専門学校講師、企業研修講師、高校生を対象に就職講座や面接指導など九州・山口を中心に活動中。

【到達目標】

11月末までに履歴書完成が出来る。
面接官に左右されない、オンライン・対面面接に対応できるようになる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	適正検査(能力検査、性格検査)について知ることが出来る。	
2回目	会社説明会(オンライン企業説明会の注意点)について知ることが出来る。	
3回目	対面面接・オンライン面接のそれぞれの第一印象の違いなどについて理解できる	
4回目	面接時の言葉遣いについて理解し、実践できる。	
5回目	自己分析を行うことが出来る①	
6回目	自己分析を行うことが出来る②	
7回目	自己PRのキーワード・キャッチコピーを自身で考え発表できる	
8回目	面接時の入室から退出までの具体的マナーを知ることが出来る	
9回目	接遇五原則(特にみだしなみについて)理解、実践できる。	
10回目	履歴書を完成させることが出来る	
11回目	ES(エントリーシート)を完成させることが出来る	
12回目	質問大会を行い面接時の対応力を磨くことが出来る	
13回目	総まとめ 後期で学んだことを再確認し実行できる。	
14回目	★評価週	期末試験グループ面接①
15回目	★まとめ・追試/再試	期末試験グループ面接②

準備学習 時間外学習	
------------	--

評価方法	グループ面接100%
------	------------

受講生へのメッセージ	面接は普段会うことのない大先輩たちとの出会いです。貴重な出会いを大切に心に残していきましょう
------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	就職講座 Employment course	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
就職活動が始まった今、1,2年次で学んだことを復習し改めて実践していくことで自分事と捉えることができ、就職活動の大変さ、大切さを理解してもらいます。この授業ではインプットをメインにして進めていきます。							
【実務経験】 保険会社の法人営業部に営業職として4年勤務(内育成トレーナー2年)/ホテルにプランナーとして1年勤務/結婚式場オープニングの為プランナーとして2年勤務 BLD WEDDINGS株式会社にプランナーとして8年勤務(在職中はマネージャーとして育成、人事、採用などにも携わる) 業界経験16年							
【到達目標】 ・自身の現状を把握し職種、受験企業を決定する ・グループディスカッションに対応できる ・選考に関する自身のウィークポイントを理解し対策を練ることができる ・深堀質問に対して答えることができる ・履歴書、自己PR、志望動機を完成させ面接に臨むことができる							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(授業内容の説明・自己紹介をプレゼン風に)
2回目	何故面接対策が必要なのかという事を理解できる/なぜなぜ分析をする
3回目	志望動機、自己PRを作成し履歴書を完成させることができる
4回目	グループ間で模擬面接を行うために企業側(面接官)の「目線」を考えてみる
5回目	グループディスカッションの出題テーマの傾向、流れ、仕組みを理解することができる
6回目	グループディスカッションを実践し各役割を理解することができる
7回目	面接を受けるにあたっての注意点について理解し説明できる
8回目	模擬面接を行い、自己振り返りができる
9回目	模擬面接のフィードバックをうけ、自己振り返りができる
10回目	SPI一般常識問題について傾向を理解し説明できる
11回目	①オンライン面接について理解することができる
12回目	②オンライン面接について理解することができる
13回目	1～13回の内容を理解し、期末テストの対策ができる
14回目	★評価週
15回目	期末テストを実施 テスト返却・テスト解答/模擬面接をすることができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト50% 模擬面接50%
受講生への メッセージ	来年年明けても自己PRや志望動機考えていたいですか？ 卒業式の時まで考えていたいですか？ みんな一緒に笑って卒業するために、今、この瞬間から就職活動を頑張り、 夏休みの間までに内定をもらい、学生最後の長期休暇(冬休み)を心おきなく楽しみましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	宿泊業務実習 Accommodation Business Training	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ホテルの重要な営業部門である宿泊部門の業務の中でも特に、フロントサービスとハウスキーピングについて、その業務内容と役割などを講義実践形式で学ぶとともに、社会人スキルの底上げとホテルマンシップを習得することができる。							
【実務経験】 藤田観光株式会社ワシントンホテルにてフロント課勤務(3年)							
【到達目標】 ①ハウスキーピングの基礎を学び、マニュアルに沿って実施することができる。 ②フロントの業務内容の基礎知識を座学やロールプレイングを通じて学ぶことができる。							

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション:講義の説明、ホテルビジネスの概要とホテルマンシップ(動機づけ)を理解する
2回目	ハウスキーピング業務① ベッドメイキングと客室備品、客室の種類について理解することができる
3回目	ハウスキーピング業務② ベッドメイキングとルームインスペクションを実践し、ベッドメイキングの流れを把握することができる
4回目	ハウスキーピング業務③ ルームアメニティとSDGsについて理解することができる
5回目	フロントオフィスの業務特性と役割について理解することができる
6回目	ホテル専門用語を使いながらチェックイン、チェックアウトの流れを理解し実践することができる
7回目	宿泊予約の電話対応を実践形式で学び、対応することができる
8回目	ドアマン、ベルスタッフ、コンシェルジュの業務内容を実践形式で学び、理解することができる
9回目	コンプレイン対応:様々な事例を取り上げ、苦情が起きる原因とお客様心理を理解し適切に対応することができる
10回目	リスクマネジメント:ホテルビジネスにおける危機管理、新型コロナウイルスについて理解することができる
11回目	前期授業のまとめ
12回目	★評価週
準備学習 時間外学習	常にモチベーションを高く、視野を広く持つこと。 体調管理に注意し、欠席しないように務めること。
評価方法	●実技試験・・・80% ●授業態度・・・20%(授業への取り組み姿勢と意欲も加味する) ※評価の詳細については、授業内で周知します。
受講生への メッセージ	お客様が望まれるサービスを提供し感動を与えるサービスのプロフェッショナルになるために、講義を受けるときはお客様目線で考え主体的に参加を期待します。そして上記にも書きましたが、常にモチベーションを高く視野を広く持つことや、体調管理はホテルマンにとっては必須ですので日頃から意識してください。 必要に応じてプリントを配布しますので、各自でファイリングしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】 宿泊業務の基礎/一般財団法人日本ホテル教育センター	

科目名 (英)	卒業制作 presentation to mark the two years study	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】

1年間学んだブライダル基礎知識を活かし、オリジナルテーマウェディングを企画・運営します。

【実務経験】

ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。
株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)

【到達目標】

オリジナル挙式・披露宴を考案→チームで運営することができる
挙式・披露宴施行に必要な役割を実践できる
チームワークを発揮することができる

授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】授業の目的を理解し説明することができる	
2回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる①	
3回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる②	
4回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる③	
5回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる④	
6回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる⑤	
7回目	チームに分かれてオリジナルウェディングの企画・考案・テーマ設定ができる⑥	
8回目	各セッションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる①	
9回目	各セッションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる②	
10回目	各セッションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる③	
11回目	各セッションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる④	
12回目	各セッションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる⑤	
13回目	各セッションに分かれて、テーマに合ったアイデアを実現できる⑥	
14回目	★評価週	当日のオペレーションができる①
15回目	★まとめ・追試/再試	当日のオペレーションができる②

準備学習
時間外学習

評価方法

レポート評価100%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	進級制作 Promotion production	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。企業様の担当者とオンラインで話す機会を設け、旅行立案のポイントを学び、企画書を用いたプレゼン実践を行います。

【実務経験】株式会社JTBにて3年間勤務。総合職として法人営業に携わる。旅行の企画立案・添乗など幅広く経験。その後、三井不動産グループ、東京ミッドタウンマネジメント株式会社へ転職。店舗マネジメント業務を経た後、イベント企画業務に携わり、イルミネーションなどの大型イベントを手がける。その後、独立し、研修講師やMC、執筆家としても活動している。講師歴5年。

【到達目標】

相手に伝わるプレゼンテーションができる。
企業で通用する企画立案ができる。
旅行立案ができる。

授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】授業の目的を知る。人の心に響く発声方法を学び、自己紹介・他己紹介をする。	
2回目	人前に立つ時の身だしなみや立ち居振る舞い、発声方法を習得する。また、プレゼンテーションの基本である話の組み立て方について理解し、実践できるようにする。	
3回目	SDS法・PREP法を使ったプレゼンテーションができるようになる。	
4回目	SDS法・PREP法を使い、企業における企画立案とプレゼンテーションができるようになる。	
5回目	企業様から旅行会社での仕事内容と旅行の企画について学ぶ。企画立案の基礎を理解し、説明できるようにする。	
6回目	企画書作成におけるタイトル付けや全体構成のコツを学び、パワーポイント作成ができるようになる。	
7回目	課題に対する企画を立案できるようにする。	
8回目	【中間テスト】企画内容をパワーポイント資料として作成し、プレゼンテーションできるようにする。	
9回目	海外旅行(個人・団体)の企画を立案できるようにする。	
10回目	海外旅行(個人・団体)の企画内容をパワーポイント資料として作成し、プレゼンテーションできるようにする。	
11回目	海外ウエディング+旅行企画を立案できるようにする。	
12回目	海外ウエディング+旅行企画内容をパワーポイント資料として作成できるようにする。	
13回目	海外ウエディング+旅行企画内容をパワーポイント資料を基に、プレゼンテーションできるようにする。	
14回目	★評価週	海外ウエディング+旅行企画プレゼン発表を行う。
15回目	★まとめ・追試/再試	企業様からのフィードバック

準備学習
時間外学習

相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。

評価方法

中間テスト20%、期末テスト80%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	卒業制作 presentation to mark the two years study	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】プレゼンテーション手法を学び、実践します。また、パワーポイントを使った企画書ができるようにします。
企業様からの課題に取り組みます

【実務経験】
ブライダル業界25年間で、ブライダルプロデュース会社「あ・うん企画」を設立し現在は育成に携わっています。
株式会社ラックに営業職として2年勤務
ブライダルプロデュース会社設立「あ・うん企画」(設立22年)

【到達目標】
相手に伝わるプレゼンテーションができる。
企業で通用する企画立案ができる。
課題に対する問題解決ができる

授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】授業の目的を知る。人の心に響く発声方法を学び、自己紹介・他己紹介をする。	
2回目	人前に立つ時の身だしなみや立ち居振る舞い、発声方法を習得する。また、プレゼンテーションの基本である話の組み立て方について理解し、実践できるようにする。	
3回目	SDS法・PREP法を使ったプレゼンテーションができるようになる。	
4回目	SDS法・PREP法を使い、企業における企画立案とプレゼンテーションができるようになる。	
5回目	企業様から課題オリエンテーション、課題を理解し説明できる	
6回目	課題の問題解決をチームで考案する①	
7回目	課題の問題解決をチームで考案する②	
8回目	課題の問題解決をチームで考案する③	
9回目	課題の問題解決をチームで考案する④	
10回目	課題の問題解決をチームで考案する⑤	
11回目	課題の問題解決をチームで考案する⑥	
12回目	課題の問題解決をチームで考案する⑦	
13回目	課題の問題解決をチームで考案する⑧	
14回目	★評価週	企業様へプレゼンテーションができる
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック

準備学習
時間外学習

相手に伝わる話し方はどのような話し方なのか、相手に伝わる企画書はどのような企画書なのか、ぜひ考えてみてください。

評価方法

最終プレゼンテーションにて評価する

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

各自、ノートと筆記用具を持参してください。

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。</p> <p>※実務経験 茶道裏千家の師範として10年以上独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。</p>						
<p>【到達目標】</p> <p>和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。</p>						

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・茶道の歴史を知ることが出来る。(千利休の人物像)茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。
2回目	和室でのふるまい(襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方)を知ることが出来る。
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。①
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
5回目	家でも楽しめるお茶の点て方を知ることが出来る。盆略点前①
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆略点前②
7回目	盆略点前③抹茶を頂くときのお茶碗の扱い方を身に付ける
8回目	実際にお茶を点てて飲むことができる。お菓子の取り方、頂き方を身に付けることができる。
9回目	「総合芸術」という茶道を深く知ることができる
10回目	点てる人(亭主)・頂く人(お客)に分かれて実際にお茶を点てることができる
11回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)
12回目	★評価週 期末テスト(実技・筆記)
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して欲しいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】

日本の伝統であり文化である書道を見直し、日常いつの時代にも必要とされる「書く」ということの原点に立ち指導する。学校で用意された筆ペン・大筆を用い、筆ペンでは主にひらがな・カタカナ・自分の名前を正確に美しく書けるように指導する。大筆では基本的点画を「永字八法」で説明した後、楷書の代表的古典「九成宮」を臨書し半紙に四字程度書くことを指導する。個々への添削を加える。

【講師経歴】 1978年 福岡教育大学書道科卒業 数年間にわたり自宅で子供向け習字教室・自宅で大人向け仮名書道教室開催
2005～2010年頃 茶道師範の方へ出張書道指導
2010年頃 約3年間「インフィニ・フィニッシングアカデミー」(ニューオータニ博多内)にて書道講師を務める
2015年～現在 木乃花の会 仮名書道講師

【到達目標】

筆ペンや大筆を正しく使い、社会人として必要なひらがな・カタカナ・自分の名前を正確に美しく書けるようになる。冠婚葬祭の場で最低限必要の手書きの心得を身に付ける。大筆を使って漢字の基本的点画を「永字八法」で習得し、楷書の手習いを通して半紙に四字程度をバランスよく書けるようになる。筆文字の楽しさを知る。

授業計画・内容

1回目	日本の伝統文化としての書道について知る。筆ペンの持ち方・角度、書く姿勢など正しくできるようになる。筆ならし、ひらがなを少し書いてみる。	
2回目	「いろはにほへと」を原字の説明を聞き、字の成り立ちに沿って書くことができる。	
3回目	カタカナのことについて説明を聞き、正しく書けるようになる。ひらがな・カタカナのおさらいをする。	
4回目	各自の氏名の書き方を指導・添削を受け、それによって悪いクセがあれば気づき修正する。	
5回目	氏名に加えて、住所の書き方についてもコツを知り、正しく美しく書けるようになる。	
6回目	冠婚葬祭に必要な表書きの心得、芳名帳を書く時のマナーなども知り、書けるようになる。	
7回目	大筆の持ち方、扱い方について説明を聞き、線や丸を書いてみる。	
8回目	「永字八法」に見る書のすべての点画の基礎について説明を聞き、「永」を書いてみる。	
9回目	楷書の代表的古典「九成宮」を臨書し、半紙に四文字程度書けるようになる。	
10回目	(続) 楷書の代表的古典「九成宮」を臨書し、半紙に四文字程度書けるようになる。	
11回目	漢字仮名まじりの四文字を半紙におさまりよく書けるようになる。	
12回目	好きな四文字熟語を書いてみて、漢字の総合的なコツを知る。	
13回目	日常役に立つ毛筆書きの文言を書けるようになる。	
14回目	★評価週	総復習として作品を仕上げることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック後、苦手を克服することができる。

準備学習
時間外学習

評価方法

筆ペンでひらがな・カタカナ・自分の名前を正しく美しく書けるようになったか。大筆で書くことに慣れ、楽しくのびのびと正確な字を書けるようになったか。

受講生への
メッセージ

筆ペンや筆は基本的なコツを覚えるととても便利で重宝する筆記具です。手書きのぬくもりを人に伝えるつもりで楽しく書道をやしましょう。上手な字より、良い字を書くことです。一人一人の個性も大事にしつつ、書くという表現のおもしろさを感じられれば幸いです。

【使用教科書・教材・参考書】

古典「九成宮醴泉銘」法帖

科目名 (英)	日本の伝統と文化	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	Japanese tradition and culture	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ブライダル総合コース				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 日本の伝統と文化の知識を深め、活用できる。							
【実務経験】 接客業経験5年以上、マナー講師5年以上、法人～個人や地方自治体の専属のマナー研修等を行っている講師などが担当							
【到達目標】 日本の伝統と文化を知り、現代に活用していく							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション・「江戸しぐさ」から学ぶ相手への心配り。相手尊重主義の行動を「江戸しぐさ」から学び、習得できる。						
2回目	お辞儀について：日本の伝統的な正しい姿勢とお辞儀を知り、現代に活かすようになる。						
3回目	「江戸しぐさ」基本心得 エコロジーと共生哲学を学び、現代に活かすことができるようになる。江戸っ子の条件。						
4回目	言葉のマナーについて：日本の正しい敬語を知り、品格をあげることができる						
5回目	EQと江戸しぐさ 心の知能指数を知り、心を肥やすことを知り、実践することができる。						
6回目	食のマナーについて：日本の食事の挨拶を知り、食を楽しむことを習得できる。						
7回目	筆ペン・基本の持ち方・名前を縦書きに書くことができる。縦書きの基本の習得ができる						
8回目	「往来しぐさ」知らない同士が和やかになれる。傘かしげなど実践できる						
9回目	冠婚葬祭のマナーについて：日本の伝統にそう、装いを知る事ができる						
10回目	「融合しぐさ」ができる 江戸しぐさの中の言葉遣い・人間関係						
11回目	筆ペン はがきや手紙を縦書きで書くことができる。						
12回目	着物の知識を身に着ける。お客さまや外国の方へ聞かれた際、対応ができるようになる。						
13回目	お茶の作法 茶道の基礎を学び、お客様へのお話ができるようになる。						
14回目	のし紙、のし袋 日常生活のいろいろなシーンで役に立つ、冠婚葬祭表書きを書いてみる。						
15回目	★まとめ・筆ペンなどまとめ	筆記試験					
準備学習 時間外学習							
評価方法	提出物 30% 筆ペンテスト 70%						
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化を知り、現代のおもてなしに役立てましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
【使用教科書・教材・参考書】 筆ペンの時間は、筆ペンの準備をお願いします。							

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員
学科・コース	ブライダル総合コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 前期 曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日本の伝統である華道を学ぶことによって、花に親しみ、季節を感じ、おもてなしの心を理解する。できるだけその季節に関する花や行事等の話もしたいと思います。</p> <p>※実務者経験 華道家元池坊・稲葉社中に約18年間に在籍し、様々な華道展に作品出品、コンクール参加、また福岡市の関係機関で講師の経験もあります。</p>						
<p>【到達目標】 華道の歴史や道具について学ぶことができる。お花の知識を身につけ、基本的ないけばなのスタイルを学ぶことができる。日本の伝統の華道について理解できる。</p> <p>華道・いけばなの起源は、自分のためではなく人のために活かせることです。 それがおもてなしの心につながっていきます。そのことを理解し、自分が活けなくても見るときに感じて下さい。</p>						

授業計画・内容		
1回目	自己紹介 華道の歴史や道具について説明し、華道の授業を理解する	
2回目	日本舞踊の歴史を理解し、説明できるようになる	
3回目	能と歌舞伎について理解し、説明できるようになる	
4回目	日本画や絵画について理解し、説明できるようになる	
5回目	着物の歴史を理解し、浴衣を着付けができるようになる	
6回目	盛花 規則を理解する 剣山の使い方を理解する	
7回目	季節の花について解説 デッサン 季節の花を理解する	
8回目	自由花 自由な発想で生けることができる 花を活かす生け方を考えてみる	
9回目	盛花を活ける 器に対する花材の長さを考え生けることができる	
10回目	盛花を活ける 季節の花材を使って生けることができる	
11回目	自由花 父の日を意識した花材で、自由に考え生けることができる	
12回目	和室における作法を理解し実践できる①(戸の開け閉め、歩き方、座り方)	
13回目	和室における作法を理解し実践できる②(戸の開け閉め、歩き方、座り方)	
14回目	★評価週	実技試験・筆記試験
15回目	★まとめ	苦手を知り克服する
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	花は、生き物なので大切に扱ってください。花に少しでも興味を持ってもらえたら、うれしいです。花は必ず持って帰ってください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ICT/AI基礎	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員
	ICT/AI fundamental	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース					曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。ITコンサルタント/プロダクトマネージャー/専門学校講師/デザイナーなど幅広く活動を行なっている。現在は、YouTubeコンテンツ制作に注力している。</p> <p>実施授業：ブライダル業界xAIで実際に社会実装を目的とした企画制作を行い、プレゼンテーションを行う。</p>						
<p>【到達目標】</p> <p>持続可能な事業として、企業に企画を受け入れてもらうことを目標としてプレゼンテーションを行う。</p>						
授業計画・内容						
1回目	前期の振り返りと後期の目標確認、制作会社のフィードバックの確認を行い、進捗の確認が出来る					
2回目	開発計画スケジュールの作成が出来る					
3回目	予算、及び収支計画の作成が出来る					
4回目	市場調査資料の作成が出来る					
5回目	プレゼンテーションビデオの作成が出来る					
6回目	プレゼンテーションの復習を行い、不足感を補える					
7回目	クライアント質疑応答対策を行いプレゼンに備えることが出来る					
8回目	クライアントフィードバックの対応一企画内容をまとめることが出来る					
9回目	クライアントフィードバックの対応一開発スケジュールを作成出来る					
10回目	クライアントフィードバックの対応一予算、及び収支計画の作成が出来る					
11回目	クライアントフィードバックの対応一市場調査をまとめることが出来る					
12回目	クライアントフィードバックの対応一質疑応答が出来る					
13回目	プレゼンテーション予行をし、本番に備えることが出来る					
14回目	★評価週 プレゼンテーション本番でクライアントに事業内容を伝えることが出来る					
15回目	★まとめ・追試/再試					
準備学習 時間外学習	なし					
評価方法	プレゼンテーションの完成度100%とする。					
受講生への メッセージ	講師、協力企業ともに、全力でサポートするので「自分たちがブライダル業界を変える！」つもりで企画を練り上げていきましょう。あと数ヶ月ですが頑張ってください！					
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>PCを毎回3台使用</p>						

科目名 (英)	ICT.AIビジネス	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	ICT / AI business	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース				2		曜日・時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】
一般的なプログラム言語「JavaScript」と「アート」を通じて、プログラミングの概要を学びます。

【実務経験】
講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。

【到達目標】
JavaScriptを通じてオブジェクト指向を学び、簡単な成果物を作成することができる

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・生徒紹介、授業の目的の共有
2回目	ハローワールドを実行することができる
3回目	関数を使用し、リファレンスを活用することができる
4回目	変数とデータ型を理解し、活用することができる
5回目	フレームを操作し、演算を活用して動的な描画を行うことができる
6回目	関数作成し、活用することができる
7回目	条件文によって、分岐処理を行うことができる
8回目	ループによって、繰り返し処理を行うことができる
9回目	偶発性を活かした線を引くことができる
10回目	偶発性を活かした円を描くことができる
11回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 1
12回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 2
13回目	オブジェクト指向を使った、自律性を持つ表現の作成が出来る 3
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
	期末テスト
	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	プロとして、すぐに活用できるスキルを習得していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース					

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

就職試験で多くの会社が入力しているSPI試験について、あらゆる角度から対策を実施します。出題の傾向やコツを掴むことができ、基本的な考え方の土台をしっかりと築くことができます。様々なワークの実践で、SPIへの苦手意識を克服し、学びが社会で役に立つという意識まで変化させることで、積極的な取り組みを実現します。

※実務経験について:4年大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。その後、イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事し、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、また大学の就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。

【到達目標】

SPIを採用する企業側の意図を理解する。問題の傾向と出題の特徴を掴むことで、効率よく問題が解けるようになる。また、いろいろなワークを通して、考える力、直感が鍛えられる。最終的に、SPIの克服が、単なる採用試験の枠を超えて「自分を高めるため」という意識を持って取り組めるようになる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、自己紹介、学ぶことの大切さについて理解し説明できる
2回目	SPIの概要について 筆記試験実施の意味合いについて理解し説明できる
3回目	問題の傾向と対策① 情報をインプットする必要性と方法を理解し説明できる
4回目	問題の傾向と対策② 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
5回目	問題の傾向と対策③ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
6回目	問題の傾向と対策④ 読書の必要性と効率の良い読み方を習得できる
7回目	問題の傾向と対策⑤ 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
8回目	問題の傾向と対策⑥ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
9回目	中間試験
10回目	試験の解説と課題設定 自分の傾向を知り、重点を置いて取り組む部分を理解し説明できる
11回目	問題の傾向と対策⑦ 非言語分野の解説 身近な例を使って傾向を掴むことができる。
12回目	問題の傾向と対策⑧ 言語分野の解説 言葉に関して構造を理解し説明できる
13回目	期末試験対策
14回目	★評価週 期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試 フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	就職試験で採用されているSPIについて事前に調べておく
評価方法	筆記試験 ・中間テスト(50%) ・期末テスト(50%)
受講生への メッセージ	筆記試験は苦手意識を持っている人が多いと思います。そこで、この授業を受けることで、SPI対策をして点数を高める努力が、実は社会に出て役に立つ人材の基礎力になることを理解して、苦手意識を克服を目指します。ひとつひとつ課題に取り組んでいくと、考え方の基礎が築かれていきます。全ては自分の役に立つと信じて、楽しく学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択 必修	年次	3	担当教員
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース					

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

航空業界入試一次試験に合格するために必要な、計算力・読解力を指導する。どの授業よりも、授業実施前の個人差が大きい内容であることを鑑み、個別指導に力点を置くとともに、学生間相互の学び合いなどを通じて、コミュニケーションを密にし、学生自身の自主性・伝達力強化も図る。

※実務経験

東証上場一部企業で営業・スタッフ・マネジメント業務に従事するかたわら、従業員採用・教育分野で25年培った新人育成の知見と、自立型完全個別学習塾における、8年間小中学生への学習指導を続ける

【到達目標】

SPIとは何かを知り、基本的な計算問題に取り組みSPIでの自身の弱点を見つけその弱点の克服に向けて何をすればよいのかを計画を立て、実行することができる。

授業計画・内容

1回目	予想問題の問題1～問題15までを理解できる	
2回目	予想問題の問題1～問題15までを解くことができる	
3回目	予想問題の問題1～問題15までを時間内に半分以上、解くことができる	
4回目	予想問題の問題16～問題35までを理解できる	
5回目	予想問題の問題16～問題35までを解くことができる	
6回目	予想問題の問題16～問題35までを時間内に半分以上、解くことができる	
7回目	予想問題の問題36～問題50までを理解できる	
8回目	予想問題の問題35～問題50までを解くことができる	
9回目	予想問題の問題35～問題50までを時間内に半分以上、解くことができる	
10回目	新たな予想問題①50問を時間内に半分以上、解くことができる	
11回目	新たな予想問題②50問を時間内に半分以上、解くことができる	
12回目	新たな予想問題③50問を時間内に半分以上、解くことができる	
13回目	新たな予想問題④50問を時間内に半分以上、解くことができる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ	フィードバック、苦手を克服できる
準備学習 時間外学習	毎回の復習テストに向けた準備を行ってください。	
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】		
必要なものを、その都度、お渡します。		

科目名 (英)	WEBマーケティング	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員
	WEBMarketing	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース					
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
ホテルでの広報経験を活かし、マーケティングとは何かを理解し、日々の生活の中でマーケティングを意識することが出来るようなヒントを与える						
【実務経験】						
【到達目標】						
「モノを売る」視点を身に付ける。特別なことではなく日頃からPRを意識した視点をもてるようになる						

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 自己紹介=自分を売る 効果的な自己紹介の仕方を学ぶ	
2回目	コミュニケーション PRする話し方のスキルを学ぶ	
3回目	マーケティングとは何かを学ぶ	
4回目	マーケティングリサーチ 情報収集	
5回目	発表①	
6回目	セグメンテーション戦略 顧客層絞り込みについて学ぶ	
7回目	ブランド戦略 ブランドの歴史とコンセプト	
8回目	PR戦略 広報活動の必要性と、手段、効果について学ぶ	
9回目	異業種マーケティング 広い視野で日頃からアンテナをはる	
10回目	飲食店マーケティング 身近な飲食店のマーケティングから学ぶ	
11回目	好きを売る 取材して発表	
12回目	発表②	
13回目	人を売る 人と人とを結びつける	
14回目	★評価週	テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	2回の発表や各課題が50点、テストが50点	
受講生への メッセージ	マーケティングは難しいというイメージをもっている方もご安心を。身近なマーケティングを学ぶことで、日々の視点が変わりビジネスへの考え方が変わります。楽しいをモットーに「へえ」と「なるほど」という気付きを大切にしていきます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
プリント(オリジナル)		

科目名 (英)	アソシエイトホスピタリティコーディネータ Associate Hospitality Coordinator	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指します。						
【到達目標】						
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 ③ホスピタリティとサービスの違いを説明することができるようになる。						③ホスピタ

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション:講義の説明 動画を視聴し「NOと言わないサービス」を理解することができる
2回目	日本のおもてなしから、サービスとホスピタリティの違いと語源を理解することができる
3回目	「ザ・リッツカールトンクレド」と「ミスティーク」を理解し、理念浸透とチームでお客様を把握することの重要性を理解することができる
4回目	ホスピタリティの実践① 笑顔の作り方、身だしなみ、立ち居振る舞いなどプロとしての雰囲気づくりを身につけることができる
5回目	ホスピタリティの実践② 話し方、言葉づかいなどプロとしての対応力を身につけることができる
6回目	ホスピタリティの実践③ 効果的な「傾聴」を理解し実践することができる
7回目	顧客ロイヤリティとホスピタリティの関係性を理解することができる
8回目	組織と社員(従業員)のホスピタリティ、ゴールデンサークル理論から学ぶリーダーシップを理解することができる
9回目	ご高齢や障がいのある方への対応について理解することができる
10回目	異文化コミュニケーション、「やさしい日本語」を学び、異文化適応力を身につけることができる
11回目	クレームが起きる原因とお客様の心理を理解し対応することができる
12回目	ハラスメントやコンプライアンスについて正しく理解することができる
13回目	実践レポート作成
14回目	★評価週
15回目	※レポート提出日 前期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、日頃から「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身につけていきます。また、ホスピタリティに関する書籍を進んで読むことや感動体験を積み重ね、感性を磨いてください。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」(2,000字以上/Word作成)・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートですので、必ず期限内に提出すること。 ※レポート作成にあたって、書き方やWordの書式設定など細かいルールがあります。講義の中で説明しますのでルールはしっかり守ること。
受講生へのメッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされており、新型コロナウイルス感染症により様々な対応を強いられている中でこそ、人の気持ちに寄り添えることができる人材が求められています。本講義では抽象的に語られがちなホスピタリティをイメージしやすいよう、様々な事例や動画を視聴し理解を深めてもらいます。授業で習ったことはすぐにアウトプットすることで身につきますのでどんどん実践しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会	
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著 グローバル人材ビジネス実務検定・接遇編/一般財団法人グローバル人材キャリア支援協会	

科目名 (英)	インバウンド inbound guide	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 国土交通省観光庁認定1級講師より、宿泊業や観光業にかかわるインバウンドの旅行の特徴、国籍による考え方の違いを学ぶ。実際のデータや実体験のストーリーをもとに、インバウンドのお客様に喜んでいただく日本での過ごし方を探っていく。また外国語が苦手でもツールを使ってコミュニケーションをとる方法を具体的に学ぶ。						
【到達目標】 異文化を理解することができる 外国のお客様に通じる接遇の基本を理解できる 外国のお客様を迎える心構えとそのポイントをすることができる。 外国のお客様とデバイスやコミュニケーションシートを使って積極的にコミュニケーションをとることができる。 英語で簡単な挨拶ができる						

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、授業の進め方
2回目	数字で見る日本の観光実態(インバウンドの数字の移り変わり)を理解できる
3回目	外国のお客様に伝わる接遇の基本を学び理解できる
4回目	外国のお客様をお迎えするときのポイントを学び理解できる
5回目	ホスピタリティーについて学び理解できる
6回目	コミュニケーションの方法について学び理解できる
7回目	多言語コミュニケーションシートを使って実践をしてみる
8回目	多言語コミュニケーションシートを使って実践をしてみる
9回目	スマホやタブレットを使って実践をしてみる
10回目	スマホやタブレットを使って実践をしてみる
11回目	日本の常識は世界の常識ではないことを学び理解できる
12回目	英語で簡単な挨拶と指示ができるようになる
13回目	英語で簡単な挨拶と指示ができるようになる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	国交省観光庁が監修したコミュニケーションシートとVoice Traを導入して事前に自分でトライしてみる
評価方法	期末テスト100%(実践も含む)
受講生への メッセージ	日本のインバウンド対応に関してはコロナを境にマスで処理する大型観光から、個人対応それもナイトタイムエンターテインメントを大事にずるに変わりつつあります。IRを含めた総合的な対応を学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 多言語コミュニケーションシート、Voicetra	

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

丁寧な自己分析と企業研究に基づき、企業に求められるホスピタリティに富んだ人柄や熱意、将来性が伝わるような応募書類の作成を指導します。
また様々な形式の面接試験でのマナーやポイントを抑え、自信を持って「傾聴」と「対話」の中での自己PRができるよう導きます。

【実務経験】

全日本空輸(株)運航本部およびANAグループにて 勤務

【到達目標】

- ①面接に向けて自身の必要なスキルを上げることができる。
- ②模擬面接を通じてスムーズに面接内で自身の考えを伝えることができる。
- ③自己分析を通じて自身の可能性に気付き、将来に向けてスキルアップへの意欲を高めることができる。
- ④企業や職種研修を通じて関心を高め、今後の業界の姿やそこの働き方をイメージすることができる。

授業計画・内容		
1回目	シラバスを使って授業の進め方、講師の自己紹介、学生の就職活動と自己紹介。	
2回目	就職と就社の違い、学生と社会人の違いを知ることができる。	
3回目	接遇5原則の誕生秘話、接遇と接客の違いを知ることができる。	
4回目	2020年からの著しい変化に伴う、今後求められる人材とは何かを知ることができる。	
5回目	2020年からの著しい変化に伴う、今後求められる人材とは何かを知ることができる。	
6回目	自己PRと強みの違いを知ることができる。	
7回目	会社に入社して何をしたいのか考えることができる。	
8回目	気になるニュースの選び方を知ることができる。	
9回目	文章の作り方や構成についてを学び、小論文と作文の違いを知ることができる。	
10回目	クッション言葉と肯定的否定語、接客用語について知ることができる。	
11回目	実践を通して職場内で使われる用語を知ることができる。	
12回目	実践を通して礼状の書き方を身につけることができる。	
13回目	実践を通して、敬語を学ぶことができる。	
14回目	★評価週	模擬授業(一人ひとり実践)
15回目	★まとめ・追試/再試	オンライン面接のポイントを理解できる 半期の総括
準備学習 時間外学習	自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。 面接練習で習ったポイントは、授業後にくり返し練習しましょう。	
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)	
受講生へのメッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布		

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修	年次	2	担当教員
	career program	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース					
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる						
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている						
【到達目標】 サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける						

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 サービスを全ての職種、キャリアで自身の価値提供の最大化ができるマインドテクニックを身に付ける							

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	コーチングスキル Coaching skills	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
ホテル・飲食業界にて責任者として、教育を担当した実績のある専任教員が過去の事例と今後起きえる事例を基に問題解決の考え方・導き方・状況判断を養います。同じ目的に向かう中で、個人の和の心をチームに活かす事を学んでいきます。						
【到達目標】						
ホスピタリティ業界で活躍するうえで、どの様に人をコントロールすることが出来るのかを学ぶ。様々な事例研究を通じて、自分なりの解決策を考えそれに対する評価を受ける事が出来る。教員実務経歴:都内外資系ホテルにてBAR勤務後、1996年ドイツへ渡りワインの栽培・収穫に携わりヨーロッパ各国を巡り知識・見分を深める。在独中は1998年世界最優秀ソムリエコンクールの優勝者「マルクス・デルモネゴ」に師事。帰国後、都内星付きレストラン・福岡市内ホテルにて従事の傍ら、10年以上業界の発展と若き人材育成へ尽力						

授業計画・内容	
1回目	思考の5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を学び意識の留意を学ぶ事が出来る。
2回目	勝者の理論と敗者の理論を学ぶ事が出来る。
3回目	チームワークと仲良し集団の違いを学び実勢出来るようになる。(自画像と他画像含む)
4回目	人前(聞く人・話す人)での姿勢・態度・言葉使いを学ぶ事が出来る。
5回目	自分の考えを纏めポジティブな表現に置き換えろ考え方を学ぶ事が出来る。
6回目	人の話を聞き、話す人の大切にしている事、重要ポイントを自分なりに考えられるようになる。
7回目	人の話を聞き、話す人が大切にしている事、重要ポイントを自分なりに考え、質問やきっかけを見出せるようになる。
8回目	人との意見が異なった時に目標・目的を聞き出し、方向性を模索する考え方を学ぶ事が出来る。
9回目	人との意見が異なった時に同じ方向性を示し同調を得る考え方を学ぶ事が出来る。
10回目	人との意見が異なった時に同じ方向性を示し相乗効果を得る考え方を学ぶ事が出来る。
11回目	課題を抽出し克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	期末試験対策を行い、半期の振り返りから見えてくる自身の課題を見つける事が出来る。
13回目	期末試験対策を行い、自身の課題に対する解決策を知ることが出来る。
14回目	★評価週 筆記試験
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	本講義は事例を基に社会で働くうえで必要な基礎スキルを身に付けていきます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コストコントロール Cost control	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテルパンフィック東京開業入社でホテル業界入り、以後は全日空ホテル開業チェーン展開に従事し、博多全日空ホテルに所属し、2000年以後はKKRホテル博多の総支配人、宿泊特化型 ホテル(351室)鹿児島の開発開業室長、外資系ベストウェスタンホテル仙台の開業準備室長を歴任し、ホテル開業運営コンサル会社2社に従事した。2014年よりホテル旅館の運営支援業務を主として株式会社HAMAソリューションズを創業し、現在に至る。特に関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、本校においては、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。

【到達目標】

ホテルに限らず、ビジネスは「入ってくるお金」=収益と「出ていくお金」=経費のバランスが大事である。その「出ていくお金」である経費が正しい範囲であるか、どういう根拠によって計算されたのかを学びホテルマネジメントの基礎を習得する。なぜ、数字が大切なのか 数字からどういうことが見えてくるのかを想像し、コントロールすることで実際の宿泊販売の管理の基礎を身に付けることができるようになる。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういう根拠によって計算されるのかを共通認識として持ち、ホテルレストラン業界のコストマネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの解説分析が出来るレベルを到達とする。

授業計画・内容

1回目	初回授業 自己紹介 学生各自自己紹介 授業スタイル説明 何故 コストを考える事が必要か? を知ることが出来る
2回目	ホテルの原価とは何か理解することができるようになる。客室の原価の有無について知ることができる
3回目	ホテル旅館の倒産する原因が理解できる様になる 潰れるホテル旅館の共通点が判る
4回目	ホテルの利益と経費 の内容が理解出来、利益を出すポイントが理解できる様になる
5回目	宿泊料飲数値分析手法が理解出来、小問題を解くことが出来る 解答説明 戦略は分析からの意味が解る
6回目	ホテルの損益収支問題を解きながら、損益収支の見方が理解出来るようになる こんなに売上で利益はこれだけ?の疑問を解決することが出来る
7回目	経費を節減する2つの方向性で経費の削減方法が理解できる 経費節減できないホテル旅館事例 で問題点が判る様になる
8回目	FBCの重要性 が理解出来て原価意識が高まる様になる 標準原価と実態原価を知ることでロスを発見することが出来る様になる
9回目	PDCAサイクルで経費節減の手法が理解できる様になる 人件費と適正要員管理の考え方が判るようになる
10回目	コストコントロールの為のホテル用度購買部門の業務内容を理解し、ホテルの物品食材購入の仕組みを知ることが出来る
11回目	ホテルマネジメントに有効な経営指標を理解することで、経営判断の重要性を理解することが出来る
12回目	PMS.CRMの役割を認識して、簡単な損益収支を理解することが出来る
13回目	自分のホテルを計画し、事業計画としての損益計算書を作成することが出来る
14回目	★評価週 損益収支に関連した筆記試験(電卓要) 前期内の小テストから抜粋問題
15回目	追試・再試はレポート提出とする
準備学習 時間外学習	コロナ禍によって、ホテルビジネスは苦境に立たされている現実から、ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。
評価方法	筆記試験100% 追試再試はレポート提出
受講生への メッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。コストコントロールは マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事だけでは無く、無駄を省き、あるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。私たちが生きている事にもコストが掛かっています。この授業をとうして、コストを考える機会にしよう。

【使用教科書・教材・参考書】

授業教材は 講師が準備するスライド資料や新聞記事コピーで実施する。 また、時折出題するテーマ別レポートも新聞やネットのニュースなどから自らが調べ、自らが自調・(情報収集して調べ) 自考・(調べた結果を自分で考える) 事が出来る様な授業と致したい。

科目名 (英)	コミュニケーション	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
	communication	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース					
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
【学習内容】司会業を活かしての、発声、発音、滑舌など基本的な話し方を学び、誰からも好感がもてる対話やスピーチ、プレゼンテーションが出来ることを目指す授業を行う。 【実務経験】 ホテルコンシェルジュやブライダルプランナーの新規接客経験						
【到達目標】 分かりやすく好感もてるアナウンスしたプレゼンテーションだけでなく自己PRでき、商品をPRでき、会社をPRでき、意見の言える人財になる						

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 自己紹介のポイントを知り活用できる	
2回目	笑顔と挨拶を練習を行い、相手への印象を変えることが出来る	
3回目	話し方基礎スキルを学ぶことが出来る(滑舌、抑揚、イントネーション、間の取り方など)	
4回目	スピーチ(30秒、1分)実際に時間を図って体感することが出来る	
5回目	スピーチ(3分)が出来るようになる	
6回目	発表もしくは課題提出が出来る	
7回目	インタビュースキル(質問の仕方、会話の広げ方、本音を引き出す話し方、印象に残る話し方)を学ぶことが出来る	
8回目	ナレーション課題①を仕上げる事が出来る	
9回目	ナレーション課題②を仕上げる事が出来る	
10回目	好きなことプレゼン(映画、本、夢中になっていること)で熱を相手に伝えることが出来る	
11回目	フリートーク術を身に付けることが出来る	
12回目	抑揚をつけて話を面白くすることを実践してみることが出来る	
13回目	ナレーション選択課題の練習を行い発表の準備が出来る	
14回目	★評価週	ナレーション課題の発表
15回目	★まとめ・追試/再試	振り返り
準備学習 時間外学習		
評価方法	ナレーション課題の発表	
受講生への メッセージ	相手により伝わるには?を考えながら練習する場です。普段の話し方も変わるし、好印象にも繋がるので積極的に実践して欲しい内容です。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	コンピューター演習 Practice of computer	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>営業、Webディレクター、ブライダルサービス、PA、カフェ運営の現場で様々なスキルを身に着けた講師として、パソコンの実務的な使い方を学習していきます。</p> <p>授業終了時には、自分のパソコンを自由に使いこなせる様に授業を進めていきます。</p>							
【到達目標】							
①自身の持っているパソコンやタブレットPCの機能を知り、活用することができる。②PowerPointを活用したプレゼンテーションに必要な基本的なスキルを身に付けることができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション:自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。タイピング練習をしてキーボードに慣れる。	
2回目	画像加工:remove bgを使い画像加工をし、自由に使えるようになる。	
3回目	PowerPoint課題①:2人チームで、おとぎ話のスライド作成。画像挿入ができるようになる。	
4回目	PowerPoint課題①:2人チームで、おとぎ話のスライド作成。文字入力装飾ができるようになる。	
5回目	PowerPoint課題①:2人チームで、おとぎ話のスライド作成。アニメーション、画面切り替えができるようになる。	
6回目	PowerPoint課題①:2人チームで、おとぎ話のスライド作成。仕上げが出来る	
7回目	PowerPoint課題①:2人チームで、おとぎ話のスライド作成。上映会を実施できる。	
8回目	メールの使い方:メーラーの環境設定と使い方がわかるようになる。	
9回目	メールの使い方:ビジネスメールのポイントと注意点を学習し、メールを送受信ができるようになる。	
10回目	便利ツールの紹介:パソコンを使う上で便利なツールを紹介、各自ダウンロードをインストールしてもらいます。他拡張子について学習し理解できる	
11回目	PowerPoint課題②:他己紹介スライドを作成① 今まで学習したスキルを使いスライドを作成できる	
12回目	PowerPoint課題②:他己紹介スライドを作成② 今まで学習したスキルを使いスライドを作成できる	
13回目	PowerPoint課題②:他己紹介スライドを作成③ 今まで学習したスキルを使いスライドを作成できる	
14回目	★評価週	PowerPoint課題②:他己紹介プレゼンが出来る
15回目		PowerPoint課題②:他己紹介プレゼン(予備)今までの復習
準備学習 時間外学習	身近にある物にコレほどの様になっているのか興味を持ってください。 分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をして欲しい。	そして自
評価方法	定期試験は実施しません。 提出物50%、発表50%で評価します。	
受講生へのメッセージ	まずはパソコンに慣れて欲しい。車の免許と一緒に一度身につけてしまえば一生ものです。 とにかく触って慣れてくださいね。	
【使用教科書・教材・参考書】		
随時必要な時にプリント及び、データで配布します。		

科目名 (英)	ソムリエ実習 Practice of Sommelier	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
【学習内容】 業界の現場に必要なワインサービスの基礎知識と基礎スキルを実技学習でフォローアップいたします ※実務経験 株式会社Plan.Do.See ホテル・レストラン店舗のソムリエとして福岡・東京・名古屋にて11年間勤務 その後独立ワインバー マルカッサン3Fを開業 現在に至る						
【到達目標】 ワイン検定 ブロンズクラス受験に挑戦できるスキルを身につけることができる ワインサービスの基礎を理解し実践できる						

授業計画・内容	
1回目	ワインのサービス概要 ワインサービスの全体的な流れを理解する
2回目	①ワインサービス お客様のエスコートからワインオーダーテイク サービス備品セッティングをすることができる
3回目	②ワインサービス ワインの抜栓を実践し挑戦する
4回目	②ワインサービス ワインの抜栓を実践し挑戦する
5回目	①サービスシーン(デート・記念日)を理解しワインサービスができる
6回目	②サービスシーン(ビジネス・接待)を理解しワインサービスができる
7回目	①ワイン別シーン(白ワイン)を理解しワインサービスができる
8回目	②ワイン別シーン(赤ワイン)を理解しワインサービスができる
9回目	①フード(コース料理)に合わせたワインの提案とサービスができる
10回目	①フード(コース料理)に合わせたワインの提案とサービスができる
11回目	②フード(アラカルト・チーズ)に合わせたワインの提案とサービスができる
12回目	②フード(アラカルト・チーズ)に合わせたワインの提案とサービスができる
13回目	最終全体まとめ 全員がワインのパニエ抜栓のスキルを習得できている
14回目	* 試験
15回目	* 試験解答解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	本講義では実際の業界現場で活かせる実技体験を習得してもらえる講義内容です 積極的に挑戦し回数を重ねることでレベルアップにつながります
【使用教科書・教材・参考書】	
日本ソムリエ協会教本 西洋料理 料飲接客サービス技法教本	

科目名 (英)	バー演習 Bar practice	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【学習内容】

バー勤務経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を学びます。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

好奇心の発掘と探求心の活かし方を学ぶ事が出来る

授業計画・内容

1回目	ホテルのレストラン・バーの種類と役割について学び理解する事ができる
2回目	バーの基本知識（歴史、材料、技法など）を習得する事ができる
3回目	基本識器具の説明、解説、シェーキング基礎を学び説明する事ができる
4回目	飲み物担当者の基本動作や機材の取り扱い方を学び説明する事ができる
5回目	ソムリエ協会推奨ワイン抜栓を習得し実施できる
6回目	スピリッツ・ジンについて学び説明する事ができる
7回目	5大ウイスキーについて学び説明する事ができる
8回目	リキュールについて学び説明する事ができる
9回目	ロングカクテルについて学び説明する事ができる
10回目	ショートカクテルについて学び説明する事ができる
11回目	ノンアルコールカクテル実習 オリジナルカクテルのレシピを学び造る事ができる
12回目	ノンアルコールカクテル実習 オリジナルカクテルを作成し説明する事ができる
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外 学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッ セージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	ビジネス日本語 Japanese language proficiency test	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】

日本語能力試験N2レベルの練習問題を中心に使用し、言語知識(文字・語彙・文法)、読解、聴解と科目ごとをバランス良く、かつ実践的な対策授業を行います。

【実務経験】

日本語学校(FLA学院、えにし日本語学校、日本教育学院など)にて14年勤務。初級から上級までの授業やJLPTやEJUの試験対策授業を担当し、主任教員としても教務および学生指導など学校業務全般に携わる。

【到達目標】

12月の日本語能力試験で、それぞれの受験レベルに合格できる。

授業計画・内容

1回目	授業の説明を聞き、JLPT合格に向けた授業内容や取り組みが理解できる
2回目	漢字1週目 語彙－派生語や複合語がわかる 聴解－問題形式を知り、質問が理解できるようになる
3回目	漢字2週目 語彙－文脈に合った語を選ぶことができる 聴解－会話文を聞いてポイントがつかめるようになる
4回目	漢字3週目 語彙－同じ意味の語に置き換えることができる 聴解－話や会話から全体としてのテーマを理解することができる
5回目	模擬試験フィードバックし、弱点が理解できる 聴解－質問やお願いなどに合った答え方がわかる
6回目	漢字4週目 語彙－意味を理解し、正しい使い方がわかる 聴解－話を聞きながらメモが取れるようになる
7回目	漢字5週目 文字・語彙－時間配分を意識して問題を解くことができる 聴解－長めの話から、複数の情報を整理して内容が聞ける
8回目	漢字6週目 言語知識問題を時間配分を意識して解くことができる
9回目	漢字7週目 JLPTのフィードバック
10回目	漢字8週目 N2の表現を使って日本語でのコミュニケーションができるようになる(敬語・謙譲語)
11回目	漢字9週目 N2の表現を使って日本語でのコミュニケーションができるようになる(オノマトペ)
12回目	漢字10週目 N2の表現を使って日本語でのコミュニケーションができるようになる(慣用句)
13回目	漢字総復習
14回目	N2レベルの総復習
15回目	JLPTのFB 自己採点
準備学習 時間外学習	1週間分の練習問題を渡します。繰り返し行うことで、漢字や語彙は一つでも多く覚えましょう。
評価方法	筆記試験…模擬試験・漢字テスト
受講生への メッセージ	N2レベルは日本で働くうえで、よく使う表現や文法がたくさん出てきます。日本語でのコミュニケーション力を身につけ、N2の合格を目指しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

スピードマスター 漢字・語彙

ドリル&ドリル 聴解・読解

公式問題集

科目名 (英)	ビバレッジ基礎 Food & Beverage Basics	必修 選択	必修	年次	1	担当教員
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース					
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法 に準ずる内容を行う						
*実務者経験 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 一級サービス技能士 2014年取得 一般社団法人 日本ソムリエ協会 JSAソムリエ呼称資格 2018年取得						
【到達目標】						
社会で通用する技術と心構え						
〈具体的な目標〉						
目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する						
目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う						
目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化						
授業計画・内容						
1回目	挨拶・歩行動作・離着席時の補助を習得する					
2回目	入店からゲスト・ホストを考慮した行動と椅子の離着席・溢さない水の注ぎ方・姿勢・足の運び方を習得する					
3回目	シルバーの名称・説明とサーバーの使用方法を習得する					
4回目	入店からメニューのお勧め・注文品の復唱・姿勢・言葉遣い・シルバーセット・溢さないコーヒーの注ぎ方を習得する					
5回目	ゲスト・ホストを考慮した料理提供とサービス雑音軽減を意識したパッシング(片づけ)・トレイの使用方法を習得する					
6回目	サービス観点に基づき中間実技試験					
7回目	知識の確認と技術習得の復習					
8回目	ソムリエ協会推奨ワイン抜栓を習得する					
9回目	12分制限時間内での課題終了ができる					
10回目	12分制限時間内での課題終了ができる					
11回目	9分制限時間内での課題終了ができる					
12回目	9分制限時間内での課題終了ができる					
13回目	試験対策					
14回目	★評価週					
15回目	★まとめ・追試/再試					
準備学習 時間 外学習	実社会を意識し身嗜みを整える。					
評価方法	筆記試験					
受講生へのメッセージ	近未来の自分の為に有意義な時間を					
【使用教科書・教材・参考書】						
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法						

科目名 (英)	フロントオペレーション	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Practice of Front Desk	授業 形態	講義実習	総時間 (単位)	15	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース				1	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

フロントの通常業務に沿った接客・接遇を学び、実習します

【実務経験】

ホテル・冠婚葬祭経3年、フロント受付実務教育経験を10年以上。講師歴2年

【到達目標】

宿泊部門のフロント業務の内容を把握し、基本的な対応が出来るようになる
様々な事例(シチュエーション)を通じて各事例ごとの対処方法を学び、実践することが出来る

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、ホテルスタッフの意識と身だしなみを知り、実践できるようになる	
2回目	宿泊部門:スタッフ心得(身だしなみ、態度、動作、言葉づかい、電話対応、コンプレイン対応)を学び、実践できるようになる	
3回目	宿泊部門:態度・動作(歩き方と姿勢、手や目の使い方、声の出し方、お辞儀・微笑みの仕方)を学び、実践できるようになる	
4回目	宿泊部門:フロント受付における言葉づかいを学び、ファーストコンタクトできるようになる	
5回目	宿泊部門:フロント受付対応にの電話対応(受ける、かける)ができるようになる	
6回目	宿泊部門:業務の流れ(客室予約、出迎え・チェックイン・滞在中・チェックアウト・見送り・清掃)	
7回目	フロント・オフィス:4つの位置付けと5つの業務のを理解し、業務の実践ができるようになる	
8回目	宿泊部門・フロント総復習にて、評価対策を確認し、自信をもってフロント対応ができる	
9回目	★評価週	確認期末テスト
準備学習 時間外学習	一度学んだことを日常に活かす工夫をする	
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	フロントとしての実習が多くなります 日常の意識を少しずつ増やしていきましょう	

宿泊業務の基礎

科目名 (英)	フロントシステム I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
	Front system practice	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						
					2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 ホテルフロントにおいて宿泊・受付に必須なホテルシステムの概要と操作の実習							
【実務経験】 ソフトウェア会社2年、フロント受付システム実務・指導経験10年、パソコン全般の活用実務経験20年以上 講師歴2年							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルフロントにおいて活用されているTAPシステム理解し、実務に活用できる予約受付ができる ・資格としてTAP検定を受験する 							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション: 自己紹介・授業の目的について フロントシステムの心得を知る事ができる						
2回目	タップシステム基本概念: ホテルにとってのITとは? 必要性 を勉強し、タップシステムの基本概念について理解できる						
3回目	宿泊予約作成(確認要項): 電話で受ける通常の宿泊予約作成に確認必要な項目を理解し実践できる						
4回目	宿泊予約作成(稼働状況): 予約登録画面上で販売可能な部屋種とその数を把握出来るようにシステムを使用できる						
5回目	宿泊予約作成(宿泊料金): 宿泊予約に紐づける料金設定(パッケージ)に関して、その意味と設定方法を理解できる						
6回目	宿泊予約作成(予約経路): 宿泊の各予約経路を学び、それぞれの特徴を理解し、役立てることができる						
7回目	宿泊予約作成(アサイン): 予約に関わるルームアサインを勉強し、意味と操作方法を習得できる						
8回目	予約作成(ケーススタディ1): 宿泊予約作成に関わる項目に踏まえた上で、実際の入力方法ができる						
9回目	レセプション関連(チェックイン): チェックイン関連の業務を学び、チェックインの流れを習得できる						
10回目	レセプション関連(ステイ): チェックイン後のレセプション関連の業務を理解し、必要な処理が出来るようになります						
11回目	キャッシャー関連(伝票登録): 伝票登録など基本的なキャッシャー業務を理解し、必要な処理が出来るようになります						
12回目	キャッシャー関連(チェックアウト): チェックアウト関連の業務を学び、チェックアウトの流れを理解できる						
13回目	総合インフォメーション: 総合インフォメーションがフロント業務を行う上での基本画面となることを理解し、できる						
14回目	★評価週						
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間外学習	パソコン操作と電話対応が基本になります 着席での対応スキルも一緒に学べるため、ホテルコンシェルジュの意識する						
評価方法	期末テスト100%						
受講生への メッセージ	ホテル独自のシステムを扱います 通常のパソコン操作と独自の操作を自分のスキルアップとして学んでください						
フロントシステム							

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 Study of Hospitality	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、教本をベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティマインドを学びます。様々な業界の事例を参考にし、現場で自ら考え実践できることを目指します。							
【到達目標】							
①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ②日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 ③ホスピタリティとサービスの違いを説明することができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	授業の目的、「なりたい自分」像の可視化、ビジネスマナーの必要性を理解して、習得に向けて高い意欲を持つことができる	
2回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる① 身だしなみ、挨拶、お辞儀、姿勢(立位、座位)、所作	
3回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる② 敬語、美しい言葉遣い	
4回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる③ 聞き取りやすい発声、アナウンス、他者を尊重する意見の述べ方	
5回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる④ 職場での心構え、目上の人(上司、先輩)や同僚との接し方	
6回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる⑤ 目上の人(上司、先輩)に対する言葉遣い、報連相の仕方	
7回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる⑥ 名刺交換、電話応対	
8回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる⑦ Eメール、書簡、冠婚葬祭マナー	
9回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる⑧ レポート、字数制限内でのわかりやすく美しい文章作成	
10回目	誠意の伝わるビジネスマナーを身につけることができる⑨ お茶・茶菓の提供	
11回目	ユニバーサル社会の考え方について理解し、様々な事情に応じた接し方や介助の方法を身につけることができる	
12回目	誠意の伝わるビジネスマナーを実践できる① 一般的なビジネスシーンをシミュレーションしたロールプレイ	
13回目	誠意の伝わるビジネスマナーを実践できる② イレギュラーなビジネスシーン(トラブル・アクシデント等)をシミュレーションしたロールプレイ	
14回目	★評価週	テスト
15回目		前期講義のまとめ
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには、日頃から「相手の立場に立つ」ことや「相手を思いやる」ことを意識し行動することで身につけていきます。また、ホスピタリティに関する書籍を進んで読むことや感動体験を積むなど、感性を磨いてください。	
評価方法	期末テスト	
受講生へのメッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされており、新型コロナウイルス感染症により様々な対応を強いられている中でこそ、人の気持ちに寄り添えることができる人材が求められています。本講義では抽象的に語られがちなホスピタリティをイメージしやすいよう、様々な事例や動画を視聴し理解を深めてもらいます。授業で習ったことはすぐにアウトプットすることで身につきますのでどんどん実践しましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会		
【参考書】図解版ホスピタリティの教科書/林田正光 著 グローバル人材ビジネス実務検定・接遇編/一般財団法人グローバル人材キャリア支援協会		

科目名 (英)	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 長崎県内のビジネスホテルにて勤務。フロント業務から宿泊管理まで、業務全般の経験がある専任講師がホテル業務に必須となっているホテルビジネス実務検定試験(H検)の取得を目指して学習を進めていく。教科書(ホテルビジネス基礎編)と検定過去問題を参考に、要点を絞り検定に向けて準備を行う。

【到達目標】
 実務シーンをイメージしながら座学の知識を身につけることができる。
 ホテルビジネス実務検定(H検)認定を目指します。

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 講師自己紹介 教科書第一節 世界の観光動向・世界の宿泊産業について理解ができる。	
2回目	第一節 日本の観光動向・日本の宿泊産業について理解ができる。	
3回目	第二節 ホテル産業について理解することができる。	
4回目	第二節 業界のトレンドについて理解ができる。	
5回目	第二節 組織について理解ができる。	
6回目	第三節 国際儀礼について理解ができる。	
7回目	第三節 ホスピタリティマインドを身につけることができる。	
8回目	第三節 接客用語の基礎を習得できるようになる。	
9回目	第三節 関連団体と法規について理解ができる。	
10回目	第四節 シーンに応じた会話表現を身につけることができる。	
11回目	総復習	
12回目	模擬試験1	
13回目	模擬試験2	
14回目	★評価週	期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試	振り返り
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを、ロールプレイをしながら練習しましょう。 それぞれの知識について、それがなぜ必要なのか・大切なのか、背景を考慮しながら学習していきましょう。	
評価方法	◆小テスト(30%) ◆定期テスト(70%)	
受講生へのメッセージ	決して簡単ではない学習内容と、検定合格を目指す授業ですが、業界の即戦力人材として必要な知識ばかりです。みんなで興味を膨らませながら、楽しく勉強していきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
ホテルビジネス 基礎編		

科目名 (英)	ホテルマネジメント I Hospitality Management I	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
授業 形態		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテルパンフィック東京開業入社でホテル業界入り、以後は全日空ホテル開業チェーン展開に従事し、博多全日空ホテルに所属し、2000年以後はKKRホテル博多の総支配人、宿泊特化型 ホテル(351室)鹿児島の開発開業室長、外資系ベストウェスタンホテル仙台の開業準備室長を歴任し、ホテル開業運営コンサル会社2社に所属した。2014年よりホテル旅館の運営支援業務を主として株式会社HAMAソリューションズを創業し、現在に至る。特に関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、本校においては、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測しながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導を行い、数値分析問題が解ける様に指導実施する。

【到達目標】

ホテル・旅館の基本的な仕組みを学び、ホテルがどのようなことに取り組んでいるのか？また「どうやって売り上げをあげていくのか」や「残業しないで良い仕事のやりかたとは？」、「顧客満足度を高めるにはどうしたらよいか」などホテルマネジメントに必要な基礎知識を習得することができる。単にサービスが好き、おもてなしが好き、だけでなく、基礎から解るホテル旅館の数値分析を知ることで経営の一端を理解し、商いの基本を学び取る。簡単な分析問題に解答できる事が出来る

1回目	ホテル旅館の特色 他業種と異なる所を理解し、ホテルで利益を出すことがどのような仕組みになっているかを理解することが出来る	
2回目	不動産投資からみたホテル旅館の事業の特性を知り、収入と支出の宿命を理解することが出来る (所有と経営と運営の分離)	
3回目	ホテルの売上計上の仕組み、経理会計組織とその役割が判るようになる	
4回目	ホテルマネジメントとホテルマーケティングとホテル会計の関係性を理解することで、学習の整理が出来るようになる	
5回目	ホテル旅館の数値分析指標と問題と解答解説練習で分析に数値が必要なことが判る	
6回目	倒産したホテル損益と利益の出ている旅館損益の比較することで利益体質の内容を読み取ることが出来るようになる	
7回目	組織的な情報管理 PMSとCRMの基本的な役割を学び、その為の必要な情報が理解出来るようになる	
8回目	サービス産業の生産性向上の方策を考え、宿泊業の将来での学びのあり方を考える事が出来る	
9回目	ホテルマーケティングとは何か？ 時代変化に合わせたマーケティングの新しい基本を知ることが出来る	
10回目	ホテルマーケティングとCSへの運動 (顧客満足にデジタルをどの様に活用するか？) コロナ禍で顧客の価値が変わった事を認識出来る	
11回目	MICEマーケティングの現状を知る 事で ホテル業が景気や国際情勢と深い関係があることを知る事が出来る	
12回目	デジタルマーケティング ウェブマーケティング 未来のホテル業を予測する 事で 学びの方向がみえる様になる	
13回目	ホテル旅館のM&A ホテル運営に関する分析手法 ポジショニング分析 競合ペネトレーション分析 など知ることで他業種との違いを認識できる	
14回目	★評価週	ホテルマネジメントやマーケティングに関連した筆記試験 前期末の小テストから抜粋問題
15回目	★まとめ・追試/再試	追試・再試はレポート提出とする
準備学習 時間外学習	日常のニュースなどへのアンテナを高め経済に関心を高め、その中でホテル観光業の実態を知り、自ら将来のホテル観光業を考える事が大切です。学習は学校内だけでなく、日常の学生の生活の中で感じ、考え、記録し、行動する事が大切です。特に昨今はホテルを不動産価値とした判断で買収や合併(M&A)の報道が多発しています。そのような記事に目を向け、企業存続の道筋などを知ることが大きな学習になる	
評価方法	筆記試験100% 追試再試はレポート提出	
受講生への メッセージ	日常のニュースなどへのアンテナを高め経済に関心を高め、その中でホテル観光業の実態を知り、自ら将来のホテル観光業を考える事が大切です。学習は学校内だけでなく、日常の学生の生活の中で感じ、考え、記録し、行動する事が大切です。オペレーションは大事です。さらに自らが経営(マネジメント)してみたら、どうなるか？を考える習慣をつけると面白い発想が出てきます。スタートアップの時代に自分が会社を起こすという発想が学習効果を高めます。 授業ではあなたがオーナー店長だったら何を？と課題も楽しみながら進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
授業教材は 講師が準備するスライド資料や新聞記事コピーで実施する。 また、時折出題するテーマ別レポートも新聞やネットのニュースなどから自らが調べ、自らが自調・(情報収集して調べ)自考・(調べた結果を自分で考える)事が出来る様な授業と致したい。		

科目名 (英)	ホテルマネジメントⅡ Hotel ManagementⅡ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテル業界に在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。本校において、収益を上げる為のホテル開業工程や数値管理、業務分析等は練習問題などで習得する。特に収益構造の仕組みを認識する指導をする。又時代背景に応じた商品プランの立案からマーケティング戦略などを学び、プレゼン能力のある学生育成をする。

【到達目標】

前期学んだことを活かし、企業プロジェクトに取り組むことが出来る。企業プロジェクトのテーマを基に自身の考えをマネジメント目線で考え、実現できる内容に磨いていくことが出来る

授業計画・内容	
1回目	後期授業に概要説明 企業プロジェクトとは? 全体図説明でこれから始まる産学連携PJの内容が理解できる。(PPTsample提示)
2回目	調査分析 1. 企業研究(連携企業を知る・規模・業種・関連事業等々) をフォーマットに纏める事で企業をしっかりと認識することが出来る
3回目	調査分析 2. 選択した宿泊施設エリアのマーケティング分析 交通・集客エリア・季節波動・競合施設・社会背景・等々 施設を含む衛リアの事が理解出来る
4回目	調査分析 3. 社会経済 今、コロナ禍で何が変化しているのか? 企業や消費者意識がどの様に変化しているのか?を調べ理解を深める事が出来る
5回目	商品立案 1. プランの考え方・作り方 説明 (ターゲット・期間・料理・部屋・内容・価格・特典) フォーマットに沿って熟考期間 感じ・考える事が出来る
6回目	商品立案 2 収入目標値 費用概算 商品での損益収支 感じ、考えた事を具体的に数字や文書に落とし込む準備が出来る
7回目	商品立案 3. 商品のマーケティング計画 特に マーケティングの4P や AIDMAの法則に沿った計画立案が出来る
8回目	プレゼン 1. 商品企画内容の精査 スライド下書きに手書きでスライドのストーリー案を検討決定する事が出来る
9回目	プレゼン 2. スライドの作り方 感じ、考え、纏めた事をスライドに落とし込む事が出来る
10回目	プレゼン 3. プレゼンの話し方・態度 プレゼンの為の話し方や態度が身に付き、堂々と説明が出来る
11回目	実演練習 1 今まで、実施したことを他の学生や他の先生に評価して頂き、本番に備える
12回目	実演練習 2 今まで、実施したことを他の学生や他の先生に評価して頂き、本番に備える
13回目	後期授業総括 商品企画立案から、マーケティング戦略策定さらに収支目標の一連の学習をすることで ホテル業界のマネジメントの一端を認識できる
14回目	★評価週 グループディスカッション (テーマ) 未定
15回目	★まとめ・追試/再試 グループディスカッション (テーマ) 未定
準備学習 時間外学習	基本的にWebsite情報を元に、色々な情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から・・・であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面では無く、社会のニュースやホテル事業施設周辺マーケット等は常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し文書化能力、プレゼンでの表現力は日常に努力が必要です。又、当然ながらPCスキルも問われるところです。
評価方法	プレゼン評価シート作成 調査分析 商品企画内容 プレゼンの評価 をもって 評価ランクをもって判定
受講生へのメッセージ	4K(感じ、考え、記録し、行動(プレゼン))の授業です。学内だけでなく、常に社会にアンテナを張っての学習です。マネジメントやマーケティングは決して難解な事では無く、日常の中に多くのヒントがある事を感じて下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	
特に無	必要に応じ、資料やフォーマットプリント配布

科目名 (英)	ホテルマネジメント検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテル業務に必要とされる知識を得る為、「ホテルビジネス実務検定試験 (H検) マネジメントレベル」の取得を目指して学習します。テキスト(ホテルビジネス基礎編)と検定過去問を参考に、要点を絞り検定に向け学習します。

【到達目標】

ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベルに合格する事ができる。

授業計画・内容

1回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習をして理解できる
2回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習復習をして理解できる
3回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる
4回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる
5回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる
6回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる
7回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる
8回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる
9回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復習をして理解できる
10回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復をして理解できる
11回目	過去問を解く
12回目	過去問を解く
13回目	過去問を解く
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	毎授業に「ホテルビジネス 基礎編」のテキストを持ってくる。授業の前までに次回授業でするテキストの内容を読んで予習をし、分からない用語など調べておく。宿題が出た場合は、期日までに必ずしてきましょう。宿題や小テストをまとめるファイルを準備しておいて下さい。
評価方法	後期試験の点数
受講生への メッセージ	テキストの用語など難しく感じると思います。分からない事は気軽に聞いてください。90分の座学ですので、睡眠を十分にとり、授業中寝ないように体調管理に気をつけて下さい。ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベル取得を目指して頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

ホテルビジネス 基礎編。 過去問プリン

科目名 (英)	ホテルマネジメント検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテル業務に必要とされる知識を得る為、「ホテルビジネス実務検定試験 (H検) マネジメントレベル」の取得を目指して学習します。テキスト(ホテルビジネス基礎編)と検定過去問を参考に、要点を絞り検定に向け学習します。

【到達目標】

ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベルに合格する事ができる。

授業計画・内容

1回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習をして理解できる
2回目	テキスト 第6章 マーケティング部門の復習復習をして理解できる
3回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる
4回目	テキスト 第7章 マーケティング部門の復習をして理解できる
5回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる
6回目	テキスト 第8章 マーケティング部門の復習をして理解できる
7回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる
8回目	テキスト 第9章 マーケティング部門の復習をして理解できる
9回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復習をして理解できる
10回目	テキスト 第10章 マーケティング部門の復をして理解できる
11回目	過去問を解く
12回目	過去問を解く
13回目	過去問を解く
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	毎授業に「ホテルビジネス 基礎編」のテキストを持ってくる。授業の前までに次回授業でするテキストの内容を読んで予習をし、分からない用語など調べておく。宿題が出た場合は、期日までに必ずしてきましょう。宿題や小テストをまとめるファイルを準備しておいて下さい。
評価方法	後期試験の点数
受講生への メッセージ	テキストの用語など難しく感じると思います。分からない事は気軽に聞いてください。90分の座学ですので、睡眠を十分にとり、授業中寝ないように体調管理に気をつけて下さい。ホテルビジネス実務検定試験 マネジメントレベル取得を目指して頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

ホテルビジネス 基礎編。 過去問プリン

科目名 (英)	ホテル概論 Introduction to the Study of Hotel	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

(株)東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティー英語指導を10年以上経験。全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。

【到達目標】

“日本を代表する有名ホテルの名称と場所、歴史、特徴を知ることができる。
日本のホテルには系列があるが、それをグループ分けして母体の企業とともにその発展の歴史を知ることができる
福岡、東京、大阪、京都、沖縄の代表的なホテルを知ることができる
外資系ホテルの特徴を知ることができる
新しく進出するホテル、改装するホテルなど最近の動きを知ることができる
”

授業計画・内容

1回目	自己紹介と授業の進め方の説明を受けホテルに関する授業の受け方を知ることができる。	
2回目	日本を代表する帝国ホテルについて知ることができる。	
3回目	ホテルには系列があることを知ることができる。	
4回目	福岡市内のホテルの歴史と詳細を知ることができる。	
5回目	東京の主要なホテルを知ることができる。	
6回目	東京ディズニーランドのホテルと横浜のホテルを知ることができる。	
7回目	大阪、京都の主要なホテルを知ることができる。	
8回目	沖縄のリゾートホテルを知ることができる。	
9回目	外資系のホテルと日本のホテルの違いを理解することができる。	
10回目	ホテルのレストランが高い理由を理解することができる。	
11回目	いいサービスについて理解することができる。	
12回目	コロナに対するホテルの対策を知ることができる。	
13回目	ホテルの組織を知ることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目		期末テスト振り返り
準備学習 時間外学習	授業で知ったホテルをもっと詳しく知るためにネットで情報を得てください。 福岡市内のホテルに実際に足を運んでみましょう。 自分なりのホテルノートを作ることをお勧めします。	
評価方法	期末試験時の筆記テストが評価の対象です。 レジメにコメントを書いて提出していただき、それを平常点とします。	
受講生への メッセージ	有名なホテル、評価の高いホテル、歴史のあるホテルにはそれぞれストーリーがあります。ぜひそれを知ってホテルを大好きになって下さい。	

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルレジメ

科目名 (英)	マーケティング論 Hotel Marketing	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の株HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在に至る。本校において、単にホテルオペレーションのトレーニング満足すること無く、収益を上げる為のマーケティングの基礎からその重要性を学び、商品売る事の仕組みを認識する様な指導をする。

【到達目標】
 学生が身近に接する広告キャンペーンや実際の事例からの実践を通じた学習を行う。自らがそれぞれのテーマに取り組み、調査研究した成果を発表する為に、①感じ ②考え ③記録 ④行動 (プレゼン) の学生自らの 研究心が醸成され、ホテルマーケティングの手法を分析判断することが出来る。

授業計画・内容

1回目	・講師自己紹介 学生に自己PR 年間の授業スタイル説明・何故マーケティングが必要かを知ることが出来る。(課題)	
2回目	・マーケティングについて学び、マーケティング応用の売れる仕組みを理解することが出来る。(課題)	
3回目	・マーケティングを構成する4つのPとは何かを理解する(5月課題)	
4回目	・商品に対する料金の決め方・客室(宿泊)料金の定価はあるのかを知ることが出来る。	
5回目	・市場と顧客の考え方について理解することが出来る。	
6回目	・マーケティングにおける販売促進活動とはどんなものかを理解することが出来る。(6月課題)	
7回目	・多様化するホテル形態・その事業特性を知ることが出来る。	
8回目	・ホテルの売上構成と、その要素について学ぶことが出来る。	
9回目	・ホテルの売上げを増やす方法について理解することが出来る。	
10回目	・AIDMAモデルとブランド戦略について学ぶことが出来る。	
11回目	・ホテルが考えるブランド戦略を知ることが出来る。(7月課題)	
12回目	・ホテルマーケティングとCSの連動について学ぶことが出来る。(夏休み課題)	
13回目	★評価週	期末テスト
14回目	★まとめ・追試/再試	・これからのホテルマーケティング
15回目	・新聞やネット情報に対し関心を持ち、感じる力と、その情報に対し考える習慣、その考えた事を記録に残し、自分の考えを発言できるようにする為、日頃からニュースに関心を持つ事 最も大事にしたい事は現状を認識して未来を予測する力をつける事	
評価方法	・課題レポート(プレゼン) 50% 期末試験結果 50%	
受講生へのメッセージ	・マーケティングは時代の変化変貌の中で、絶え間なく進化していきます。5Gの時代、VRやARの時代に、私たちの生活も企業も、そして国も、世界も変化し続けています。今を認識すると「同時に皆さんの10年後20年後を予測しながら、波に乗れる生き方をしましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】
 ・学生使用テキスト無し ・プリント配布 あるいはPPT表示による課題

科目名 (英)	マナー・プロトコル3級 Manner Protocol(3rd level)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	加藤 亜紀
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】

講義では、座学だけでなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく”身につける”ことを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすい工夫を凝らした講義内容としています。学習の成果として最終的に「マナー・プロトコル検定3級」の合格を目指して、各章の確認テスト、模擬試験等の受験対策もしっかりと行っていきます。

【実務経験】

NPO法人日本マナー・プロトコル協会認定講師。ニチイ学館委託講師20年、接遇マナー研修担当。平成21年起業 講師業Cherry代表、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコル」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリア」の講義等を担当。また企業、学校等でのマナー研修も行う。

【到達目標】

マナープロトコル検定3級合格を目指すことが出来る。学んだことを活かし、自身のマナーのレベルを上げ、社会人意識を高めることが出来る。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることが出来る。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることが出来る。

授業計画・内容

1回目	和食のマナー: DVD視聴で和食のいただき方を学ぶことが出来る。美しい箸使い、忌み箸について学ぶことで日常生活でも箸使いを意識できるようになる。お椀とお箸を実際に使い実践練習することで、正しい箸使いを理解することが出来る。	
2回目	洋食のマナー: DVD視聴で洋食のいただき方を学ぶことが出来る。洋食をいただく場面でも自信を持って臨めるようになる。実際のカタラーリ、ナプキン等を使い指導することで、正しい使い方を理解することが出来る。中国料理、各国料理のマナーについても知識を広げることが出来る。	
3回目	和室での作法: 和室にて座礼、襖の開け閉め、座布団の扱い、和室でお茶の入れ方、出し方、いただき方を学ぶことで和室での作法を実践できるようになる。第5章まとめテストを行う。	
4回目	「冠」のしきたり: スライドを使って人生の節目となる通過儀礼の成立ち、意味、種類を学ぶことで社会人としての知識を身に付けることが出来る。第7章まとめテストを行う。	
5回目	「婚」のしきたり: スライドを使って婚姻の形態、しきたりを学び、結婚式での服装、会場でのマナー等、近い将来必要になる社会人としての知識を身に付けることが出来る。第8章まとめテストを行う。	
6回目	復習: ここまでの内容の問題集の問題を解き、振り返りの学習を行うことで理解不足の部分を確認することが出来る。問題を解く力をつけて、中間テストに臨むことが出来る。	
7回目	中間テスト、解説、振り返り	
8回目	「葬」のしきたり: スライドでを使って葬儀の変遷、葬送儀礼のしきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることが出来る。第9章まとめテストを行う。	
9回目	「祭」のしきたり: スライドを使って日本の年中行事の種類、習わし、しきたりを学ぶことで社会人としての知識を身に付けることが出来る。第10章まとめテストを行う。	
10回目	試験対策①: 3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
11回目	試験対策②: 3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
12回目	試験対策③: 3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することが出来るようになる。	
13回目	期末テスト	
14回目	★評価週	期末テスト振り返り
15回目	★まとめ・追試/再試	マナー・プロトコル3級検定試験
準備学習 時間外学習	行ったところまで問題集を使用し復習する	
評価方法	期末試験	
受講生への メッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコル(国際儀礼)について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことが出来るでしょう。後半は、模擬問題を解くことで検定試験に対応できる力をつけていきます。「マナー・プロトコル検定3級」合格を指して一緒に頑張りましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

「マナー&プロトコルの基礎知識」、「マナー・プロトコル検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコル協会

科目名 (英)	ユニバーサルマナー Comprehensive Service(for disaled person)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

日本ユニバーサルマナー協会認定講師による本校向けに企画・実施するプログラムです。
より実践的なユニバーサルマナーを理解するために、座学での授業のみならず、車いすや
高齢者体験器具などを用いた体験型の授業を実施します。
業界に欠かせない、高齢者や障害者、性的マイノリティなど、多様な方々への向き合い方を身に付け、
あらゆる方に気持ちの良いサービスを提供できる人材を育成します。

【到達目標】

高齢者や障害者、性的マイノリティ等、多様な方々へ向き合うマインドを身に着ける。
上記、多様な方々への理解をもって、適切なお声かけやサポート、気持ちの良いサービスを実践できる。
ユニバーサルマナー検定2級合格に向けての知識と技術を身に付けることが出来る。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	オリエンテーション・ユニバーサルマナー検定3級の復習を行い、多様な方との基本的な向き合い方や知識を改めて理解する。
2回目	基礎概論：身体障害者の生活と心理を理解することが出来る ※到達度チェックテストの解説
3回目	基礎概論：知的障害者の生活と心理を理解することが出来る
4回目	基礎概論：精神障害者の生活と心理を理解することが出来る
5回目	基礎概論：高齢者の生活と心理を理解することが出来る
6回目	応用：職場内における精神障害・発達障害者との向き合い方について学び、より実践的なサポート方法を理解する。
7回目	応用：パラリンピック及び障害者スポーツについて 動画等参照しながら、障害者が考えている「リアル」を知る。
8回目	中間テスト実施
9回目	実技研修：車いす使用者への適切なサポートを実践できる ※車いすを使用します。
10回目	実技研修：視覚障害者への適切なサポートを実践できる
11回目	実技研修：聴覚障害者への適切なサポートを実践できる
12回目	実技研修：高齢者への適切なサポートを実践する
13回目	復習およびまとめ 多様な方との向き合い方について基本的な知識のみならず、より実践的な向き合い方を学ぶことが出来る。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試

準備学習 時間外学習	
------------	--

評価方法	ユニバーサルマナー検定(2級)に合格(100%)
------	--------------------------

受講生へのメッセージ	昨今、業界を問わずキーワードとされる「ダイバーシティ(多様性)」への理解は、まず「知ること」から始まります。 社会に出て活躍する自身の姿、多様な方へ向き合い、そして支え合うことのできる豊かな未来を想いながら、本講義を受講いただければ幸いです。
------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

適宜配布します。

科目名 (英)	レストランサービス演習 I	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	
	Restaurant service training	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
【実務経験】 レストランひらまつ: レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡: レストランサービス20年勤務 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技試験官							
【目標到達】 社会で通用する技術と心構えの習得 <具体的な目標> 目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する事が出来る 目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う事が出来る 目標③行動を言葉で、気持ちを表情で表現出来る							

授業計画・内容	
1回目	挨拶・歩行動作・離着席時の補助が出来る
2回目	入店からゲスト・ホストを考慮した行動と椅子の離着席・溢さない水の注ぎ方・姿勢・足の運び方が出来る
3回目	シルバーの名称・説明とサーバーの使用が出来る
4回目	入店からメニューのお勧め・注文品の復唱・姿勢・言葉遣い・シルバーセット・溢さないコーヒーの注ぎ方等が出来る
5回目	ゲスト・ホストを考慮した料理提供とサービス雑音軽減を意識したバッシング(片づけ)・トレイの使用方法等が出来る
6回目	サービス観点に基づき中間実技試験
7回目	知識の確認と技術習得の復習
8回目	ソムリエ協会推奨ワイン抜栓が出来る
9回目	12分制限時間内での課題終了が出来る
10回目	12分制限時間内での課題終了が出来る
11回目	9分制限時間内での課題終了が出来る
12回目	9分制限時間内での課題終了が出来る
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	期末テスト
	テスト振り返り
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストランマネジメント I	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	
	Restaurant management	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 実際の経験と手法を基に基礎から体系的に学んでいきます。							
【実務経験】 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【目標到達】 成果を上げる為の考え方の習得 目標①レストランマネジメントの全体像の把握 目標②同業他社と競合他社を把握しマネジメント能力を高めていく 目標③市場の店舗から売上予測や販売戦略を考えていく力を学びます。							
授業計画・内容							
1回目	売上(収益・収入)からレストランマネジメントの全体像を学ぶ事が出来る。						
2回目	勘定科目の収入と費用の基礎を学ぶ事が出来る。						
3回目	税金とサービス料金から見るレストラン収入の考え方を学ぶ事が出来る。						
4回目	課題を抽出出来、克服方法を考える事が出来る。						
5回目	売上構成比と客席回転率の考え方を学ぶ事が出来る。						
6回目	中間試験						
7回目	5つの益を知り収益構造の基礎を学ぶ事出来る。						
8回目	原価コントロールを学び適正価格の設定を考える事が出来る。						
9回目	事業特性の強みと弱みを学ぶ事が出来る。						
10回目	事業特性の機会と脅威を学ぶ事が出来る。						
11回目	RFM分析を用い保有顧客・稼働顧客の考え方を学ぶ事が出来る。						
12回目	課題を抽出出来、克服方法を考える事が出来る。						
13回目	試験対策						
14回目	★評価週		期末テスト				
15回目	期末テスト振り返り						
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる						
評価方法	筆記試験						
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見						
【使用教科書・教材・参考書】 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法							

科目名 (英)	レストランマネジメントⅡ Restaurant Management Ⅱ	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

【学習内容】

25年に及び現場で培ったノウハウを活かしながら実社会で通用する心構えと行動指針をレストランマネジメントと紐付けて学びます。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

実社会で通用する知識の習得

〈具体的な目標〉

実例を基に現場をしり理解を深める事

授業通じ探求心の創造と具体化を考えられる様になる事

授業計画・内容

1回目	授業の具体的な方向性を知り理解を深める事が出来る。
2回目	会社・現場が教えてくれない事を知る事で社会人対応力を養う事が出来る
3回目	ジョブタイトル別の行動指針を理解する事が出来る
4回目	電話予約の受け方の注意点を学ぶ事が出来る。
5回目	来店予約の受け方と注意点を学ぶ事が出来る。
6回目	予約に基づきテーブルアサインの考え方を身につける事が出来る
7回目	中間筆記試験
8回目	予約に基づきテーブルアサインの考え方を身につける事が出来る
9回目	シフト作成について学ぶ事が出来る
10回目	シフトを作成にチャレンジするが出来る
11回目	実例を基に対応力を活かし次回来店に繋げられる考えを身につける事が出来る。(ケーススタディ①)
12回目	実例を基に対応力を活かし次回来店に繋げられる考えを身につける事が出来る。(ケーススタディ②)
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	実技試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストラン技能検定 examination preparation	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

検定委員の経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を学びます。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

各国の歴史・文化を通じて知見を深める

〈具体的な目標〉

目標①場面に応じた表情・笑顔でサービスを行えやり直しが出来ない大切さを体得する

目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養う

目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化

授業計画・内容

1回目	レストランサービスの種類および内容(方法・任務・準備・セッティング)を学び理解する事ができる
2回目	レストランサービスの内容(お迎え・客席案内・注文確認と伝票処理・販売促進)を学び理解する事ができる
3回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容(料理・食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
6回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
7回目	中間試験
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
10回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
11回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
12回目	食品衛生及び公衆衛生を学び理解できるようになる
13回目	安全衛生を学び知識を深める事が出来る
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	実技試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストラン技能検定	必修 選択	必修選択	年次	3	担当教員	
	Restaurant service certification	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						
					4	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。

【実務経験】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技・筆記試験官

【到達目標】

全員、夏休み前には各年代の過去問90点以上

〈具体的な目標〉

目標①課題の抽出と克服が出来る

目標②類似問題の見極めが出来る

目標③問題の解き方を学ぶ事が出来る

授業計画・内容	
---------	--

1回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる。
2回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる。
3回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来るようになる。
4回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来るようになる。
5回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来るようになる。
6回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来るようになる。
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来るようになる。
8回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来るようになる。
13回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来るようになる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レストラン実務	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	Restaurant Practice	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】 実技練習を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。
【実務経験】 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2009年～実技試験官
【目標到達】 実社会で通用する基礎知識を取得し説明が出来る 実生活で活用する知識を得る事が出来る

授業計画・内容		
1回目	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる	
2回目	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる	
3回目	西洋料理に使用される主な食材(前菜・スープ・魚・甲類・貝類)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる	
4回目	西洋料理に使用される主な食材(家畜・家禽・野鳥獣肉・野菜)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる	
5回目	西洋料理に使用される主な食材(パスタ・チーズ・デザート)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる	
6回目	中間筆記試験	
7回目	課題の抽出と克服	
8回目	一般的な西洋料理調理方法(魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる	
9回目	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる	
10回目	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる	
11回目	西洋料理の食事用具・備品(銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称)を学び説明出来るようになる	
12回目	課題の抽出・試験対策	
13回目	課題の抽出・試験対策	
14回目	★評価週	実技試験
15回目		実技試験の振り返り
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる	
評価方法	実技試験	
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見	

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	レベニューマネジメント I	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	revenue management I	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテルパンフィック東京開業入社でホテル業界入り、以後は全日空ホテル開業チェーン展開に従事し、博多全日空ホテルに所属し、2000年以後はKKRホテル博多の総支配人、宿泊特化型 ホテル(351室)鹿児島の開発開業室長、外資系ベストウェスタンホテル仙台の開業準備室長を歴任し、ホテル開業運営コンサル会社2社に所属した。2014年よりホテル旅館の運営支援業務を主として株式会社HAMAソリューションズを創業し、現在に至る。特に関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、本校においては、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測しながら、収益を上げる為のレベニューマネジメント手法の基礎からその重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導によって、数値分析問題などを中心に指導実施する。

様々な種類やランクのホテル経営シュミレーションを自分で考え、「収益の高い宿泊料の決め方」や「リピーターに繋がる顧客満足の作り方」を発見していくことが出来るようになる。
レベニューマネジメントをマーケティング手法と捉え、レベニューマネジメントがどの様に実践されているかを検証することが出来るようになる。

授業計画・内容

1回目	レベニューマネジメントII の授業進行説明		レベニュー基本用語を再確認し、教科進行を理解しやすくなる
2回目	レベニューマネジメントの目的とは？ 何かを再認識して教科目的のポイントをつかむことが出来る		
3回目	戦略的価格設定 マーケティング分析4Pにおける価格の重要性を知り、日常的に見る商品価格の背景を考えることが出来る		
4回目	価格設定にあたり、価値の果たす役割を考える。品質と価格、サービスと価格の関係性を考えることが出来る		
5回目	レベニューマネジメントの10原則を知ることで、次週に続くレベニューマネージャーの役割を知ることが出来る		
6回目	レベニューマネージャーの役割 と レベニューマネジメントの工程を認識することが出来る		
7回目	需要予測の重要性	近未来を予測することが企業にとっていかに重要かを知ることが出来る	
8回目	在庫と価格管理	具体的なRMの実態はAIが処理するが、その仕組み概要を理解することが出来る	
9回目	流通経路管理	客室販売の流通経路別の管理と自社サイトの適切な管理法を理解することが出来る	
10回目	宿泊産業のレベニューマネジメント実績評価	RevPARが上昇しても利益が減少した事例の訳を考える事でコストを理解することが出来る	
11回目	飲食業界のレベニューマネジメント	宿泊業と比較しながら、飲食業でのRMを知ることが出来る	
12回目	飲食業界のレベニューマネジメント実績評価		
13回目	レベニューマネジメントの応用事例	宿泊・飲食 以外での事例を探り、未来ビジネスの中でRMの生かされ方を考えることが出来る	
14回目	★評価週	レベニューマネジメントやマーケティングに関連した筆記試験 前期内の小テストから抜粋問題	
15回目	追試・再試はレポート提出とする		

準備学習
時間外学習

ダイナミックプライシングなどの価格設定が身近に触れるようになりました。共通するのは在庫が翌日以降に持ち越せない商品が主になりますが、それ以外にも応用される商品が増えています。価格設定のシステム作業はAIによって判断され、デジタル作業になっているが本教科ではレベニューマネジメントの仕組みを深掘りして授業を進める。

評価方法

筆記試験100% 追試再試はレポート提出

受講生への
メッセージ

難解じみた教科名ですが、学生の皆さんが普段触れている商品価格に関心を持って情報収集するだけで、学習効果は上がります。AMAZONは一日に商品価格を何十回も変更しているそうです。価格は需要と供給で変化するの今回の原油価格高騰で理解できたと思います。
グループディスカッションなども交えて楽しい授業にしよう。
3年次は社会人への助走期間です。就活と合わせ前向きに行こう。

【使用教科書・教材・参考書】

授業教材は 講師が準備するスライド資料や新聞記事コピーで実施する。また、時折出題するテーマ別レポートも新聞やネットのニュースなどから自らが調べ、自らが自調・(情報収集して調べ) 自考・(調べた結果を自分で考える) 事が出来る様な授業と致したい。

科目名 (英)	レベニューマネジメントⅡ revenue management Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

ホテルバシフィック東京開業入社でホテル業界入り、以後は全日空ホテル開業チェーン展開に従事し、博多全日空ホテルに所属し、2000年以後はKKRホテル博多の総支配人、宿泊特化型ホテル(351室)鹿児島開発開業室長、外資系ベストウェスタンホテル仙台の開業準備室長を歴任し、ホテル開業運営コンサル会社2社に所属した。2014年よりホテル旅館の運営支援業務を主として株式会社HAMAソリューションズを創業し、現在に至る。特に関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、本校においては、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のレベニューマネジメント手法の基礎からその重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導によって、数値分析問題などを中心に指導実施する。

レベニューマネジメントⅠで学んだことを生かし、様々な種類やランクのホテル経営シミュレーションを自分で考え、「収益の高い宿泊料の決め方」や「リピーターに繋がる顧客満足の作り方」を発見していくことが出来るようになる。
レベニューマネジメントをマーケティング手法と捉え、レベニューマネジメントがどの様に実践されているかを検証することが出来るようになる。

授業計画・内容

4月14日	レベニューマネジメントⅡの授業進行説明	レベニュー基本用語を再確認し、教科進行を理解しやすくなる
4月21日	レベニューマネジメントの目的とは？	何かを再認識して教科目的のポイントをつかむことが出来る
4月28日	戦略的価格設定	マーケティング分析4Pにおける価格の重要性を知り、日常的に見る商品価格の背景を考えることが出来る
5月12日	価格設定にあたり、価値の果たす役割を考える。	品質と価格、サービスと価格の関係性を考えることが出来る
5月19日	レベニューマネジメントの10原則を知ることで、次週に続くレベニューマネージャーの役割を知る事が出来る	
5月26日	レベニューマネージャーの役割	レベニューマネジメントの工程を認識することが出来る
6月2日	需要予測の重要性	近未来を予測することが企業にとっていかに重要かを知ることが出来る
6月9日	在庫と価格管理	具体的なRMの実態はAIが処理するが、その仕組み概要を理解することが出来る
6月16日	流通経路管理	客室販売の流通経路別の管理と自社サイトの適切な管理法を理解することが出来る
6月23日	宿泊産業のレベニューマネジメント実績評価	RevPARが上昇しても利益が減少した事例の訳を考える事でコストを理解することが出来る
6月30日	飲食業界のレベニューマネジメント	宿泊業と比較しながら、飲食業でのRMを知ることが出来る
7月7日	飲食業界のレベニューマネジメント実績評価	
7月14日	レベニューマネジメントの応用事例	宿泊・飲食以外での事例を探り、未来ビジネスの中でRMの生かされ方を考えることが出来る
8月25日	★評価週	レベニューマネジメントやマーケティングに関連した筆記試験 前期内の小テストから抜粋問題
9月1日		追試・再試はレポート提出とする
準備学習 時間外学習	ダイナミックプライシングなどの価格設定が身近に触れるようになりました。共通するのは在庫が翌日以降に持ち越せない商品が主になりますが、それ以外にも応用される商品が増えています。価格設定のシステム作業はAIによって判断され、デジタル作業になっているが本教科ではレベニューマネジメントの仕組みを2年次教科のレベニューマネジメント！を深掘りして授業を進める。	
評価方法	筆記試験100% 追試再試はレポート提出	
受講生への メッセージ	難解じみた教科名ですが、学生の皆さんが普段触れている商品価格に関心を持って情報収集するだけで、学習効果は上がります。AMAZONは一日に商品価格を何十回も変更しているそうです。価格は需要と供給で変化するのは今回の原油価格高騰で理解できたと思います。 グループディスカッションなども交えて楽しい授業にしよう。 限なので、遅刻しない様にしよう！！ 習慣が人生を変えます。3年次は社会人への助走期間です。就活と合わせ前向きに行こう。	

【使用教科書・教材・参考書】

授業教材は、講師が準備するスライド資料や新聞記事コピーで実施する。また、時折出題するテーマ別レポートも新聞やネットのニュースなどから自らが調べ、自らが自調・(情報収集して調べ)自考・(調べた結果を自分で考える)事が出来る様な授業と致したい。

科目名 (英)	ワイン学 I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
	Wine studies I	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース				2	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
<p>教員実務経歴: 都内外資系ホテルにてBAR勤務後、1996年ドイツへ渡りワインの栽培・収穫に携わりヨーロッパ各国を巡り知識・見分を深める。</p> <p>在独中は1998年世界最優秀ソムリエコンクール優勝者「マルクス・デルモネゴ」に師事</p> <p>帰国後、都内星付きレストラン・福岡市内ホテルにて従事の傍ら、業界の発展と若き人材育成へ尽力</p> <p>※実務者経験: 厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 2004年国家資格1級取得、2005年HRSテーブルマナー認定講師、2009年HRS技能検定委員</p>						
【到達目標】						
代表的なワイン生産国の基礎知識を習得し説明出来るようになる。						
〈具体的な目標〉						
目標①ワインの奥深さとその歴史を体得する						
目標②産地による違いを知り、料理との相性やシチュエーションでのセレクション力を養う						
目標③授業通じワインづくりにかけるワイナリーの意気込みやビンテージワインへの好奇心創造の具体化						
授業計画・内容						
1回目	ワインの分類を体系的に学び基礎知識を習得。ワインの歴史、ワインの種類、ブドウの品種を学び説明出来るようになる。					
2回目	フランスのワイン 品質分類、主な産地、エチケットの読み方を学び説明出来るようになる。					
3回目	ドイツのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、産地呼称の細分、品質分類を学び説明出来るようになる。					
4回目	イタリア、アメリカのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、法律と格付けを学び説明出来るようになる。					
5回目	スペイン(ポルトガル)、オーストラリアのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種、法律と格付けを学び説明出来るようになる。					
6回目	中間筆記試験					
7回目	チリ、アルゼンチンのワイン ワインの産地と特徴、主なブドウ品種を学び知識を習得する事が出来る。					
8回目	日本のワイン、ワインの品質管理 ワインの産地と特徴、主なブドウ品種 ポルトガルのワインを学び知識を習得する事が出来る。					
9回目	フォーティファイドワイン、アロマティックワインについて学説明出来るようになる。					
10回目	ビールとスピリッツ(ブランデー、ウイスキー)について学説明出来るようになる。					
11回目	スピリッツ(ジン~テキーラ)、コーヒー、紅茶について学説明出来るようになる。					
12回目	日本酒、焼酎について学説明出来るようになる。					
13回目	試験対策					
14回目	★評価週					
15回目	★まとめ・追試/再試					
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる					
評価方法	筆記試験					
受講生へのメッ セージ	未だ見ぬ自分の新たな発見					
【使用教科書・教材・参考書】						
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法						

科目名 (英)	ワイン学Ⅱ study of wine Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

ドイツでドイツ語でワインの試験に合格した講師が2年間の滞在期間において培った経験を活かして

世界のワインを学び知識を深めていく授業です

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務)

【到達目標】

ワインを通じて各国の歴史や文化の理解度を高めます。

〈具体的な目標〉

目標①地理的状況を把握する事で知識の深堀を図ります

目標②授業を通じ国際感覚を養います

授業計画・内容

1回目	フランス(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
2回目	ドイツ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
3回目	イタリア(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
4回目	スペイン・ポルトガル(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
5回目	オーストリア・スイス(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
6回目	アメリカ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
7回目	中間試験
8回目	オーストリア・ニュージーランド(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
9回目	チリ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
10回目	アルゼンチン(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
11回目	南アフリカ(気候・地理・歴史・品種)を学ぶ事が出来る
12回目	課題を抽出し克服出来る
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	英会話 English Conversaion	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。</p> <p>※実務経験 数々の企業にてビジネスパーソンやグローバルリーダー向け英語研修を10年以上担当。</p> <p>【到達目標】 日常生活やビジネス等で、よく出てくるトピックに関して自信を持って話すことができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す、質問することができる
2回目	L. 19 場所を尋ねる、説明することができる
3回目	L. 20 道案内をする、尋ねることができる
4回目	L. 21 料金について尋ねる、説明することができる
5回目	L. 23 頻度について質問する、答えることができる
6回目	L. 24 アイテムの特徴を説明することができる
7回目	L. 25 食べ物の量について話す、尋ねることができる
8回目	L. 26 必要性に関して話す、尋ねることができる
9回目	L. 27 食生活について話す、説明することができる
10回目	L. 28 食べ物について説明する、尋ねることができる
11回目	L. 29, 30, 31 過去の出来事について話す、質問することができる。ある出来事に対してのリアクションや返答ができる
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる
13回目	総復習 わからないことを質問しテスト対策ができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
評価方法	試験100%
受講生へのメッセージ	次のレベルに進みました。更に自信をもって流暢に話せるよう一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
Speak Now 1	

科目名 (英)	英会話 English Conversation	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。</p> <p>※実務経験 数々の企業にてビジネスパーソンやグローバルリーダー向け英語研修を10年以上担当。</p> <p>【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話すことができる。</p>						

授業計画・内容		
1回目	L. 1 初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる	
2回目	L. 2, 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる	
3回目	L. 5, 6 好き・嫌い等の好みについての会話や質問返しができる	
4回目	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べるができる	
5回目	L. 11, 12 人を褒める&褒められた際の会話表現や、(衣服など)着ているものに関して述べるができる	
6回目	L. 7, 13, & 14 時間について表現することができる。日々の習慣について話す&質問することができる	
7回目	L. 19, 20 道案内をする・場所を尋ねることができる	
8回目	L. 21, 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをすることができる	
9回目	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーができる	
10回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す&質問することができる	
11回目	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答ができる	
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる	
13回目	総復習 わからないことを質問できる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	フィードバック、苦手を克服することができる
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んで起きましょう。	
評価方法	試験100%	
受講生へのメッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	英会話(ライティング) English(writing)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
※実務者経験:英語講師経験20年以上。英語翻訳業務実務経験5年。実用英語検定(3級、準2級、2級担当)面接試験官20年。Nutrition and Well-being(栄養と健康について) University of Aberdeen(アバディーン大学)/Statement of Participation(講座修了書)取得。Professional Practices for English Language Teaching(英語教育の為の専門的プラクティス)/British Council(ブリティッシュ カウンシル) Statement of Participation(講座修了書)等の資格を有した講師が、生徒の実用英語検定合格に向けて、15レッスンにわたり、英文法の総復習、英単語、慣用表現、英熟語の学習、リスニング、ライティング、面接対策を行い、生徒達が実用英語技能検定試験合格に向けて、総合的な英語力を付けることが出来る様指導する						
【到達目標】						
①英語学習に対して、プラスな面を見つけ得意科目にすることができる。②英語検定準2級・2級に合格することができる。						

授業計画・内容	
1回目	英検の出題形式を知る。実力確認問題を解く。自分の英語レベル、強みや弱点を知り、合格に向けての学習プランを立てることが出来る。
2回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
3回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
4回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。
5回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。
6回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。
7回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。 ★第1回英検受検者は長文読解練習。英検本会場6月5日実施
8回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。
9回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。
10回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。
11回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。 ★第1回英検受検者(1次合格者)は面接練習。英検本会場7月3日実施
12回目	弱点対策学習。9~11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をすべきなのかが知り、学習目標を立てることが出来る。 ★第1回英検受検者(B日程受検者)は面接練習。英検本会場7月10日実施
13回目	弱点対策学習。9~11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をすべきなのかが知り、学習目標を立てることが出来る。
14回目	★評価週 過去問題を解く。目標級の過去問題正解率60%以上を目指す。実戦練習として問題を解き、正解率60%を超えることが出来る。
15回目	今学期のまとめ。提出物の確認。
準備学習 時間外学習	基本的にクラス内で学習。暗記物及び提出物等は自分のペースで時間外学習。
評価方法	主に提出物により採点
受講生へのメッセージ	自分の弱点を知り、目標を立て、前向きに楽しみながら弱点克服と合格を目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
英単語、英熟語プリント/英検100%合格にこだわった本/過去問題プリント/英検面接カード	

科目名 (英)	英会話(ライティング) English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験:海外生活の体験が皆無なところから英検1級・TOEIC970点を修得した教員自身の学習経験と豊富なノウハウをもとに、英検準2級以上の実力をつけるための文法力を身に付けてもらう。 このレベルはかなりの実力は持ちながらも、まだ理解が曖昧で怪しい箇所もたくさんある層です。したがって各自の理解度を個別に慎重に評価しながら、しゃべる、聴く、読む、書くの4技能もフルに使いつつ楽しい授業を目指します。							
【到達目標】							
①英検検定準2級・2級取得に必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーションと自己紹介・本講座のねらいを共有することにより、やる気高めこれからの目標を設定することができる。	
2回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
3回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
4回目	文の種類・助動詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
5回目	分詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
6回目	不定詞・動名詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。	
8回目	形容詞・副詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
9回目	比較表現についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
10回目	受動態についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
11回目	名詞・冠詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
12回目	関係詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
13回目	仮定法についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより到達度を知ることができる。
15回目		テストの評価・解説を行うことにより来期への目標を立てることができる。
準備学習 時間外学習	語彙力アップのため単語のミニテストを行います。前回の授業で学んだ語彙は毎回復習をしっかりとしましょう。	
評価方法	中間テスト4割 期末テスト6割	
受講生へのメッセージ	英検準2級、2級を超えられたら、英語の理解度や運用力がぐんと上がって、現実実践に使える手ごたえが感じられます。そうなったら英語学習はますます楽しくなってきますので、ぜひその境界を一緒に超えていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
『高校英文法をひとつひとつわかりやすく』(学研) 『トレーニングノート英文法α』(受験研究社) ほか、長文プリントなど		

科目名 (英)	英会話(ライティング) English(writing)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

※実務者経験: 英語講師経験20年以上。英語翻訳業務実務経験5年。実用英語検定(3級、準2級、2級担当)面接試験官20年。Nutrition and Well-being(栄養と健康について) University of Aberdeen(アバディーン大学)/Statement of Participation(講座修了書)取得。Professional Practices for English Language Teaching(英語教育の為の専門的プラクティス)/British Council(ブリティッシュ カウンシル) Statement of Participation(講座修了書)等の資格を有した講師が、生徒の実用英語検定合格に向けて、15レッスンにわたり、英文法の総復習、英単語、慣用表現、英熟語の学習、リスニング、ライティング、面接対策を行い、生徒達が実用英語技能検定試験合格に向けて、総合的な英語力を付けることが出来る様指導する。

【到達目標】

①英語学習に対して、プラスな面を見つけ得意科目にすることができる。②自身の目指す英語検定の級に合格することができる。

授業計画・内容

1回目	英検の出題形式を知る。実力確認問題を解く。自分の英語レベル、強みや弱点を知り、合格に向けての学習プランを立てることが出来る。	
2回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。	
3回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。	
4回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を学習する。大問1の正解率を上げることが出来る。	
5回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。	
6回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問2の会話問題及びリスニング問題の傾向と解き方を学習する。大問2及びリスニング問題の正解率を上げることが出来る。	
7回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。 第1回英検受検者は長文読解練習。英検本会場6月5日実施	
8回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、大問4・5のライティング問題に対応する。ライティング問題の書き方を学び、英作文が書けるようになる。	
9回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。	
10回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。	
11回目	実力確認問題(過去問題)を解く。学期初めの点数と比較し、自分の英語レベル、強みや弱点を知ることが出来る。 英検受検者(1次合格者)は面接練習。英検本会場7月3日実施	
12回目	弱点対策学習。9~11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をすべきなのか知り、学習目標を立てることが出来る。 ★第1回英検受検者(B日程受検者)面接練習。英検本会場7月10日実施	
13回目	弱点対策学習。9~11回目のクラスで解いた(過去問題)の採点、解説、解きなおし及び個人面談。合格に向けて何をすべきなのか知り、学習目標を立てることが出来る。	
14回目	★評価週	過去問題を解く。目標級の過去問題正解率60%以上を目指す。実戦練習として問題を解き、正解率60%を超えることが出来る。
15回目	今学期のまとめ。提出物の確認。	
準備学習 時間外学習	基本的にクラス内で学習。暗記物及び提出物等は自分のペースで時間外学習。	
評価方法	主に提出物により採点	
受講生へのメッセージ	まず、合格目標を立てましょう。目標を設定し、一步一步目標級の合格まで歩んでゆきましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

英単語、英熟語プリント/英検100%合格にこだわった本/過去問題プリント/英検面接カード

科目名 (英)	英会話(リーディング) English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
<p>※実務経験:10年以上にわたり、英語初心者小学生や英語が苦手な中学生を教えてきた教員自身の体験を踏まえて、初期の文法をつまづきやすいところを丁寧に着実に教えていきます。</p> <p>しゃべる、読む、聴く、書くの4技能をフルにつかって、体全身で英語のエッセンスをとらえてもらえるような授業を目指します。基礎的な文法が身に着くと、もっと複雑な英文を読んだり話したりしなくなります。そんな「楽しさ」を知ってもらえるような工夫をします。</p>						
【到達目標】						
<p>①自身の目指す英語検定の級に対して必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。</p>						

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーションと自己紹介をすることで今後の学びへのやる気をうながし、目標を共有することができる。	
2回目	be動詞と一般動詞について学び、基礎的な理解とある程度の応用ができるようになる。	
3回目	進行形、未来形について学び、基礎的な理解とある程度の応用ができるようになる。	
4回目	助動詞について学び、基礎的な理解と、ある程度の応用ができるようになる。	
5回目	冠詞・代名詞について学び、基礎的な理解と、ある程度の応用ができるようになる。	
6回目	形容詞や副詞・接続詞について学び、基礎的な理解と、ある程度の応用ができるようになる。	
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度や弱点を知ることができる。	
8回目	比較級について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
9回目	不定詞・動名詞について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
10回目	受身表現について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
11回目	関係代名詞についてb学び、基礎的な理解を得ることができる。	
12回目	現在完了形(継続)について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
13回目	現在完了形(経験・完了)について学び、基礎的な理解を得ることができる。	
14回目	★評価週	期末テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。
15回目		期末テストの評価と今後の目標を共有することにより来期以降のゴールを描くことができる。
準備学習 時間外学習	毎回、前回の学習内容を問う小テストを行いますので、復習をしっかりとすることが大切です。	
評価方法	中間テスト3割 期末テスト7割	
受講生へのメッセージ	英語をマスターするための基礎を丁寧に教えます。基礎がしっかり固まれば、さまざまなことを英語で表現できるようになり、それはとても楽しいものです。一緒に英語の山を上りましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
『中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく』(学研) 『中学3年間の総復習 英語』(旺文社) など		

科目名 (英)	英語(リーディング) English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>高校用教科書ガイドの執筆および非常勤講師として従事。</p> <p>自身の問題作成等の経験から出題者の思考を授業にフィードバックする。今回の授業では「英検」に関する問題、選択肢の特徴から、英検に特化した学習方法を共有する。</p>							
【到達目標】							
①英語検定1級・準1級に向けて、自身の弱点を明確化することができる。②英語検定、準1級・1級を取得することができる。							

授業計画・内容		
1回目	英検準1級取得に向けての学習方法、求められる能力を説明することでマインドセットにつなげることができる。	
2回目	文章の要となる動詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで語彙力の増強につなげることができる。	
3回目	名詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで学習の方針、および語彙力の増強を図ることができる。	
4回目	形容詞、副詞に関する語彙問題の演習、解説をすることで学習の方針、および語彙力の増強を図ることができる。	
5回目	熟語に関する語彙問題の演習、解説。「熟語はあくまで構成している単語の意味の集合」であることを伝えることにより効率よく語彙力の増強を図ることができる。	
6回目	リーディング問題への対応方法及びリーディング問題(Part2)演習、解説。これにより、リーディング学習の方向性を獲得することができる。	
7回目	リーディング問題(Part2)演習、解説をすることで英文読解のメソッド及び選択肢のパターンなどを学ぶことができる。	
8回目	長文読解の中でも難易度が上昇するリーディング問題(Part3)のポイント説明。これとリーディング問題(Part3)演習解説をすることで学習の足場を築くことができる。	
9回目	リーディング問題(Part3)演習解説をすることで長文読解内容および選択肢等のパターン習得ができる。	
10回目	リーディング問題(Part3)演習解説をすることで長文読解内容および選択肢等のパターン習得ができる。	
11回目	リーディング問題(Part3)演習解説。今回は難問を扱うことでさらに問題への対応力の構築の一助とする。	
12回目	英検ミニテスト1(語彙、長文読解)を実施することで、時間配分、試験における注意点などを把握することができる。	
13回目	英検ミニテスト2(応用問題、語彙、長文読解)を実施することで、時間配分、試験における注意点、現時点での実力などを把握することができる。	
14回目	★評価週	英検ミニテスト3(応用問題、語彙、長文読解)を実施することで、授業での到達度を把握することができる。
15回目		テストの評価・解説を行うことにより来期への目標を立てることができる。
準備学習 時間外学習	ミスをした問題の復習。具体的には単語を覚えること、いかにして問題文からその単語が答えをしてつながるのかを考察することを実施する。 長文読解に関しては何度も読むことでスピードアップを図り、同時に理解を深める。	
評価方法	試験100%	
受講生へのメッセージ	英検準1級は語彙レベルでは高校レベルを超えたものになります。問題として出題される単語は普段見かけないものも多くあります。そのため積極的に自分から単語の習得をすることが一番の近道になります。 学習ベースができればいずれ合格レベルになります。一緒に英語を楽しみながらレベルアップしていきましょう!	
【使用教科書・教材・参考書】		
<ul style="list-style-type: none"> ・英検準1級をたった7日で総復習 ・英検準1級 単語、熟語問題 		

科目名 (英)	英会話(リーディング) English conversation	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
※実務経験:海外経験ほぼ皆無なか、英検1級やTOEIC970点を習得した教員自身の学習体験を生かし、英検準一級からさらに上を目指す人が必要とする文法力や語彙力をつけられるようにします。 長文読解を中心に、複雑な文章の構造や文法解説を中心に授業を行います。、難易度の高い単語などを並行して身に付けてもらえるよう工夫します。						
【到達目標】						
①英検検定準1級・1級取得に必要な文法の総復習を行い、弱点を明確化することができる。②①が達成できたのちに、リーディングの過去問題等に取り組み、不明点を解決することができる。						

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションと自己紹介・本講座のねらいを共有することにより、やる気高めこれからの目標を設定することができる。
2回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
3回目	文の種類・時制についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
4回目	文の種類・助動詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
5回目	分詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
6回目	不定詞・動名詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
7回目	中間テストを行うことにより、これまでの到達度と弱点を知ることができる。
8回目	形容詞・副詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
9回目	比較表現についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
10回目	受動態についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
11回目	名詞・冠詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
12回目	関係詞についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
13回目	仮定法についての問題を解き、長文を読むことにより文法力・語彙力・速読などのレベルを上げることができる。
14回目	★評価週
15回目	期末テストを行うことにより到達度を知ることができる。
準備学習 時間外学習	語彙力アップのために難易度の高い単語のミニテストを行います。前回の授業で学んだ語彙は毎回復習をしっかりとしましょう。
評価方法	中間テスト4割 期末テスト6割
受講生へのメッセージ	準2級レベル以上をクリアできている皆さんに必要なのは、多読です。高校で学ぶ文法をしっかりと固めつつ、難易度の高い長文を短時間で読めるようになりましょう。英文の記事などを読めるようになると世界がぐんとひろがります。その景色が見られるように、いっしょにがんばりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
『トレーニングノート英文法α』(受験研究社) ほか、準一級レベルの長文のプリント	

科目名 (英)	英語(リスニング&スピーキング)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	
	English(Listening & Speaking)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で挨拶、自己紹介ができる。 You'll be able to greet and introduce yourself in English.							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	自分や友達を紹介することができる。 You'll be able to introduce yourself and friends.
2回目	電話番号と電子メールアドレスを尋ねる You'll be able to ask for phone numbers and e-mail addresses.
3回目	部屋の物の名前が分かる。 You'll be able to name objects in the room.
4回目	職場内の場所について説明できる。 You'll be able to talk about workplace; ask for and give the locations of objects.
5回目	都市、国、大陸について話すことができる。 You'll be able to talk about cities, countries and continents.
6回目	出身地、国籍、第一言語、年齢など説明できる。 You'll be able to ask for and give information about place of origin, nationality, first language and age; describe people.
7回目	服や色について質問したり説明したりできるようになる。 You'll be able to ask about and describe clothing and colors
8回目	天気と季節について。物の所有者を見つける。 You'll be able to talk about the weather and seasons; find the owner of objects.
9回目	オフィス機器を識別することができる。 You'll be able to identify office equipments.
10回目	時間や状況の説明ができる。 You'll be able to ask for and tell time; ask about and describe current activities.
11回目	どのように仕事や学校に行くかについての質問や説明ができる。 You'll be able to ask colleagues questions; ask for and give information about how people go to work or school.
12回目	家族についてや日常生活について話せる。 You'll be able to talk about family members; describe daily and weekly routines.
13回目	レッスン1~12の復習。 Review of lesson 1 - 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% . Class attendance 15%, Class attitude 5%
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語(リスニング&スピーキング)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	
	English(Listening & Speaking)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	現在、過去、および未来の行動を説明できる。 You'll be able to describe present, past, and future actions.
2回目	誕生日や贈り物について話すことができる。友情について話せる。 You'll be able to talk about birthdays and gifts; talk about friendships.
3回目	食べ物と食べ物の購入について話すことができる。 You'll be able to talk about food and buying food.
4回目	食事時にゲストについて話すことができる。食べ物の好みを説明できる。 You'll be able to talk about being a guest at mealtime; describe food preferences.
5回目	食べ物の購入について話すことができる。食べ物を説明できる。 You'll be able to talk about buying food; describing food.
6回目	レストランで食事をするについて話すことができる。レシピ。 You'll be able to talk eating in a restaurant; recipes.
7回目	未来について話すことができる。確率について。 You'll be able to talk about the future; talk about probability.
8回目	可能性について話すことができる。警告。 You'll be able to talk about possibility; warnings.
9回目	比較できる。アドバイスする。 You'll be able to make comparisons; give advice.
10回目	自分の意見を表すことができる。賛成と反対。 You'll be able to express your opinion; agree and disagree.
11回目	人、場所、物事を説明できるようになる。 You'll be able to describe people, places, and things.
12回目	デパートで買い物ができるようになる。 You'll be able to shop in a department store.
13回目	レッスン1～12の復習。 Review of lesson 1 - 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% . Class attendance 15%, Class attitude 5%
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語(リスニング&スピーキング)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
	English(Listening & Speaking)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エアライン専門学校などで10年以上英語を教えてきた英語コミュニケーションインストラクターが、キャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけるお手伝いをさせていただきます。 An English communication instructor who has been teaching English for over 10 years at airline vocational schools will help you acquire the English proficiency necessary to realize your career dreams.							
【到達目標】							
英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.							

授業計画・内容	
1回目	続けているもの、好き嫌いについて説明できる。 You'll be able to describe ongoing activities; talk about likes and dislikes.
2回目	頻度を説明できる。経歴と趣味を説明できる。 You'll be able to describe frequency of actions; talk about personal background and interests.
3回目	過去のことや失敗したことを話すことができる。 You'll be able to talk about past activities and mishaps.
4回目	難しい経験について話したり、旅行について説明したりすることができる。 You'll be able to talk about difficult experiences and describe a trip.
5回目	将来について話すことができる。 You'll be able to describe future plans and intensions.
6回目	電話で話すことができる。お願いができる。 You'll be able to talk on the phone and ask a favor.
7回目	終わったことや終わっていないことの説明ができる。 You'll be able to describe actions that have occurred and actions that haven't accored yet.
8回目	リストを作ることが出来る。住んでいる場所でのおすすめを説明できる。 You'll be able to make lists; make recommendations; talk about things to do where you live.
9回目	期間について説明できる。体の症状について話すことができる。 You'll be able to talk about duration of activity; talk about medical symptoms and Problems.
10回目	キャリアアップの話や家族の話ができる。 You'll be able to talk about career advancement and talk about family members..
11回目	家の修理の問題を説明したり、達成したことを説明できる。 You'll be able to describe household repair problems and describe tasks accomplished.
12回目	誰かを安心させることができる。経験を説明する。就職の面接。 You'll be able to reassure someone; describe experiences; job interviews.
13回目	レッスン1~12の復習。 Review of lesson 1 - 12.
14回目	★評価週 理解度テスト comprehension test
15回目	理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test
評価方法	最終テスト80%、クラス出席15%、クラス態度5% Final test 80% . Class attendance 15%, Class attitude 5%
受講生へのメッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to cummunicate in the international society.
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語 English Conversaion	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。 Introductory level course focusing on improving students' spoken English in a conversational setting.						
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話すことができる。Students should feel more comfortable and confident in discussing everyday, high frequency topics.						

授業計画・内容	
1回目	L. 1 初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる
2回目	L. 2, 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる
3回目	L. 5, 6 好き・嫌い等の好みについての会話や質問返しができる
4回目	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べるができる
5回目	L. 11,12 人を褒める&褒められた際の会話表現や、(衣服など)着ているものに関して述べるができる
6回目	L. 7, 13, & 14 時間について表現することができる。日々の習慣について話す&質問することができる
7回目	L. 19, 20 道案内をする・場所を尋ねることができる
8回目	L. 21, 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをすることができる
9回目	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーができる
10回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す&質問することができる
11回目	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答ができる
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる
13回目	総復習
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んで起きましょう。
評価方法	試験100%
受講生へのメッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	海外観光地理 Overseas tourism geography	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
						曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

トラベル業界で営業職として4年間の実績のある専任教員が、6か国の基本情報・料理・観光地をわかりやすく、かつ行きたくなるような情報を教えていきます。具体的には、実際にお客様に渡す資料を使って、学生をお客様と捉えて授業を行います。私自身がお客様に案内するように、行きたくなる・行って楽しんでほしいと感じてもらうための授業を行います。そして、受講した学生が興味を持ち、お客様にも案内したくなると思います。また、実践的な授業だけでなく、エーブルペーカーチャーリーや海外旅行の必要な準備など、実用的な授業も行っていきます。

【到達目標】

- ・各国の基本情報を学び、各国の特徴・歴史などを理解することができる
- ・観光地(世界遺産)を理解し、お客様に情報を提供できるようになる

授業計画・内容

1回目	自己紹介・授業の説明・授業の目的を知り。本授業で何を学ぶべきか学生自身で理解する	
2回目	①韓国(基本情報、料理)を理解することができる	
3回目	②韓国(観光地)の知識を深めることができる	
4回目	①台湾(基本情報、料理)を理解することができる	
5回目	②台湾(観光地)の知識を深めることができる	
6回目	①香港(基本情報、料理)を理解することができる	
7回目	②香港(観光地)の知識を深めることができる	
8回目	①上海(基本情報、料理)を理解することができる	
9回目	②上海(観光地)の知識を深めることができる	
10回目	①ニュージーランド(基本情報、料理)を理解することができる	
11回目	②ニュージーランド(観光地)の知識を深めることができる	
12回目	①カナダ(基本情報、料理)を理解することができる	
13回目	②カナダ(観光地)の知識を深めることができる	
14回目	★評価週	6か国の基本情報・料理・観光地のテスト
15回目	★まとめ・追試/再試	6か国の基本情報・料理・観光地のテストを総復習

準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生へのメッセージ	本講義は、海外6か国の基本情報、料理、観光地を教えていきます。また、実践でも活用できるエーブルペーカーチャーリーや海外旅行の必要な準備なども教えていきます。本講義を通して、海外への興味・魅力を高めて、海外のことを好きになってもらえたらと思います。

【使用教科書・教材・参考書】

旅に出たくなる地図

科目名 (英)	企業プロジェクト CorporateCollaborationProject	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の実践的なマーケティング手法を理解する事ができる。						
【到達目標】						
①1年後の卒業展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。						

授業計画・内容		
1回目	講師紹介・本プロジェクトの目的を理解する事ができる	
2回目	福岡市内のホテル分析をする① ～楽天トラベル上でのホテル市場の見方を知ることができる	
3回目	福岡市内のホテル分析をする③ ～じゃらんnet上でのホテル市場の見方を知ることができる	
4回目	現在のシティホテルにおけるラグジュアリーサービスを知ることができる	
5回目	現地視察の実施をして現場を知ることができる	
6回目	各チームの企画概要制作①	
7回目	顧客行動心理におけるサービスが与える感動の役割とその効果を知る①	
8回目	ホテルにおけるマーケティング手法の活用を理解できる① ～SWOT分析の活用～	
9回目	各チームの企画概要制作③	
10回目	ホテルにおけるブランディングの重要性を理解できる① ～ブランドコンセプトとは何か～	
11回目	各チームの企画概要制作⑤	
12回目	各チームの企画概要制作⑦	
13回目	相手に伝わるプレゼンテーションの手法と構成を理解できる①	
14回目	★評価週	現地での課題プレゼン
15回目	★まとめ・追試/再試	プレゼン時の自己分析と各メンバー内でのフィードバックの実施
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト協賛ホテルへの視察及び課題収集を目的とした訪問	
評価方法	各講義での出席率を含む取り組み姿勢及び積極性の評価とプロジェクト成果物の完成度	
受講生へのメッセージ	実際のホテル企業との企業プロジェクトを通して、実践的なホテル専門コンサルティングの手法や思考法及び実際の事例を交え将来ホテル業界でキャリアアップを目指す人材へと成長して欲しいと思っています。その為の経験値と一緒に1年間で身に付けて頂きたいと思っています。本気でホテル業界を目指す方にとって、就職時に自信をもって強みとして語れる学び時間を全力でお伝えします。頑張ってください！	
【使用教科書・教材・参考書】		
教材テキストは無し・毎回ネット検索を実施する為、スマホ又はPCの持ち込み また本企業プロジェクト専用のノート1冊準備し、自身でノートを作る事で本授業受講終了時に自分だけのプロフェッショナルテキストが完成できます。		

科目名 (英)	企業プロジェクト CorporateCollaborationProject	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
ホテル現場経験とホテル旅館専門コンサルティング会社の現役コンサルタントがホテル概論からの観点だけではなく、現状の宿泊事情と共に最新の潮流を交えながら宿泊業界の実践的なマーケティング手法を理解することができる。						
【到達目標】						
①1年後の卒業展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。						

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・本プロジェクトの目的を理解することができる
2回目	福岡市内のホテル分析をする① ～楽天トラベル上でのホテル市場の見方を知ることができる
3回目	福岡市内のホテル分析をする③ ～じゃらんnet上でのホテル市場の見方を知ることができる
4回目	現在のシティホテルにおけるラグジュアリーサービスを知ることができる
5回目	現地視察の実施をして現場を知ることができる
6回目	各チームの企画概要制作①
7回目	顧客行動心理におけるサービスが与える感動の役割とその効果を知る①
8回目	ホテルにおけるマーケティング手法の活用を理解できる① ～SWOT分析の活用～
9回目	各チームの企画概要制作できる
10回目	ホテルにおけるブランディングの重要性を理解できる① ～ブランドコンセプトとは何か～
11回目	各チームの企画概要制作できる
12回目	各チームの企画概要制作できる
13回目	相手に伝わるプレゼンテーションの手法と構成を理解できる①
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	企業プロジェクト協賛ホテルへの視察及び課題収集を目的とした訪問
評価方法	各講義での出席率を含む取り組み姿勢及び積極性の評価とプロジェクト成果物の完成度
受講生へのメッセージ	実際のホテル企業との企業プロジェクトを通して、実践的なホテル専門コンサルティングの手法や思考法及び実際の事例を交え将来ホテル業界でキャリアアップを目指す人材へと成長して欲しいと思っています。その為の経験値と一緒に1年間で身に付けて頂きたいと思っています。本気でホテル業界を目指す方にとって、就職時に自信をもって強みとして語れる学び時間を全力でお伝えします。頑張ってください！
【使用教科書・教材・参考書】	
教材テキストは無し・毎回ネット検索を実施する為、スマホ又はPCの持ち込み また本企業プロジェクト専用のノートを1冊準備し、自身でノートを作る事で本授業受講終了時に自分だけのプロフェッショナルテキストが完成できます。	

科目名 (英)	空間コーディネート実習 Spatial coordination	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							

10年以上数々のハイブランドコレクションや店舗、ホテルウェディング・レストランウェディングを多数担当し、自身もフラワーブランドを主宰する講師が担当。昨今のブライダル・ファッションのトレンドをふまえて、これまで培った知識・経験を余すことなく落とし込んだ空間コーディネートのフラワートレンド講義を行う。

【到達目標】

①目的やシチュエーションによって、空間コーディネートがどのように人の心理に影響を与えるのかを知ることができる。②SNSやパンフレットを基に様々なホテルや飛行機内の空間コーディネートを比較して見ることができる。(校外実習も含む)③実際に自身で空間コーディネートを行い、PPT作成をもってプレゼンすることができる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション・自己紹介／前期授業内容について	
2回目	空間コーディネートとは何か理解することができる。	
3回目	VMDについて理解することができる。	
4回目	ディスプレイに用いる什器の効果的な組み合わせを理解し、実践に生かすことができるようになる。	
5回目	色彩がもたらす心理効果について学び身につけることができる	
6回目	グループワーク／空間に用いる色合わせでクライアントのニーズに応えるワークを行い理解できる	
7回目	前回のグループワークで提案した内容・意図を発表できる	
8回目	フィールドワーク準備／ホテルの空間コーディネートトレンドを意識した考察ポイントを整理し、次週に備える。	
9回目	校外実習(ホテル見学・日程調整中) 見学後考察をレポートにまとめることができる	
10回目	フィールドワークで考察した内容・感想をプレゼンテーション出来る	
11回目	ファッション視点からエアラインやホテルの制服に関して、最新のトレンドを知ることができる	
12回目	シーズナル装花／サマーアレンジメント制作ができるようになる。(¥2,000)	
13回目	期末試験	
14回目	★評価週	自身の考えた空間コーディネートの提案プレゼンテーション
15回目	復習	プレゼンテーションができる

準備学習
時間外学習

期末70%／プレゼンテーション30%

評価方法

受講生への
メッセージ

最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び理解を深めることで、実践に活かすことができる空間コーディネート力を身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	国内観光地理 Domestic Tourism Geography	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 旅行会社にてコンシェルジュとして現役で活躍する講師が、日本国内の地理や観光地について授業を行う。国内の観光地をテキストを使用して、今後の実務に応用できるよう学ぶ。
 九州・沖縄、中国、四国、関西、北陸、東海、関東、東北、北海道 の9つに分けて 観光地の勉強と、グループで旅行の計画をしてもらいます。

【到達目標】
 日本全国の地理・観光名所をテキストや経験談から学び、日本の良さを人に伝えることができるようになる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	挨拶、自己紹介、授業のすすめ方の説明、アンケート調査	
2回目	沖縄・九州の観光地授業の内容を理解する。	
3回目	沖縄・九州・中国の観光地授業の内容を理解する。	
4回目	中国・四国の観光地授業の内容を理解する。	
5回目	関西 観光地授業の内容を理解する。 日帰り旅行企画説明を聞き、実施内容を理解する。	
6回目	九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで作成する。	
7回目	九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで発表する。	
8回目	関西 観光地授業の内容を理解する。	
9回目	北陸・東海 観光地授業の内容を理解する。	
10回目	関東・東北 観光授業の内容を理解する。	
11回目	関東・東北 観光授業の内容を理解する。	
12回目	北海道 観光地授業の内容を理解する。	
13回目	北海道 観光地授業の内容を理解する。 テスト説明を聞き、内容を理解する。	
14回目	★評価週	筆記テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト振り返り

準備学習 時間外学習	
------------	--

評価方法	日帰り旅行企画での評価 50% 筆記テストでの評価 50%
------	----------------------------------

受講生へのメッセージ	総合的なコンシェルジュを目指しましょう。
------------	----------------------

【使用教科書・教材・参考書】	
----------------	--

科目名 (英)	就職講座 Recruitment Seminar	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、1年次に習得した自己分析を基に各々の志望職種とその適正にフォーカスし、説得力のある自己PRや志望動機を作成できます。また、模擬面接を繰り返し行い、口述スキルを磨いていきます。

【到達目標】

- (1)自己分析の結果を用いて、強み、適正、能力、将来のビジョンを客観的に捉えることができる。
- (2)やりたい仕事、働きたい企業を徹底的に分析し、説得力のある志望動機へと導くことができる。
- (3)採用試験合格のための応募書類を作成することができる。
- (4)面接の実践練習を繰り返し行うことで、個別面接・オンライン・グループディスカッションの口述スキルを身につけることができる。
- (5)就職内定取得者は、実用的かつ入社後役に立つ課題に取り組み社会人としての心構えを身につけることができる。

授業計画・内容

1回目	就職活動の進捗状況確認および航空業界の現状に対する考察ができる
2回目	明確な目標設定ができる (行動の見える化に取り組む) 就活スケジュールを作成することができる
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる (目指す将来の展望を理解する)
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる / 志望企業に応じた応募書類を作成することができる
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる (一問一答) / 過去問に対してPREP法にて答えることができる
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究
12回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:「合格体験記」記録
13回目	夏季休暇前の総括ができる 自己評価の発表
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試

準備学習
時間外学習

評価方法

定期テスト 100%

受講生へのメッセージ

この一年をどのように過ごすかがとても重要です。プロフェッショナルな接客スキルを身につけるために、積極的に行動しホスピタリティマインドを育む楽しさを習慣化しましょう! 笑顔は周りの人を幸せにします。あなたの周りを幸せな人でいっぱいしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	宿泊オペレーション	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
	Practice of Lodging	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース				1	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
サービス業界にて10年以上の接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績のある専任講師が、他の業務の基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃のチーム意識と行動を身につけることができる						
【到達目標】						
<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの主体である宿泊に関する業務を知る ・ロールプレイングをすることによって、業務を実践的に身につけることができる 						
授業計画・内容						
1回目	オリエンテーション、ホテルの心得を理解できる					
2回目	ホテルの心得・専門用語と使い方・言葉づかい・電話対応を理解できる					
3回目	現代のホテルビジネスを支える情報システムを理解できる					
4回目	宿泊部門／業務の流れ(客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り)を理解できる					
5回目	宿泊部門／フロントオフィスの業務について理解できる					
6回目	リスクマネジメント／ホテルビジネスにおける危機管理意識を理解できる					
7回目	コンプレイン対応／ケーススタディからコンプレイン対応を理解できる					
8回目	評価対策、「サービスのプロ」としての在り方を理解できる					
9回目	★まとめ・追試/再試			期末テスト		
準備学習 時間外学習	・授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記30%、実習試験50%(ロールプレイング) ・授業態度20%(学んでいる姿勢、表情、言葉遣い、ディスカッションでの発言) 					
受講生への メッセージ	・学科で学んでいることを進んで行動し、ロールプレイングに活かし、即戦力になれるよう学んでほしいです					
【使用教科書・教材・参考書】						
<ul style="list-style-type: none"> ・学校テキスト 						

科目名 (英)	宿泊業務演習	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員
	Practice of Lodging	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース				2	曜日・時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						
サービス業界にて10年以上の接客およびフロント業務の実務と社員研修の実績のある専任講師が、他の業務の基礎知識と実践的な内容を行うことで、日頃のチーム意識と行動を身につけることができる						
【到達目標】						
<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの主体である宿泊に関する業務を知る ・ロールプレイングをすることによって、業務を実践的に身につけることができる 						
授業計画・内容						
1回目	オリエンテーション、ホテルの心得を理解できる					
2回目	ホテルの心得・専門用語と使い方・言葉づかい・電話対応を理解できる					
3回目	現代のホテルビジネスを支える情報システムを理解できる					
4回目	宿泊部門／業務の流れ(客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り)を理解できる					
5回目	宿泊部門／業務の流れ(客室予約、出迎え、チェックイン、滞在中、チェックアウト、見送り)を実践形式で対応できる					
6回目	宿泊部門／フロントオフィスの業務について理解できる					
7回目	★中間評価					
8回目	ロールプレイング／ベルマン・ドアマン・クロークの業務を理解し、実践形式で対応できる					
9回目	ロールプレイング／フロント業務(リザーベーション、レセプション、インフォメーションなど)を理解し、実践形式で対応できる					
10回目	ロールプレイング／フロント、コンシェルジュ業務を実践形式で対応出来る					
11回目	リスクマネジメント／ホテルビジネスにおける危機管理意識を理解できる					
12回目	コンプレイン対応／ケーススタディからコンプレイン対応を理解できる					
13回目	評価対策、「サービスのプロ」としての在り方を理解できる					
14回目	★評価週					
15回目	★まとめ・追試/再試					
準備学習 時間外学習	・授業で学んだことは、日常の意識と自身で使いこなす工夫をしていく					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記30%、実習試験50%(ロールプレイング) ・授業態度20%(学んでいる姿勢、表情、言葉遣い、ディスカッションでの発言) 					
受講生への メッセージ	・学科で学んでいることを進んで行動し、ロールプレイングに活かし、即戦力になれるよう学んでほしいです					
【使用教科書・教材・参考書】						
・学校テキスト						

科目名 (英)	進級制作 Upgrade program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ①1年後の進級制作展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出&プレゼン発表
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	進級制作 Upgrade program	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サービス業界で、自身のキャリアを最大化し顧客や企業へ提供する為のキャリアスキルを身に付ける事ができる							
【実務経験】 リゾートホテル宿泊部門勤務経験4年、外資系ホテルでの勤務歴7年、国内会員制高級シティホテル勤務を経て現在ホテル旅館総合コンサルティング会社の経営陣として現役のコンサルティング業務を行っている							
【到達目標】 ①1年後の進級制作展「We are hospitality」に向けた基礎準備を行うことができる。②これから取り組むプロジェクトをしっかりと理解し、企業様側の立場に立って物事を考えることができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	現在の観光業界の未来の考察をし、説明することができる	
2回目	顧客がサービスを受けて感じる複数要素を考察し、プレゼンテーションする事ができる	
3回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる①	
4回目	サービス価値を考察し、考案しグループでプレゼンテーションできるようになる②	
5回目	なぜ人は観光をするのか？その効果を考察しプレゼンテーションできるようになる	
6回目	自身のキャリアを延ばす為の学びについて考察し、自身で目標設定ができるようになる	
7回目	自身のキャリアにおいて、障壁の受け止め方、乗り越え方を考察し、実行できるようになる	
8回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる①	
9回目	感情が必要な時と不要な時をビジネスの現場に当てはめて考察しプレゼンテーションする事ができる②	
10回目	自分キャリアプランを作成する①	
11回目	自分キャリアプランを作成する②	
12回目	作成した自分キャリアプランをプレゼンテーションする	
13回目	自分以外のキャリアプランを考察し、改善アドバイスを実施する事で、客観的にプランシュアアップさせる	
14回目	★評価週	レポート提出&プレゼン発表
15回目	★まとめ・追試/再試	これまでの講義内容のフォードバック
準備学習 時間外学習	無し	
評価方法	レポート提出100%	
受講生への メッセージ	前期に引き続き、サービス産業の現状と自身のキャリアアップについて考える力を養っていきます。自分の将来を自分で切り開くマインドを一緒にに見つけて行きましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	卒業制作 Graduation Production	必修 選択	必修	年次	3	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・マネジメント科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】

バー勤務経験を有する教員が現場で活かせる技術や知識を講義と演習を交え、卒業制作に向けて実践にて学ぶ事が出来る授業です。

【実務経験】

ウエスティンホテル東京2年(バー勤務)・JFEレストランドイツ滞在2年(レストラン・バー勤務)・レストランひらまつ2年(レストラン)

ホテルオークラ福岡20年(レストラン勤務) 調理師免許保有

【到達目標】

個々の知見を深め技術の探求と達成感を目標設定とします

〈具体的な目標〉

目標①場面での課題に向き合い改善方法を見つけられる考え方をもちます

目標②授業の準備と片づけを協力しあう事で役割と責務を養います

目標③授業通じ人の喜びが自身の喜びと共有出来、それを糧に好奇心創造の具体化

授業計画・内容

1回目	卒業制作の草案を練り、行動計画を考える事が出来る
2回目	作品①を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
3回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
4回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
5回目	作品②を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
6回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
7回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
8回目	中間試験(作品提案とデータ化)
9回目	作品③を絞り込み制作時間・費用・イメージの具体化を計る事が出来る
10回目	絞り込んだ作品を実際に作り改善点を抽出する事が出来る
11回目	作品の工程を明記し完成度を高める事が出来る
12回目	制作発表の準備を行い改善点を抽出し克服出来る
13回目	作品提案とデータ化
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	卒業制作提出
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見

【使用教科書・教材・参考書】

厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法

科目名 (英)	中国語	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	
	Chinese	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づき、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。本校の指導方針に従って、基礎から丁寧に指導し、特に発音と声調を正しく身につけさせ、将来の仕事で使えるように、最初から良い基盤を築いていきます。また、資格の取得は将来の就職、仕事現場に役立つため、1年生全員にHSK中国語検定試験に挑戦してもらいます。普段の授業では、発音、文字、文法の重要なポイントをわかりやすく説明し、クラス全員で楽しく勉強できるように、授業を確実に一歩一歩進めます。

【到達目標】

グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来仕事現場の中国観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいきます。HSK中国語検定試験にも挑戦し、全員で合格できるように皆で頑張ります。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、中国語概況について理解できる。発音の勉強、練習を経て、中国語で簡単な自己紹介ができる。	
2回目	中国語の発音を復習し、挨拶の言葉を身につけることができる。また自己紹介の内容を増やし、少しずつ覚えることができる。	
3回目	自己紹介が流暢にできる。検定試験範囲の文字、文法を習得し、練習問題に取り掛かることができる。	
4回目	簡単な空港用語、中国観光客へのサービス会話を身につけることができる。HSK中検過去問題を部分的に解くことができる。	
5回目	検定試験のリスニング練習、中国語の漢字の書き方、基礎文法などを身につけることができる。	
6回目	自己紹介の内容を充実させ、就職面接に向かって、自分の特徴をアピールすることができる。	
7回目	5月の勉強内容を復習し、自己チェックをしてから、身につけなかった部分を補うことができる。	
8回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。	
9回目	検定試験の過去問題を導入し、各部分の対策を身につけることができる。	
10回目	自分の足りない部分を見つけ、その解決策をみんなで一緒に身につけることができる。	
11回目	今まで習ったことを復習し、第一回目のHSK中国語検定試験に向かって、一層力を入れることができる。	
12回目	前期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。	
13回目	最終的にまとめ、自信を持って試験に向かうことができる。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	

準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生への メッセージ	自分の勉強意欲と若さを十分に活かして、悔いのない学校生活を送ってください。 中国語の勉強を通じて、国際人の意識を高め、視野を広げ、将来、与えられた仕事だけでなく、自ら進んで社会に貢献できる人間になってください。 授業中、わからないことがあれば、遠慮せずに積極的に質問してください。	

【使用教科書・教材・参考書】

市販新HSK検定試験問題集、会話プリント等

科目名 (英)	中国語	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Chinese	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース						

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づき、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。本校の指導方針に従って、基礎から丁寧に指導し、特に発音と声調を正しく身につけさせ、将来の仕事で使えるように、最初から良い基盤を築いていきます。また、資格の取得は将来の就職、仕事現場に役立つため、1年生全員にHSK中国語検定試験に挑戦してもらいます。普段の授業では、発音、文字、文法の重要なポイントをわかりやすく説明し、クラス全員で楽しく勉強できるように、授業を確実に一歩一歩進めます。

【到達目標】

グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来仕事現場の中国観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいきます。HSK中国語検定試験にも挑戦し、全員で合格できるように皆で頑張ります。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、中国語概況について理解できる。発音の勉強、練習を経て、中国語で簡単な自己紹介ができる。	
2回目	中国語の発音を復習し、挨拶の言葉を身につけることができる。また自己紹介の内容を増やし、少しずつ覚えることができる。	
3回目	自己紹介が流暢にできる。検定試験範囲の文字、文法を習得し、練習問題に取り掛かることができる。	
4回目	簡単な空港用語、中国観光客へのサービス会話を身につけることができる。HSK中検過去問題を部分的に解くことができる。	
5回目	検定試験のリスニング練習、中国語の漢字の書き方、基礎文法などを身につけることができる。	
6回目	自己紹介の内容を充実させ、就職面接に向かって、自分の特徴をアピールすることができる。	
7回目	5月の勉強内容を復習し、自己チェックをしてから、身につけなかった部分を補うことができる。	
8回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。	
9回目	検定試験の過去問題を導入し、各部分の対策を身につけることができる。	
10回目	自分の足りない部分を見つけ、その解決策をみんなで一緒に身につけることができる。	
11回目	今まで習ったことを復習し、第一回目のHSK中国語検定試験に向かって、一層力を入れることができる。	
12回目	前期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。	
13回目	最終的にまとめ、自信を持って試験に向かうことができる。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	

準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業態度 (30%) ● 小テスト (20%) ● 定期テスト (50%) 割合で成績評価を行う。	
受講生への メッセージ	自分の勉強意欲と若さを十分に活かして、悔いのない学校生活を送ってください。 中国語の勉強を通じて、国際人の意識を高め、視野を広げ、将来、与えられた仕事だけでなく、自ら進んで社会に貢献できる人間になってください。 授業中、わからないことがあれば、遠慮せずに積極的に質問してください。	

【使用教科書・教材・参考書】

市販新HSK検定試験問題集、会話プリント等

科目名 (英)	日本の伝統と文化 Japanese tradition and culture	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。</p> <p>※実務経験 茶道裏千家の師範として10年以上独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。</p> <p>【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。</p>						

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・茶道の歴史を知ることが出来る。(千利休の人物像)茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。
2回目	和室でのふるまい(襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方)を知ることが出来る。
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。①
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置
5回目	家でも楽しめるお茶の点て方を知ることが出来る。盆略点前①
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆略点前②
7回目	盆略点前③抹茶を頂くときのお茶碗の扱い方を身に付ける
8回目	実際にお茶を点てて飲むことができる。お菓子の取り方、頂き方を身に付けることができる。
9回目	「総合芸術」という茶道を深く知ることができる
10回目	点てる人(亭主)・頂く人(お客)に分かれて実際にお茶を点てることができる
11回目	お茶の立て方の総復習(実際に自分ひとりで点ててみる)
12回目	★評価週 期末テスト(実技・筆記)
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して行ってほしいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	面接対策 I Interview Preparation Seminar I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、1年次に習得した自己分析を基に各々の志望職種とその適正にフォーカスし、説得力のある自己PRや志望動機を作成できます。また、模擬面接を繰り返し行い、口述スキルを磨いていきます。

【到達目標】

- (1) 自己分析の結果を用いて、強み、適正、能力、将来のビジョンを客観的に捉えることができる。
- (2) やりたい仕事、働きたい企業を徹底的に分析し、説得力のある志望動機へと導くことができる。
- (3) 採用試験合格のための応募書類を作成することができる。
- (4) 面接の実践練習を繰り返し行うことで、個別面接・オンライン・グループディスカッションの口述スキルを身につけることができる。
- (5) 就職内定取得者は、実用的かつ入社後役に立つ課題に取り組み社会人としての心構えを身につけることができる。

授業計画・内容

1回目	就職活動の進捗状況確認および航空業界の現状に対する考察ができる
2回目	明確な目標設定ができる (行動の見える化に取り組む) 就活スケジュールを作成することができる
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる (目指す将来の展望を理解する)
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる / 志望企業に応じた応募書類を作成することができる
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる (一問一答) / 過去問に対してPREP法にて答えることができる
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究
12回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:「合格体験記」記録
13回目	夏季休暇前の総括ができる 自己評価の発表
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試

準備学習
時間外学習

評価方法

定期テスト 100%

受講生へのメッセージ

この一年をどのように過ごすかがとても重要です。プロフェッショナルな接客スキルを身につけるために、積極的に行動しホスピタリティマインドを育む楽しさを習慣化しましょう! 笑顔は周りの人を幸せにします。あなたの周りを幸せな人でいっぱいしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	面接対策Ⅱ Interview Preparation Seminar	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	曜日・時限

【授業の学習内容】

丁寧な自己分析と企業研究に基づき、企業に求められるホスピタリティに富んだ人柄や熱意、将来性が伝わるような応募書類の作成を指導します。
また様々な形式の面接試験でのマナーやポイントを抑え、自信を持って「傾聴」と「対話」の中での自己PRができるよう導きます。

【実務経験】

全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて 品質推進、旅客サービス、接客・アナウンス等インストラクター、運航支援、ロードコントロール等 10年勤務
(株)ベネッセコーポレーション店舗にて営業・接客・MC および英語教室 BE studioにて講師サポート・事務全般 3年勤務、大手老舗百貨店 外商部、 行政府機関

【到達目標】

- ①面接に向けて自身の必要なスキルを上げることができる。
- ②模擬面接を通じてスムーズに面接内で自身の考えを伝えることができる。
- ③自己分析を通じて自身の可能性に気付き、将来に向けてスキルアップへの意欲を高めることができる。
- ④企業や職種研修を通じて関心を高め、今後の業界の姿やそこの働き方をイメージすることができる。

授業計画・内容

1回目	自己紹介および就職活動の進捗紹介、 授業の目的と就職する意味を理解できる、 自身の目指す未来像から今期の目標を定めることができる	
2回目	受験先へのエントリーおよび応募書類の作成方法と提出マナーについて学ぶことができる	
3回目	業界および企業研究のポイント、 企業と学生の視点の違いと重視すべきポイントを理解することができる。	
4回目	自己分析の必要性を理解して、ポイントを抑えた客観的な自己分析の方法を学ぶことができる(自分史の作成と経験の分析)	
5回目	様々な角度から自己を客観的に捉え、長所や特技を抽出できる ●エゴグラム(性質、他者との関わり方、集団での立ち位置)	
6回目	PREP法に則り、わかりやすく説得力のある表現を実践することができる ●記述 ●口述 ●リフレーミング	
7回目	志望企業や職種を意識して、経験や長所から基本的な自己PRを作成することができる ●企業研究 ●趣味・特技	
8回目	自己分析・業界研究・企業研究を踏まえて、企業への熱意と将来の活躍を感じさせる説得力のある志望動機を作成することができる	
9回目	基本的な履歴書を作成し、添削を受けることができる	
10回目	面接試験の重要性を理解し、ポイントを理解できる ●マナー ●表情 ●立ち居振る舞い ●発声 ●対話力 ●傾聴姿勢	
11回目	これまでの経験、自身の抱くホスピタリティや長所、趣味・特技などを踏まえた自分らしい自己PRを口述できる ●活舌	
12回目	グループ面接のポイントを理解し、練習と振り返りができる	
13回目	グループディスカッションのポイントを理解し、練習と振り返りができる。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	オンライン面接のポイントを理解できる 半期の総括

準備学習
時間外学習

自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。
面接練習で習ったポイントは、授業後にくり返し練習しましょう。

評価方法

期末テスト 100% (筆記および実技試験)

受講生へのメッ
セージ

【使用教科書・教材・参考書】

オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布